



令和 4 年度

第 63 回

県政に関する世論調査

報 告 書

令和 5 年 1 月

千 葉 県

は し が き

この調査は、県民の皆さまの生活意識、県政に対してどのような関心や期待などを持っているかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和50年度から実施しています。

令和4年度は年2回実施することとし、今回は1回目の調査で、県内在住の満18歳以上の3,000名を対象に、8月から9月にかけて郵送法・オンライン調査法で実施しました。

具体的な内容としては、環境と生活、健康、福祉などについて県民の意識等の経年変化を調査する「県民意識調査」、県民のニーズの優先度を調査する「県政への要望」を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や各事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

終わりに、本調査にご協力いただきました県民の皆さまを始め、関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

令和5年1月

千葉県総合企画部長 高橋 俊之

目 次

調査の概要	1
調査結果及び解説	10
1 環境と生活について	10
(1) 今後の居住意向	10
(1-1) 住み続けたい理由	12
(1-2) 移りたい理由	15
(2) 県内の道路状況の満足度	18
(3) 今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題	20
(4) 上水道の整備の満足度	23
(5) 住生活全般の満足度	25
(6) 消費生活全般の満足度	27
(7) 「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」の認知度	29
(8) 「気候変動による影響への適応」の認知度	31
(9) 環境に配慮した行動	33
(10) 普段の生活で環境に配慮した取組の実施状況	35
(11) 環境保全に関する講演やセミナー、 環境ボランティア活動への参加状況	42
(12) 市民活動団体やボランティア活動の関心度	44
(13) 市民活動団体の活動への参加経験	46
(14) ボランティア活動経験	48
(15) この1年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験	50
(15-1) 文化芸術を鑑賞しなかった理由	54
(15-2) 文化芸術活動をしなかった理由	57
(16) 文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境の整備状況	60
2 健康について	62
(1) 健康づくりへの取組状況	62
(2) 安心して受診できる医療体制	64
(3) かかりつけ医の有無	66
3 福祉について	70
(1) 地域の福祉の状況について	70
(2) お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について	75
(3) 「共生社会」の認知度	77
4 観光について	79
(1) 県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと	79
(2) お土産や贈答品として選ぶ県産品	82

5	県の農林水産物について-----	85
	(1) 千葉県産農林水産物の購入意向 -----	85
	(1-1) 千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由 -----	87
	(1-2) 千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由 -----	89
	(2) 環境にやさしい農産物や制度の認知度 -----	91
	(3) 「千葉ブランド水産物」の認知度 -----	94
6	防災に関する取組について-----	96
	(1) 防災情報の警戒レベルの意味・取るべき行動の認知度 -----	96
	(2) 飲料水や食料、災害用トイレ（簡易・携帯）の備蓄状況 -----	98
	(3) 地震や台風などの災害への対策 -----	102
7	公金のキャッシュレス化の推進について-----	105
	(1) 公金の納付に当たり不便と感じることの有無 -----	105
	(1-1) キャッシュレス決済を導入すべきだと思える場面 -----	107
	(2) 普段の生活で主に利用しているキャッシュレス決済 -----	109
8	生涯学習について-----	112
	(1) 今後学習したいと思うこと -----	112
	(1-1) 学習する上で困っていること -----	115
	(1-2) 学習したいと思わない理由 -----	118
	(2) 生涯学習の情報を得る手段 -----	121
9	SDGs等について-----	124
	(1) SDGsの言葉の認知度 -----	124
	(2) 「ダイバーシティ」概念の認知度 -----	126
	(2-1) 千葉県における「ダイバーシティ社会」の実現について -----	128
	(3) 社会全体での男女の地位の平等感 -----	131
	(4) 男女共同参画社会を実現するための取組 -----	133
10	県の魅力について-----	136
	(1) 千葉県の魅力 -----	136
11	広報について-----	140
	(1) 県政に関する情報を得る手段 -----	140
12	県政への要望-----	144
	(1) 県政への要望 -----	144
	(1-1) 各政策への具体的な要望 -----	151
13	自由回答-----	164
	(付) 調査票および単純集計結果 -----	171

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

（1）県民意識調査

- ・ 環境と生活について
- ・ 健康について
- ・ 福祉について
- ・ 観光について
- ・ 県の農林水産物について
- ・ 防災に関する取組について
- ・ 公金のキャッシュレス化の推進について
- ・ 生涯学習について
- ・ S D G s 等について
- ・ 県の魅力について
- ・ 広報について

（2）県政への要望

3. 調査の設計

（1）調査地域 千葉県全域

（2）調査対象 満18歳以上の個人

（3）標本数 3,000人

（4）抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

（5）調査方法 郵送法・オンライン調査法の併用
（郵送配付－郵送・オンライン回収）

（6）調査時期 令和4年8月23日～令和4年9月16日

4. 調査機関

株式会社マーケティングリサーチサービス

5. 回収結果

標本数	（A）	3,000件
総回収数	（B）	1,596件
有効回収数	（C）	1,591件
うちネット回収数		464件
無効回収数		5件
うちネット回収数		0件
回収率	（B／A）	53.20%
有効回収率	（C／A）	53.03%

標本抽出方法

調査対象：千葉県内の市町村に居住する満18歳以上の個人

標本数：3,000人

地点数：市部 194地点

郡部 6地点

計 200地点

抽出法：層化二段無作為抽出法

〔層 化〕

1. 県内を、次の11地域に分類した。

地域名	該 当 市 郡 名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、
さらに市部、郡部に分け、層とした。

（注）ここでいう市とは、
令和4年4月1日現在市制施行の
地域をさす。



〔標本数の配分〕

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（令和3年4月1日現在の推定数）に対して、3,000の標本数を比例配分した。

〔抽出〕

- 令和2年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。
 - 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$
を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。
 - 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、令和2年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。
 - 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。
- 以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
①千葉地域	1,070,492 600 40	0 0 0	1,070,492 600 40
②葛南地域	1,432,253 795 53	0 0 0	1,432,253 795 53
③東葛飾地域	1,296,425 720 48	0 0 0	1,296,425 720 48
④印旛地域	581,835 330 22	36,062 15 1	617,897 345 23
⑤香取地域	65,407 30 2	29,937 15 1	95,344 45 3
⑥海匝地域	139,323 75 5	0 0 0	139,323 75 5
⑦山武地域	136,968 75 5	40,448 15 1	177,416 90 6
⑧長生地域	77,029 45 3	51,661 30 2	128,690 75 5
⑨夷隅地域	48,069 30 2	14,411 15 1	62,480 45 3
⑩安房地域	101,233 60 4	6,700 0 0	107,933 60 4
⑪君津地域	279,702 150 10	0 0 0	279,702 150 10
計	5,228,736 2,910 194	179,219 90 6	5,407,955 3,000 200

（注）上段は満18歳以上の人口（令和3年4月1日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
① 千葉地域	千葉市中央区大森町	15	① 千葉地域	市原市安久谷	15
	千葉市中央区白旗 3 丁目	15		市原市国分寺台中央 4 丁目	15
	千葉市中央区蘇我 5 丁目	15		市原市五井中央西 2 丁目	15
	千葉市中央区道場北 1 丁目	15		市原市ちはら台南 6 丁目	15
	千葉市中央区東千葉 1 丁目	15	② 葛南地域	市川市国府台 4 丁目	15
	千葉市中央区港町	15		市川市真間 5 丁目	15
	千葉市中央区宮崎町	15		市川市大和田 5 丁目	15
	千葉市花見川区み春野 1 丁目	15		市川市南八幡 5 丁目	15
	千葉市花見川区作新台 1 丁目	15		市川市宮久保 5 丁目	15
	千葉市花見川区長作町	15		市川市北方 1 丁目	15
	千葉市花見川区幕張町 4 丁目	15		市川市国分 7 丁目	15
	千葉市花見川区宮野木台 1 丁目	15		市川市須和田 2 丁目	15
	千葉市稲毛区稲毛東 3 丁目	15		市川市東国分 2 丁目	15
	千葉市稲毛区小中台町	15		市川市南大野 3 丁目	15
	千葉市稲毛区天台 2 丁目	15		市川市下新宿	15
	千葉市稲毛区宮野木町	15		市川市相之川 2 丁目	15
	千葉市若葉区小倉台 7 丁目	15		市川市福栄 1 丁目	15
	千葉市若葉区桜木 3 丁目	15		市川市末広 2 丁目	15
	千葉市若葉区千城台西 1 丁目	15		船橋市宮本 4 丁目	15
	千葉市若葉区都賀の台 4 丁目	15		船橋市東町	15
	千葉市若葉区みつわ台 5 丁目	15		船橋市本町 1 丁目	15
	千葉市緑区高田町	15		船橋市海神 5 丁目	15
	千葉市緑区あすみが丘 3 丁目	15		船橋市印内 3 丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野 3 丁目	15		船橋市北本町 1 丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野中央 9 丁目	15		船橋市行田 2 丁目	15
	千葉市美浜区磯辺 3 丁目	15		船橋市上山町 2 丁目	15
	千葉市美浜区幸町 1 丁目	15		船橋市夏見 4 丁目	15
	千葉市美浜区高浜 3 丁目	15		船橋市金杉 5 丁目	15
	千葉市美浜区真砂 5 丁目	15		船橋市二和西 4 丁目	15
	市原市村上	15		船橋市高野台 3 丁目	15
	市原市五井	15		船橋市咲が丘 4 丁目	15
	市原市八幡石塚 1 丁目	15		船橋市前原西 6 丁目	15
	市原市古市場	15		船橋市滝台 1 丁目	15
	市原市姉崎	15		船橋市三山 6 丁目	15
	市原市泉台 1 丁目	15		船橋市習志野 1 丁目	15
	市原市押沼	15		船橋市芝山 5 丁目	15

地域	調 査 地 点 名	標 本 数	地域	調 査 地 点 名	標 本 数
② 葛南地域	船橋市松が丘 3 丁目	15	③ 東葛飾地域	野田市みずき 2 丁目	15
	船橋市大穴北 3 丁目	15		野田市光葉町 2 丁目	15
	船橋市習志野台 2 丁目	15		野田市二ツ塚	15
	船橋市小室町	15		野田市木間ヶ瀬	15
	習志野市谷津 4 丁目	15		柏市永楽台 3 丁目	15
	習志野市袖ヶ浦 5 丁目	15		柏市柏の葉 2 丁目	15
	習志野市大久保 2 丁目	15		柏市南逆井 4 丁目	15
	習志野市東習志野 4 丁目	15		柏市関場町	15
	習志野市実籾 3 丁目	15		柏市豊四季	15
	八千代市高津	15		柏市中原 1 丁目	15
	八千代市大和田新田	15		柏市東柏 1 丁目	15
	八千代市勝田台 2 丁目	15		柏市布施新町 3 丁目	15
	八千代市村上団地	15		柏市緑ヶ丘	15
	八千代市八千代台南 2 丁目	15		柏市若柴	15
	八千代市八千代台北 15 丁目	15		柏市逆井 1 丁目	15
	八千代市村上南 1 丁目	15		柏市塚崎	15
	浦安市当代島 2 丁目	15		流山市流山 8 丁目	15
	浦安市堀江 2 丁目	15		流山市平和台 1 丁目	15
	浦安市海楽 1 丁目	15		流山市大字平方	15
③ 東葛飾地域	浦安市入船 6 丁目	15		流山市富士見台 1 丁目	15
	浦安市日の出 1 丁目	15		流山市名都借	15
	松戸市大金平 1 丁目	15		流山市松ヶ丘 5 丁目	15
	松戸市上矢切	15		流山市おおたかの森西 4 丁目	15
	松戸市幸谷	15		我孫子市白山 3 丁目	15
	松戸市小金原 5 丁目	15		我孫子市天王台 5 丁目	15
	松戸市栄町 7 丁目	15		我孫子市湖北台 1 丁目	15
	松戸市新松戸 7 丁目	15		我孫子市新木野 3 丁目	15
	松戸市常盤平 4 丁目	15		我孫子市我孫子 3 丁目	15
	松戸市中和倉	15		鎌ヶ谷市東道野辺 2 丁目	15
	松戸市八ヶ崎 5 丁目	15		鎌ヶ谷市南初富 4 丁目	15
	松戸市本町	15		鎌ヶ谷市西佐津間 2 丁目	15
	松戸市松飛台	15	④ 印旛地域	成田市加良部 1 丁目	15
	松戸市稔台 3 丁目	15		成田市下福田	15
	松戸市六高台 7 丁目	15		成田市桜田	15
	松戸市六実 6 丁目	15		佐倉市千成 1 丁目	15
	松戸市五香南 3 丁目	15		佐倉市八幡台 3 丁目	15
	野田市堤台	15		佐倉市青菅	15
	野田市大殿井	15		佐倉市中志津 2 丁目	15

第63回県政に関する世論調査（R 4 年度）

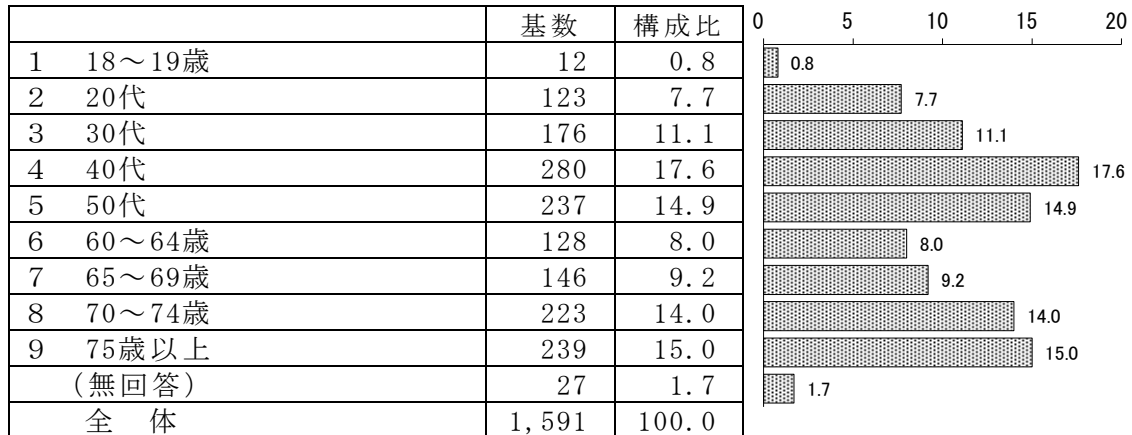
地域	調 査 地 点 名	標 本 数	地域	調 査 地 点 名	標 本 数
④ 印旛地域	佐倉市ユーカリが丘 3 丁目	15	⑦ 山武地域	山武市蓮沼イ	15
	佐倉市藤治台	15		大網白里市南飯塚	15
	佐倉市染井野 7 丁目	15		大網白里市みどりが丘 2 丁目	15
	四街道市大日	15		山武郡横芝光町中台	15
	四街道市千代田 4 丁目	15	⑧ 長生地域	茂原市大芝 1 丁目	15
	四街道市さつきヶ丘	15		茂原市緑ヶ丘 2 丁目	15
	四街道市もねの里 2 丁目	15		茂原市本納	15
	八街市八街ろ	15		長生郡長生村水口	15
	印西市小林北 2 丁目	15	⑨ 夷隅地域	長生郡長南町豊原	15
	印西市武西	15		勝浦市守谷	15
	印西市東の原 3 丁目	15		いすみ市小沢	15
	白井市復	15	⑩ 安房地域	夷隅郡御宿町須賀	15
	白井市堀込 3 丁目	15		館山市宮城	15
	白井市笹塚 2 丁目	15		館山市坂田	15
	富里市日吉台 1 丁目	15		鴨川市仲	15
	印旛郡栄町南ヶ丘 2 丁目	15		南房総市白浜町根本	15
⑤ 香取地域	香取市佐原口	15	⑪ 君津地域	木更津市木更津 3 丁目	15
	香取市仁良	15		木更津市請西東 3 丁目	15
	香取郡多古町高津原	15		木更津市大久保 1 丁目	15
⑥ 海匝地域	銚子市通町	15		木更津市清見台南 3 丁目	15
	銚子市本城町 6 丁目	15		木更津市矢那	15
	旭市二	15		君津市南子安 4 丁目	15
	旭市三川	15		君津市中野 1 丁目	15
	匝瑳市椿	15		君津市久留里大谷	15
⑦ 地山域武	東金市台方	15		富津市不入斗	15
	東金市季美の森 1 丁目	15		袖ヶ浦市蔵波	15

回答者の属性

1. 性



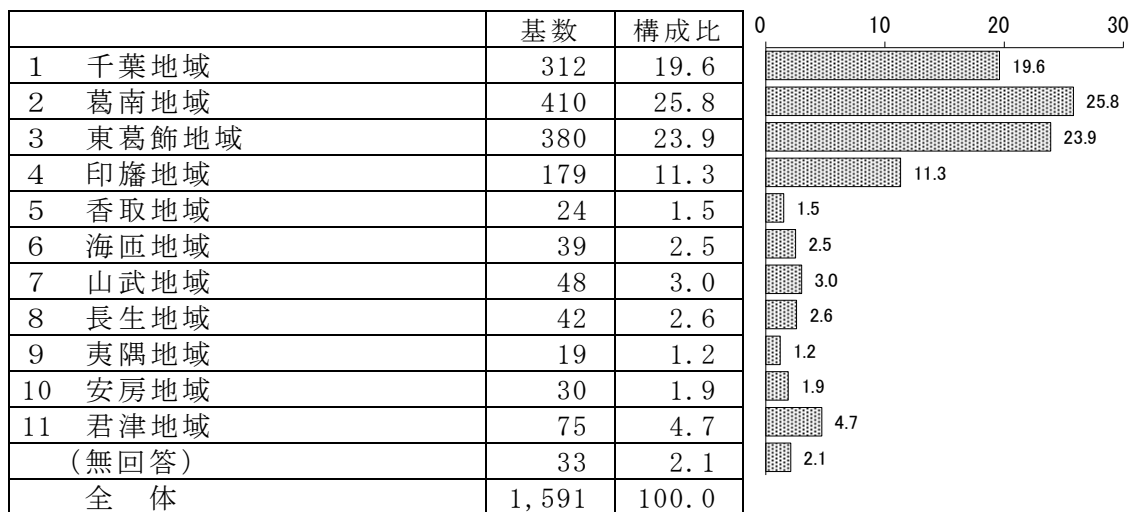
2. 年 代



3. 職 業



4. 地 域



（報告書の見方）

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- （１）比率はすべて百分比で表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- （２）基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率はnの件数を100%として算出した。
- （３）１人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- （４）複数の選択肢を合わせた表記の回答割合は、選択肢の回答者人数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。
- （５）回答の基数（サンプル数）が少ない場合は、解説で当該集計結果に触れていない場合がある。また、派生的設問において、基数が少ない属性が多い場合は、解説を行わない場合がある。
- （６）地域別、性・年代別の解説において、全体の数値との差が認められる確率が一定の基準を超えない属性の数値については、触れていない場合がある。
- （７）この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{2 \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数（サンプル数）
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

【地域別】

回答比率（P） 基数（n）		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
総数	1,591人	± 2.13	± 2.84	± 3.25	± 3.47	± 3.54
千葉地域	312	± 4.80	± 6.40	± 7.34	± 7.84	± 8.01
葛南地域	410	± 4.19	± 5.59	± 6.40	± 6.84	± 6.98
東葛飾地域	380	± 4.35	± 5.80	± 6.65	± 7.11	± 7.25
印旛地域	179	± 6.34	± 8.46	± 9.69	± 10.36	± 10.57
香取地域	24	± 17.32	± 23.09	± 26.45	± 28.28	± 28.86
海匝地域	39	± 13.59	± 18.11	± 20.75	± 22.18	± 22.64
山武地域	48	± 12.25	± 16.33	± 18.71	± 20.00	± 20.41
長生地域	42	± 13.09	± 17.45	± 20.00	± 21.38	± 21.82
夷隅地域	19	± 19.46	± 25.95	± 29.73	± 31.78	± 32.44
安房地域	30	± 15.49	± 20.65	± 23.66	± 25.29	± 25.82
君津地域	75	± 9.80	± 13.06	± 14.96	± 16.00	± 16.33

【性・年代別】

回答比率（P） 基数（n）		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
総 数	1,591人	± 2.13	± 2.84	± 3.25	± 3.47	± 3.54
男性（計）	671	± 3.28	± 4.37	± 5.00	± 5.35	± 5.46
男性18～19歳	6	± 34.64	± 46.19	± 52.91	± 56.57	± 57.73
男性20代	49	± 12.12	± 16.16	± 18.52	± 19.79	± 20.20
男性30代	71	± 10.07	± 13.43	± 15.38	± 16.44	± 16.78
男性40代	112	± 8.02	± 10.69	± 12.25	± 13.09	± 13.36
男性50代	96	± 8.66	± 11.55	± 13.23	± 14.14	± 14.43
男性60～64歳	55	± 11.44	± 15.25	± 17.47	± 18.68	± 19.07
男性65～69歳	67	± 10.36	± 13.82	± 15.83	± 16.93	± 17.27
男性70～74歳	101	± 8.44	± 11.26	± 12.89	± 13.78	± 14.07
男性75歳以上	113	± 7.98	± 11.55	± 12.19	± 14.14	± 13.30
女性（計）	885	± 2.85	± 3.80	± 4.36	± 4.66	± 4.75
女性18～19歳	6	± 34.64	± 46.19	± 52.91	± 56.57	± 57.73
女性20代	73	± 9.93	± 13.24	± 15.17	± 16.22	± 16.55
女性30代	102	± 8.40	± 11.20	± 12.83	± 13.72	± 14.00
女性40代	168	± 6.55	± 10.64	± 12.19	± 13.03	± 13.30
女性50代	137	± 7.25	± 9.66	± 11.07	± 11.84	± 12.08
女性60～64歳	73	± 9.93	± 13.24	± 15.17	± 16.21	± 16.55
女性65～69歳	79	± 9.54	± 12.73	± 14.58	± 15.59	± 15.91
女性70～74歳	122	± 7.68	± 10.24	± 11.73	± 12.54	± 12.80
女性75歳以上	124	± 7.62	± 10.16	± 11.64	± 12.44	± 12.70

調査の結果 調査結果の解説

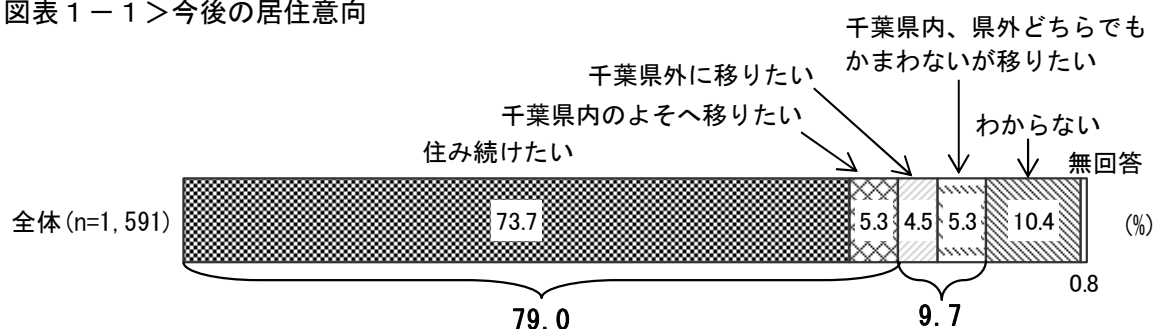
1 環境と生活について

（1）今後の居住意向

◇『千葉県内に住み続けたい（計）』が約 8 割

問 1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。（○は 1 つ）

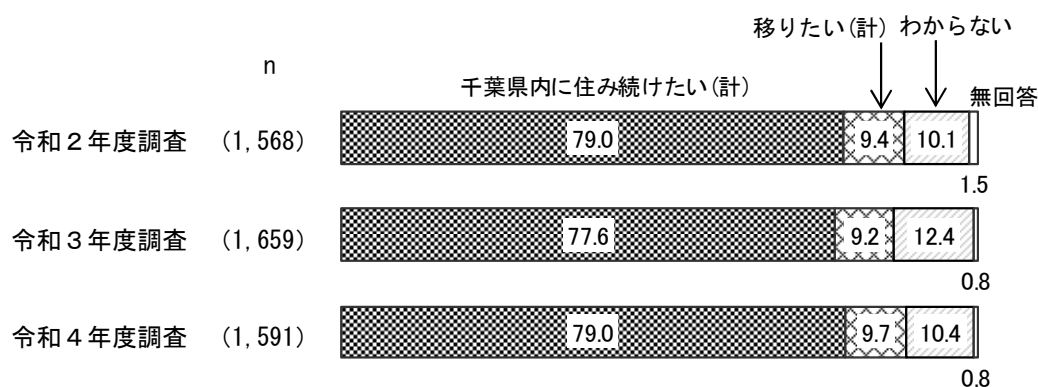
＜図表 1－1＞今後の居住意向



現在お住まいの地域の今後の居住意向を聞いたところ、「住み続けたい」(73.7%) が 7 割台半ば、これと「千葉県内のよそへ移りたい」(5.3%) を合わせた『千葉県内に住み続けたい（計）』(79.0%) が約 8 割となっている。

一方、「千葉県外に移りたい」(4.5%) と「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」(5.3%) を合わせた『移りたい（計）』(9.7%) が約 1 割となっている。（図表 1－1）

〔参考〕令和 2 年度・3 年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、「住み続けたい」は“印旛地域” (80.4%) が 8 割で高くなっている。

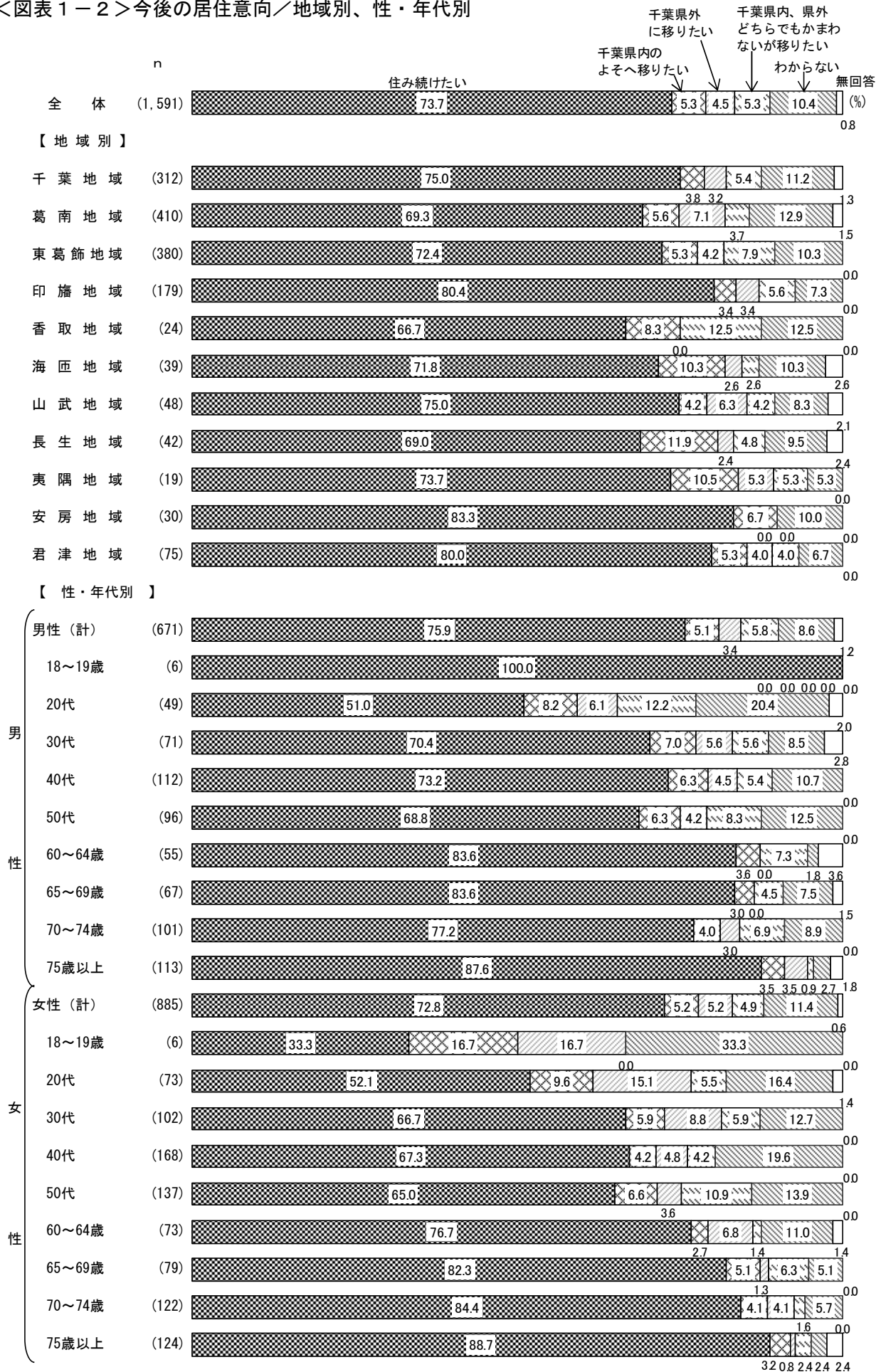
（図表 1－2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『千葉県内に住み続けたい（計）』は男性の 75 歳以上 (91.2%) と女性の 75 歳以上 (91.9%) が 9 割を超え、女性の 70～74 歳 (88.5%) が約 9 割で高くなっている。

一方、『移りたい（計）』は女性の 20 代 (20.5%) で 2 割、男性の 20 代 (18.4%) で約 2 割と高くなっている。（図表 1－2）

＜図表 1－2＞今後の居住意向／地域別、性・年代別



（１－１）住み続けたい理由

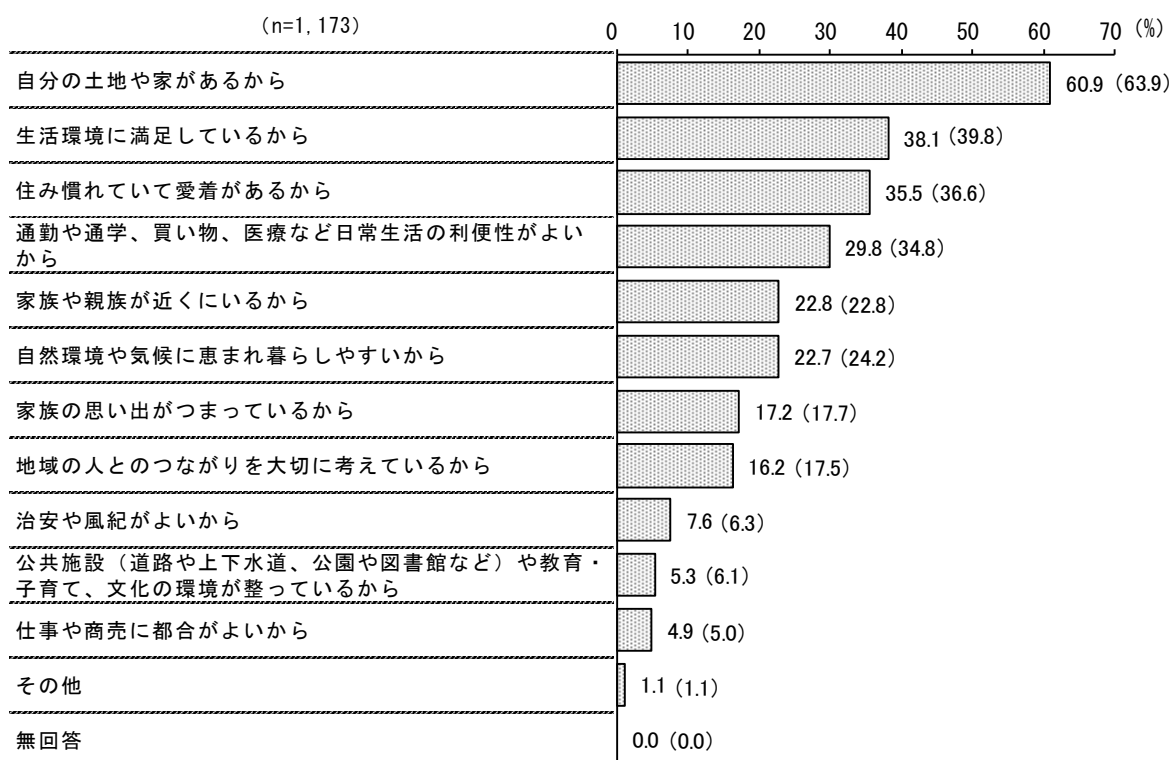
◇「自分の土地や家があるから」が６割

（問１で「住み続けたい」とお答えの方に）

問１－１ あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

（○は３つまで）

<図表１－３>住み続けたい理由（３つまでの複数回答）



注）（ ）の数字は令和２年度の同様の項目による調査結果 n=1,151

「住み続けたい」と回答した1,173人を対象に、住み続けたい理由を聞いたところ、「自分の土地や家があるから」（60.9％）が６割で最も高く、以下、「生活環境に満足しているから」（38.1％）、「住み慣れていて愛着があるから」（35.5％）、「通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性がよいから」（29.8％）が続く。（図表１－３）

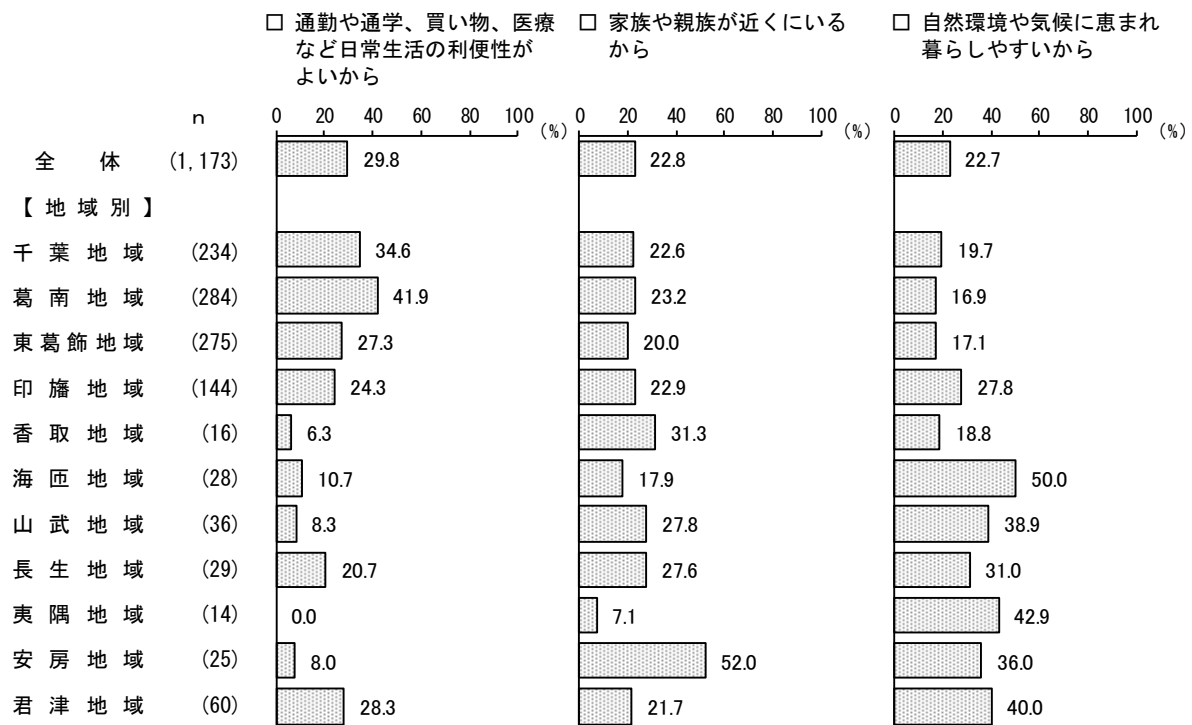
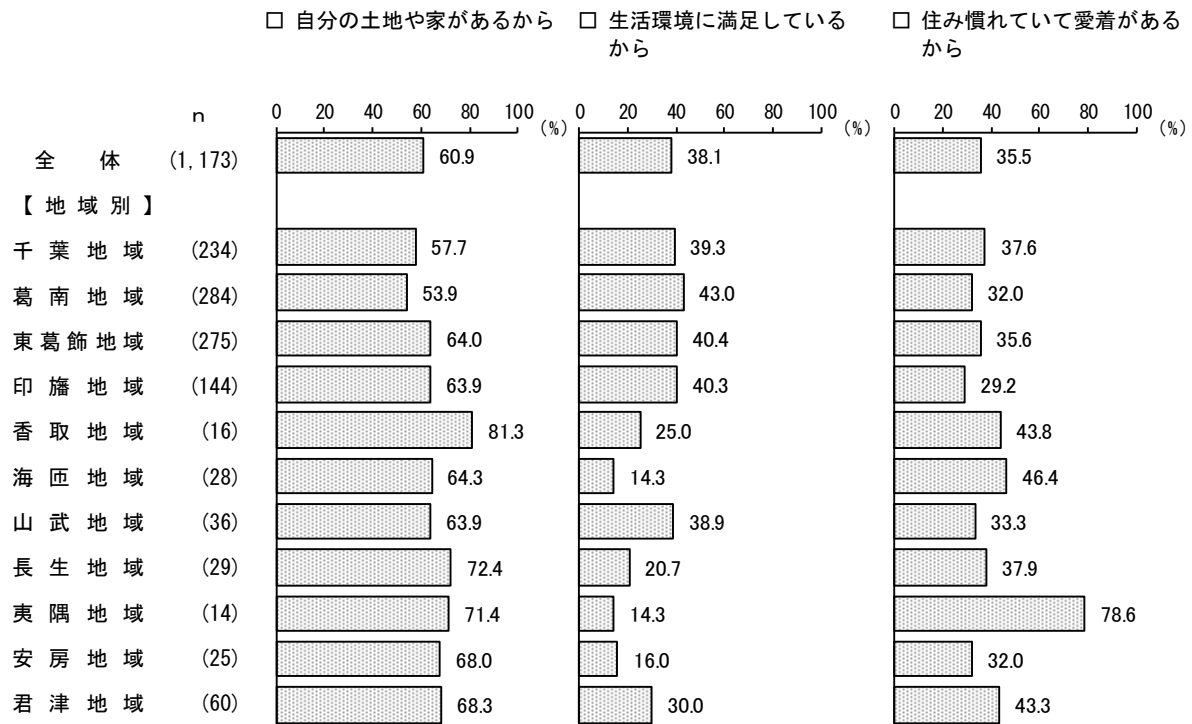
【地域別】

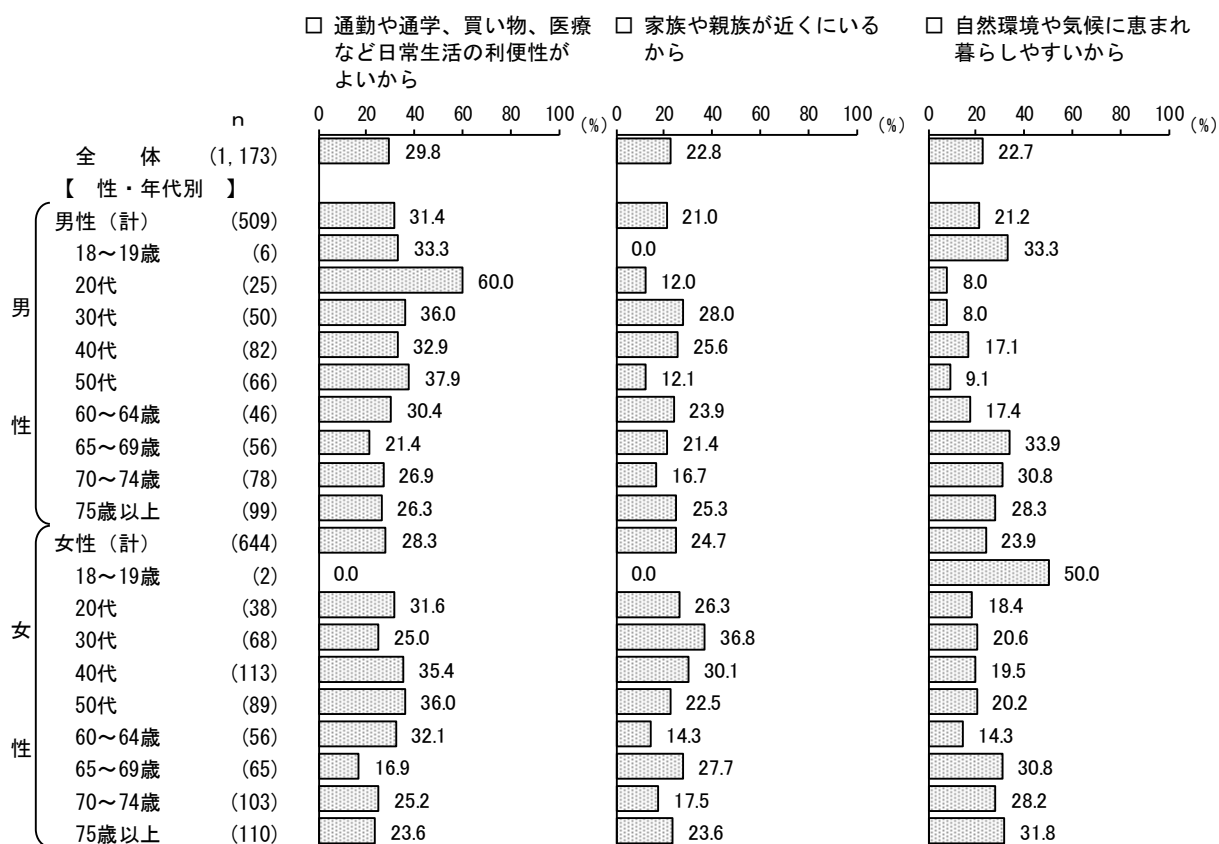
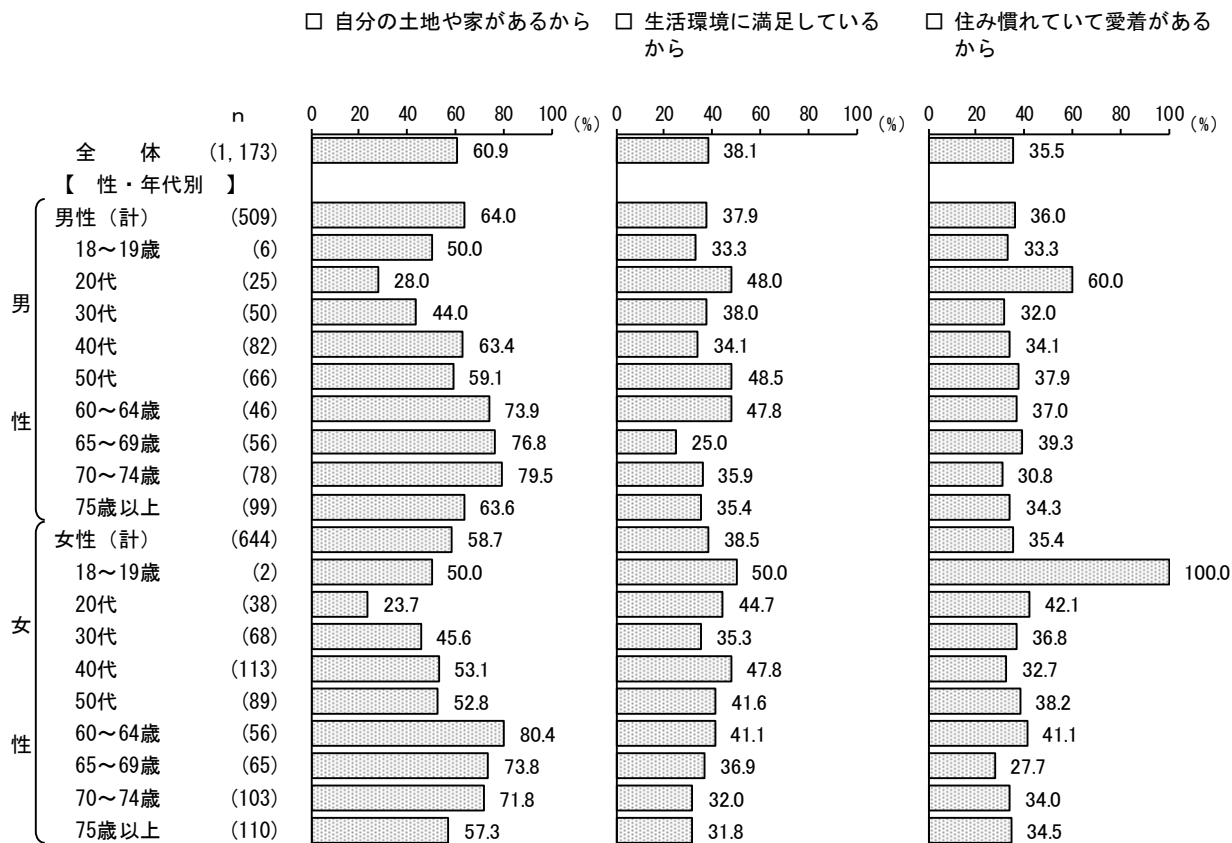
地域別にみると、「通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”（41.9％）が４割を超えて高くなっている。（図表１－４）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は女性の60～64歳（80.4％）で８割、男性の70～74歳（79.5％）で約８割、男性の65～69歳（76.8％）と女性の65～69歳（73.8％）で７割台半ば、女性の70～74歳（71.8％）が７割を超えて高くなっている。（図表１－４）

＜図表 1－4＞住み続けたい理由（3つまでの複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）





（１－２）移りたい理由

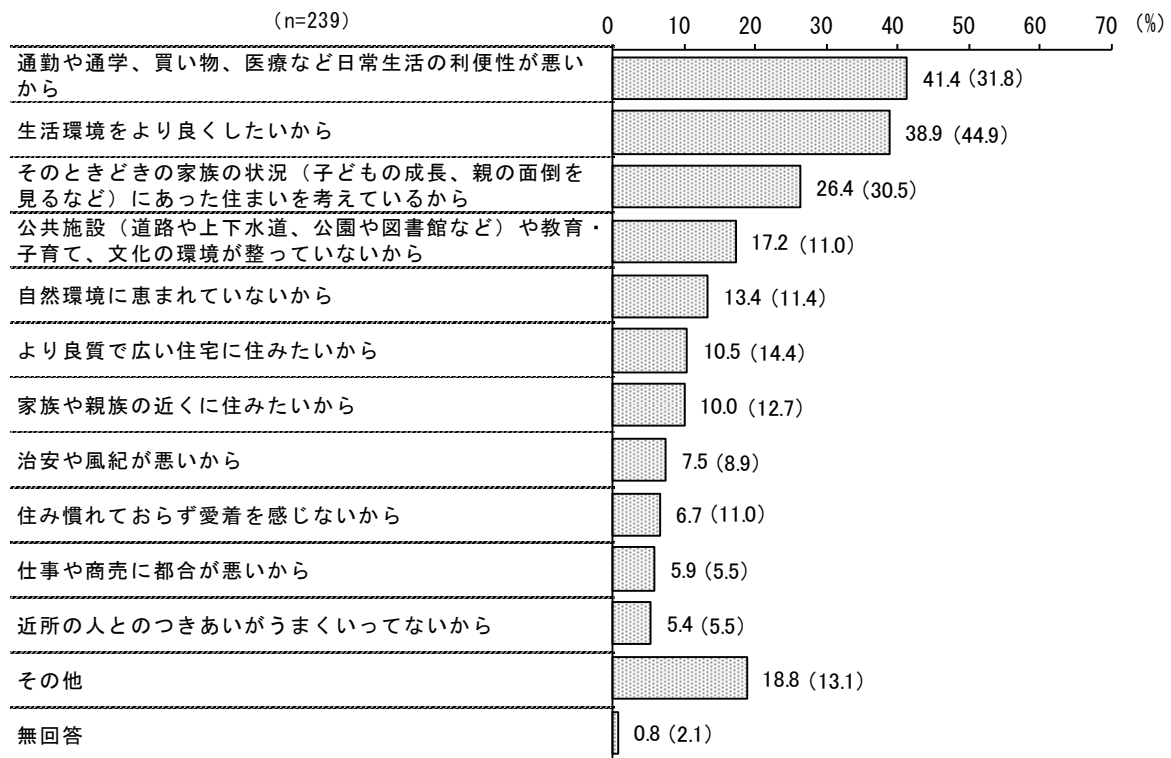
◇「通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性が悪いから」が４割を超える

（問１で「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわれないが移りたい」のいずれかをお答えの方に）

問１－２ あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。

（○は３つまで）

<図表１－５>移りたい理由（３つまでの複数回答）



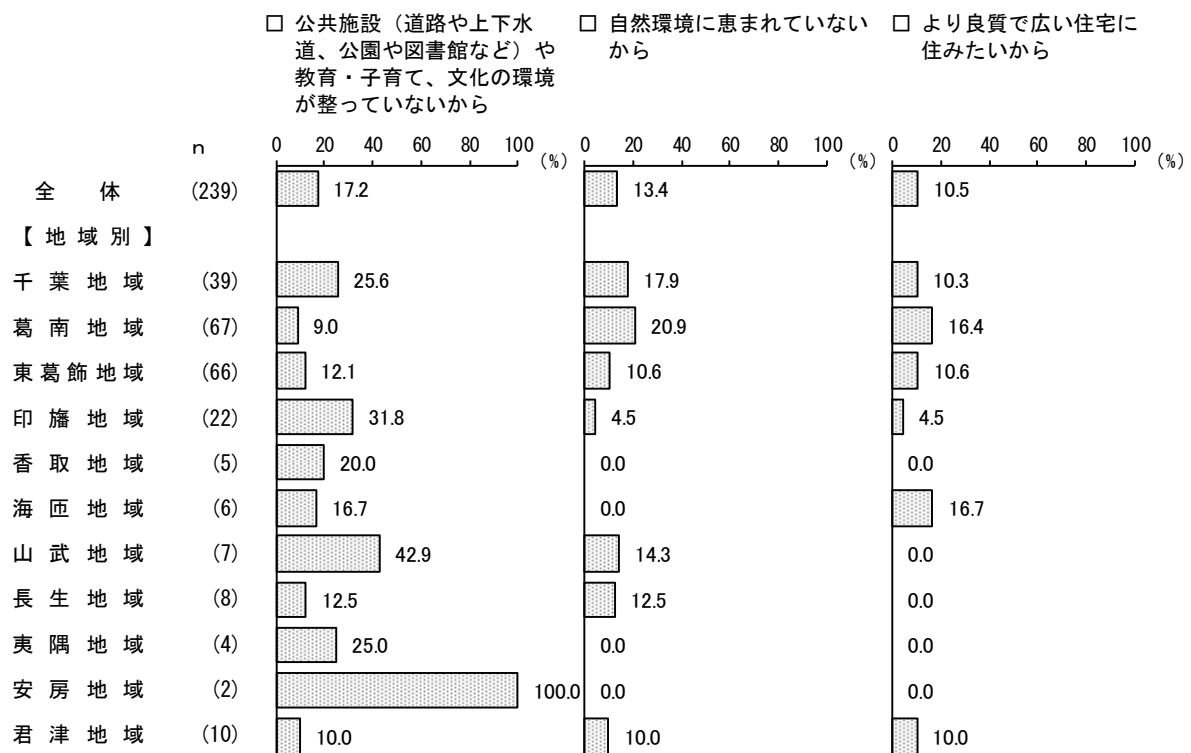
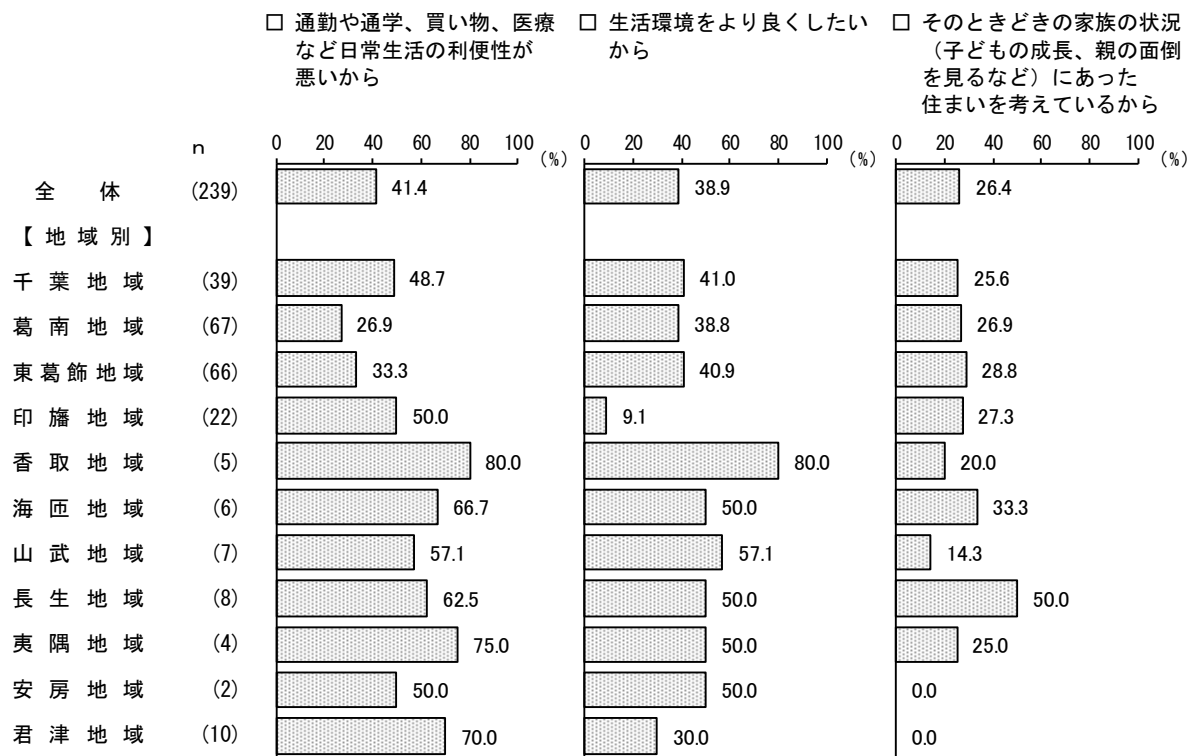
注）（ ）の数字は令和２年度の同様の項目による調査結果 n=236

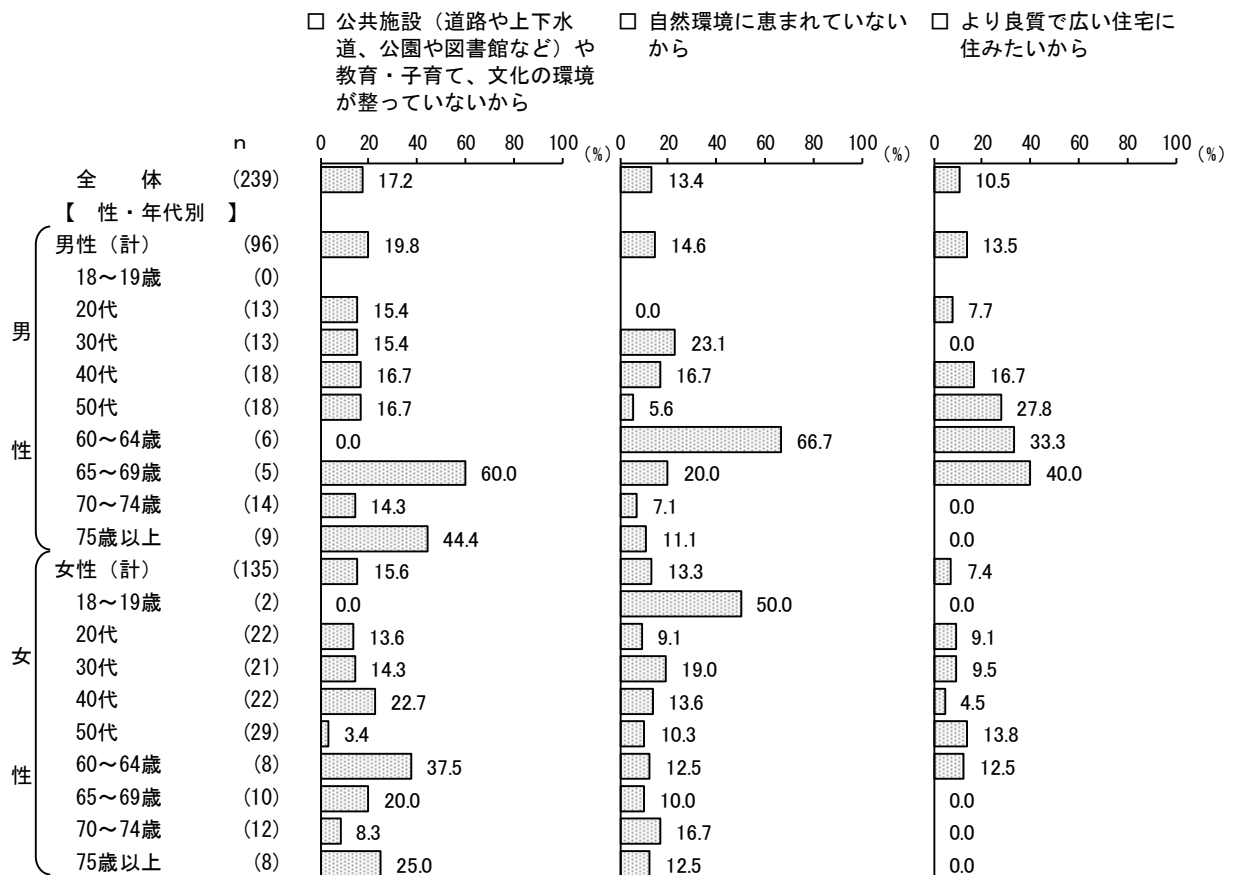
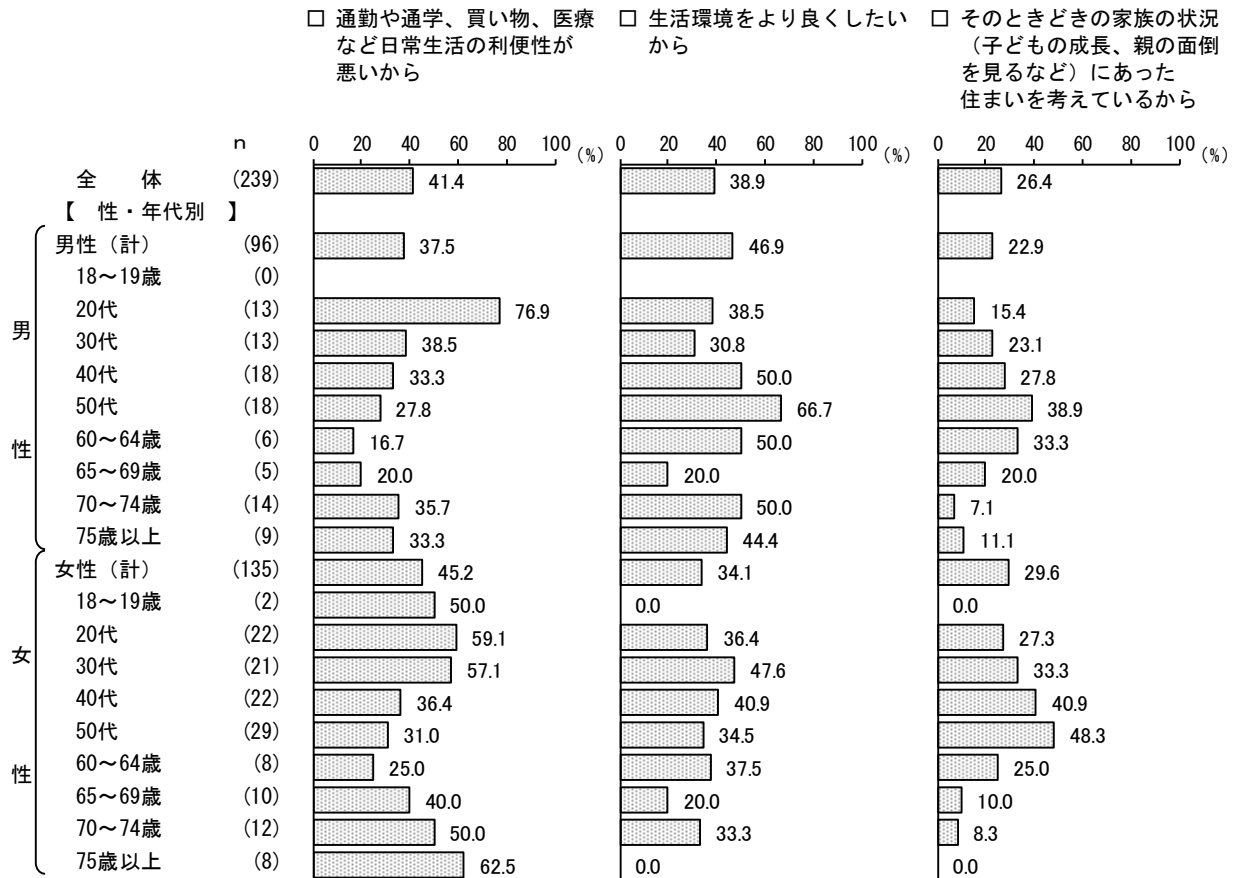
「移りたい」と回答した239人を対象に、移りたい理由を聞いたところ、「通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性が悪いから」（41.4%）が４割を超えて最も高く、以下、「生活環境をより良くしたいから」（38.9%）、「そのときどきの家族の状況（子どもの成長、親の面倒を見るなど）にあった住まいを考えているから」（26.4%）が続く。（図表１－５）

※サンプル数が少ないため、【地域別】【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

（８ページ「報告書の見方（５）」を参照）（図表１－６）

[参考] <図表 1－6> 移りたい理由（3 つまでの複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



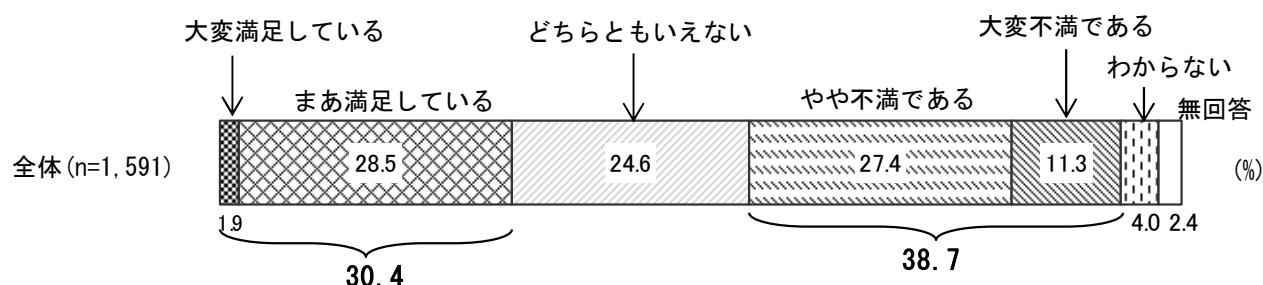


（２）県内の道路状況の満足度

◇『満足している（計）』が３割

問２ あなたは、千葉県内の道路状況についてどう感じですか。（○は１つ）

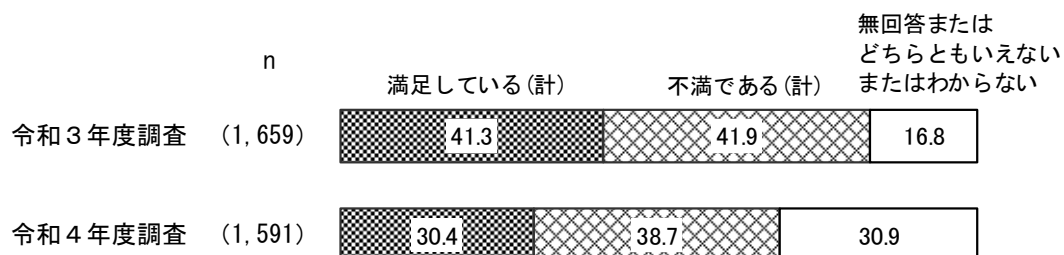
＜図表１－７＞県内の道路状況の満足度



県内の道路状況の満足度を聞いたところ、「大変満足している」（1.9％）と「まあ満足している」（28.5％）を合わせた『満足している（計）』（30.4％）が３割となっている。

一方、「やや不満である」（27.4％）と「大変不満である」（11.3％）を合わせた『不満である（計）』（38.7％）は約４割となっている。（図表１－７）

〔参考〕令和３年度の類似の項目による調査結果との比較（単位：％）



（※）令和３年度調査で、「問２ 現在お住まいの地域の、道路の整備についてどう感じですか。（○は１つ）」と質問した結果を参考に示した。

【地域別】

地域別にみると、『満足している（計）』は“千葉地域”（38.1％）が約４割で高くなっている。一方、『不満である（計）』は“葛南地域”（46.3％）が４割台半ばで高くなっている。

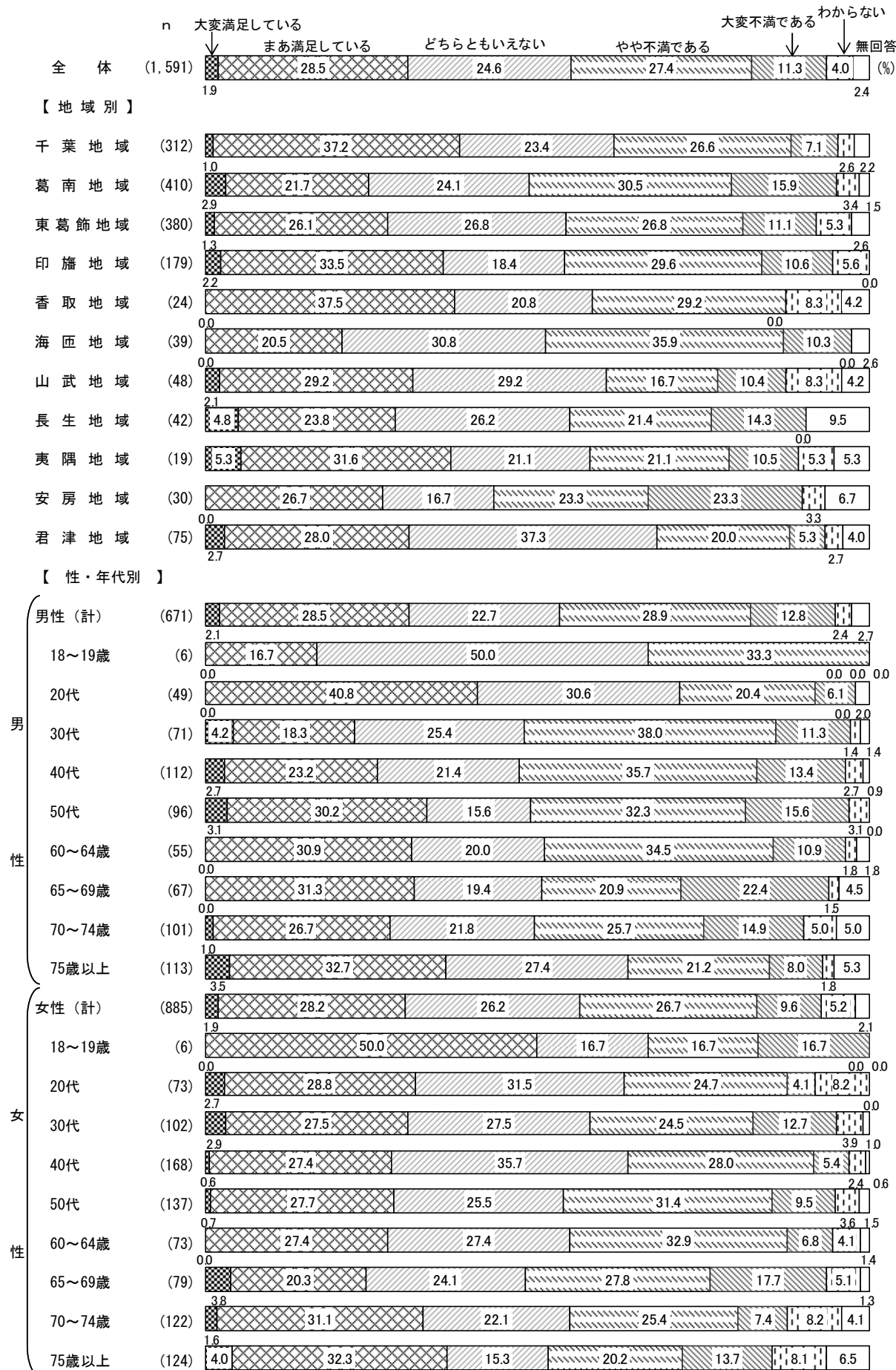
（図表１－８）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『不満である（計）』は男性の40代（49.1％）が約５割で高くなっている。

（図表１－８）

＜図表 1－8＞県内の道路状況の満足度／地域別、性・年代別

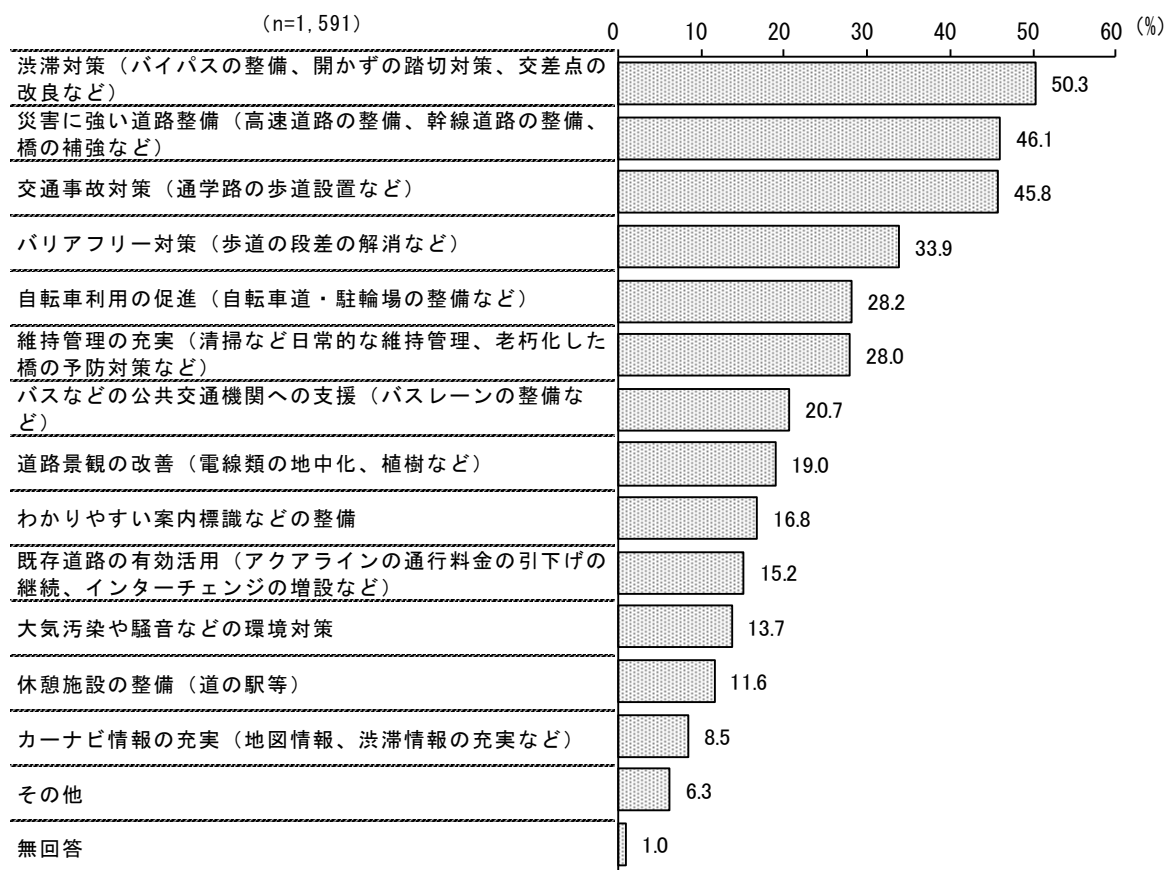


（３）今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題

◇「渋滞対策（バイパスの整備、開かずの踏切対策、交差点の改良など）」が５割

問３ あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思いますか。
（○はいくつでも）

<図表 1－9> 今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題（複数回答）



今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題を聞いたところ、「渋滞対策（バイパスの整備、開かずの踏切対策、交差点の改良など）」（50.3%）が５割で最も高く、以下、「災害に強い道路整備（高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など）」（46.1%）、「交通事故対策（通学路の歩道設置など）」（45.8%）、「バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）」（33.9%）が続く。

（図表 1－9）

【地域別】

地域別にみると、「渋滞対策（バイパスの整備、開かずの踏切対策、交差点の改良など）」は“葛南地域”（60.5%）が６割で高くなっている。

「交通事故対策（通学路の歩道設置など）」は“山武地域”（60.4%）が６割で高くなっている。

（図表 1－10）

【性・年代別】

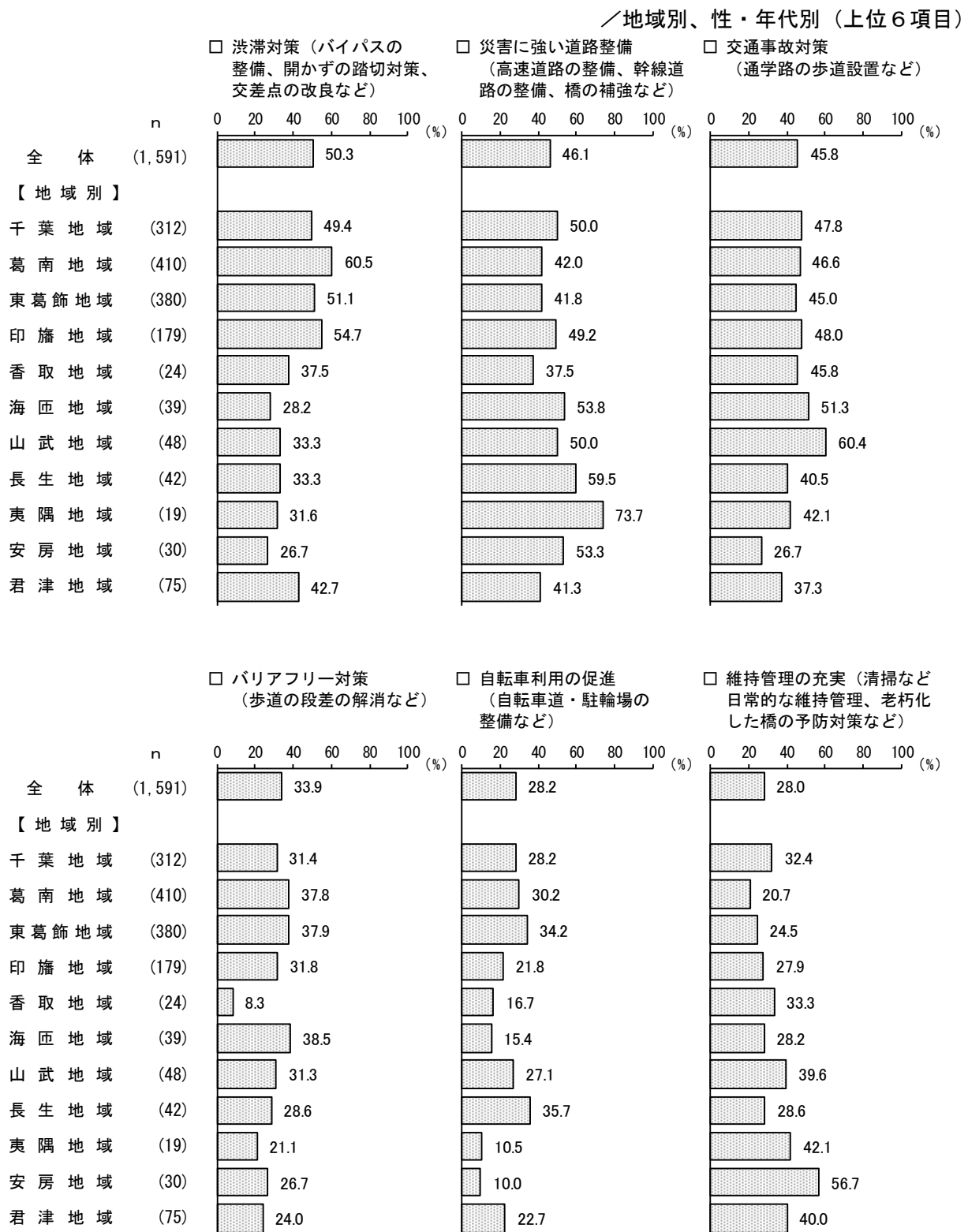
性・年代別にみると、「渋滞対策（バイパスの整備、開かずの踏切対策、交差点の改良など）」は男性の30代（73.2%）と男性の40代（73.2%）で７割を超え、男性の50代（70.8%）で７割、女性の30代（64.7%）が６割台半ばで高くなっている。

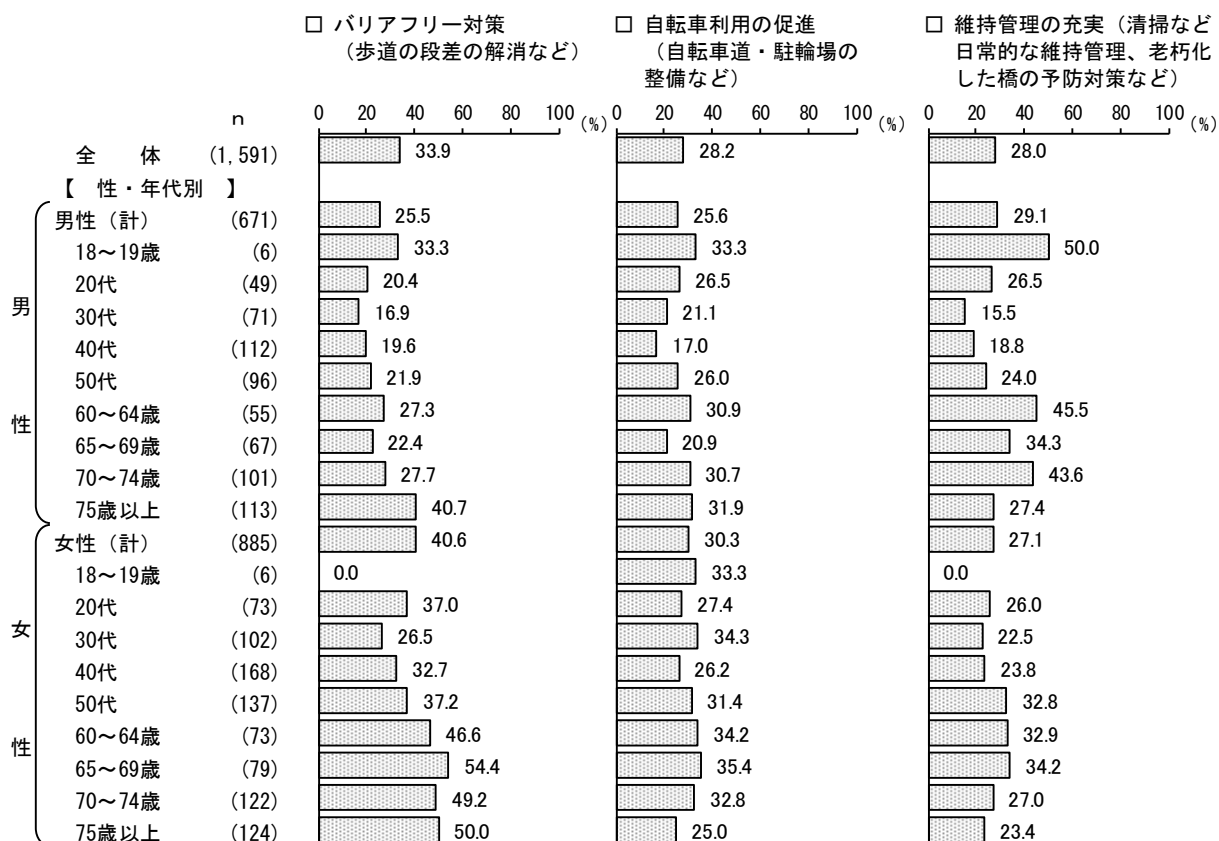
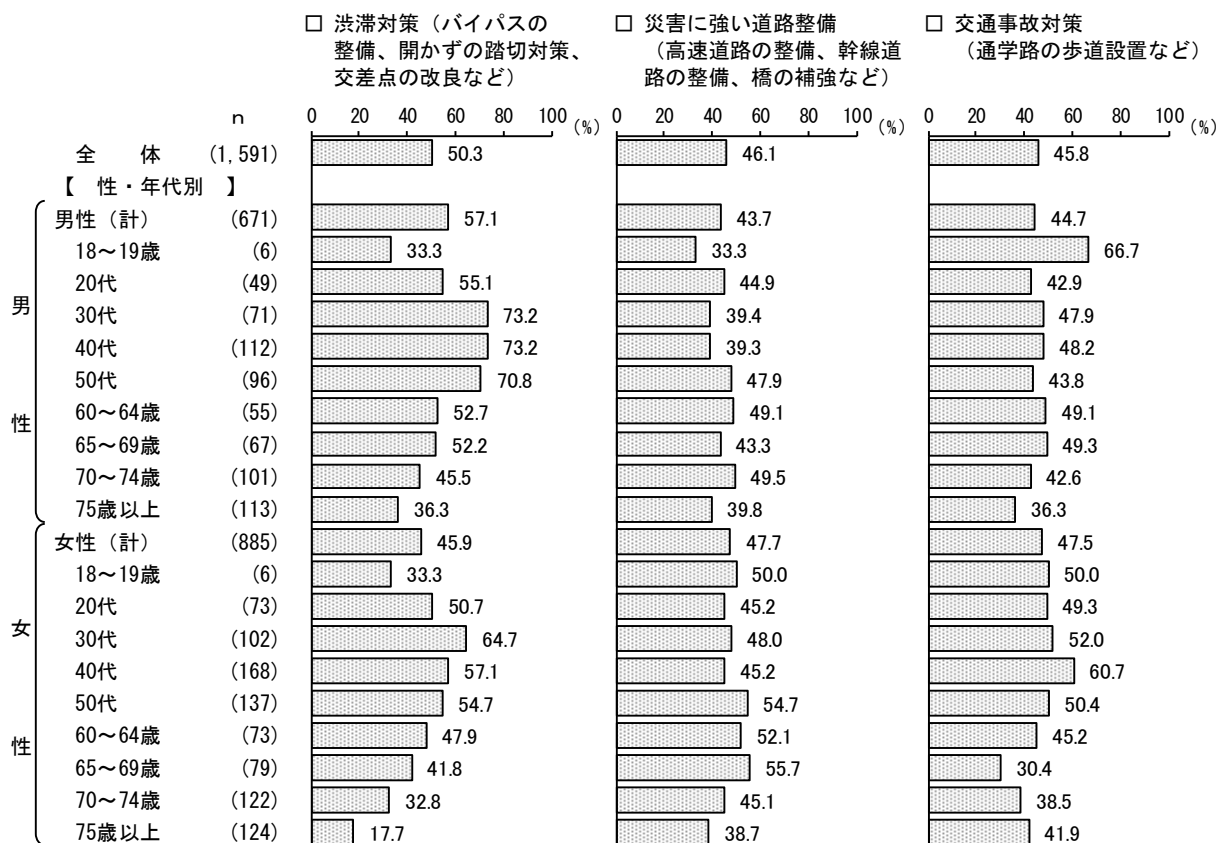
「災害に強い道路整備（高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など）」は女性の50代（54.7%）が5割台半ばで高くなっている。

「交通事故対策（通学路の歩道設置など）」は女性の40代（60.7%）が6割で高くなっている。

「バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）」は女性の65～69歳（54.4%）が5割台半ば、女性の75歳以上（50.0%）が5割、女性の70～74歳（49.2%）が約5割、女性の60～64歳（46.6%）が4割台半ばで高くなっている。（図表1－10）

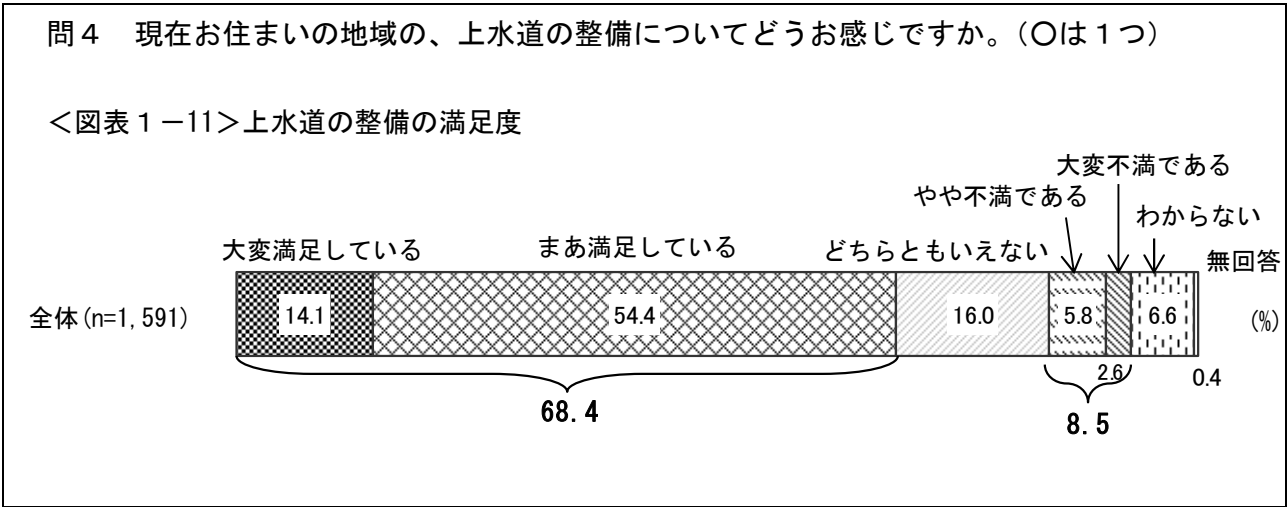
<図表1－10>今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題（複数回答）





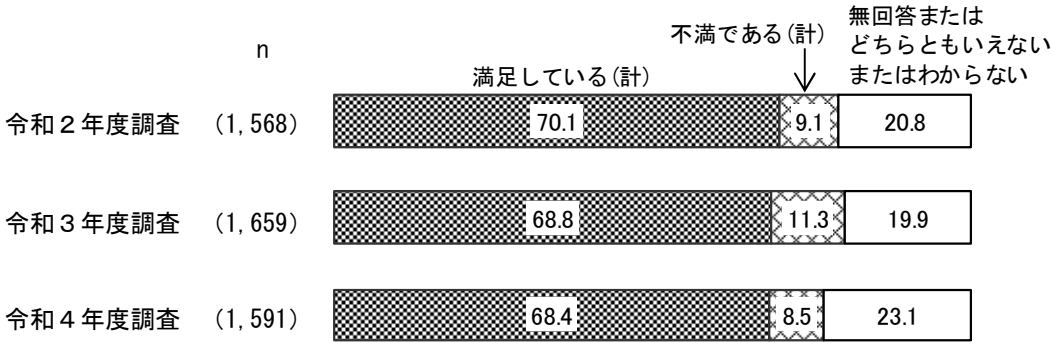
（４）上水道の整備の満足度

◇『満足している（計）』が約７割



現在お住まいの地域の上水道の整備の満足度を聞いたところ、「大変満足している」（14.1％）と「まあ満足している」（54.4％）を合わせた『満足している（計）』（68.4％）が約７割となっている。一方、「やや不満である」（5.8％）と「大変不満である」（2.6％）を合わせた『不満である（計）』（8.5％）が約１割となっている。（図表１－11）

〔参考〕令和２年度・３年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、『満足している（計）』は“東葛飾地域”（73.2％）が７割を超えて高くなっている。

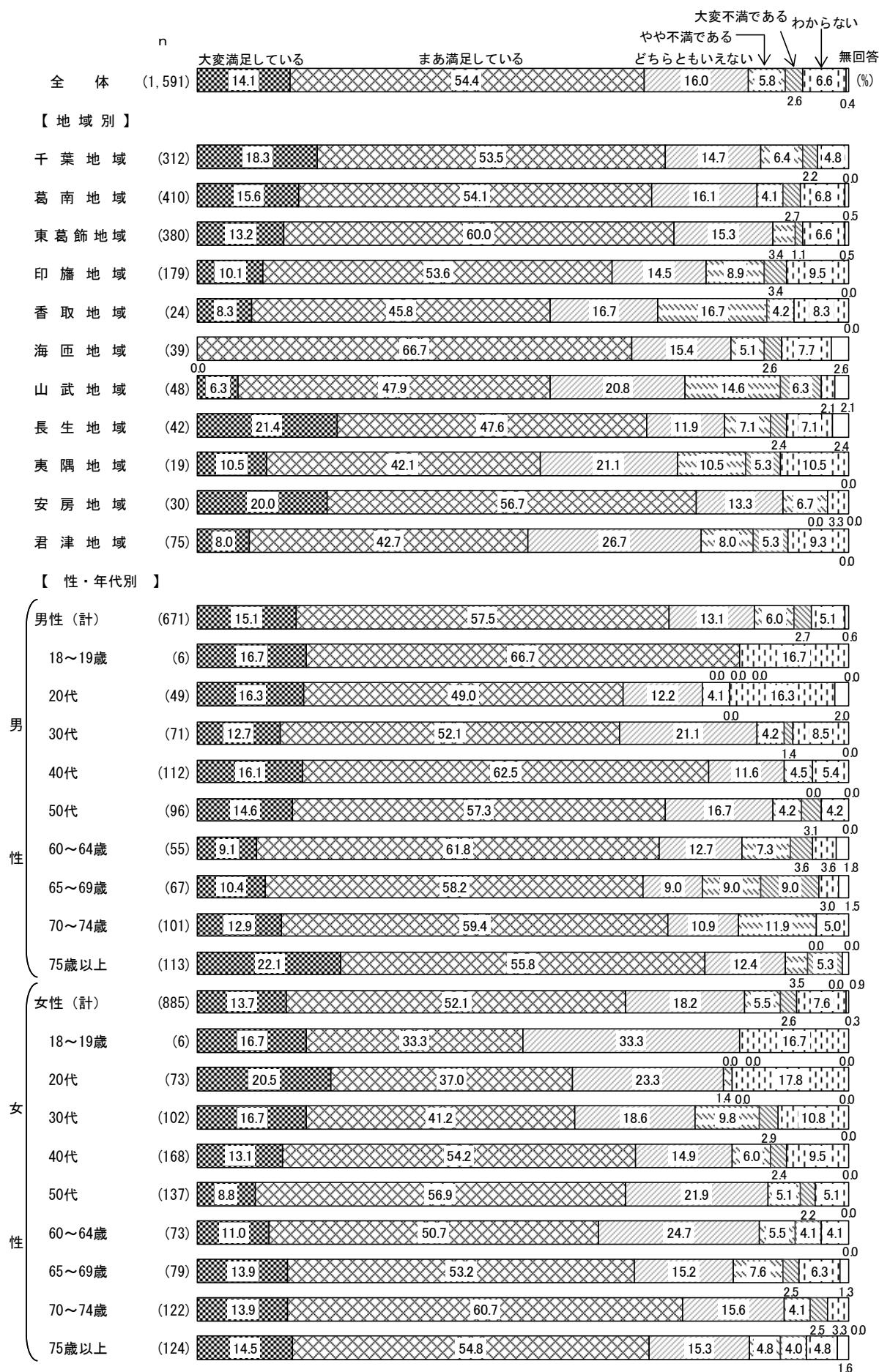
一方、『不満である（計）』は“山武地域”（20.8％）が２割で高くなっている。（図表１－12）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は男性の40代（78.6％）と男性の75歳以上（77.9％）が約８割で高くなっている。

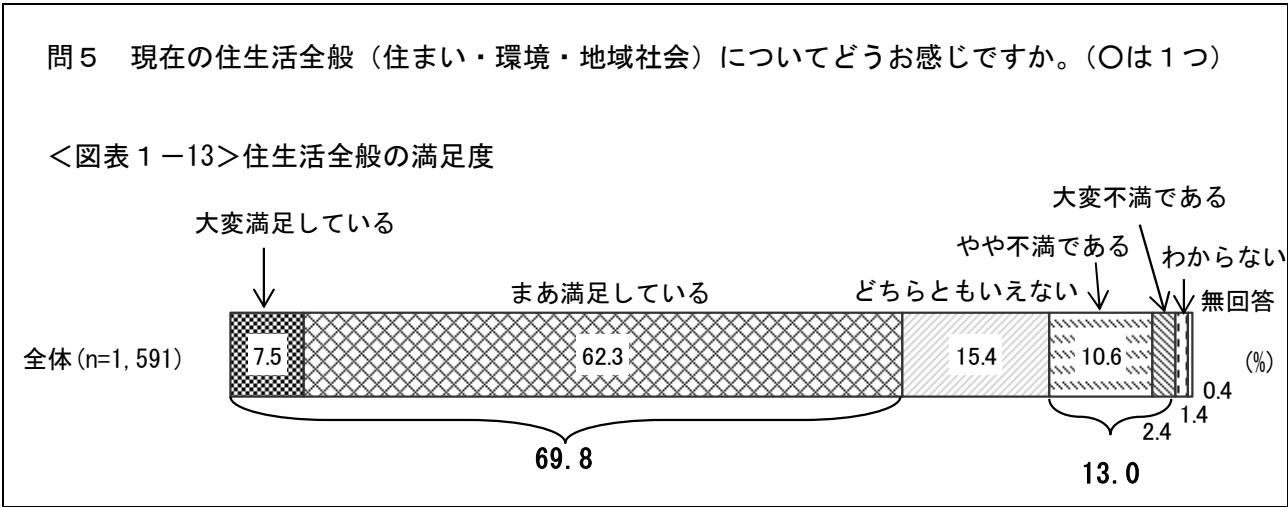
一方、『不満である（計）』は男性の65～69歳（17.9％）が約２割で高くなっている。（図表１－12）

<図表 1-12>上水道の整備の満足度／地域別、性・年代別



（５）住生活全般の満足度

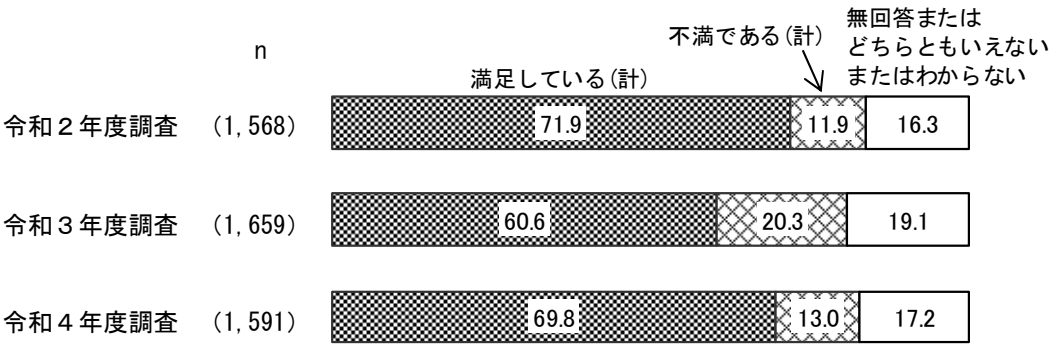
◇『満足している（計）』が約 7 割



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（7.5%）と「まあ満足している」（62.3%）を合わせた『満足している（計）』（69.8%）が約 7 割となっている。

一方、「やや不満である」（10.6%）と「大変不満である」（2.4%）を合わせた『不満である（計）』（13.0%）が 1 割を超えている。（図表 1－13）

〔参考〕令和 2 年度・3 年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



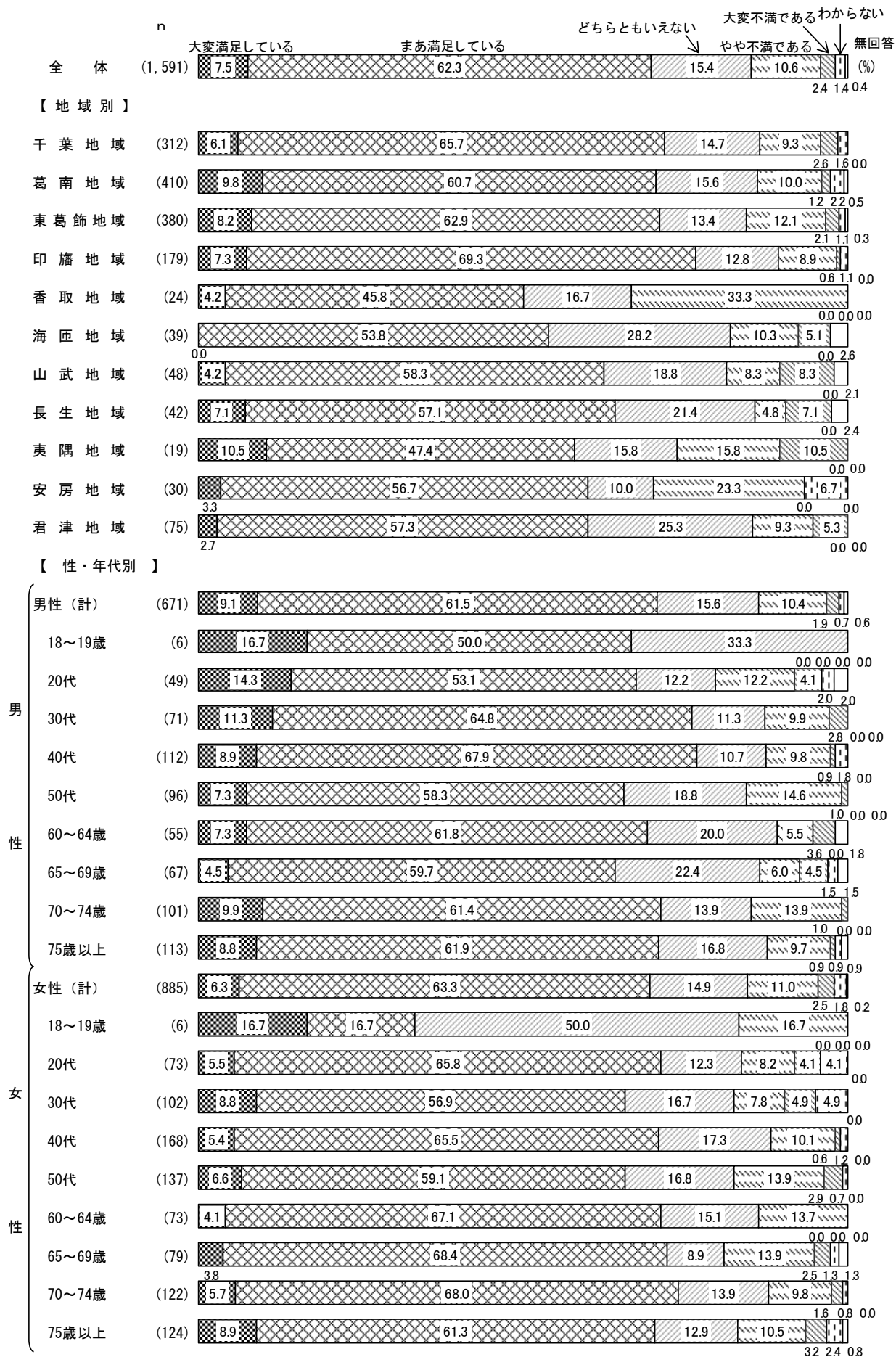
【地域別】

地域別にみると、『満足している（計）』は“印旛地域”（76.5%）が 7 割台半ばで高くなっている。
（図表 1－14）

【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表 1－14）

<図表 1-14>住生活全般の満足度／地域別、性・年代別

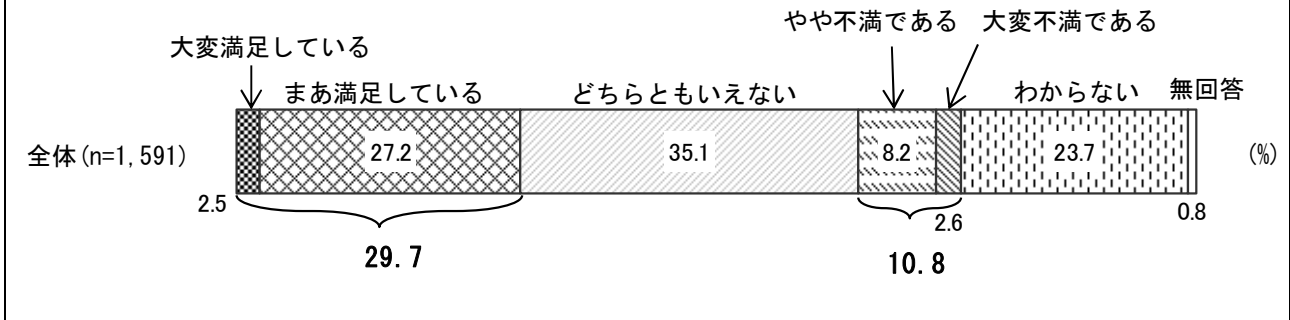


（６）消費生活全般の満足度

◇『満足している（計）』が約３割

問６ 消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）について、どうお感じですか。（○は１つ）

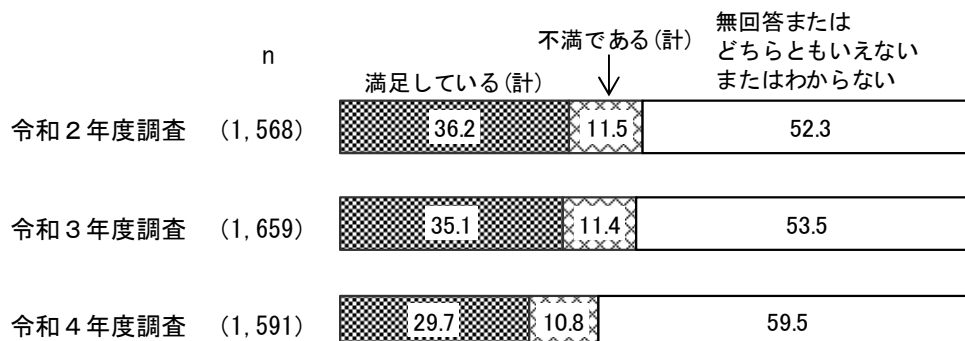
＜図表１－１５＞消費生活全般の満足度



消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（2.5%）と「まあ満足している」（27.2%）を合わせた『満足している（計）』（29.7%）が約３割となっている。

一方、「やや不満である」（8.2%）と「大変不満である」（2.6%）を合わせた『不満である（計）』（10.8%）が１割となっている。（図表１－１５）

〔参考〕令和２年度・３年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

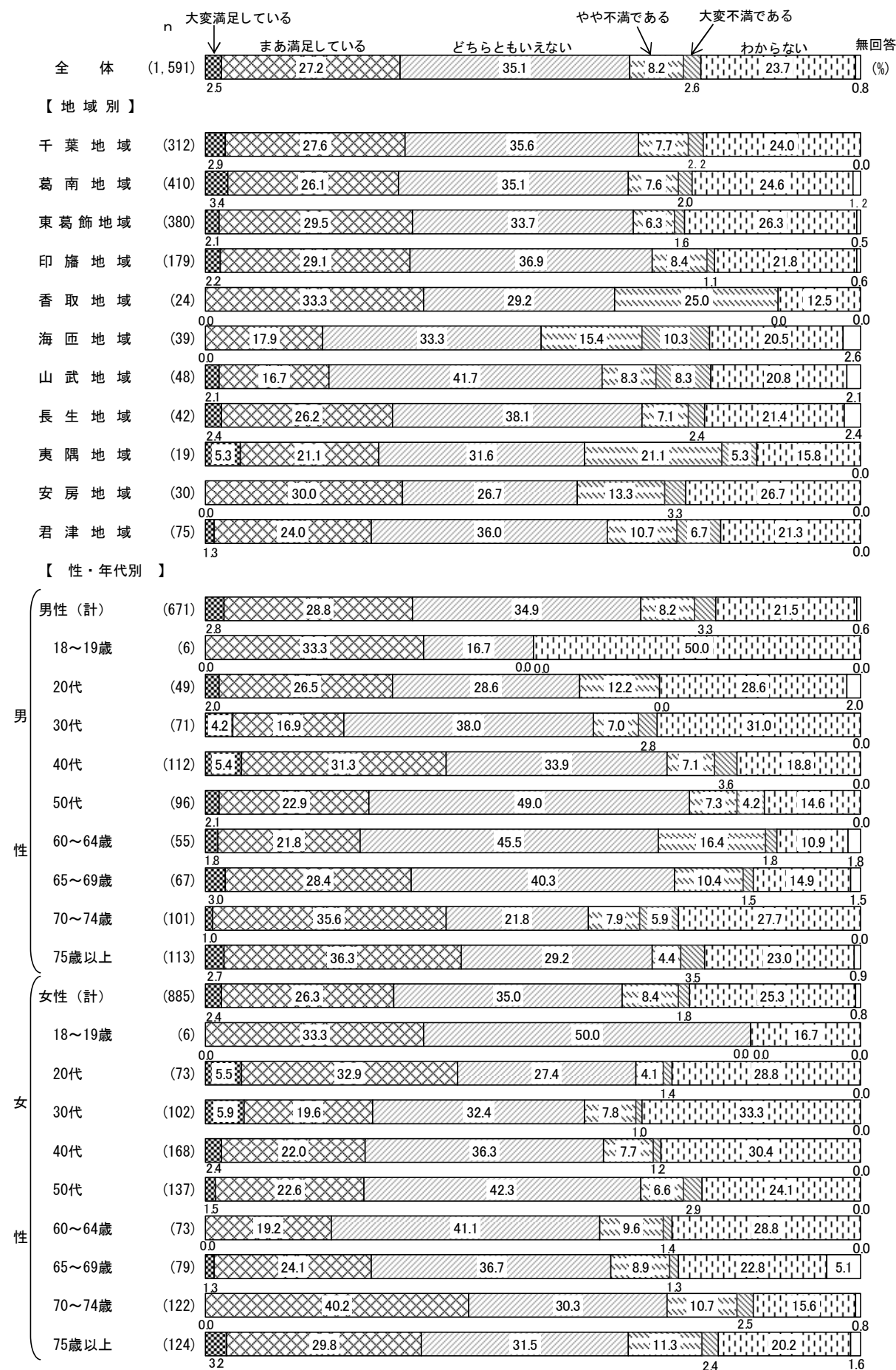
地域別にみると、『不満である（計）』は“海匠地域”（25.6%）が２割台半ばで高くなっている。

（図表１－１６）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は女性の70～74歳（40.2%）が４割、男性の75歳以上（38.9%）が約４割で高くなっている。（図表１－１６）

＜図表 1－16＞消費生活全般の満足度／地域別、性・年代別

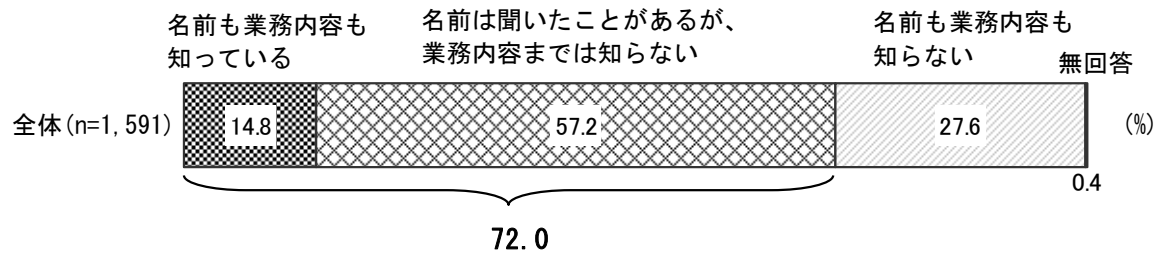


（７）「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」の認知度

◇『名前を聞いたことがある（計）』が7割を超える

問7 あなたは、消費者トラブルなどの相談窓口であり、出前講座等も実施している「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」を知っていますか。（○は1つ）

＜図表 1－17＞「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」の認知度



「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」を知っているか聞いたところ、「名前も業務内容も知っている」(14.8%)と「名前は聞いたことがあるが、業務内容までは知らない」(57.2%)を合わせた『名前を聞いたことがある（計）』(72.0%)が7割を超えている。

一方、「名前も業務内容も知らない」(27.6%)が約3割となっている。(図表 1－17)

【地域別】

地域別にみると、『名前を聞いたことがある（計）』は“印旛地域” (81.0%) が8割を超えて高くなっている。

一方「名前も業務内容も知らない」は“葛南地域” (32.9%) が3割を超えて高くなっている。

(図表 1－18)

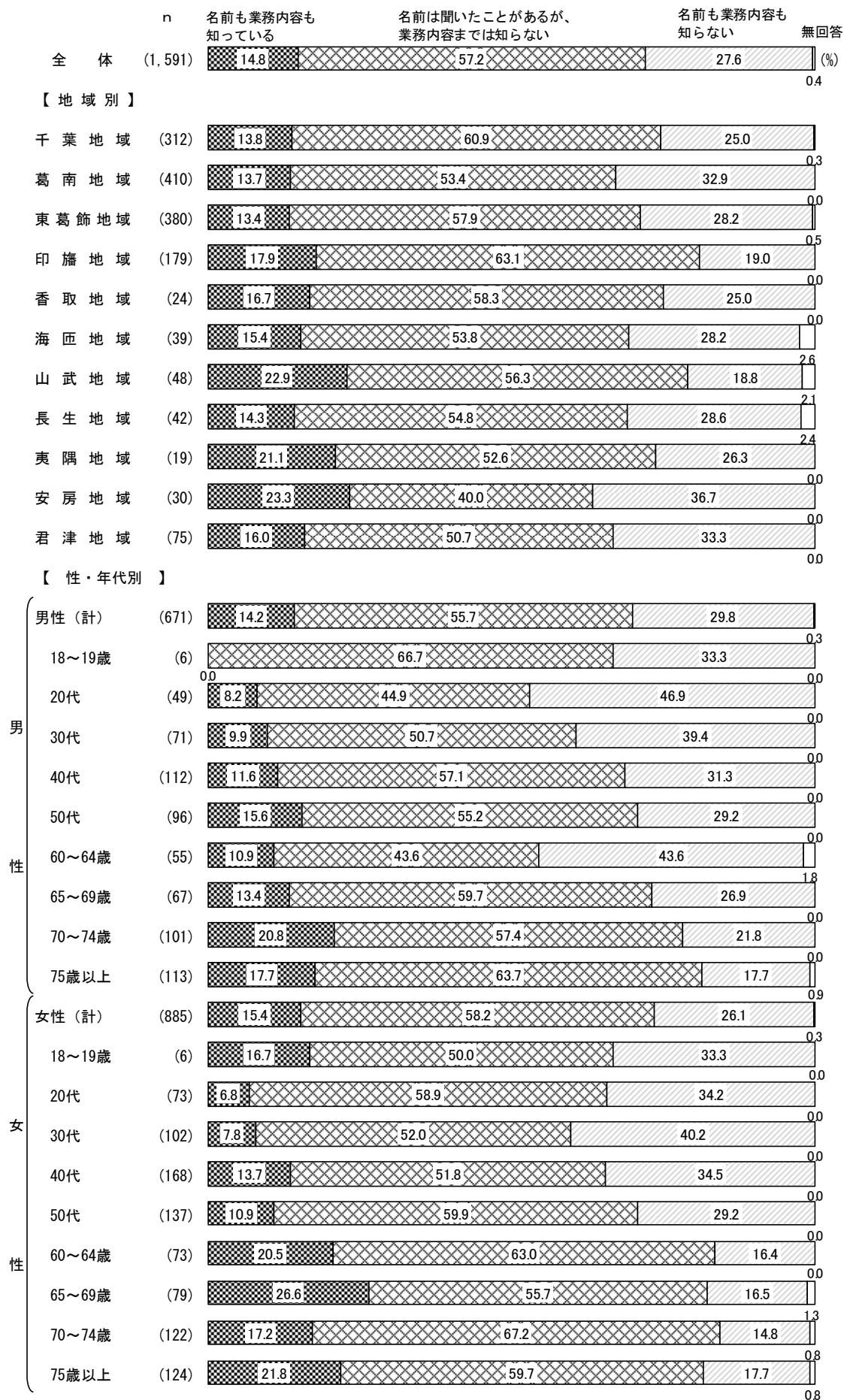
【性・年代別】

性・年代別にみると、『名前を聞いたことがある（計）』は女性の60～64歳 (83.6%) と女性の70～74歳 (84.4%) が8割台半ば、男性の75歳以上 (81.4%)、女性の65～69歳 (82.3%)、女性の75歳以上 (81.5%) が8割を超えて高くなっている。

一方「名前も業務内容も知らない」は男性の20代 (46.9%) と男性の60～64歳 (43.6%) が4割台半ば、女性の30代 (40.2%) が4割、男性の30代 (39.4%) が約4割、女性の40代 (34.5%) が3割台半ばで高くなっている。(図表 1－18)

<図表 1-18>「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」の認知度

／地域別、性・年代別



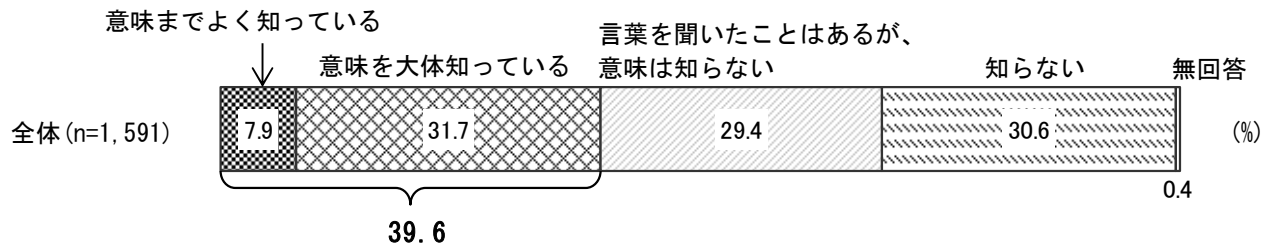
（８）「気候変動による影響への適応」の認知度

◇『意味を知っている（計）』が約４割

問８ 気候変動による影響に対応し、被害を回避・軽減させることを「気候変動による影響への適応」と言います。「気候変動による影響への適応」という言葉を知っていますか。

（○は１つ）

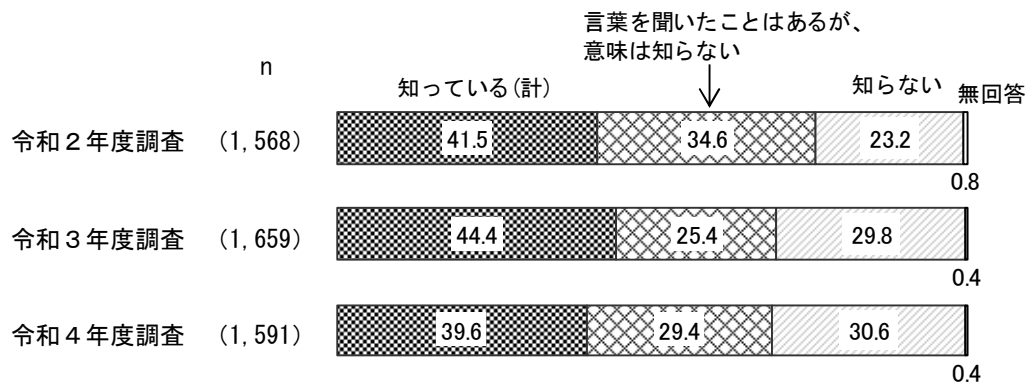
＜図表１－１９＞「気候変動による影響への適応」の認知度



「気候変動による影響への適応」について、その認知度を聞いたところ、「意味までよく知っている」（7.9%）と「意味を大体知っている」（31.7%）を合わせた『意味を知っている（計）』（39.6%）が約４割となっている。

一方、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（29.4%）は約３割、「知らない」（30.6%）は３割となっている。（図表１－１９）

〔参考〕令和２年度・３年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

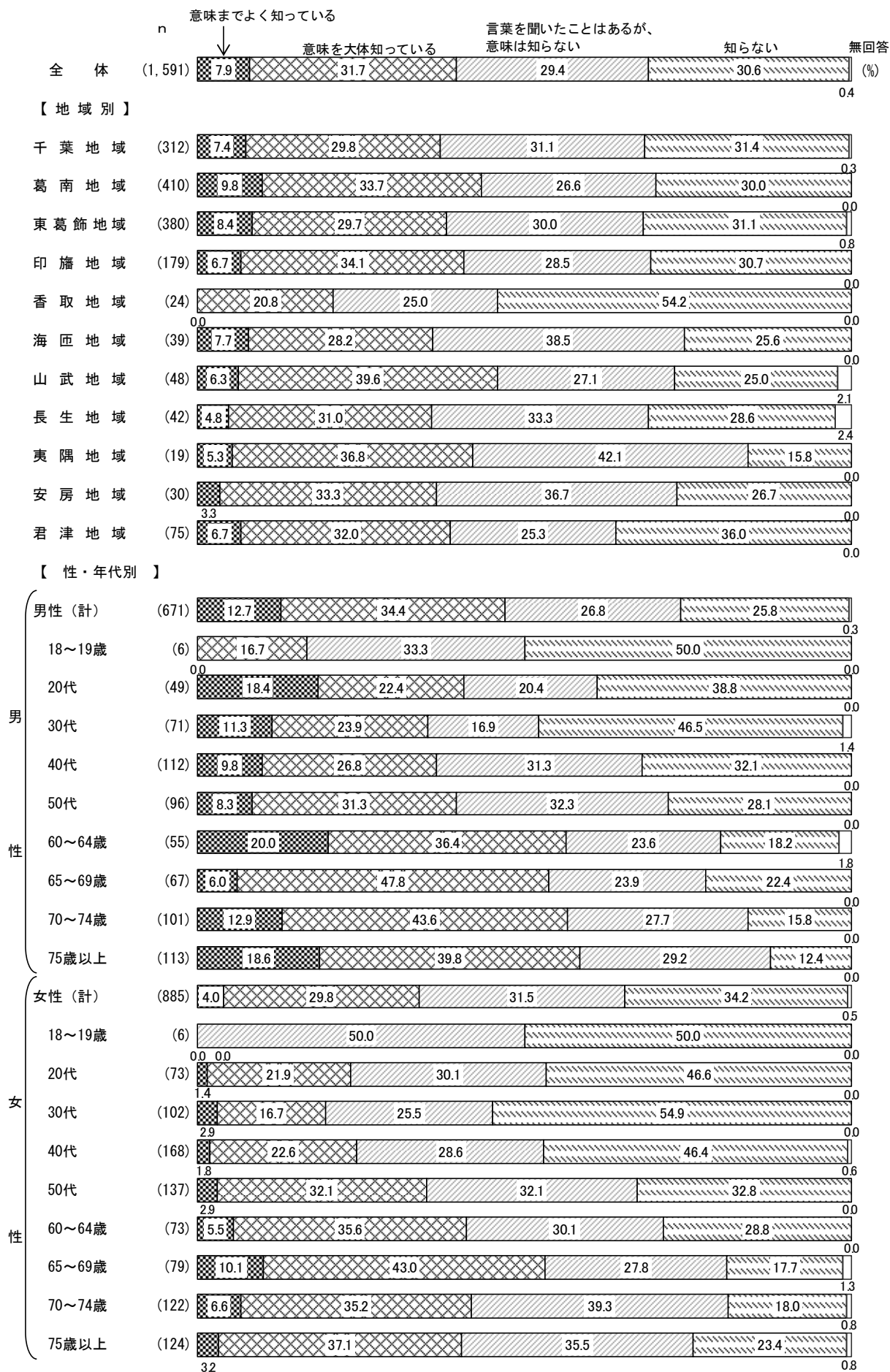
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表１－２０）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『意味を知っている（計）』は男性の75歳以上（58.4%）が約６割、男性の60～64歳（56.4%）、男性の65～69歳（53.7%）、男性の70～74歳（56.4%）が５割台半ば、女性の65～69歳（53.2%）が５割を超えて高くなっている。

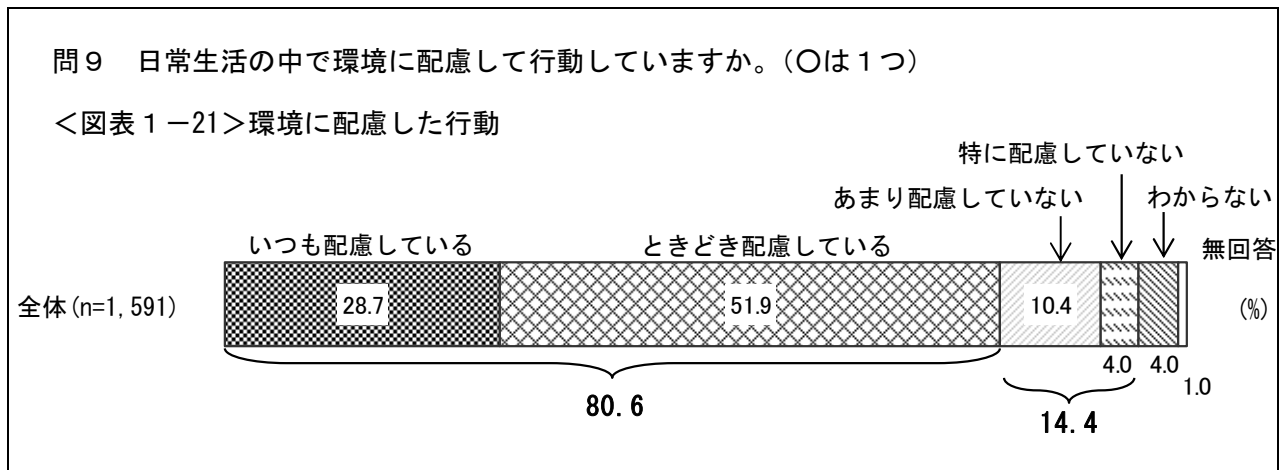
一方、「知らない」は女性の30代（54.9%）が５割台半ば、男性の30代（46.5%）、女性の20代（46.6%）、女性の40代（46.4%）が４割台半ばで高くなっている。（図表１－２０）

＜図表 1－20＞「気候変動による影響への適応」の認知度／地域別、性・年代別



（９）環境に配慮した行動

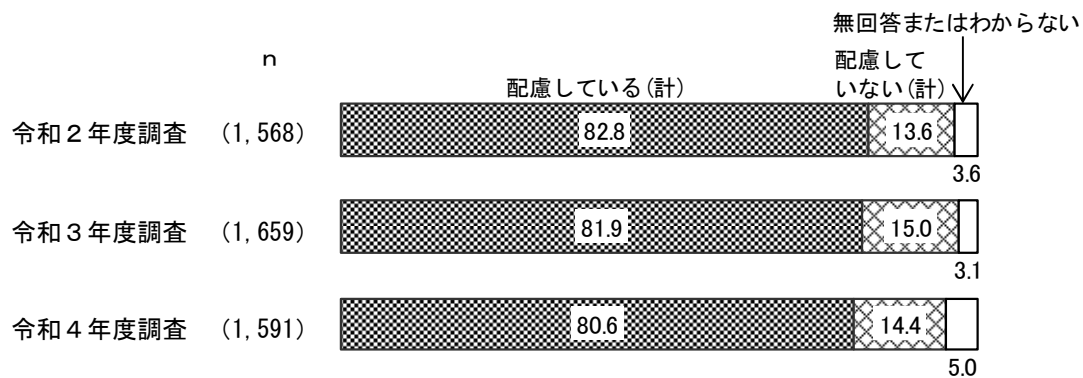
◇『配慮している（計）』が８割



日常生活の中で環境に配慮して行動しているか聞いたところ、「いつも配慮している」（28.7%）と「ときどき配慮している」（51.9%）を合わせた『配慮している（計）』（80.6%）が８割となっている。

一方、「あまり配慮していない」（10.4%）と「特に配慮していない」（4.0%）を合わせた『配慮していない（計）』（14.4%）が１割台半ばとなっている。（図表１－21）

〔参考〕令和２年度・３年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

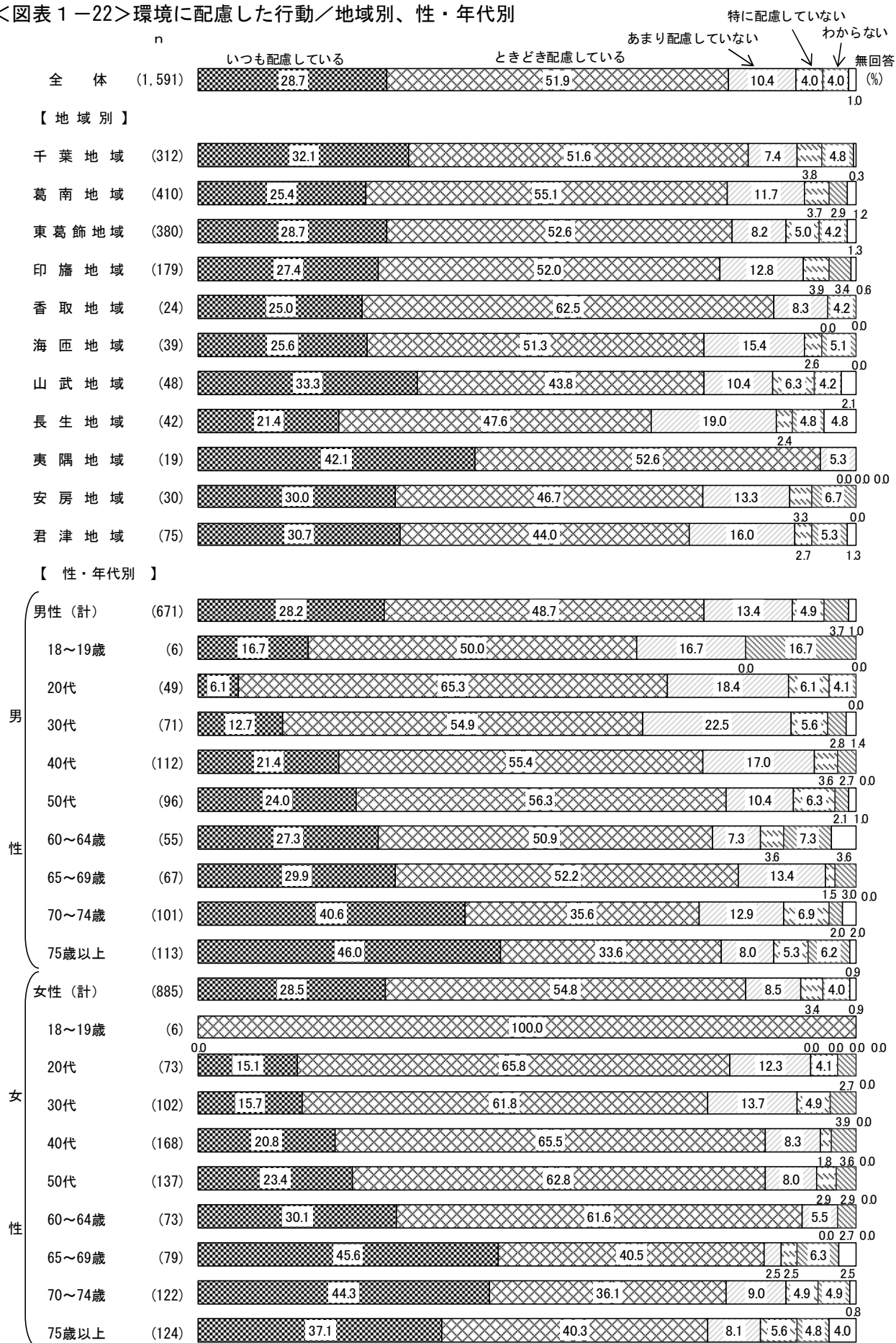
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表１－22）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『配慮している（計）』は女性の60～64歳（91.8%）が９割を超え、女性の40代（86.3%）が８割台半ばで高くなっている。

一方『配慮していない（計）』は男性の30代（28.2%）が約３割、男性の20代（24.5%）が２割台半ばで高くなっている。（図表１－22）

＜図表 1－22＞環境に配慮した行動／地域別、性・年代別



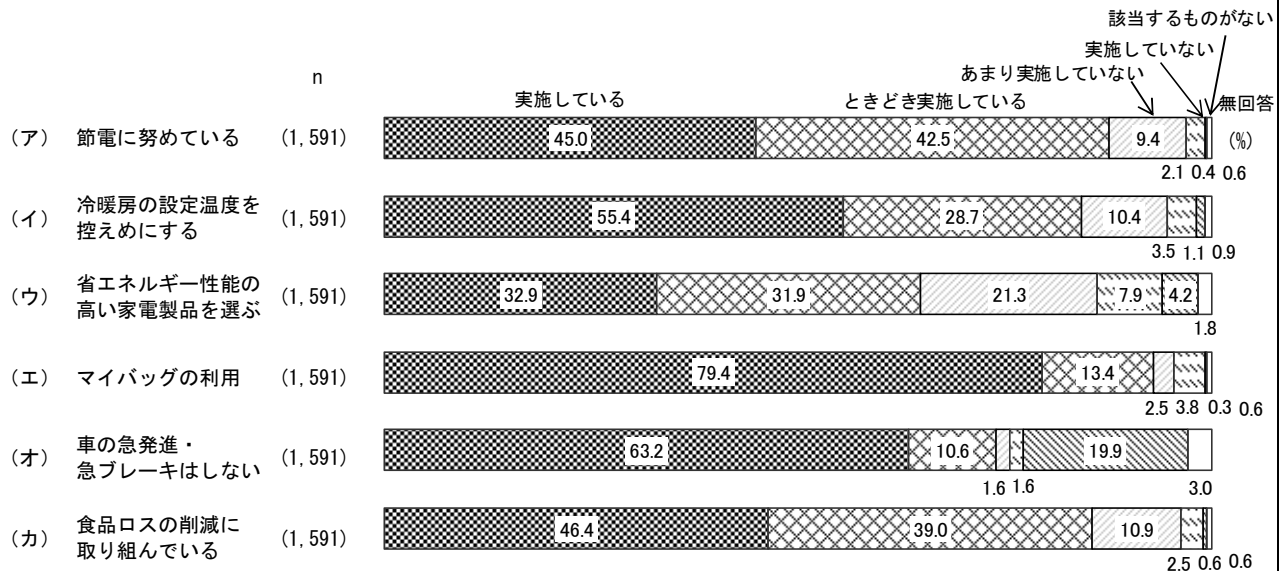
(10) 普段の生活で環境に配慮した取組の実施状況

◇『実施している（計）』が最も高いのは〈マイバッグの利用〉で9割を超える

問10 あなたは、普段の生活で環境に配慮した次のような取組を行っていますか。

（○はそれぞれ1つずつ）

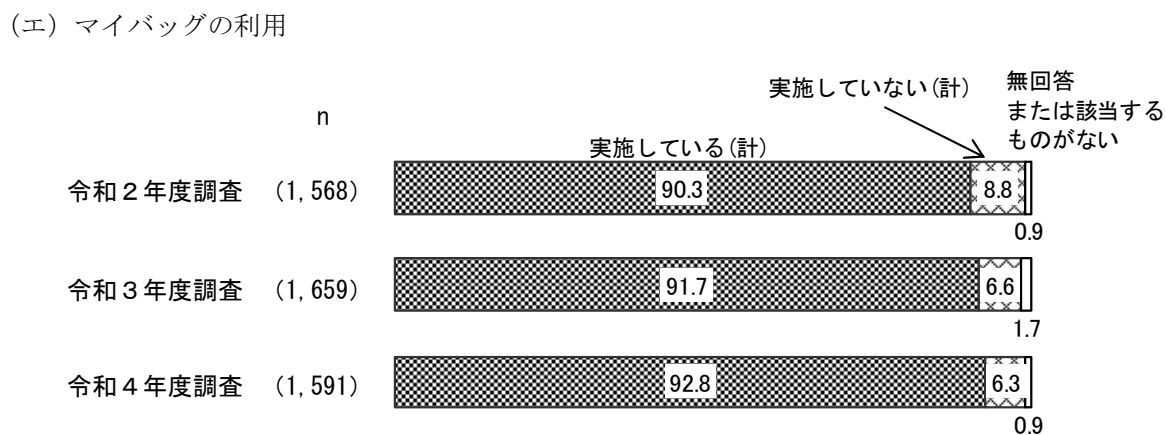
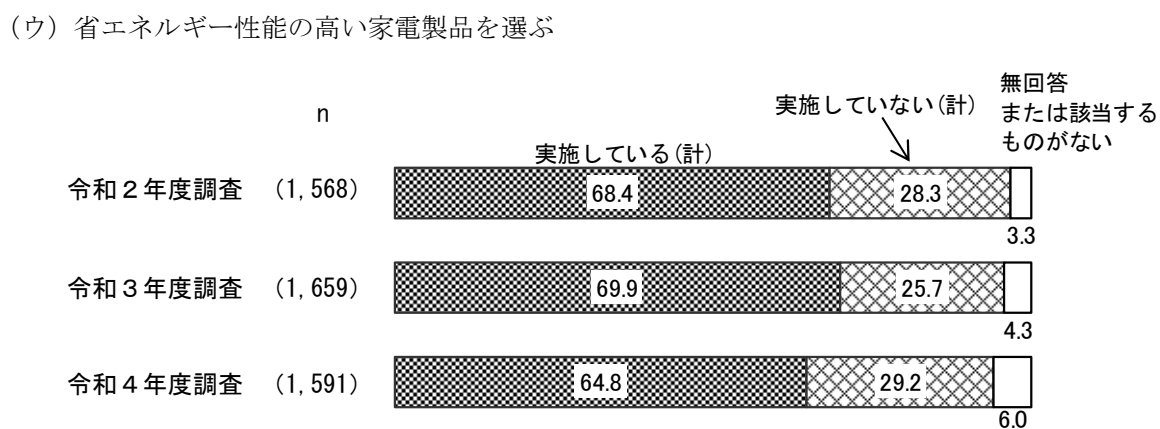
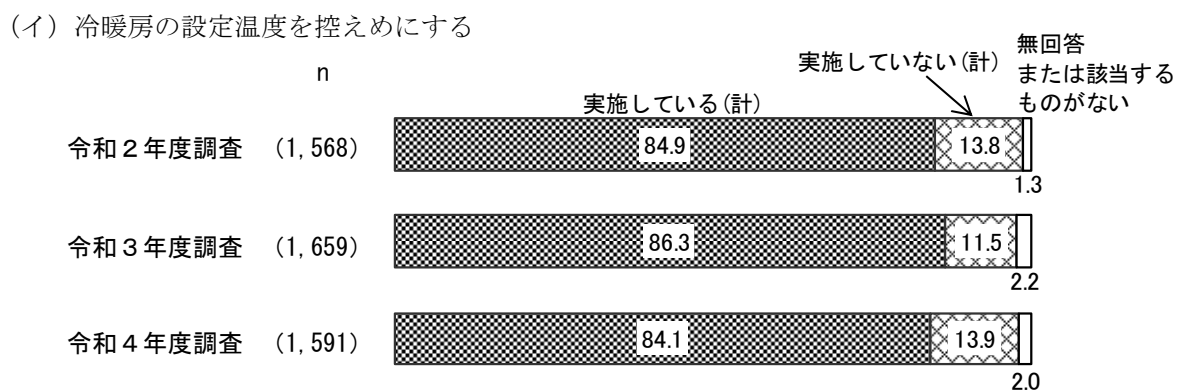
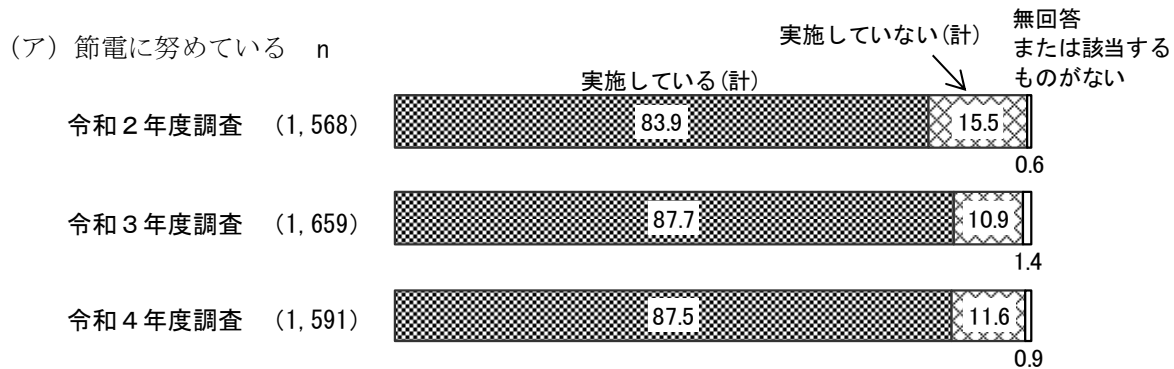
＜図表 1－23＞普段の生活で環境に配慮した取組の実施状況



普段の生活で行っている環境保全の取組に関する6つの項目について、それぞれの実施状況を聞いたところ、「実施している」と「ときどき実施している」を合わせた『実施している（計）』が最も高いのは、「(エ) マイバッグの利用」(92.8%)で9割を超え、以下、「(ア) 節電に努めている」(87.5%)が約9割、「(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる」(85.4%)と「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」(84.1%)が8割台半ばで続く。

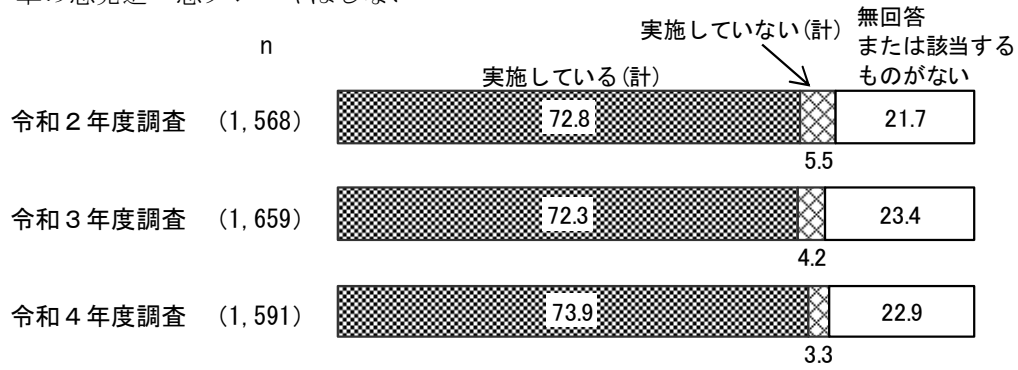
一方、「あまり実施していない」と「実施していない」を合わせた『実施していない（計）』が最も高いのは、「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」(29.2%)で約3割となっており、以下、「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」(13.9%)と「(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる」(13.5%)が1割台半ばで続く。(図表1－23)

[参考] 令和 2 年度・3 年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



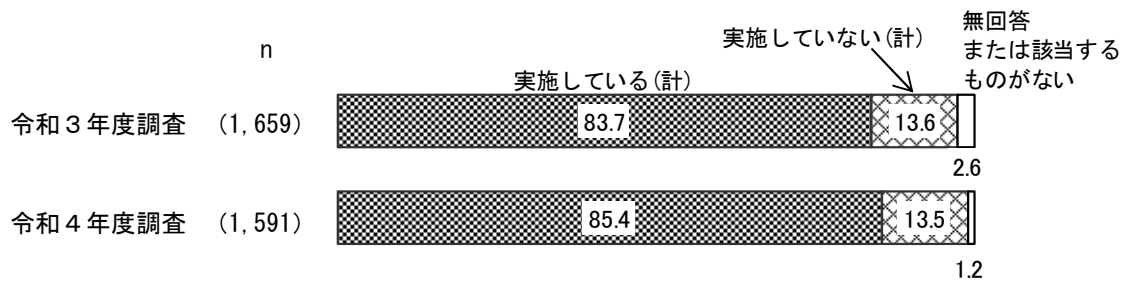
※令和 2 年度調査で「レジ袋をもらわない」の項目結果を参考に示した。

(オ) 車の急発進・急ブレーキはしない



※令和2年度調査で「車の急発進・急加速はしない」の項目結果を参考に示した。

(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる



※「(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる」は前回調査からの項目

【地域別】

地域別にみると、「(ア) 節電に努めている」の『実施していない(計)』は“海匠地域”(28.2%)が約3割で高くなっている。

「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」の『実施している(計)』は“印旛地域”(89.4%)が約9割で高くなっている。

「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」の『実施していない(計)』は“山武地域”(43.8%)が4割台半ばで高くなっている。

「(エ) マイバッグの利用」の『実施している(計)』は“千葉地域”(95.8%)が9割台半ばで高くなっている。

「(オ) 車の急発進・急ブレーキはしない」の『実施している(計)』は“印旛地域”(82.7%)が8割を超えて高くなっている。

「(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる」の『実施していない(計)』は“海匠地域”(28.2%)が約3割で高くなっている。(図表1-24)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 節電に努めている」の『実施している(計)』は男性の75歳以上(94.7%)、女性の70～74歳(94.3%)、女性の75歳以上(94.4%)が9割台半ばで高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の20代(32.7%)が3割を超え、男性の30代(26.8%)が2割台半ば、男性の40代(21.4%)が2割を超えて高くなっている。

「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」の『実施している(計)』は女性の65～69歳(96.2%)が9割台半ば、男性70～74歳(91.1%)と女性の70～74歳(91.8%)が9割を超えて高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の20代(30.6%)が3割、男性の30代(29.6%)が約3割、女性の20代(26.0%)が2割台半ば、男性の40代(22.3%)が2割を超えて高くなっている。

「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」の『実施している(計)』は女性の65～69歳(86.1%)が8割台半ば、男性の65～69歳(76.1%)と女性の70～74歳(75.4%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、『実施していない(計)』は男性の20代(59.2%)と女性の20代(57.5%)が約6割、男性の30代(40.8%)と女性の30代(40.2%)が4割で高くなっている。

「(エ) マイバッグの利用」の『実施している(計)』は女性の30代(98.0%)、女性の40代(97.6%)、女性の50代(97.8%)、女性の65～69歳(98.7%)、女性の70～74歳(98.4%)が約10割で高くなっている。

「(オ) 車の急発進・急ブレーキはしない」の『実施している(計)』は男性の65～69歳(92.5%)が9割を超え、男性の60～64歳(89.1%)が約9割、男性の70～74歳(86.1%)が8割台半ば、女性の50代(83.2%)が8割を超えて高くなっている。

「(カ) 食品ロスの削減に取り組んでいる」の『実施している(計)』は女性の65～69歳(93.7%)が9割台半ばで高くなっている。

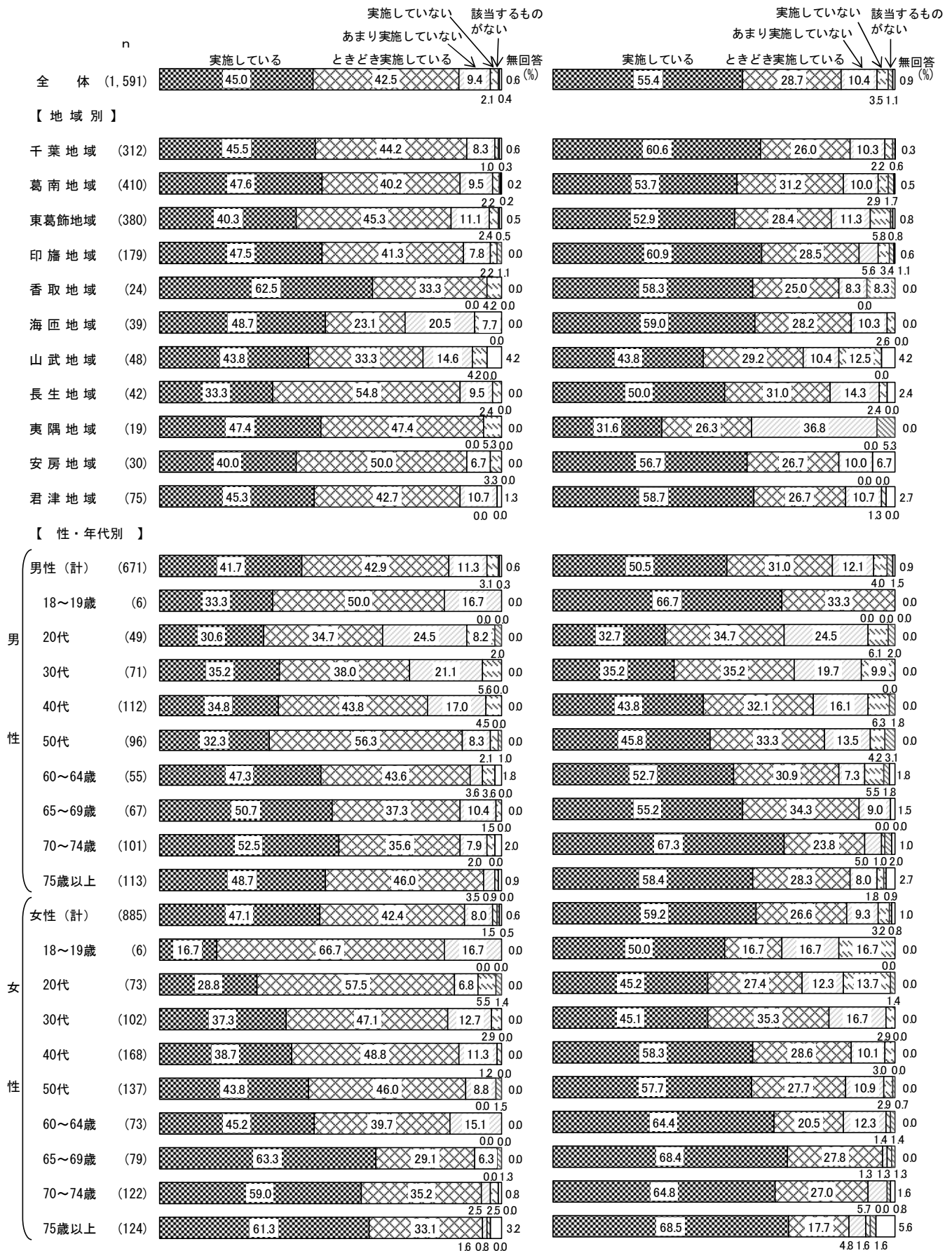
一方、『実施していない(計)』は男性の40代(25.9%)が2割台半ばで高くなっている。

(図表1-24)

＜図表 1－24＞普段の生活で環境に配慮した取組の実施状況／地域別、性・年代別

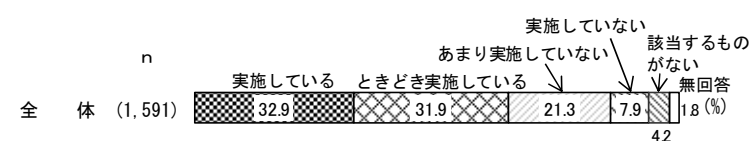
（ア）節電に努めている

（イ）冷暖房の設定温度を控えめにする

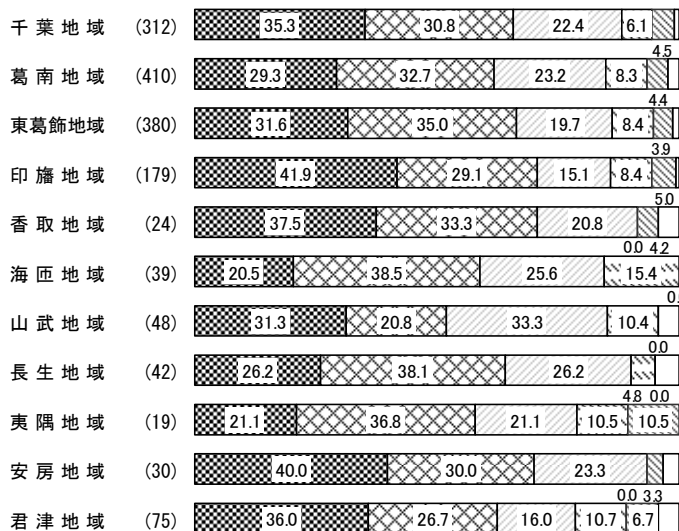


(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ

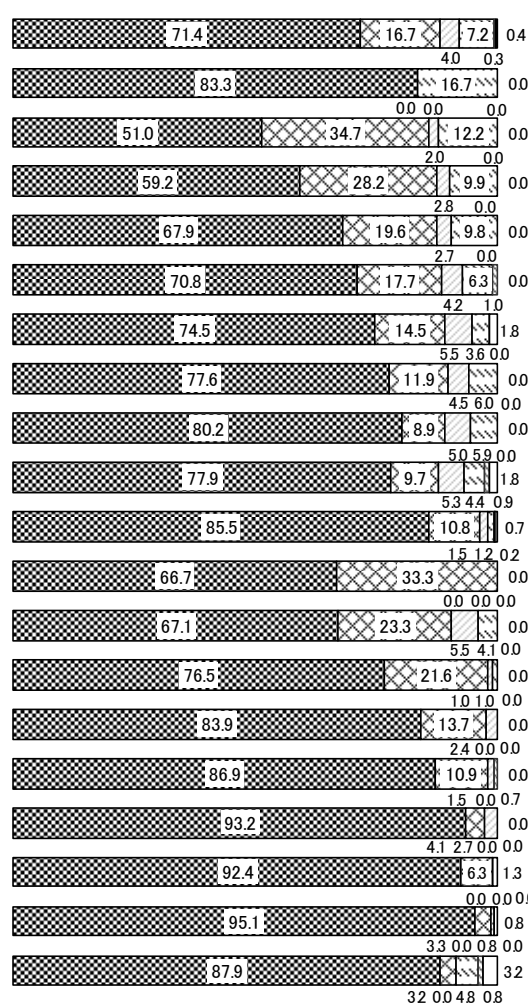
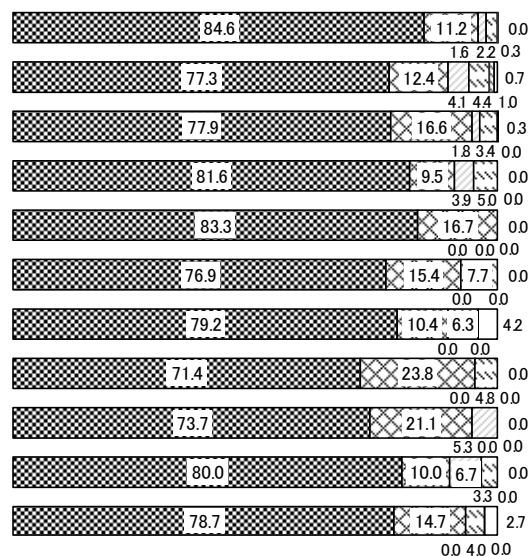
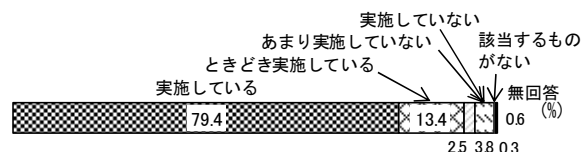
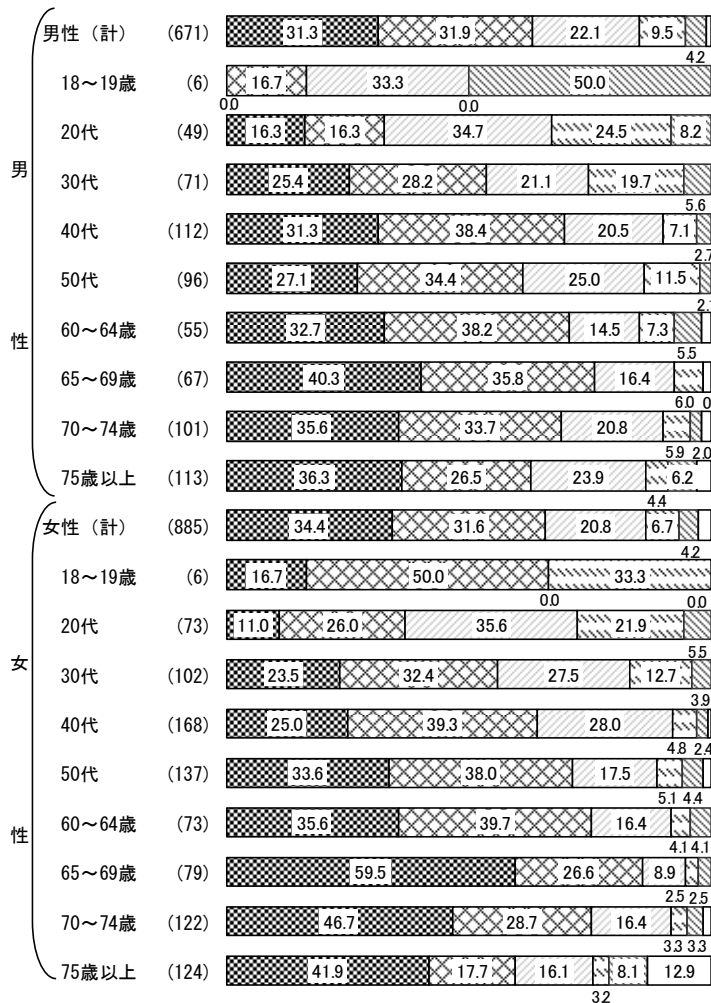
(エ) マイバッグの利用



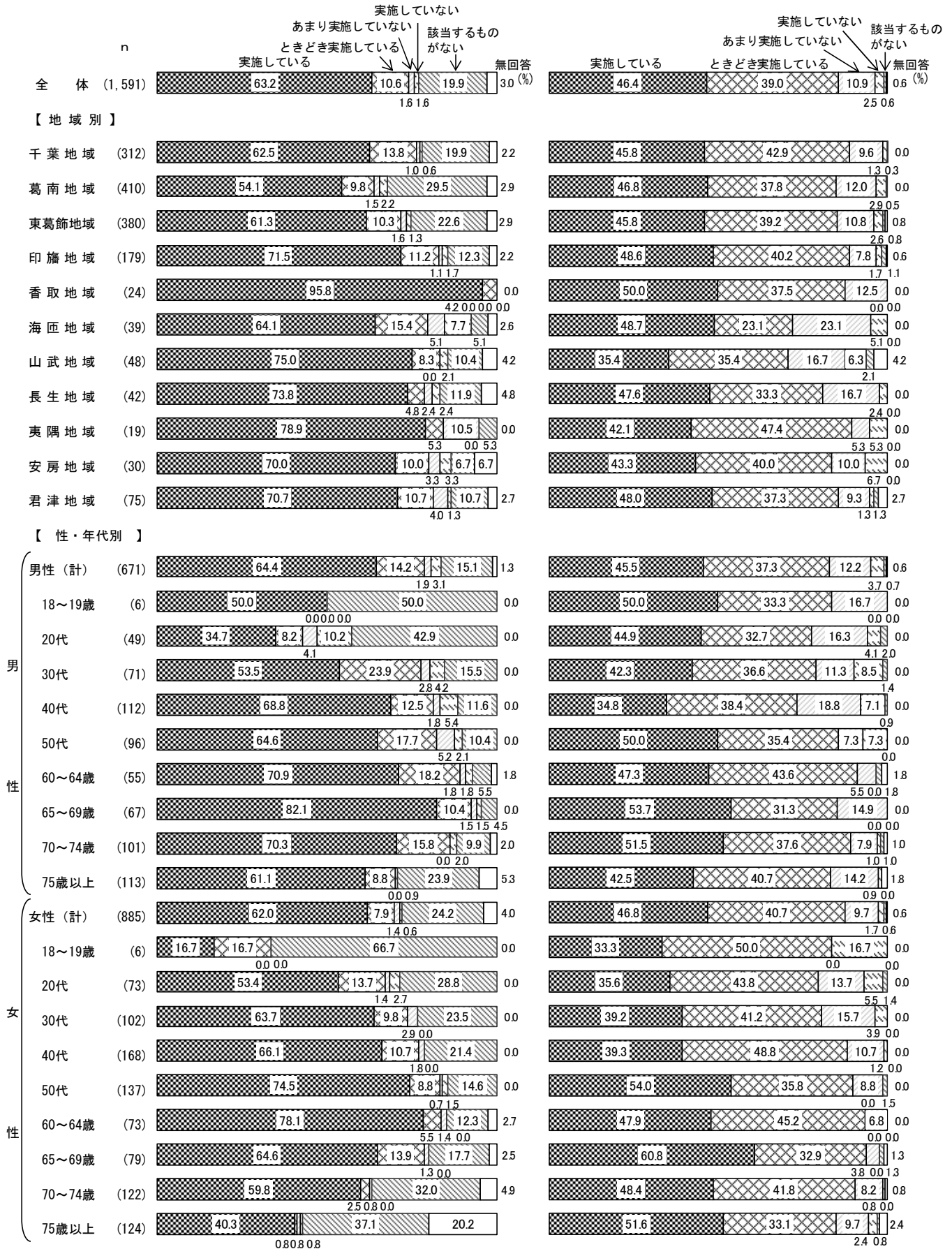
【 地域別 】



【 性・年代別 】

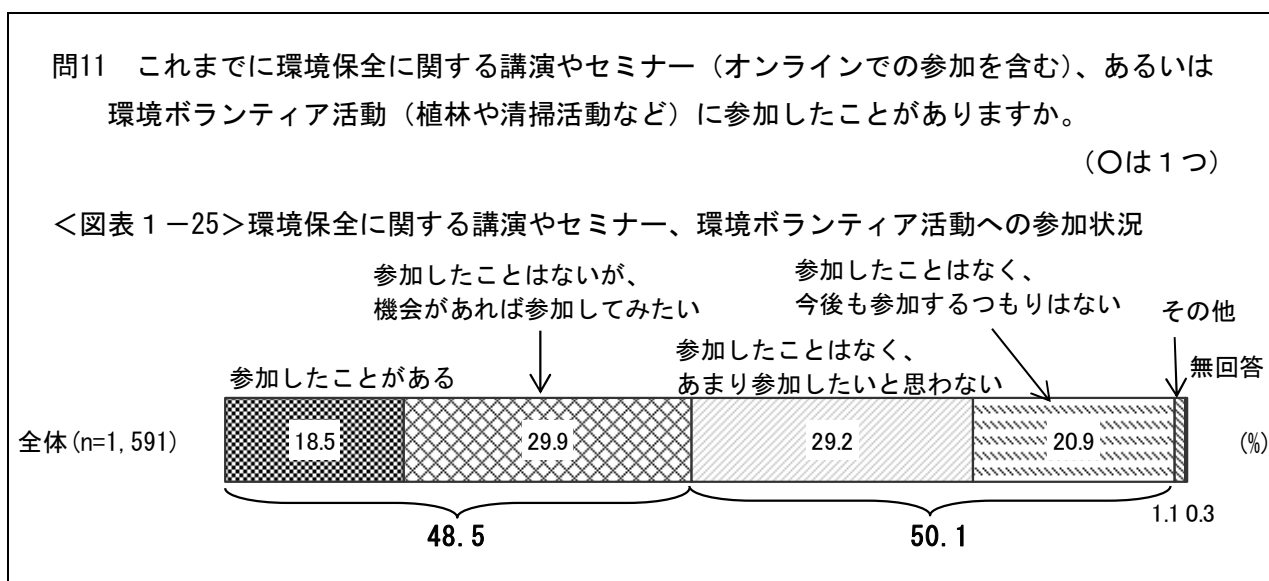


（オ）車の急発進・急ブレーキはしない （カ） 食品ロスの削減に取り組んでいる



(11) 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加状況

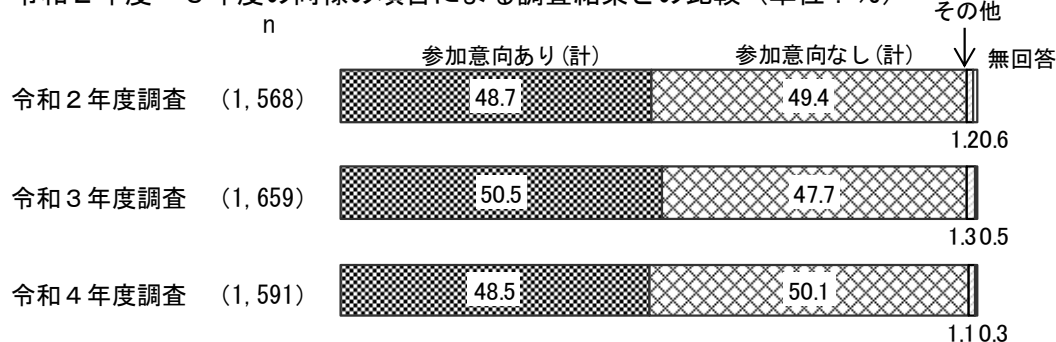
◇『参加意向あり（計）』が約 5 割



環境保全に関する講演やセミナー（オンライン参加含む）、環境ボランティア活動への参加状況を聞いたところ、「参加したことがある」（18.5%）が約 2 割となっており、これと「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」（29.9%）を合わせた『参加意向あり（計）』（48.5%）が約 5 割となっている。

一方、「参加したことはなく、あまり参加したいと思わない」（29.2%）と「参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」（20.9%）を合わせた『参加意向なし（計）』（50.1%）が 5 割となっている。（図表 1－25）

【参考】令和 2 年度・3 年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



（※）令和 2 年度調査で、「これまでに県・市町村などの行政や民間団体などが実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。（○は 1 つ）」と質問した結果を参考に示した。

【地域別】

地域別にみると、『参加意向あり（計）』は“君津地域”（61.3%）が 6 割を超えて高くなっている。（図表 1－26）

【性・年代別】

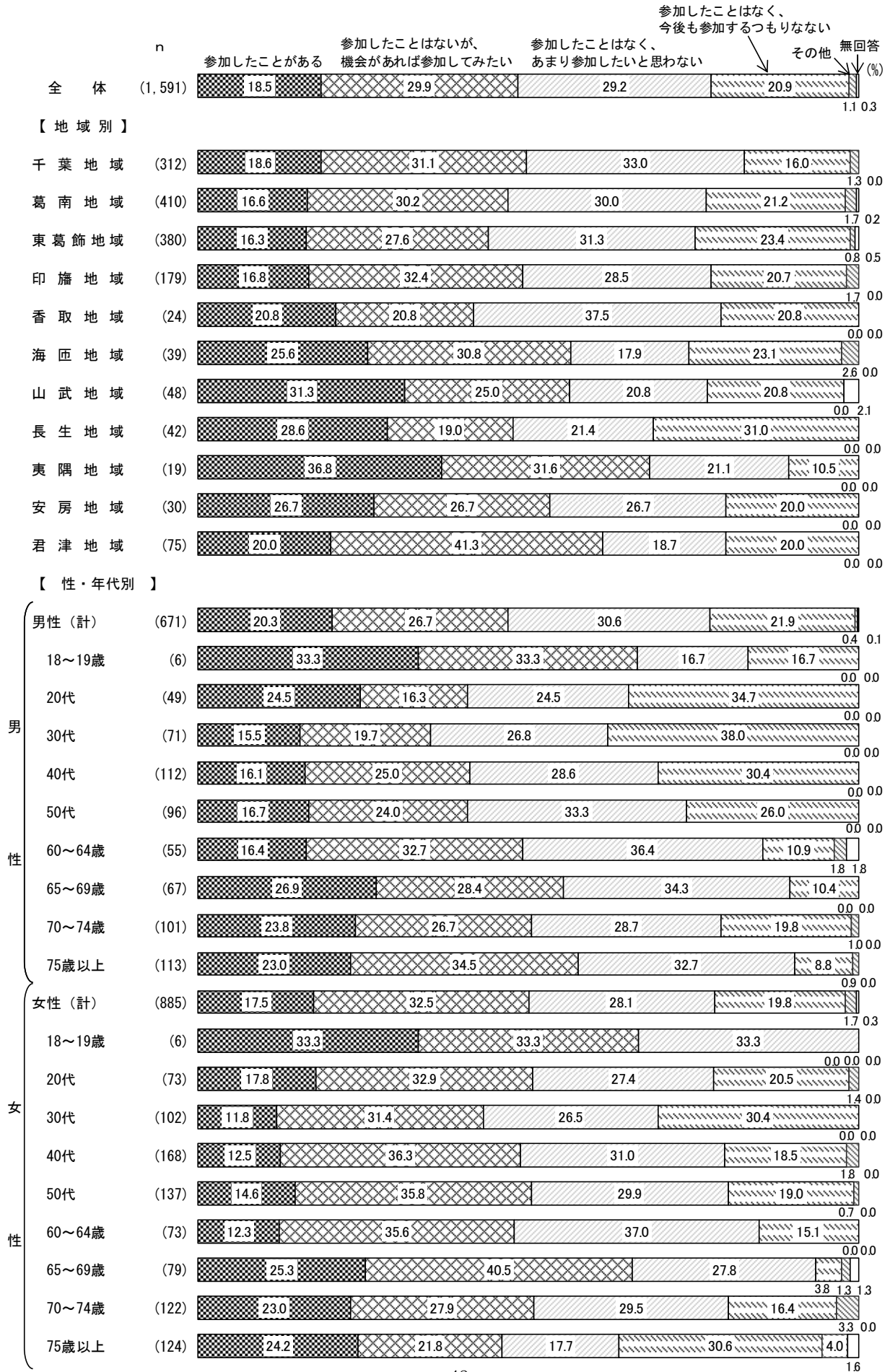
性・年代別にみると、『参加意向あり（計）』は女性の 65～69 歳（65.8%）が 6 割台半ば、男性の 75 歳以上（57.5%）が約 6 割で高くなっている。

一方、『参加意向なし（計）』は男性の 30 代（64.8%）が 6 割台半ばで高くなっている。

（図表 1－26）

＜図表 1－26＞環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加状況

／地域別、性・年代別



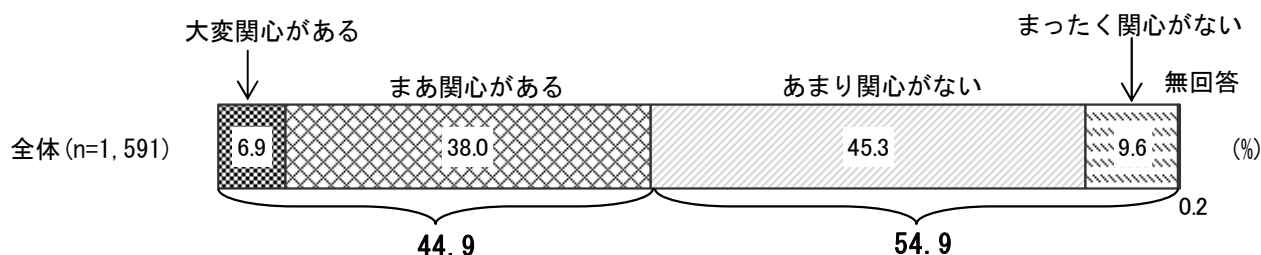
(12) 市民活動団体やボランティア活動の関心度

◇『関心がある（計）』が 4 割台半ば

問12 市民活動団体※の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。（○は 1 つ）

※ 「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証した N P O 法人やボランティア団体等任意団体）です。

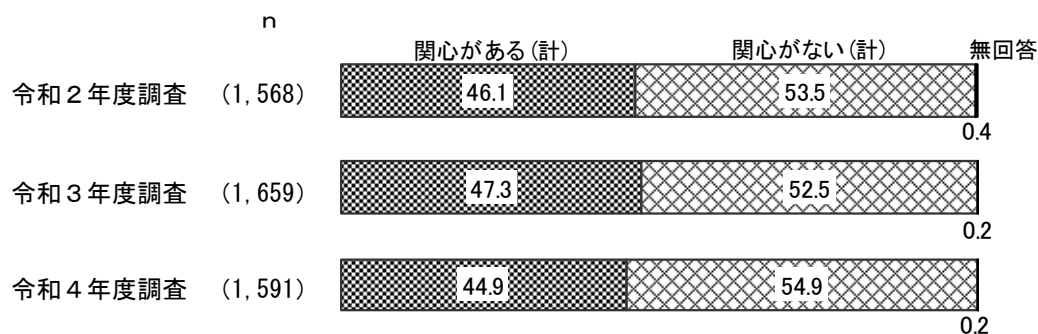
<図表 1-27>市民活動団体やボランティア活動の関心度



市民活動団体の活動や、ボランティア活動への関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(6.9%)と「まあ関心がある」(38.0%)を合わせた『関心がある(計)』(44.9%)が 4 割台半ばとなっている。

一方、「あまり関心がない」(45.3%)と「まったく関心がない」(9.6%)を合わせた『関心がない(計)』(54.9%)が 5 割台半ばとなっている。(図表 1-27)

〔参考〕令和 2 年度・3 年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



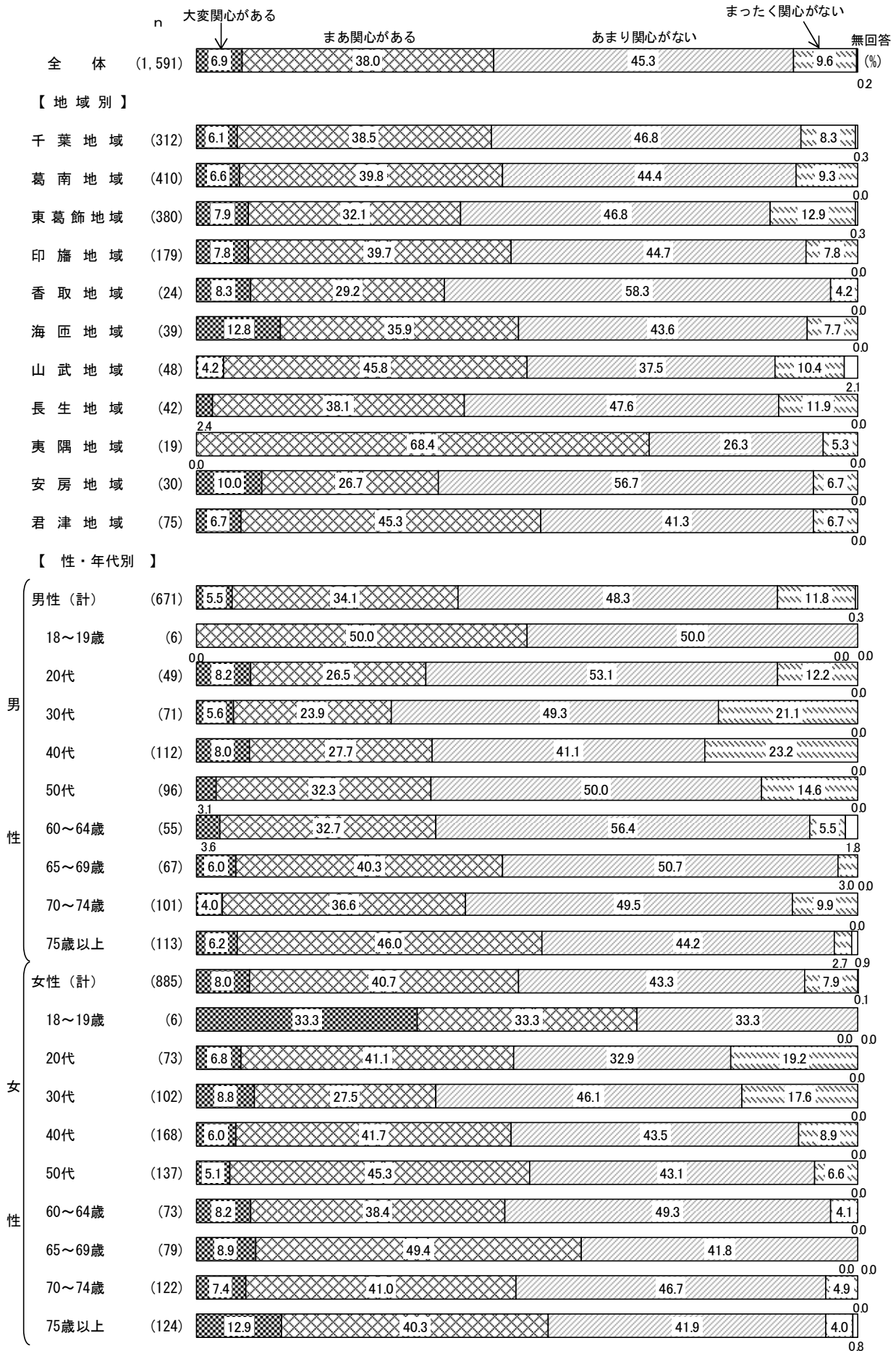
【地域別】

地域別にみると、『関心がない(計)』は“東葛飾地域”(59.7%)が約 6 割で高くなっている。
(図表 1-28)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある(計)』は女性の 65～69 歳 (58.2%) が約 6 割で高くなっている。一方、『関心がない(計)』は男性の 30 代 (70.4%) が 7 割、男性の 40 代 (64.3%) と男性の 50 代 (64.6%) が 6 割台半ばで高くなっている。(図表 1-28)

＜図表 1－28＞市民活動団体やボランティア活動の関心度／地域別、性・年代別



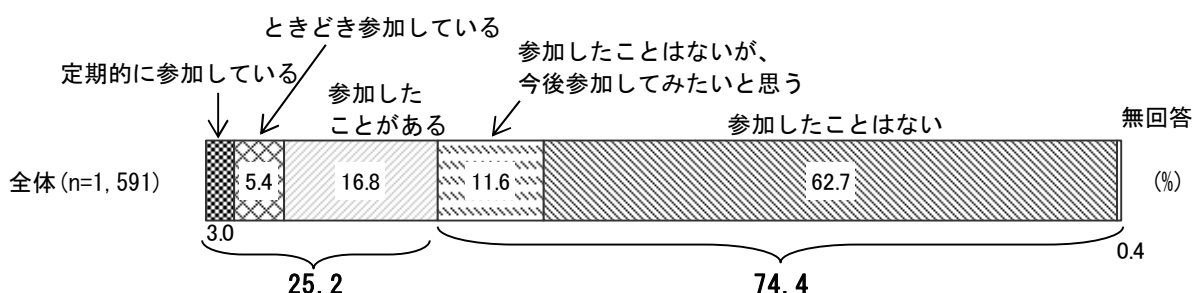
(13) 市民活動団体の活動への参加経験

◇『参加したことがある（計）』が2割台半ば

問13 市民活動団体の活動に参加※したことがありますか。（○は1つ）

※ ここでいう「参加」とは、団体の会員やボランティアとしての参加のみならず、団体への資金・物品・技術・場所等の提供・寄付などの支援を通しての参加や、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを指します。

＜図表 1－29＞市民活動団体の活動への参加経験

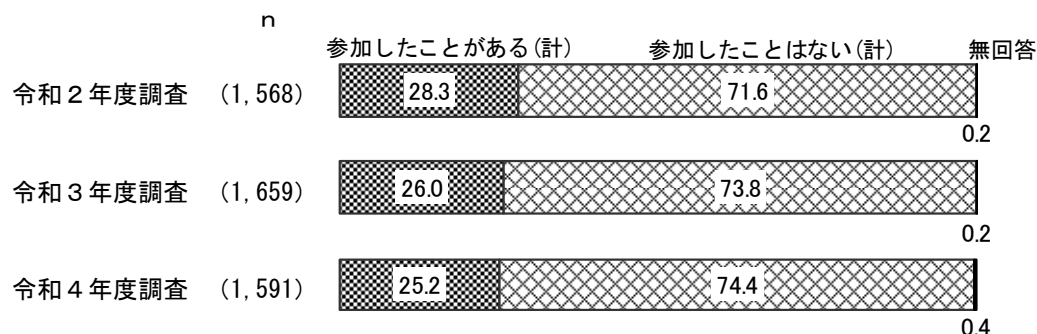


市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」（3.0%）、「ときどき参加している」（5.4%）、「参加したことがある」（16.8%）の3つを合わせた『参加したことがある（計）』（25.2%）が2割台半ばとなっている。

一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」（11.6%）と「参加したことはない」（62.7%）を合わせた『参加したことはない（計）』（74.4%）が7割台半ばとなっている。

（図表 1－29）

【参考】令和2年度・3年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

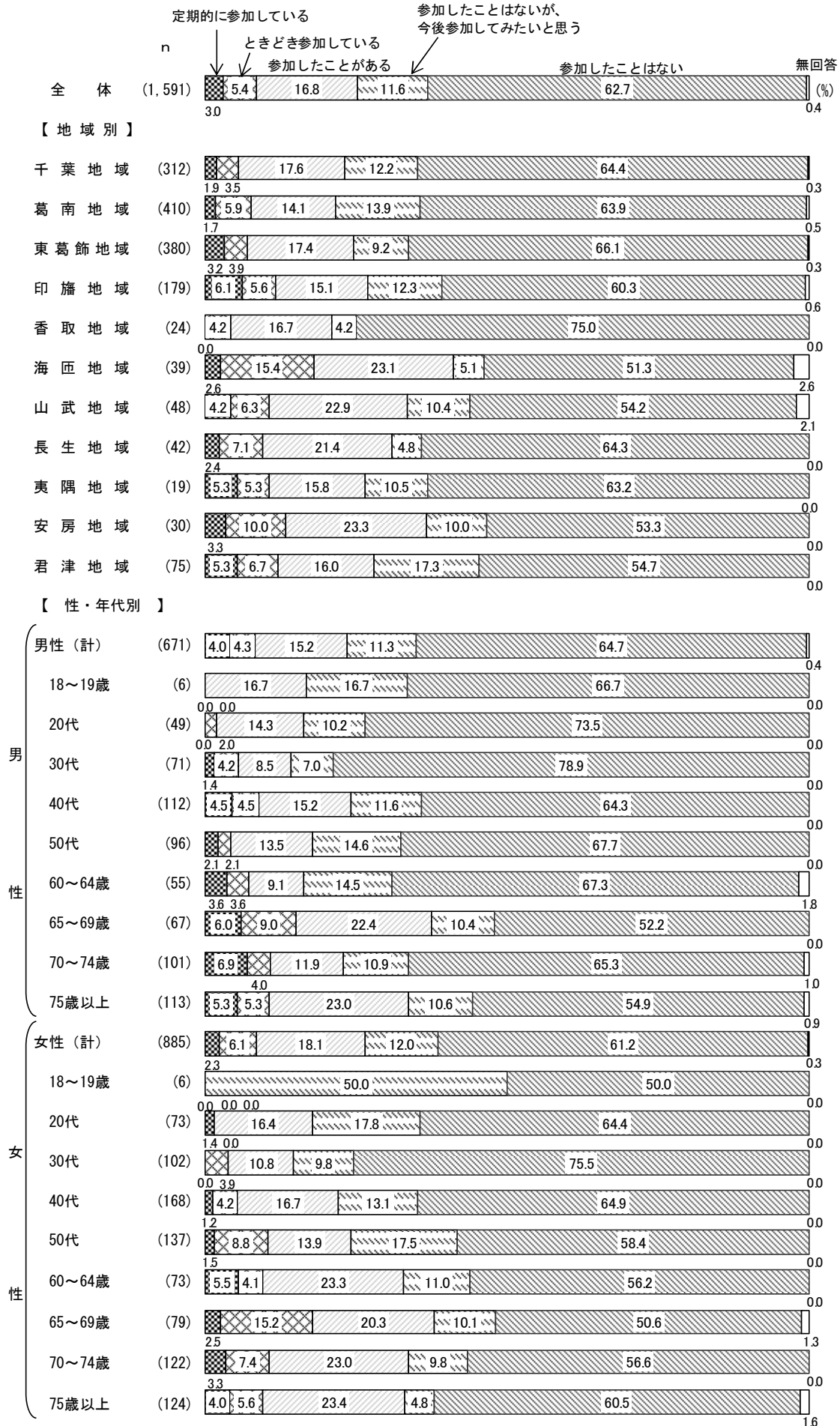
地域別にみると、『参加したことがある（計）』は“海匠地域”（41.0%）が4割を超えて高くなっている。（図表 1－30）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加したことがある（計）』は男性の65～69歳（37.3%）と女性の65～69歳（38.0%）が約4割、男性の75歳以上（33.6%）、女性の70～74歳（33.6%）が3割台半ば、女性の75歳以上（33.1%）が3割を超えて高くなっている。

一方、『参加したことはない（計）』は男性の30代（85.9%）と女性の30代（85.3%）が8割台半ばで高くなっている。（図表 1－30）

<図表 1-30> 市民活動団体の活動への参加経験／地域別、性・年代別



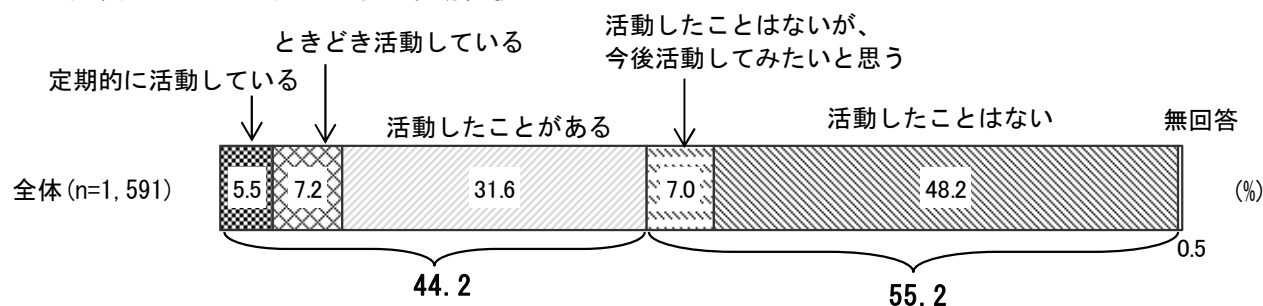
(14) ボランティア活動経験

◇『活動したことがある（計）』が4割台半ば

問14 ボランティアとして活動※したことがありますか。（○は1つ）

※ ここでいう「ボランティア活動」とは、市民の自発性に基づき地域や社会に貢献する活動（町会・自治会の活動、PTA活動や学校行事の手伝い、子ども会の活動、交通安全運動、道路や公園等の清掃なども含む）のことであり、市民活動団体が行うボランティア活動への参加のみならず、個人として行うものを含むボランティア活動全般を指します。

＜図表 1－31＞ボランティア活動経験

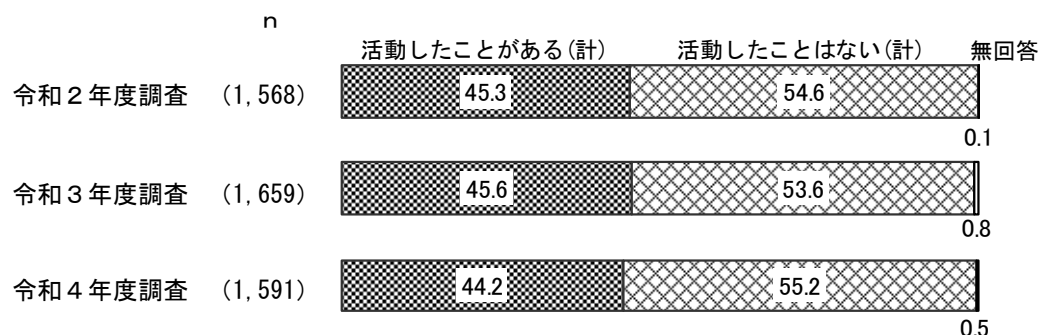


ボランティアとして活動したことがあるか聞いたところ、「定期的活動している」(5.5%)、「ときどき活動している」(7.2%)、「活動したことがある」(31.6%)の3つを合わせた『活動したことがある(計)』(44.2%)が4割台半ばとなっている。

一方、「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」(7.0%)と「活動したことはない」(48.2%)を合わせた『活動したことはない(計)』(55.2%)が5割台半ばとなっている。

(図表 1－31)

〔参考〕令和2年度・3年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

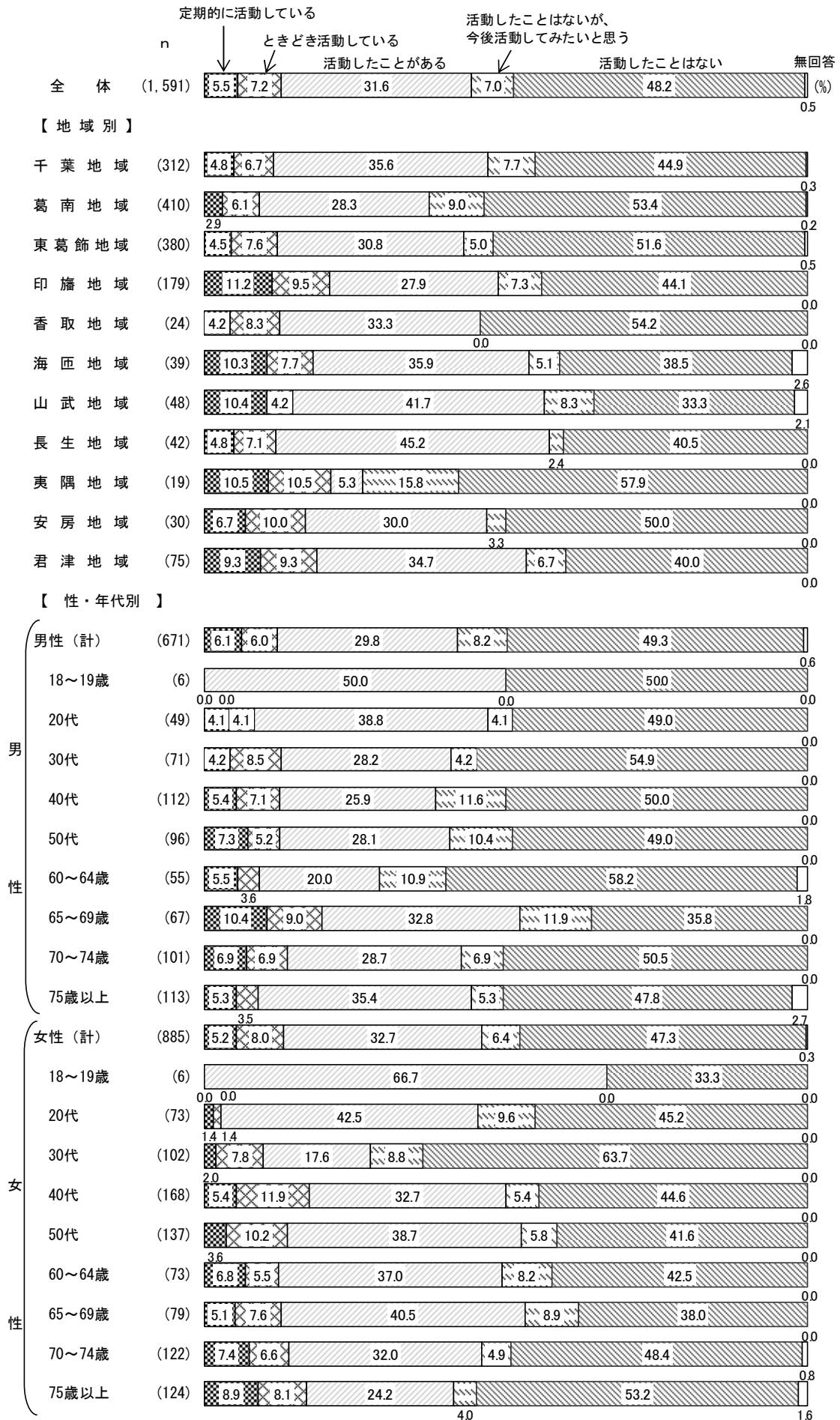
地域別にみると、『活動したことはない(計)』は“葛南地域”(62.4%)が6割を超えて高くなっている。(図表 1－32)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『活動したことがある(計)』は女性の50代(52.6%)が5割を超えて高くなっている。

一方、『活動したことはない(計)』は女性の30代(72.5%)が7割を超え、男性の60～64歳(69.1%)が約7割で高くなっている。(図表 1－32)

＜図表 1-32＞ボランティア活動経験／地域別、性・年代別



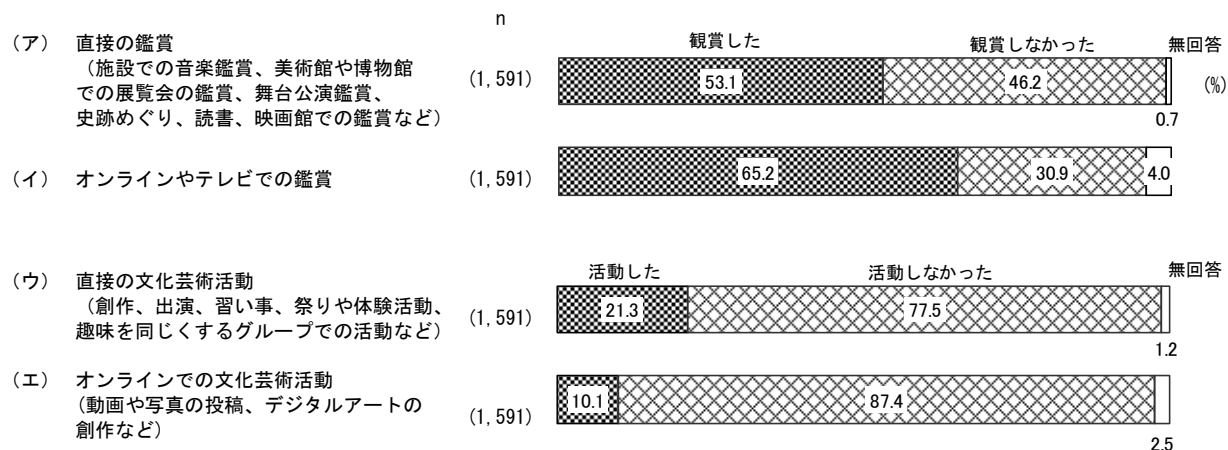
（15）この 1 年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験

◇鑑賞は〈オンラインやテレビ〉が 6 割台半ば、活動は〈直接〉が 2 割を超える

問15 あなたは、この 1 年間に、文化芸術※を鑑賞しましたか。また、鑑賞を除く文化芸術活動をしましたか。（○はそれぞれ 1 つずつ）

※ 「文化芸術」とは、映画（アニメ含む）、音楽（全てのジャンル）、美術（写真・デジタルアート含む）、文芸（マンガ含む）、ダンス、茶道・華道・書道、歌舞伎、地域に伝わる祭り、文化財などを指します。

＜図表 1－33＞この 1 年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験



この 1 年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験を聞いたところ、鑑賞については「(イ) オンラインやテレビでの鑑賞」(65.2%) が 6 割台半ば、「(ア) 直接の鑑賞」(53.1%) が 5 割を超えており、(ア) か (イ) いずれか、又はその両方を通じて鑑賞した県民の割合は 74.0% となった。

活動については「(ウ) 直接の文化芸術活動」(21.3%) が 2 割を超え、「(エ) オンラインやテレビでの文化芸術活動」(10.1%) が 1 割となっており（図表 1－33）、(ウ) か (エ) いずれか、又はその両方を通じて活動した県民の割合は 24.3% となった。

【地域別】

地域別にみると、鑑賞については「(ア) 直接の鑑賞」は“葛南地域”（57.6%）が約6割で高くなっている。

「(イ) オンラインやテレビでの鑑賞」は大きな傾向の違いはみられない。

活動については「(ウ) 直接の文化芸術活動」は“千葉地域”（25.6%）が2割台半ばで高くなっている。

「(エ) オンラインでの文化芸術活動は大きな傾向の違いはみられない。（図表1－34）

【性・年代別】

性・年代別にみると、鑑賞については「(ア) 直接の鑑賞」は男性の20代（75.5%）と女性の20代（75.3%）が7割台半ば、女性の40代（69.6%）が約7割、男性の40代（64.3%）が6割台半ばで高くなっている。

「(イ) オンラインやテレビでの鑑賞」は女性の40代（81.0%）が8割を超え、女性の20代（80.8%）が8割、男性の30代（78.9%）が約8割、男性の40代（75.9%）が7割台半ばで高くなっている。

活動については「(ウ) 直接の文化芸術活動」は女性の20代（41.1%）が4割を超え、男性の20代（34.7%）が3割台半ばで高くなっている。

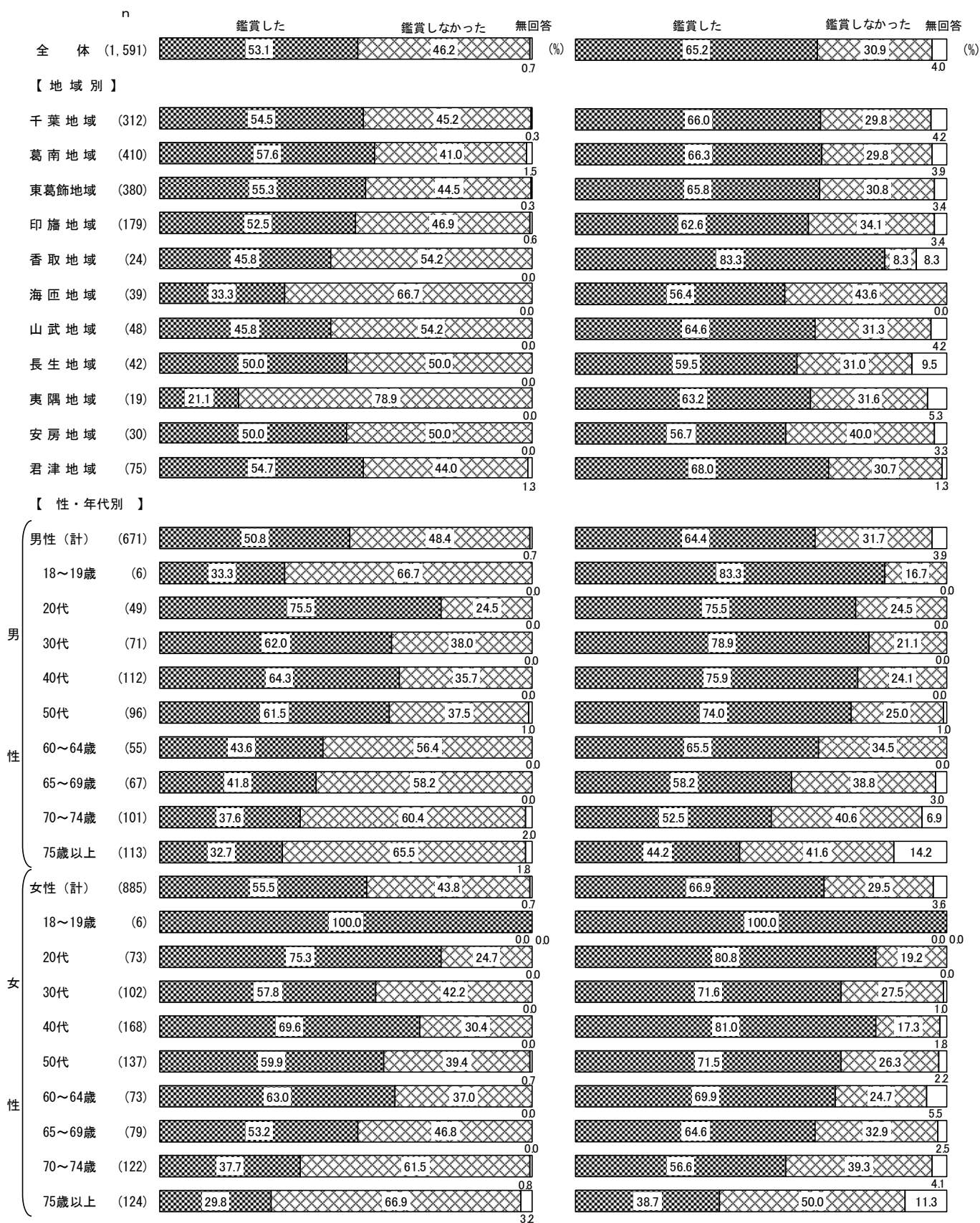
「(エ) オンラインでの文化芸術活動」は女性の20代（31.5%）が3割を超え、男性の20代（26.5%）が2割台半ば、女性の30代（19.6%）が約2割で高くなっている。（図表1－34）

＜図表 1－34＞この 1 年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験／地域別、性・年代別

(ア) 直接の鑑賞

(イ) オンラインやテレビでの鑑賞

（施設での音楽鑑賞、美術館や博物館での
展覧会の鑑賞、舞台公演鑑賞、史跡めぐり、
読書、映画館での鑑賞など）

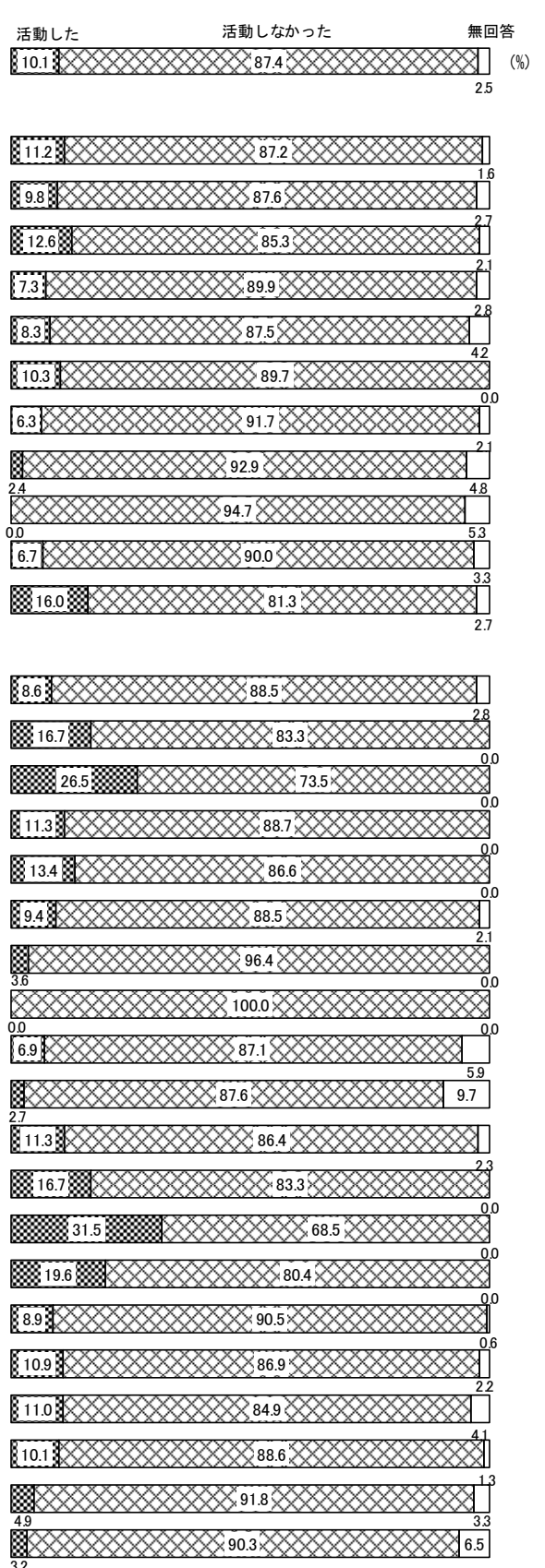
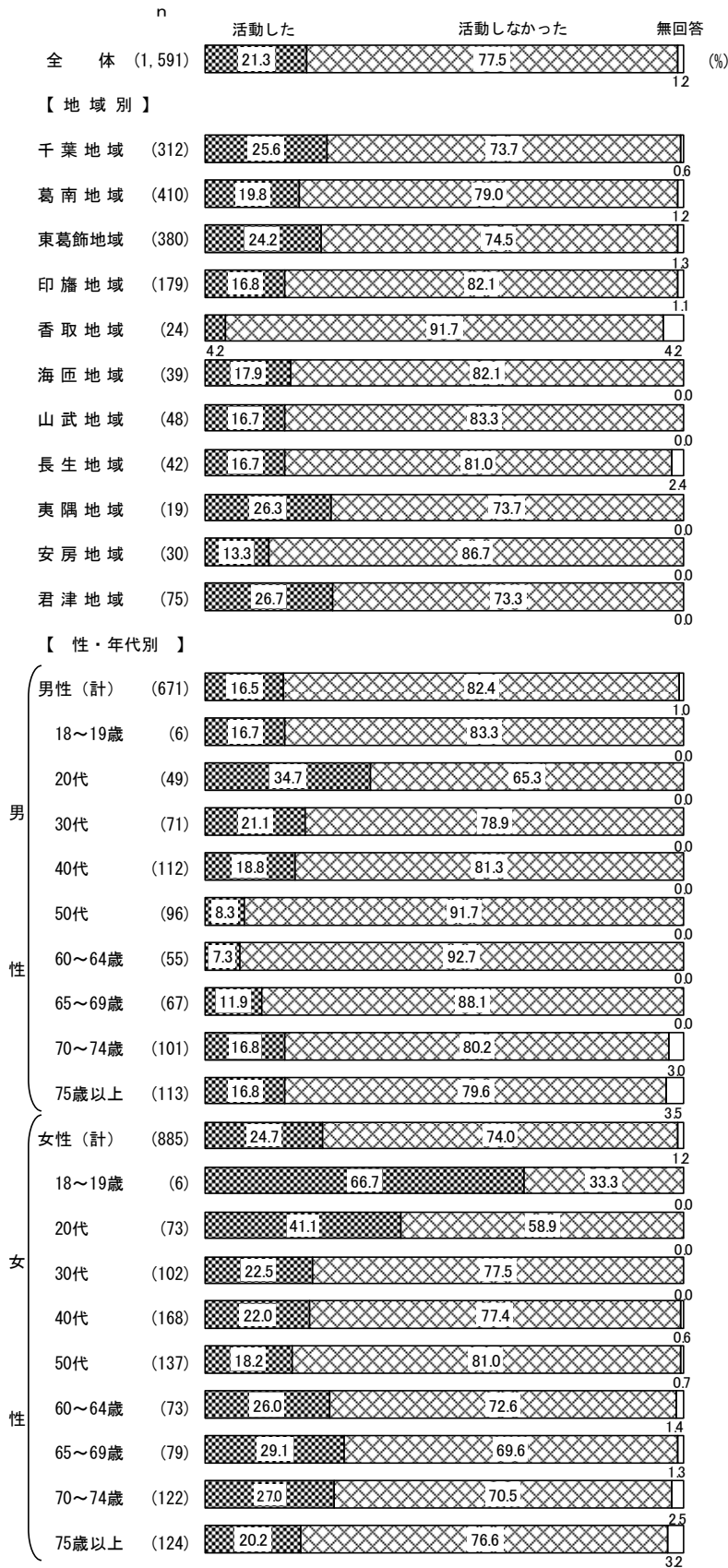


（ウ）直接の文化芸術活動

（創作、出演、習い事、祭りや体験活動、
趣味を同じくするグループでの活動など）

（エ）オンラインでの文化芸術活動

（動画や写真の投稿、デジタルアートの
創作など）



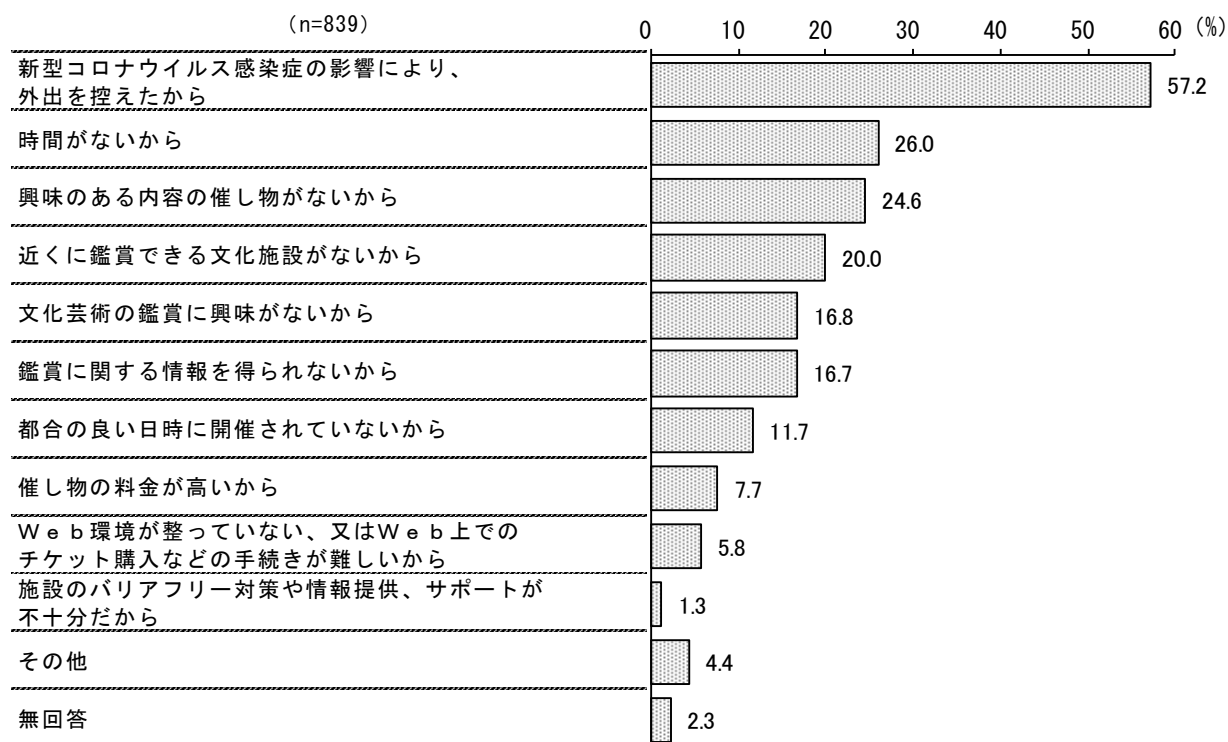
（15－１）文化芸術を鑑賞しなかった理由

◇「新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えたから」が約６割

（問15（ア）（イ）のいずれかで「鑑賞しなかった」をお答えの方に）

問15－１ 「鑑賞しなかった」とお答えの主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

＜図表 1－35＞文化芸術を鑑賞しなかった理由（複数回答）



この１年間の文化芸術の鑑賞について、直接またはオンラインやテレビで鑑賞しなかったと回答した839人を対象に、鑑賞しなかった理由を聞いたところ、「新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えたから」（57.2%）が約６割で最も高く、以下、「時間がないから」（26.0%）、「興味のある内容の催し物がないから」（24.6%）、「近くに鑑賞できる文化施設がないから」（20.0%）が続く。（図表 1－35）

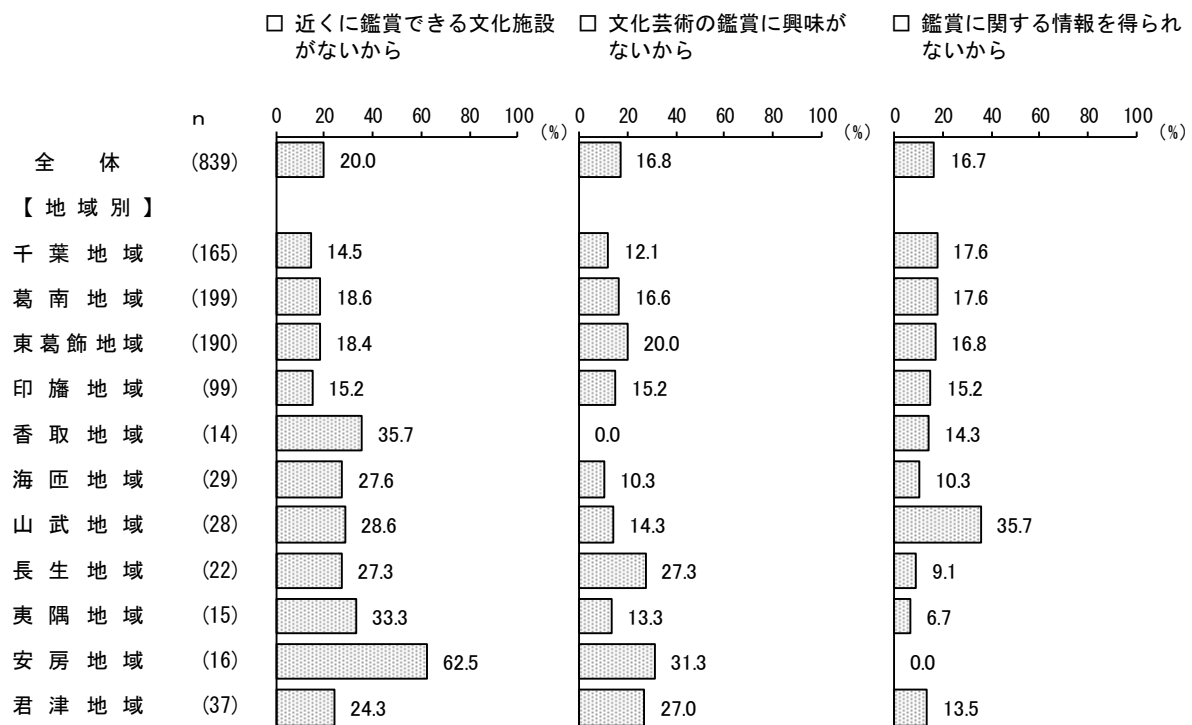
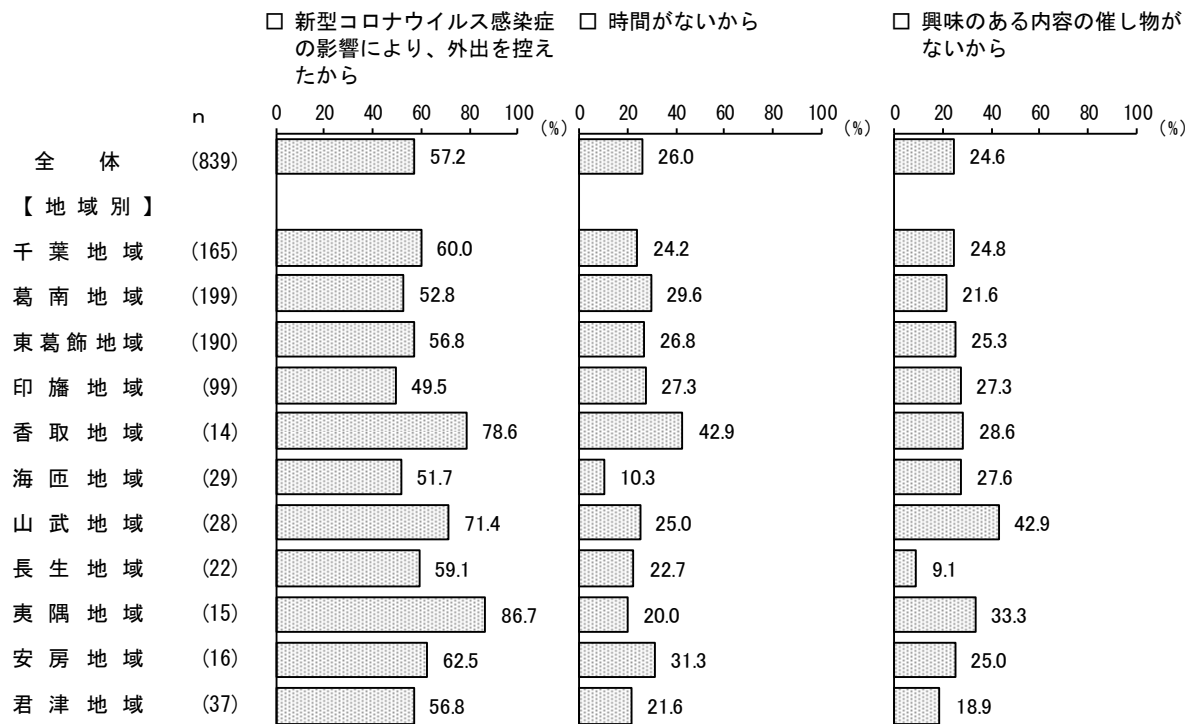
【地域別】

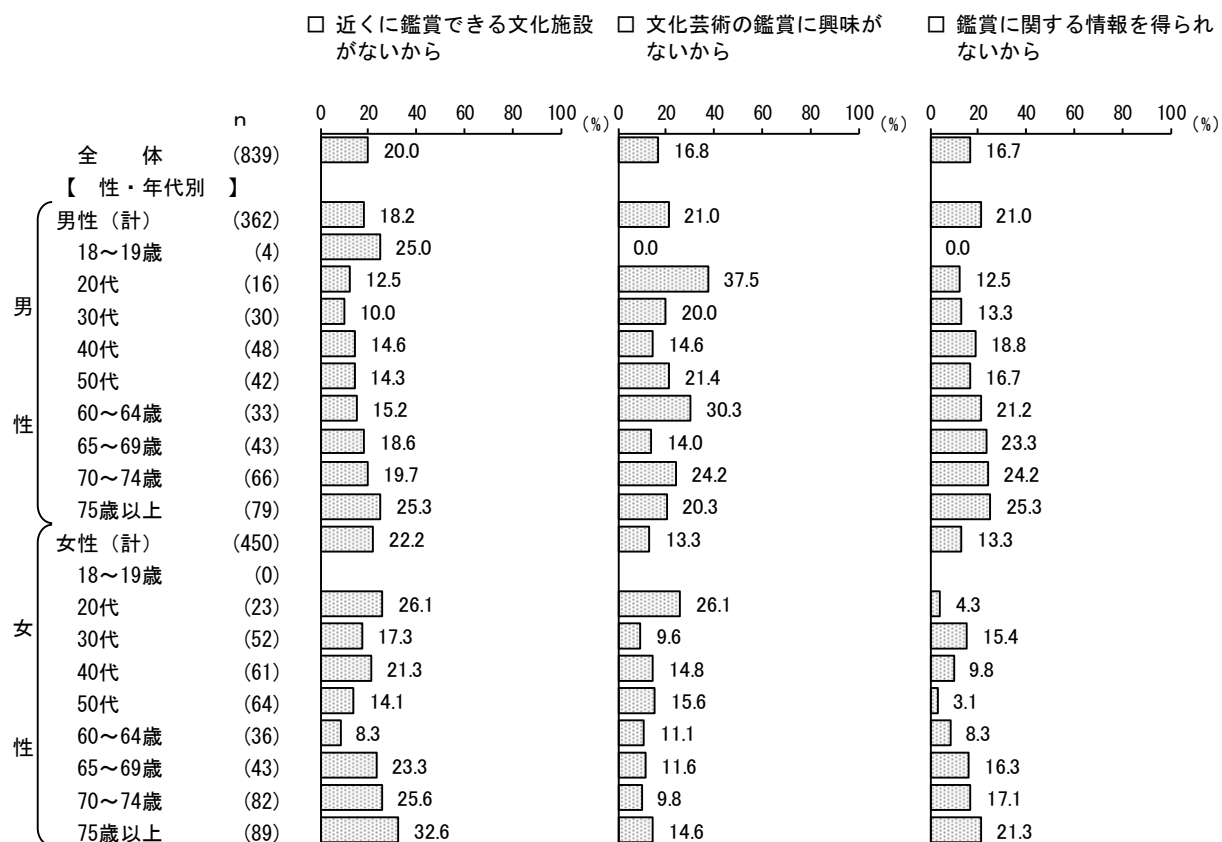
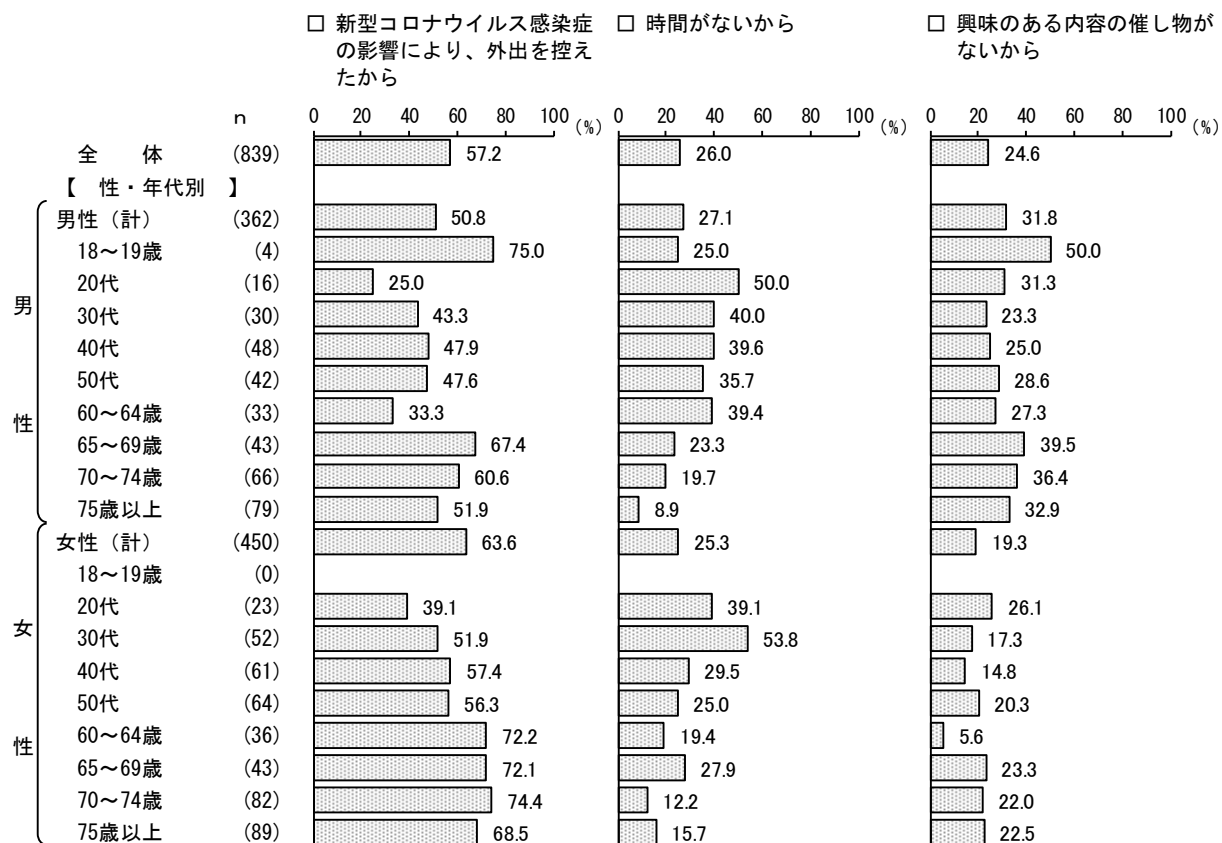
地域別にみると、は大きな傾向の違いはみられない。（図表 1－36）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えたから」は女性の70～74歳（74.4%）が7割台半ば、女性の65～69歳（72.1%）が7割を超え、女性の75歳以上（68.5%）が約7割で高くなっている。「時間がないから」は女性の30代（53.8%）が5割台半ば、男性の40代（39.6%）が約4割で高くなっている。「興味のある内容の催し物がないから」は男性の65～69歳（39.5%）が約4割、男性の70～74歳（36.4%）が3割台半ばで高くなっている。（図表 1－36）

＜図表 1－36＞文化芸術を鑑賞しなかった理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）





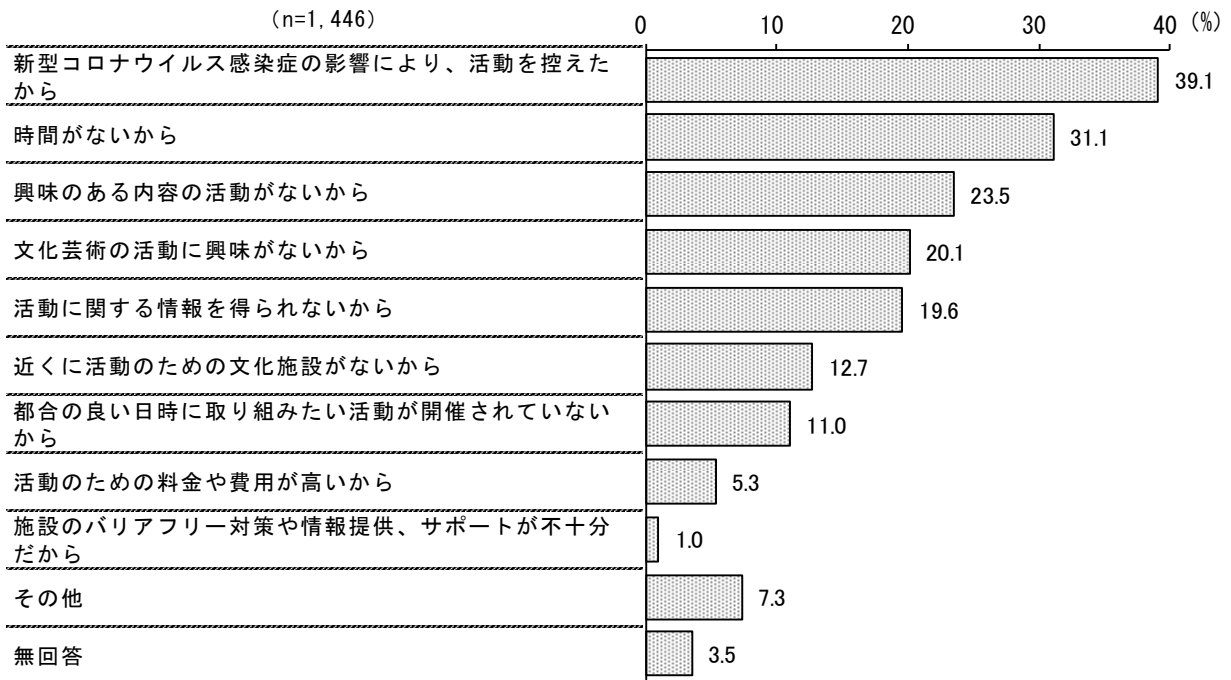
（15－2）文化芸術活動をしなかった理由

◇「新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を控えたから」が約4割

（問15（ウ）（エ）のいずれかで「活動しなかった」をお答えの方に）

問15－2 「活動しなかった」とお答えの主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

＜図表 1－37＞文化芸術活動をしなかった理由（複数回答）



この1年間の文化芸術活動について、直接またはオンラインで活動しなかったと回答した1,446人を対象に、活動しなかった理由を聞いたところ、「新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を控えたから」（39.1%）が約4割で最も高く、以下、「時間がないから」（31.1%）、「興味のある内容の活動がないから」（23.5%）、「文化芸術の活動に興味がないから」（20.1%）、「活動に関する情報を得られないから」（19.6%）が続く。（図表 1－37）

【地域別】

地域別にみると、は大きな傾向の違いはみられない。（図表 1－38）

【性・年代別】

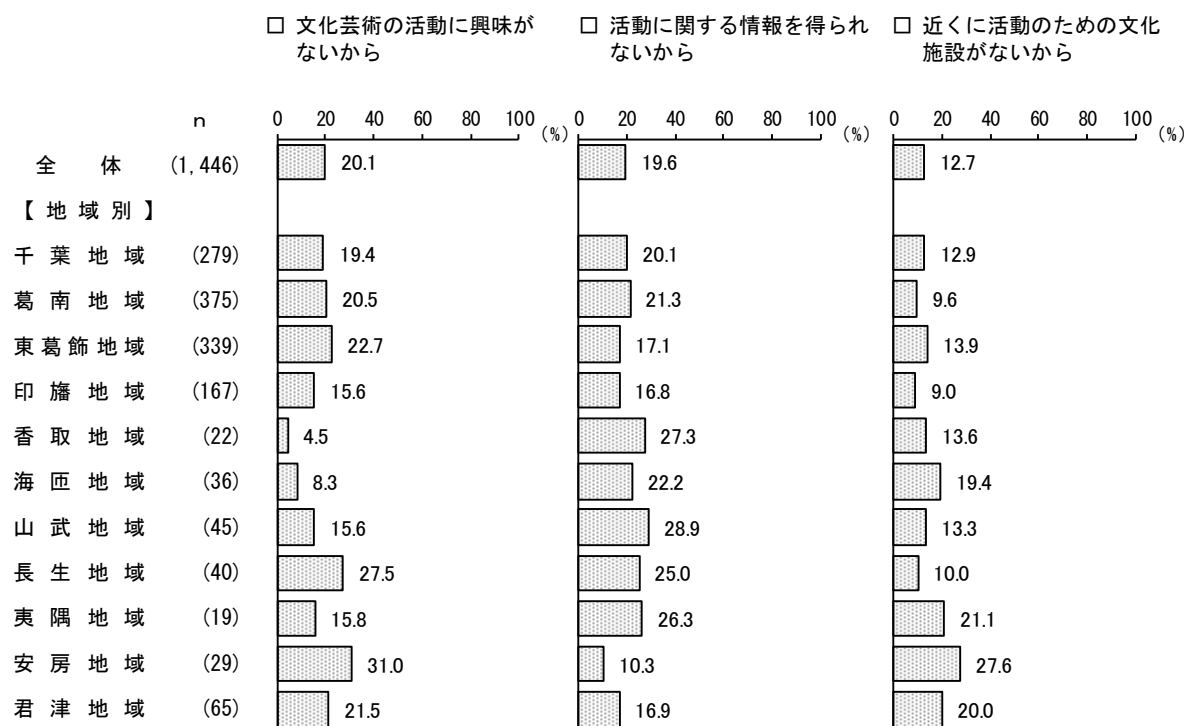
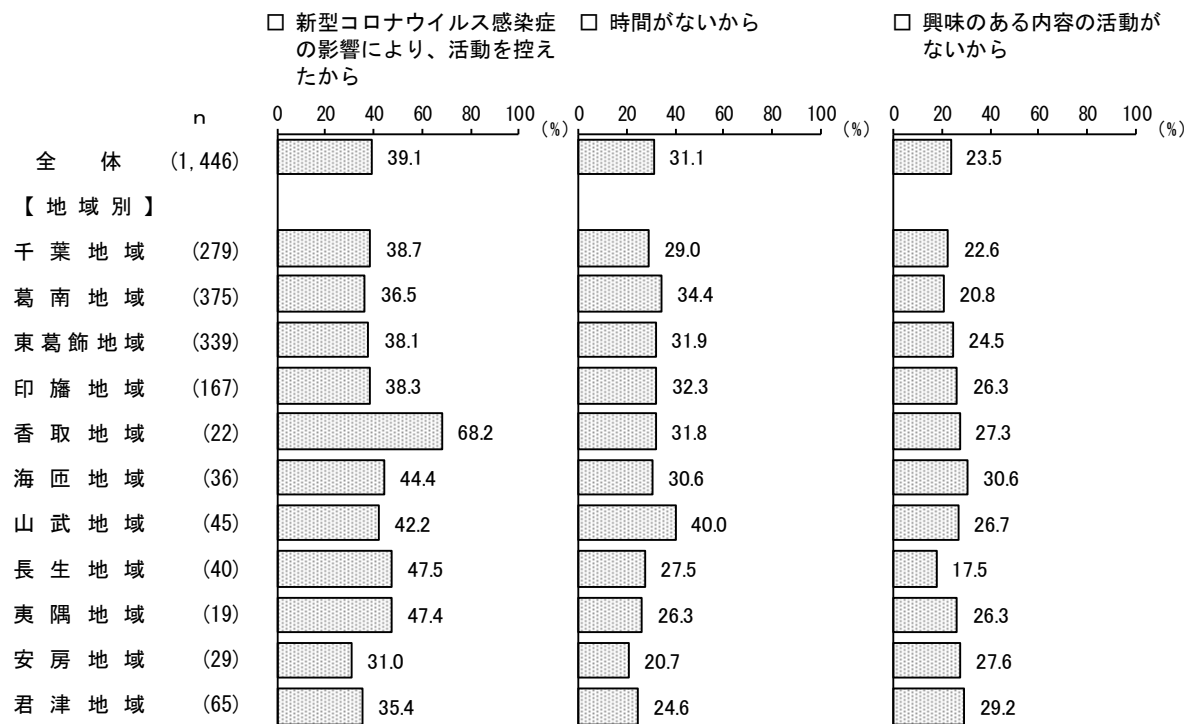
性・年代別にみると、「新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を控えたから」は男性の65～69歳（55.2%）が5割台半ば、女性の70～74歳（53.1%）が5割を超え、女性の75歳以上（49.1%）が約5割で高くなっている。

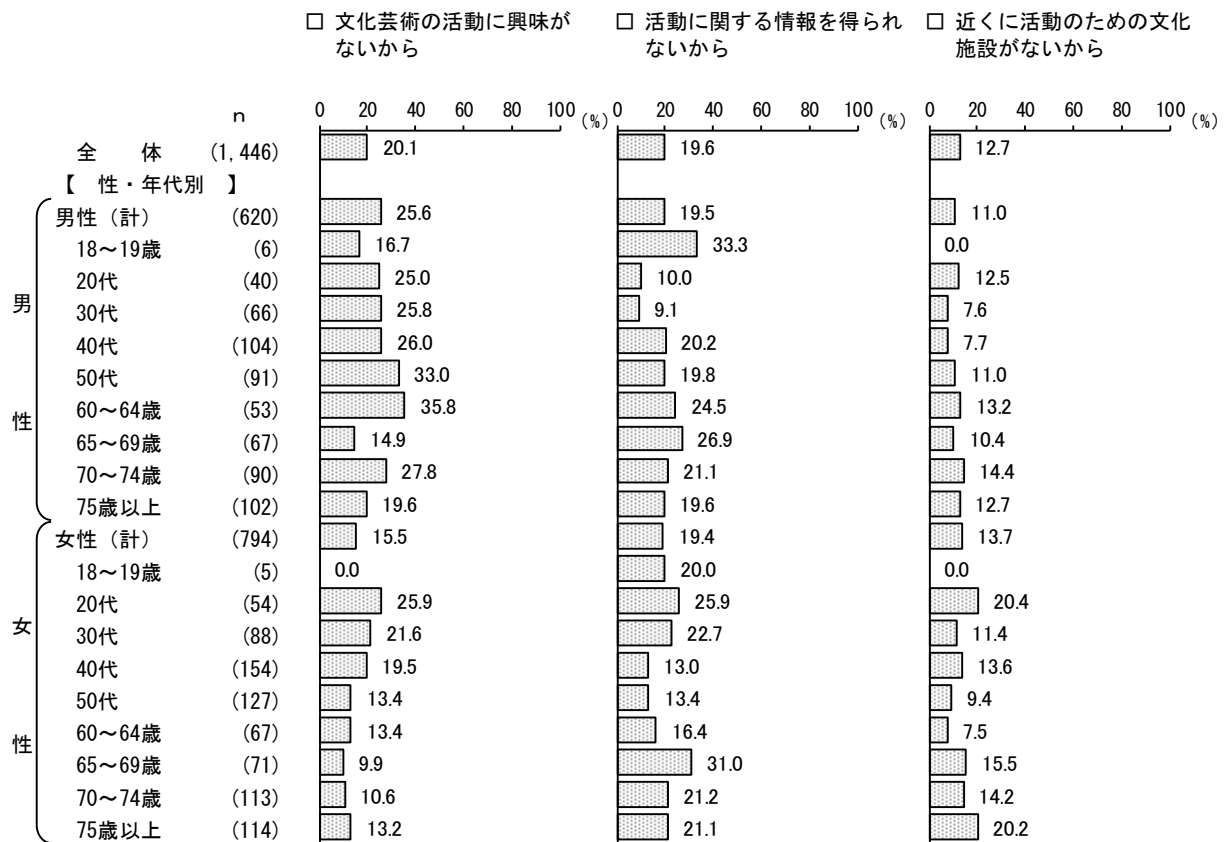
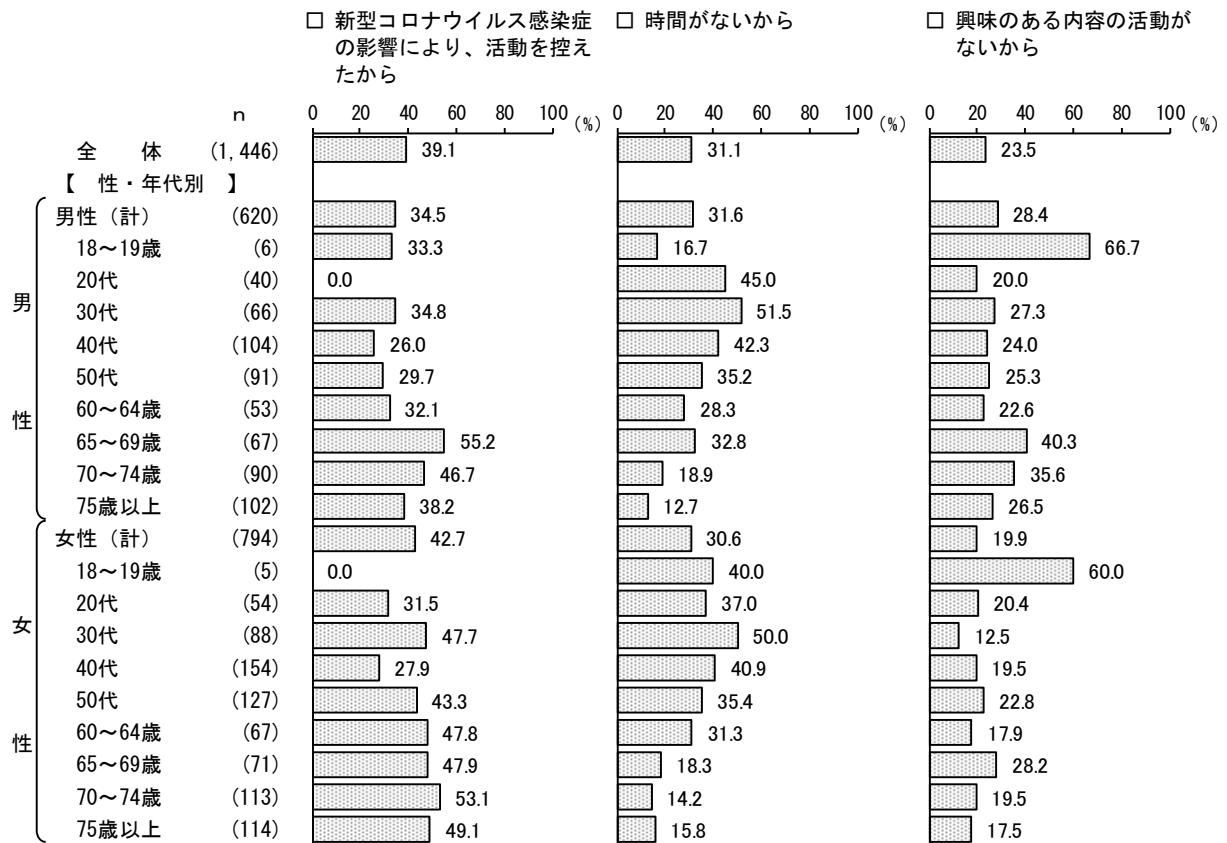
「時間がないから」は男性の30代（51.5%）が5割を超え、女性の30代（50.0%）が5割、男性の40代（42.3%）が4割を超え、女性の40代（40.9%）が4割で高くなっている。

「興味のある内容の活動がないから」は男性の65～69歳（40.3%）が4割、男性の70～74歳（35.6%）が3割台半ばで高くなっている。

「文化芸術の活動に興味がないから」は男性の60～64歳（35.8%）が3割台半ば、男性の50代（33.0%）が3割を超えて高くなっている。（図表 1－38）

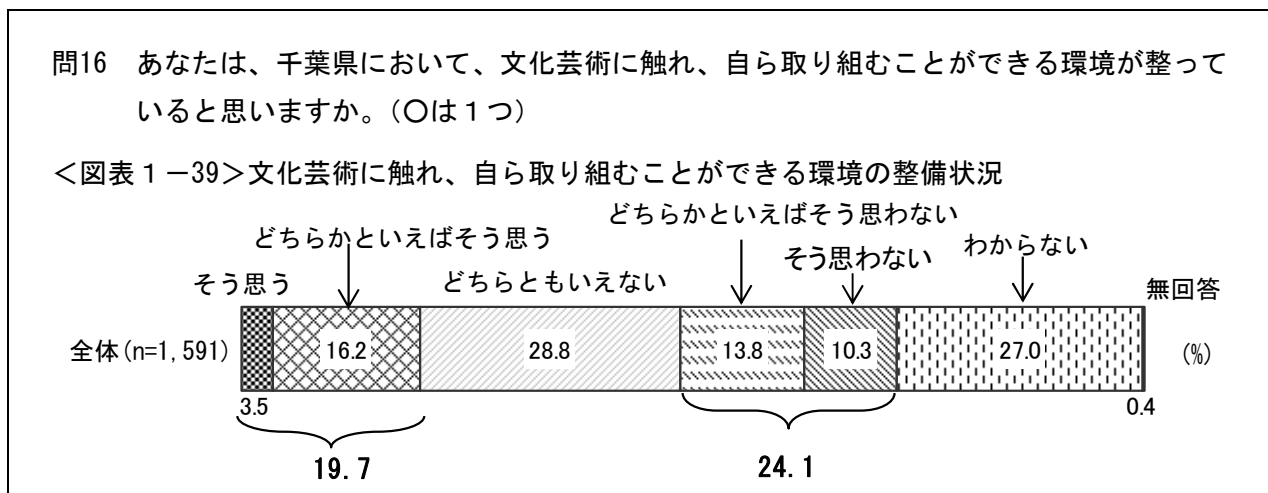
<図表 1-38>文化芸術活動をしなかった理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）





(16) 文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境の整備状況

◇『そう思う（計）』が約 2 割



千葉県において、文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(3.5%)と「どちらかといえばそう思う」(16.2%)を合わせた『そう思う（計）』(19.7%)が約 2 割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(13.8%)と「そう思わない」(10.3%)を合わせた『そう思わない（計）』(24.1%)が 2 割台半ばとなっている。

また、「どちらともいえない」(28.8%)が約 3 割となっている。（図表 1－39）

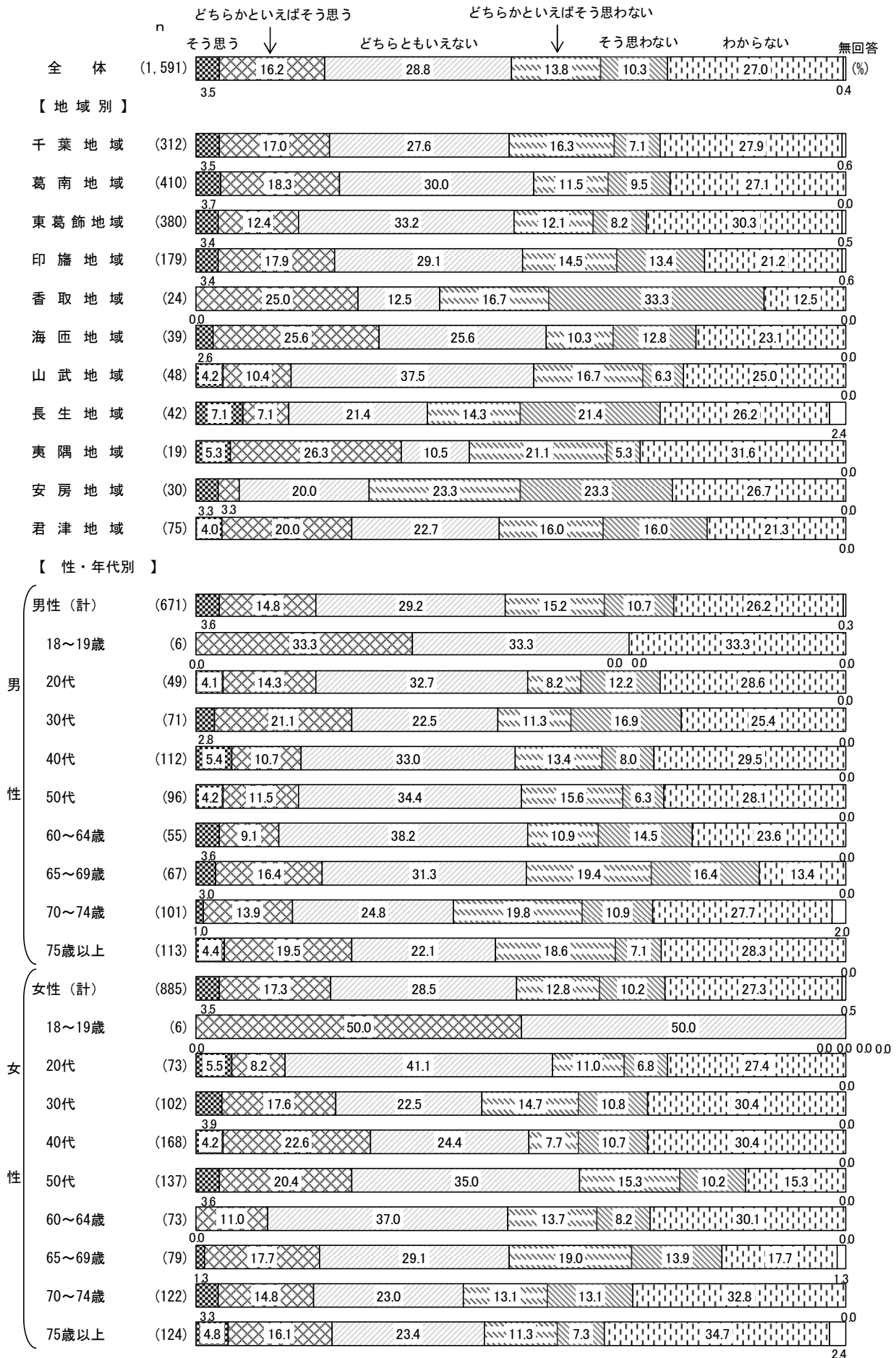
【地域別】

地域別にみると、『そう思わない（計）』は“安房地域” (46.7%) が 4 割台半ばで高くなっている。
(図表 1－40)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は女性の 40 代 (26.8%) が 2 割台半ばで高くなっている。
一方、『そう思わない（計）』は男性の 65～69 歳 (35.8%) が 3 割台半ばで高くなっている。
(図表 1－40)

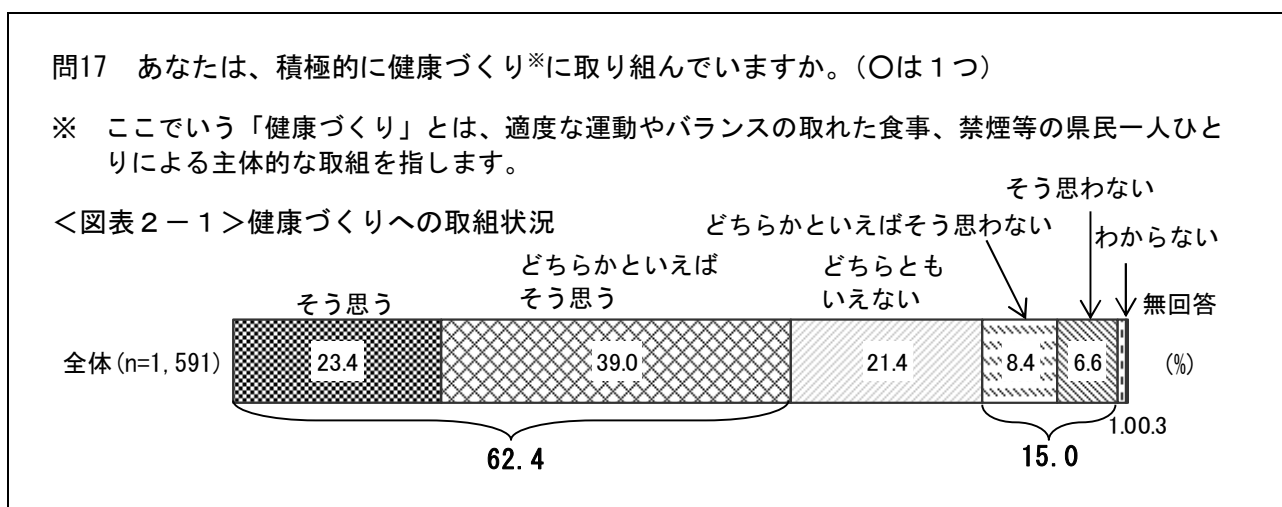
<図表 1-40>文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境の整備状況／地域別、性・年代別



2 健康について

（1）健康づくりへの取組状況

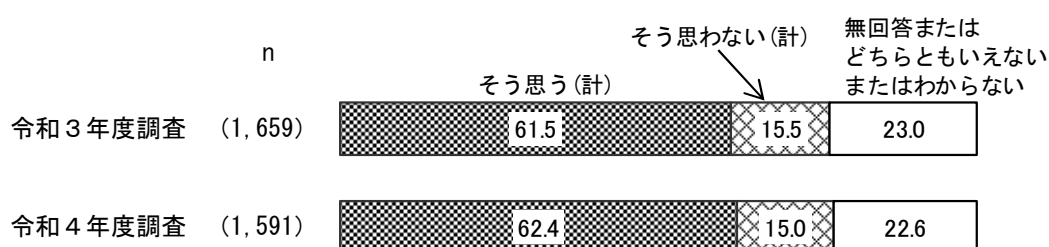
◇『そう思う（計）』が6割を超える



積極的に健康づくりに取り組んでいるか聞いたところ、「そう思う」(23.4%)と「どちらかといえばそう思う」(39.0%)を合わせた『そう思う（計）』(62.4%)が6割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(8.4%)と「そう思わない」(6.6%)を合わせた『そう思わない（計）』(15.0%)が1割台半ばとなっている。(図表2-1)

〔参考〕令和3年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

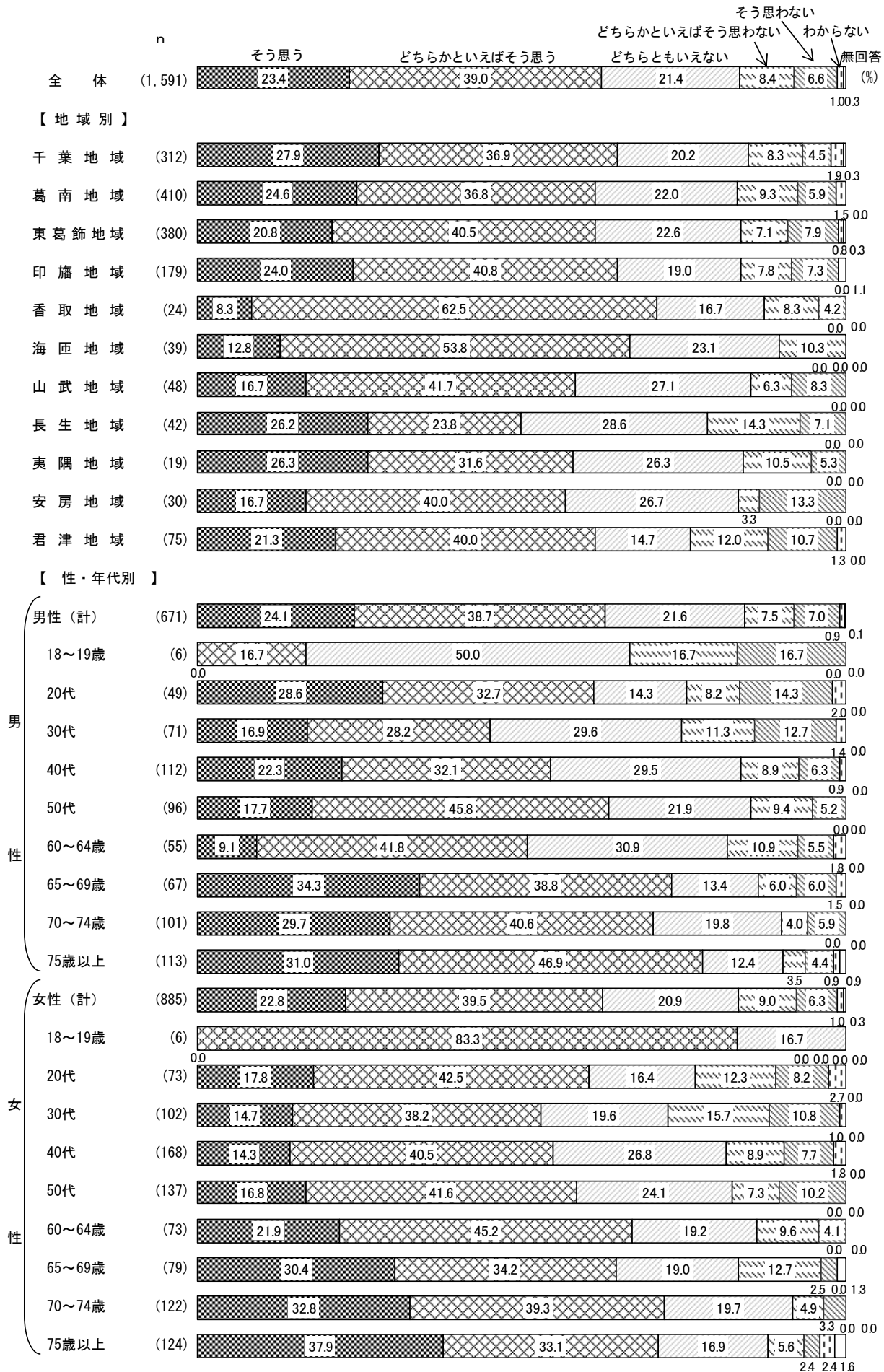
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表2-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は男性の75歳以上(77.9%)が約8割、女性の70～74歳(72.1%)と女性の75歳以上(71.0%)が7割を超えて高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は男性の30代(23.9%)と女性の30代(26.5%)が2割台半ばで高くなっている。(図表2-2)

＜図表２－２＞健康づくりへの取組状況／地域別、性・年代別

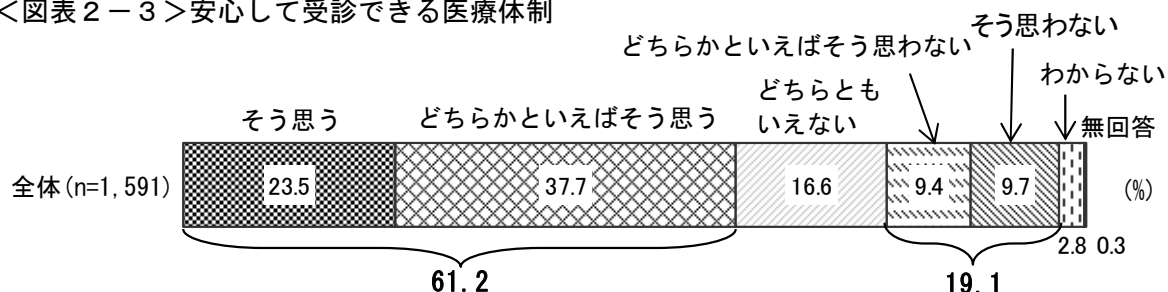


（２）安心して受診できる医療体制

◇『そう思う（計）』が６割を超える

問18 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。
（○は１つ）

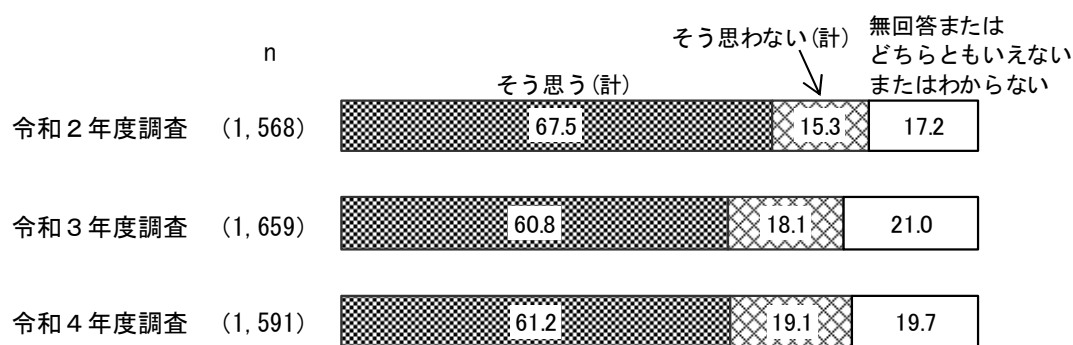
＜図表２－３＞安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（23.5%）と「どちらかといえばそう思う」（37.7%）を合わせた『そう思う（計）』（61.2%）が６割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（9.4%）と「そう思わない」（9.7%）を合わせた『そう思わない（計）』（19.1%）が約２割となっている。（図表２－３）

〔参考〕令和２年度・３年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

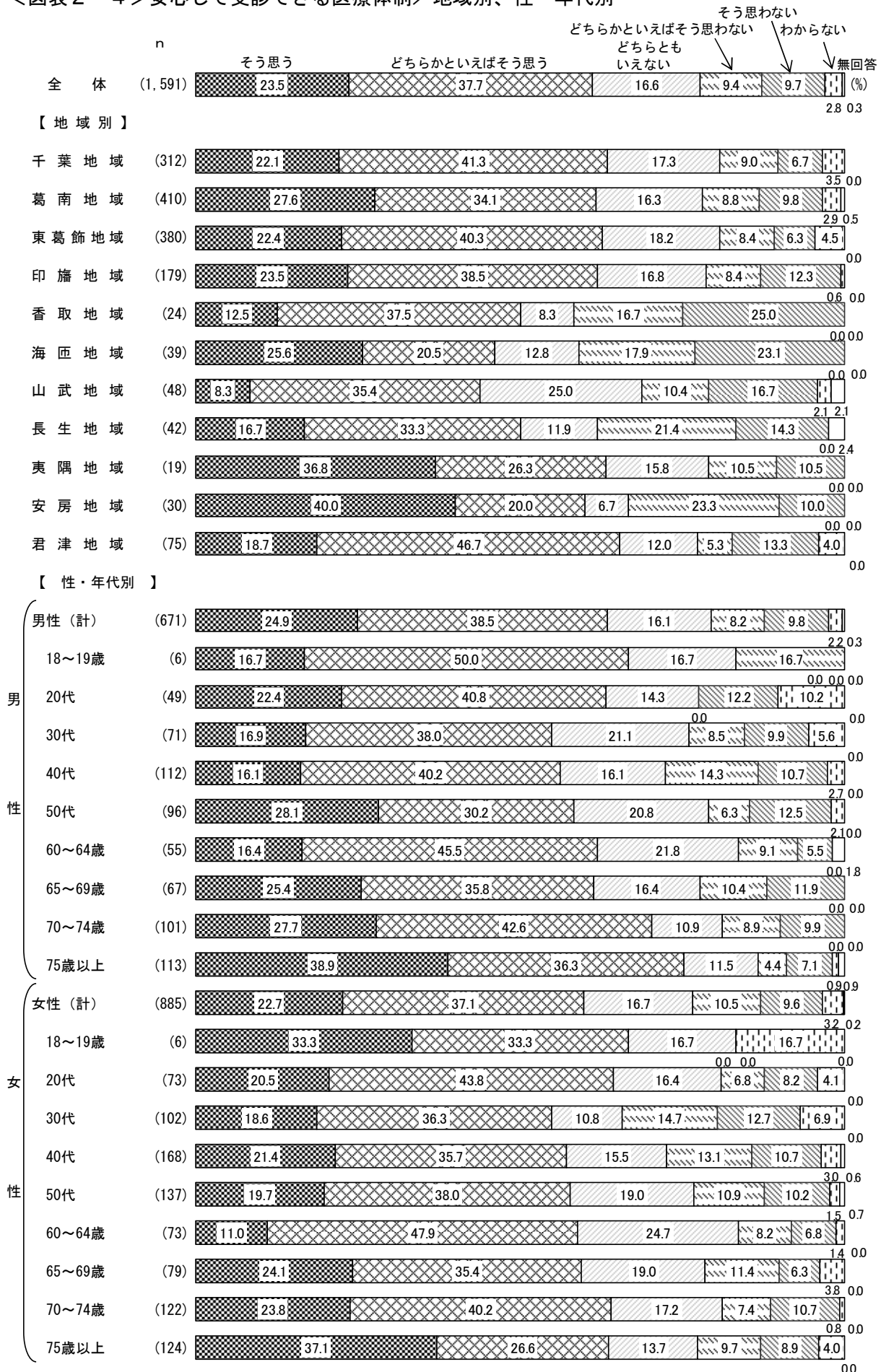
地域別にみると、『そう思わない（計）』は“海匝地域”（41.0%）が４割を超え、“長生地域”（35.7%）が３割台半ば、“安房地域”（33.3%）が３割を超えて高くなっている。（図表２－４）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は男性の75歳以上（75.2%）が７割台半ばで高くなっている。一方、『そう思わない（計）』は女性の30代（27.5%）が約３割で高くなっている。

（図表２－４）

<図表 2-4>安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別

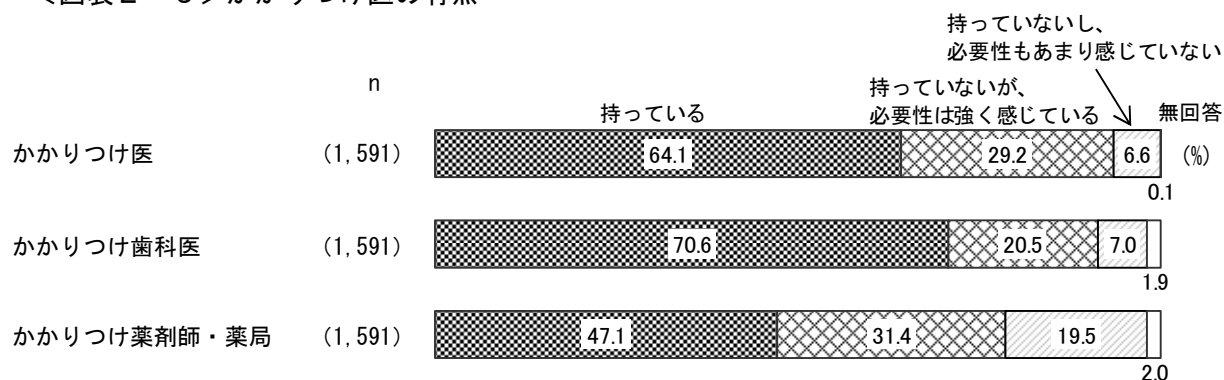


（３）かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を持っているが７割、かかりつけ医を持っているが６割台半ば

問19 「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬剤師・薬局」をお持ちですか。
（○はそれぞれ１つずつ）

＜図表２－５＞かかりつけ医の有無



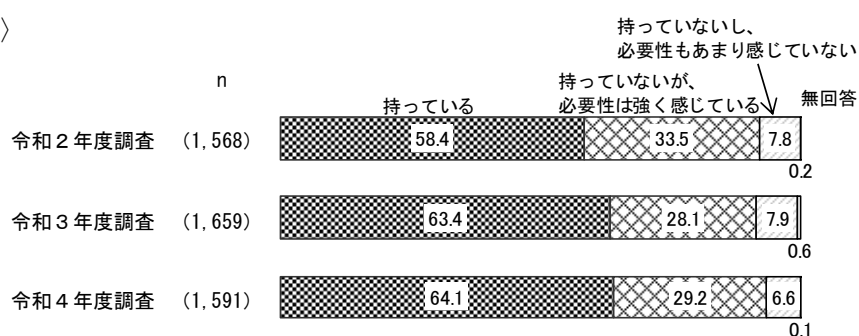
かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は〈かかりつけ歯科医〉（70.6%）が７割、〈かかりつけ医〉（64.1%）が６割台半ば、〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（47.1%）が約５割となっている。

また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（31.4%）が３割を超え、〈かかりつけ医〉（29.2%）が約３割、〈かかりつけ歯科医〉（20.5%）が２割となっている。

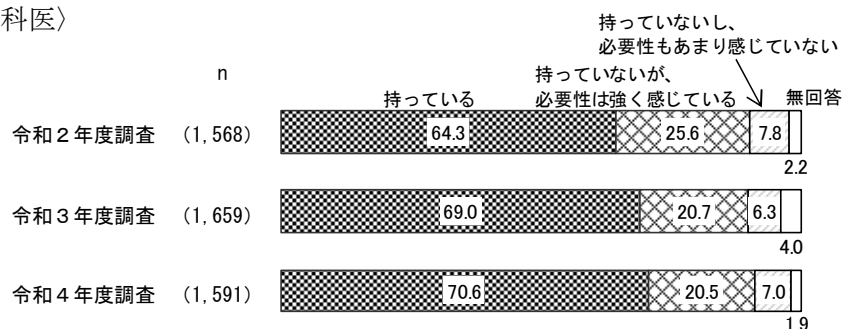
「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（19.5%）が約２割となっている。（図表２－５）

〔参考〕令和２年度・３年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

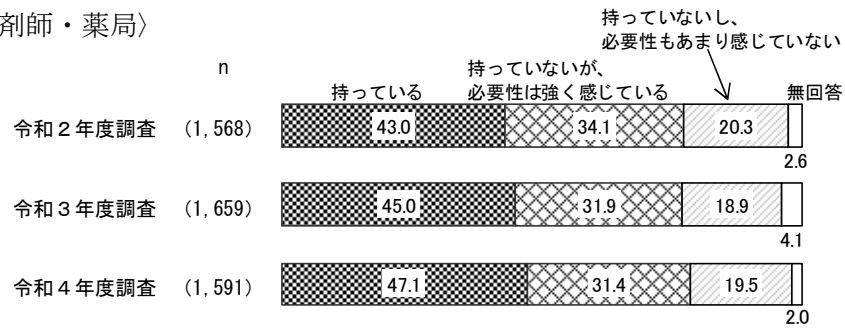
〈かかりつけ医〉



〈かかりつけ歯科医〉



〈かかりつけ薬剤師・薬局〉



【地域別】

地域別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っていないが、必要性は強く感じている」は“東葛飾地域”（33.9%）が3割台半ばで高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉については、大きな傾向の違いはみられない。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉については、大きな傾向の違いはみられない。（図表2－6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は男性の75歳以上（85.0%）が8割台半ば、女性の70～74歳（81.1%）と女性の75歳以上（82.3%）が8割を超え、男性の70～74歳（77.2%）と女性の65～69歳（78.5%）が約8割で高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は女性の40代（43.5%）が4割台半ば、男性の30代（40.8%）と男性の50代（40.6%）が4割で高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の20代（24.5%）が2割台半ば、男性の30代（21.1%）が2割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は女性の65～69歳（88.6%）が約9割、女性の70～74歳（78.7%）と女性の75歳以上（79.0%）が約8割で高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の20代（34.7%）が3割台半ば、男性の50代（30.2%）が3割、女性の30代（28.4%）が約3割で高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の20代（20.4%）が2割、男性の30代（18.3%）が約2割で高くなっている。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉を「持っている」は女性の65～69歳（70.9%）が7割、女性の70～74歳（68.0%）が約7割、女性の75歳以上（66.9%）が6割台半ば、男性の75歳以上（56.6%）が5割台半ばで高くなっている。

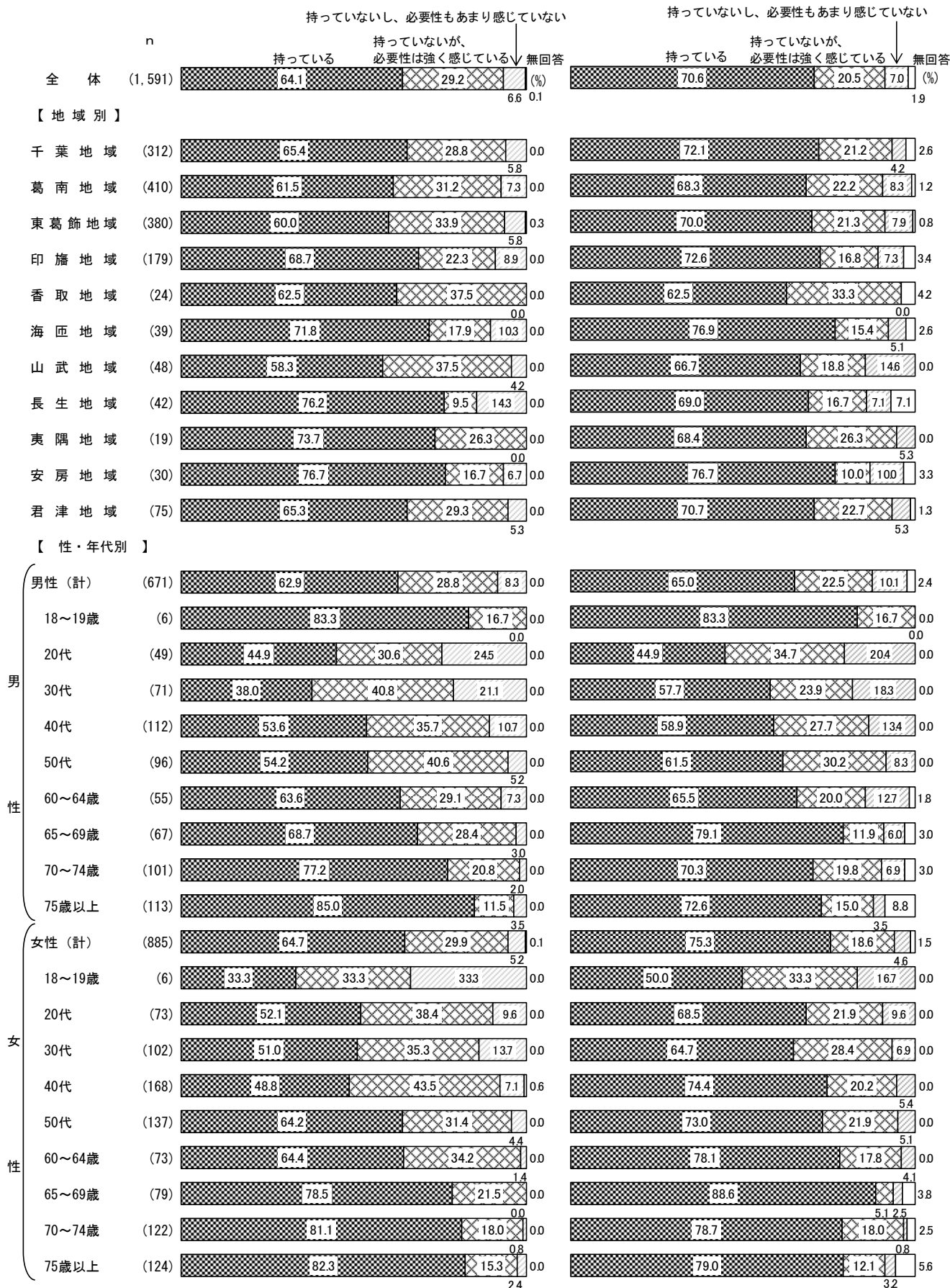
「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の50代（51.0%）が5割を超え、男性の30代（45.1%）と女性の20代（45.2%）が4割台半ばで高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の30代（35.2%）が3割台半ば、男性の20代（32.7%）が3割を超え、男性の40代（27.7%）と女性の20代（28.8%）が約3割、女性の40代（25.6%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2－6）

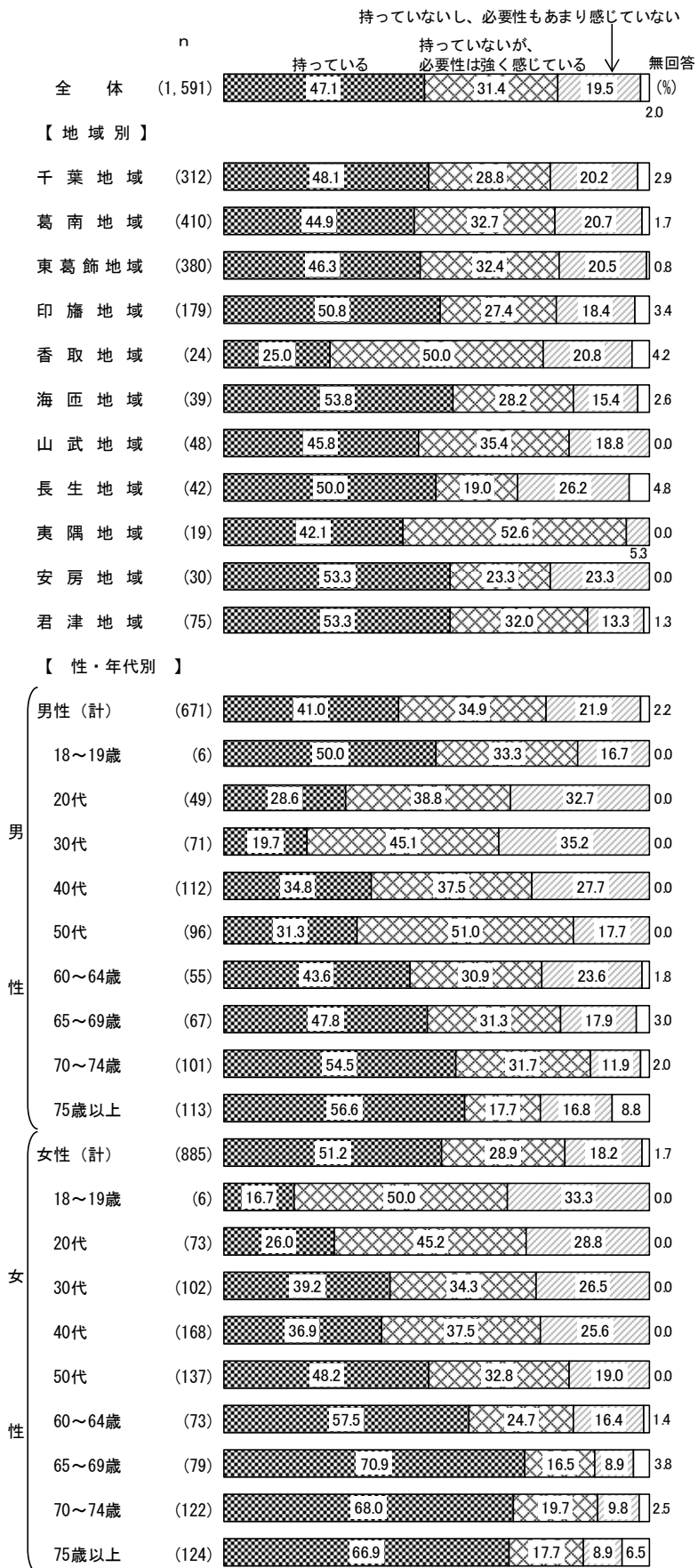
＜図表2－6＞かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別

〈かかりつけ医〉

〈かかりつけ歯科医〉



〈かかりつけ薬剤師・薬局〉



3 福祉について

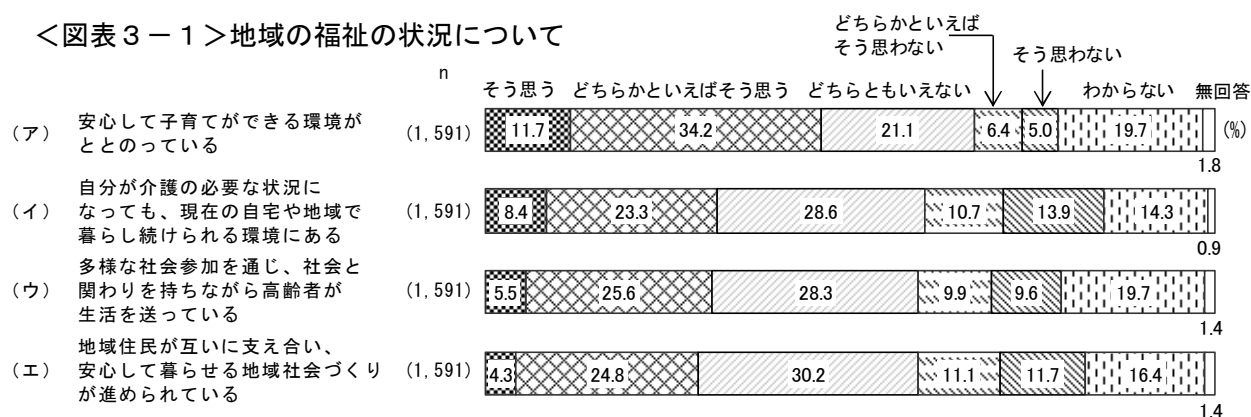
（１）地域の福祉の状況について

◇『そう思う（計）』が最も高いのは＜安心して子育てができる環境がととのっている＞で４割台半ば

問20 以下について、お住まいの地域はどのような状況だと思いますか。

（○はそれぞれ１つずつ）

＜図表３－１＞地域の福祉の状況について



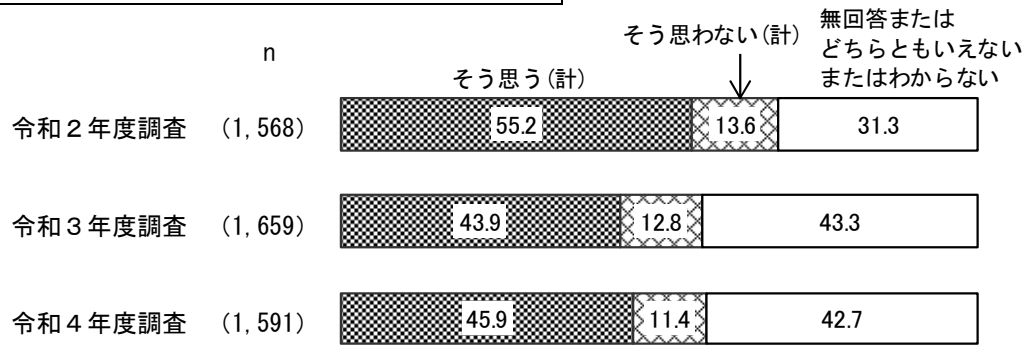
地域の福祉の状況に関する４項目について、お住まいの地域がどのような状況か聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』が最も高いのは、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」(45.9%)で４割台半ばとなっており、以下、「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」(31.6%)と「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」(31.1%)が３割を超えて続く。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』が最も高いのは、「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」(24.6%)で２割台半ばとなっており、以下、「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」(22.8%)が２割を超え、「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」(19.5%)が約２割で続く。

（図表３－１）

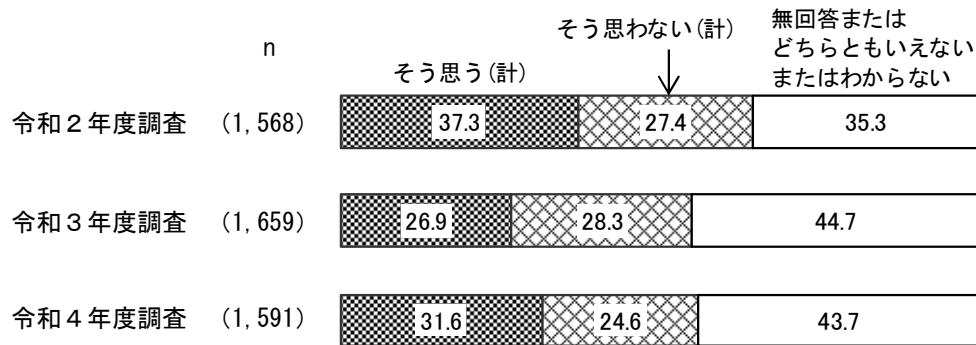
〔参考〕 令和２年度・３年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

安心して子育てができる環境がととのっている



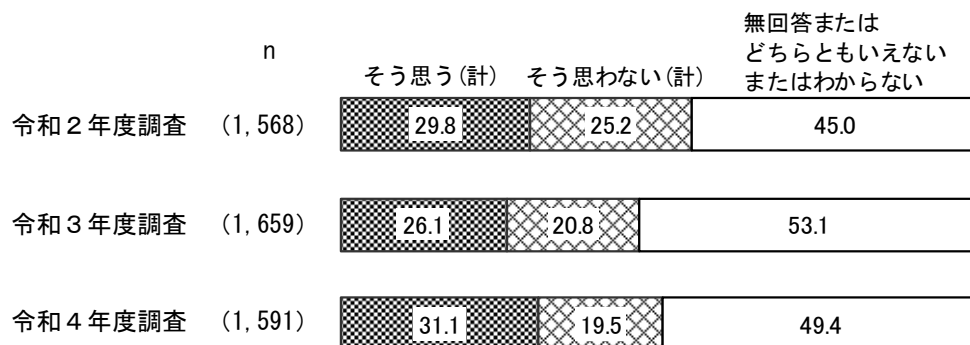
(※) 令和２年度調査で、「あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。子育て中の方は自身のことをお答えください。お子さんがいらっしゃる方や、すでに子育てを終えられた方は、ご家族や近所の方など、身の回りの子育て世代を想定してお答えください。(○は１つ)」と質問した結果を参考を示した。

自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある



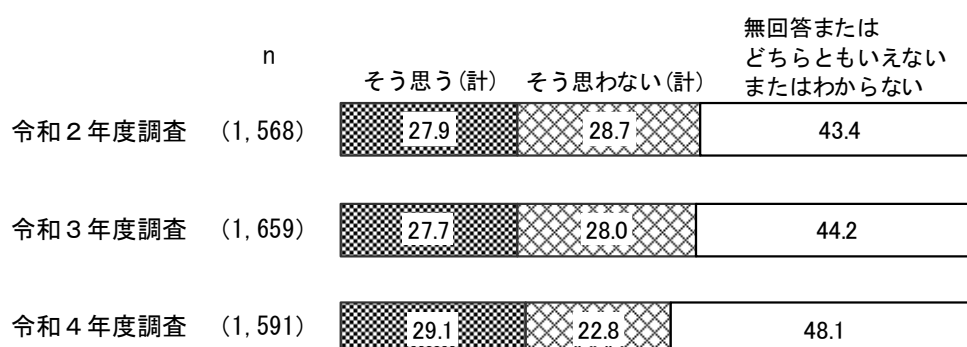
(※) 令和２年度調査で、「あなたは、自分が介護の必要な状況になっても、現在お住まいの自宅や地域で暮らし続けられると思いますか。(○は１つ)」と質問した結果を参考を示した。

多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている



(※) 令和２年度調査で、「あなたは、千葉県に住む高齢者が多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら生活を送っていると思いますか。若年層の方は、ご家族や近所の方など、身の回りの高齢者を想定してお答えください。(○は１つ)」と質問した結果を参考を示した。

地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている



【地域別】

地域別にみると、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」の『そう思う(計)』は“印旛地域”(55.9%)が5割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は“安房地域”(33.3%)が3割を超え、“海匝地域”(25.6%)が2割台半ばで高くなっている。

「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」の『そう思わない(計)』は“海匝地域”(41.0%)が4割を超え、“長生地域”(40.5%)が4割で高くなっている。

「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」では大きな傾向の違いは見られない。

「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」では大きな傾向の違いは見られない。(図表3-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」の『そう思う(計)』は男性の40代(57.1%)が約6割で高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は男性の20代(26.5%)が2割台半ば、女性の30代(19.6%)が約2割で高くなっている。

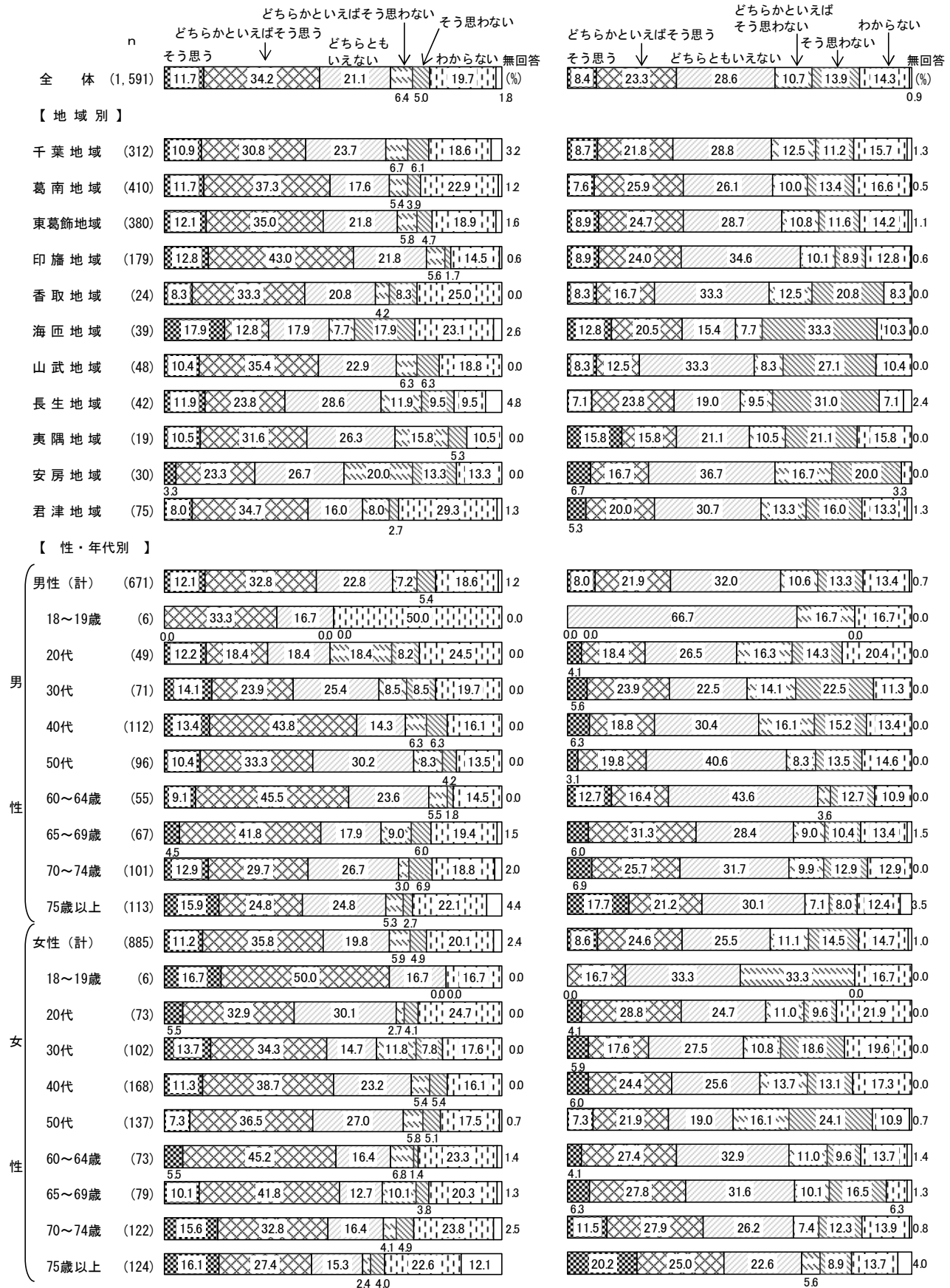
「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」の『そう思う(計)』は女性の75歳以上(45.2%)が4割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は女性の50代(40.1%)が4割、男性の30代(36.6%)が3割台半ばで高くなっている。

「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」では大きな傾向の違いは見られない。

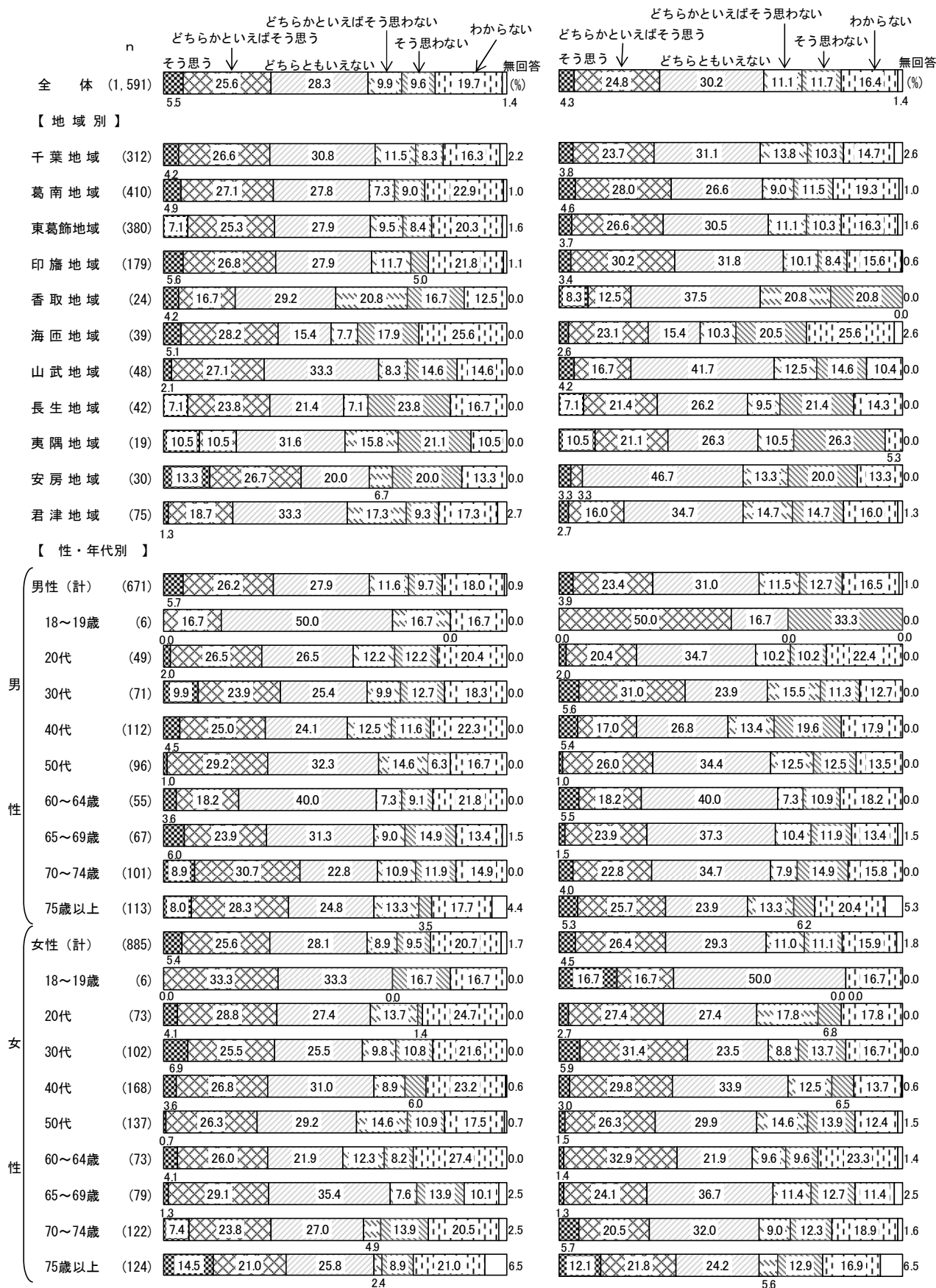
「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」の『そう思わない(計)』は男性の40代(33.0%)が3割を超えて高くなっている。(図表3-2)

<図表 3-2>地域の福祉の状況について／地域別、性・年代別

(ア) 安心して子育てができる
環境がととのっている(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、
現在の自宅や地域で暮らし続けられる
環境にある

(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを
持ちながら高齢者が生活を送っている

(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して
暮らせる地域社会づくりが進められて
いる

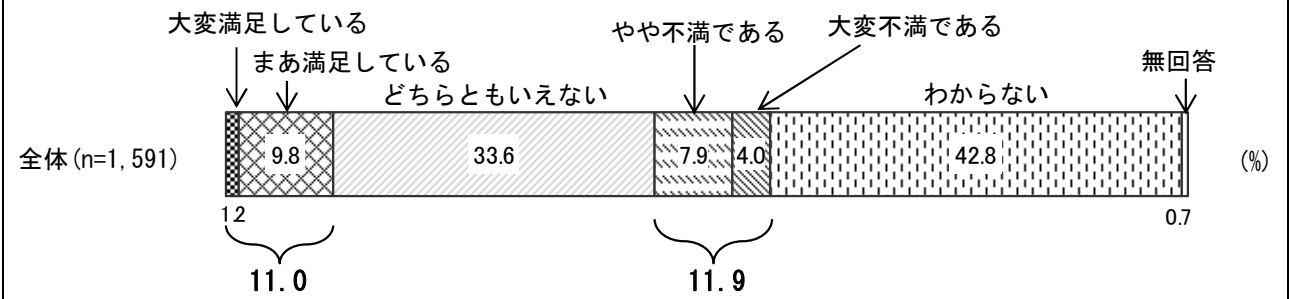


（２）お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

◇『そう思う（計）』が１割を超える

問21 あなたは、県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」についてどうお感じですか。（○は１つ）

＜図表３－３＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について



県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（1.2％）と「まあ満足している」（9.8％）を合わせた『満足している（計）』（11.0％）が１割を超えている。

一方、「やや不満である」（7.9％）と「大変不満である」（4.0％）を合わせた『不満である（計）』（11.9％）が１割を超えている。

また、「どちらともいえない」（33.6％）が３割台半ばとなっている。（図表３－３）

【地域別】

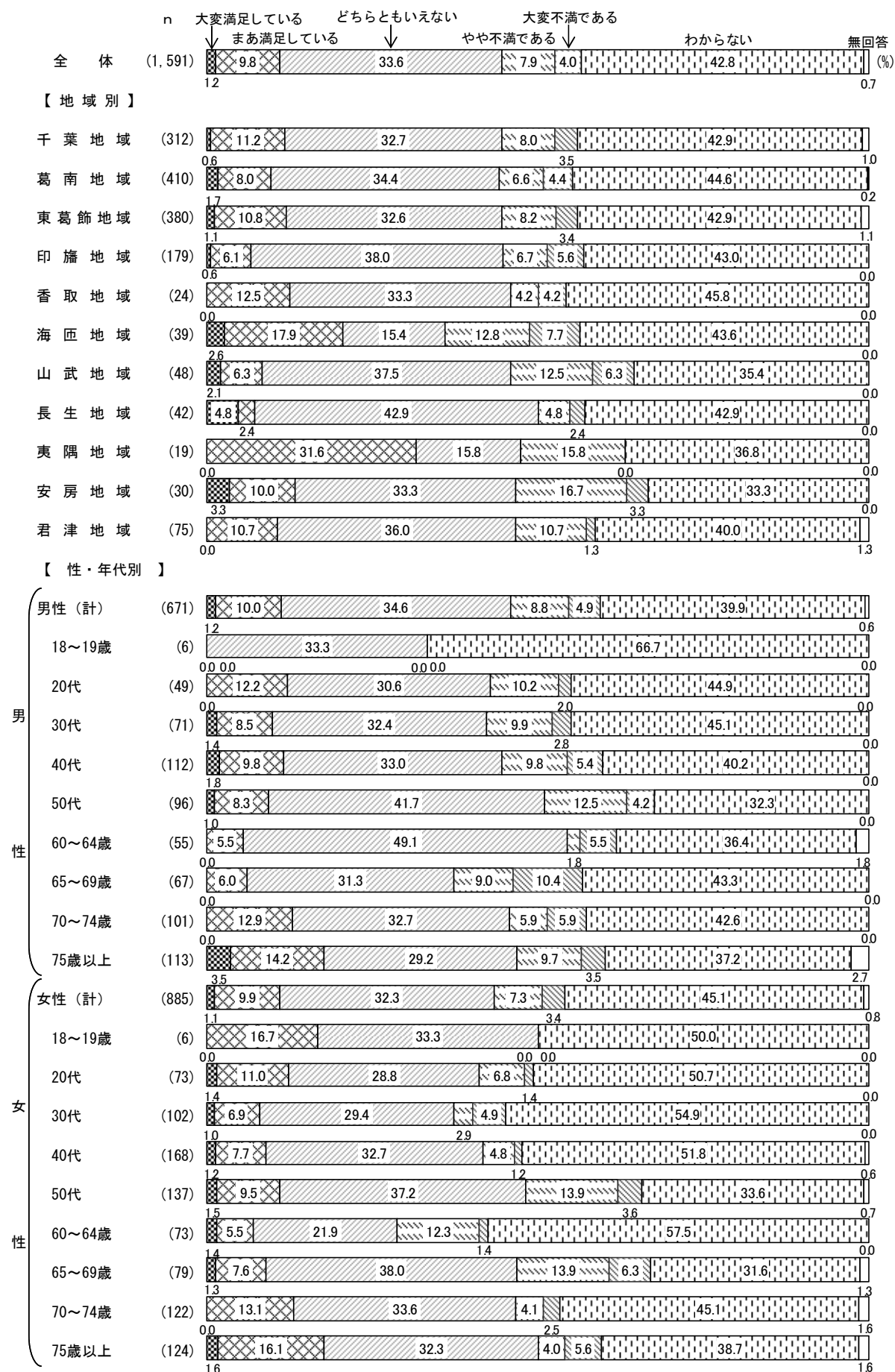
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表３－４）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は男性の75歳以上（17.7％）と女性の75歳以上（17.7％）が約２割で高くなっている。

一方、『不満である（計）』は女性の65～69歳（20.3％）が２割、女性の50代（17.5％）が約２割で高くなっている。（図表３－４）

＜図表3－4＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について／地域別、性・年代別

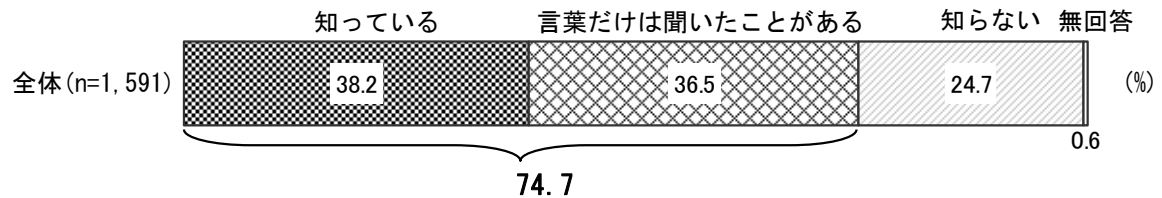


（３）「共生社会」の認知度

◇『聞いたことがある（計）』が7割台半ば

問22 障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、
支え合って暮らす「共生社会」という考え方を知っていますか。（○は1つ）

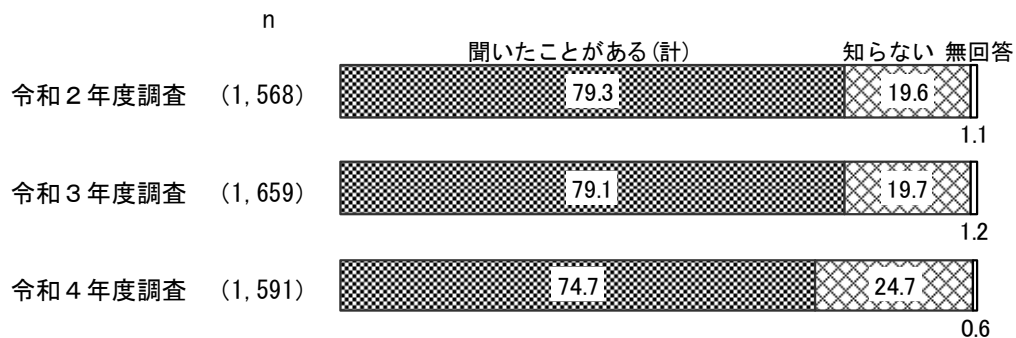
＜図表 3－5＞「共生社会」の認知度



「共生社会」という考え方を知っているか聞いたところ、「知っている」（38.2％）と「言葉だけは聞いたことがある」（36.5％）を合わせた『聞いたことがある（計）』（74.7％）が7割台半ばとなっている。

一方、「知らない」（24.7％）が2割台半ばとなっている。（図表 3－5）

〔参考〕 令和2年度・3年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

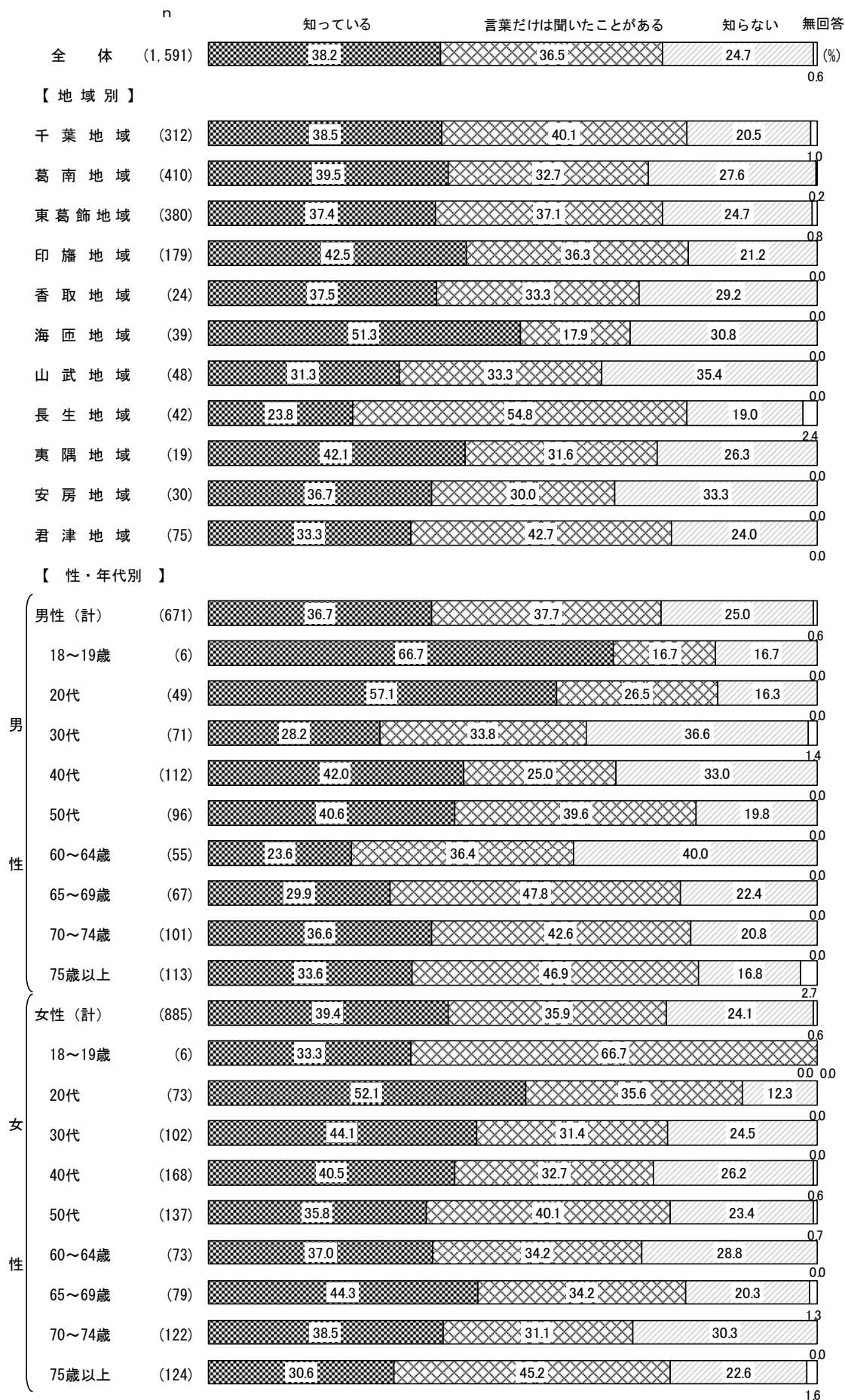
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表 3－6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『聞いたことがある（計）』は女性の20代（87.7％）が約9割で高くなっている。

一方、「知らない」は男性の60～64歳（40.0％）が4割、男性の30代（36.6％）が3割台半ば、男性の40代（33.0％）が3割を超えて高くなっている。（図表 3－6）

＜図表3－6＞「共生社会」の認知度／地域別、性・年代別



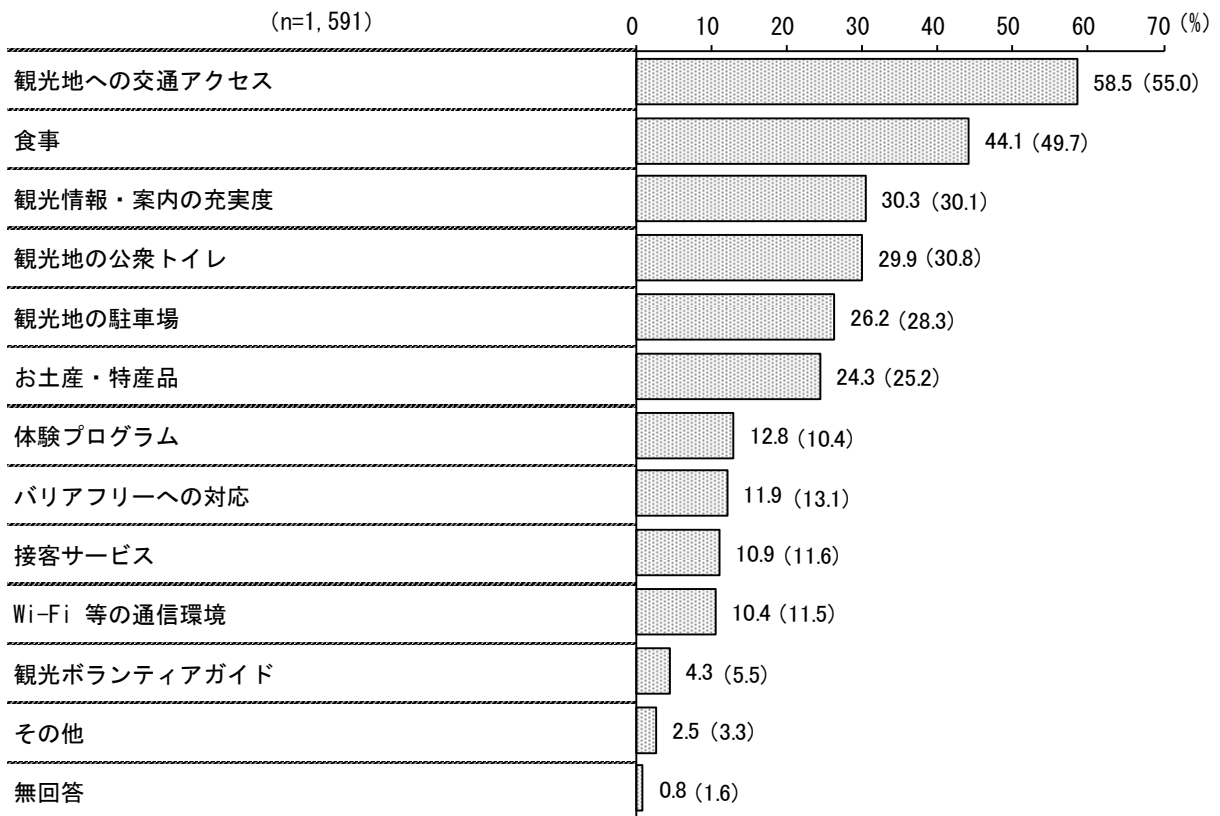
4 観光について

（１）県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと

◇「観光地への交通アクセス」が約６割

問23 千葉県内を旅行する場合、より快適な旅行をするためには、特に何が充実してほしいですか。（○は３つまで）

＜図表４－１＞県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと（３つまでの複数回答）



注）（ ）の数字は令和３年度の同様の項目による調査結果 n = 1,659

千葉県内を旅行する場合、より快適な旅行をするためには、特に何が充実してほしいか聞いたところ、「観光地への交通アクセス」（58.5%）が約６割で最も高く、以下、「食事」（44.1%）、「観光情報・案内の充実度」（30.3%）、「観光地の公衆トイレ」（29.9%）が続く。（図表４－１）

【地域別】

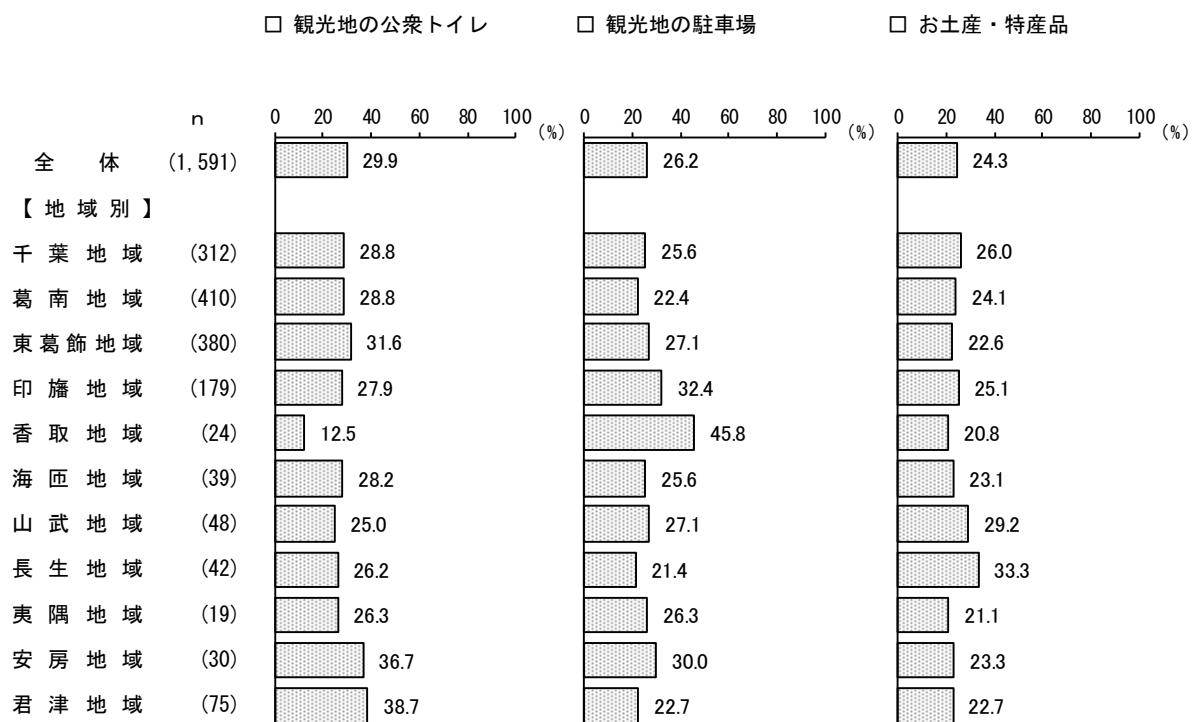
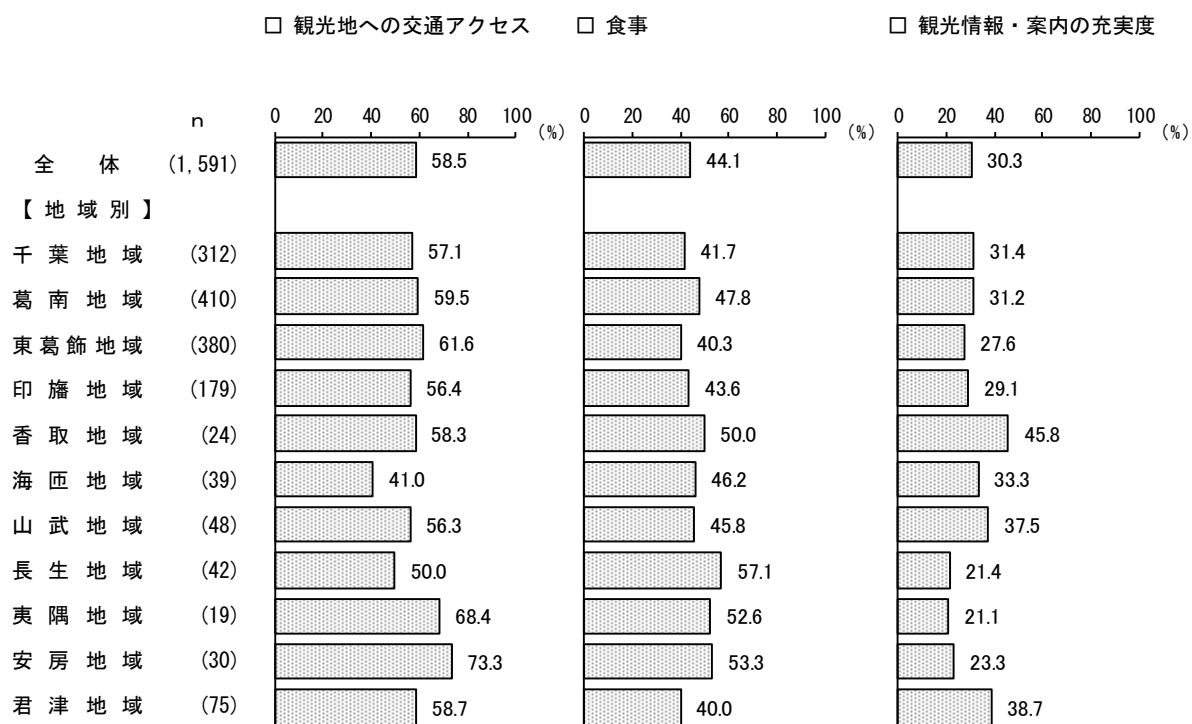
地域別にみると、「観光地の駐車場」は“印旛地域”（32.4%）が３割を超えて高くなっている。
（図表４－２）

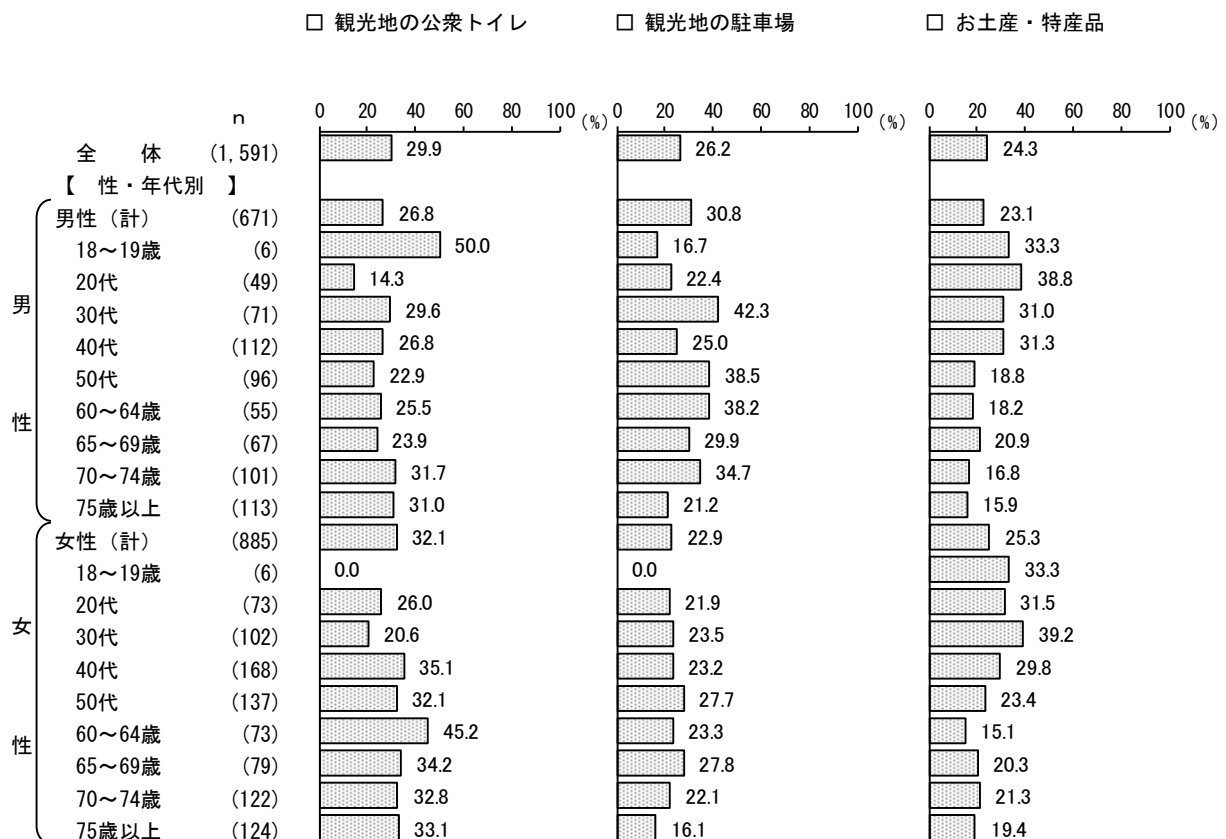
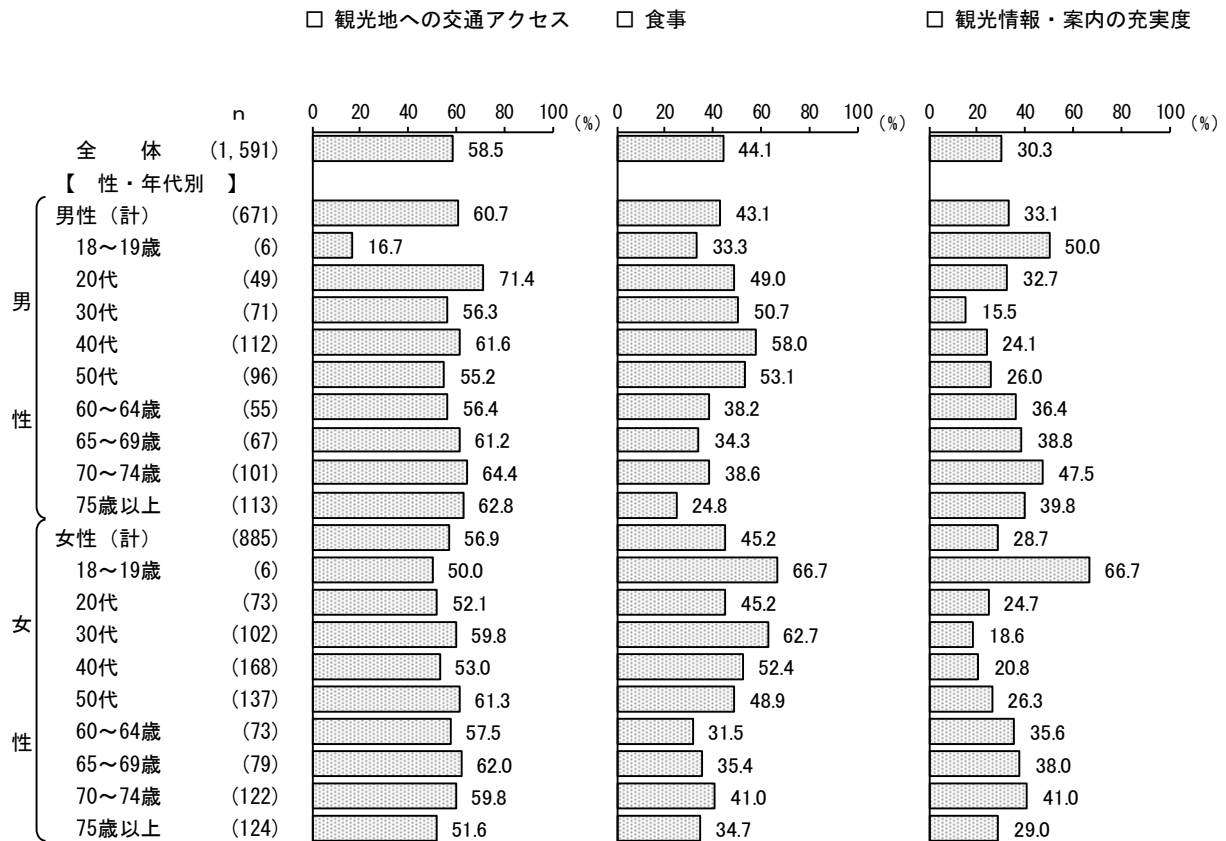
【性・年代別】

性・年代別にみると、「食事」は女性の30代（62.7%）が６割を超え、男性の40代（58.0%）が約６割、女性の40代（52.4%）が５割を超えて高くなっている。

「観光情報・案内の充実度」は男性の70～74歳（47.5%）が約５割、女性の70～74歳（41.0%）が４割を超え、男性の75歳以上（39.8%）が約４割で高くなっている。（図表４－２）

＜図表4－2＞県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと（3つまでの複数回答）／
地域別、性・年代別（上位6項目）





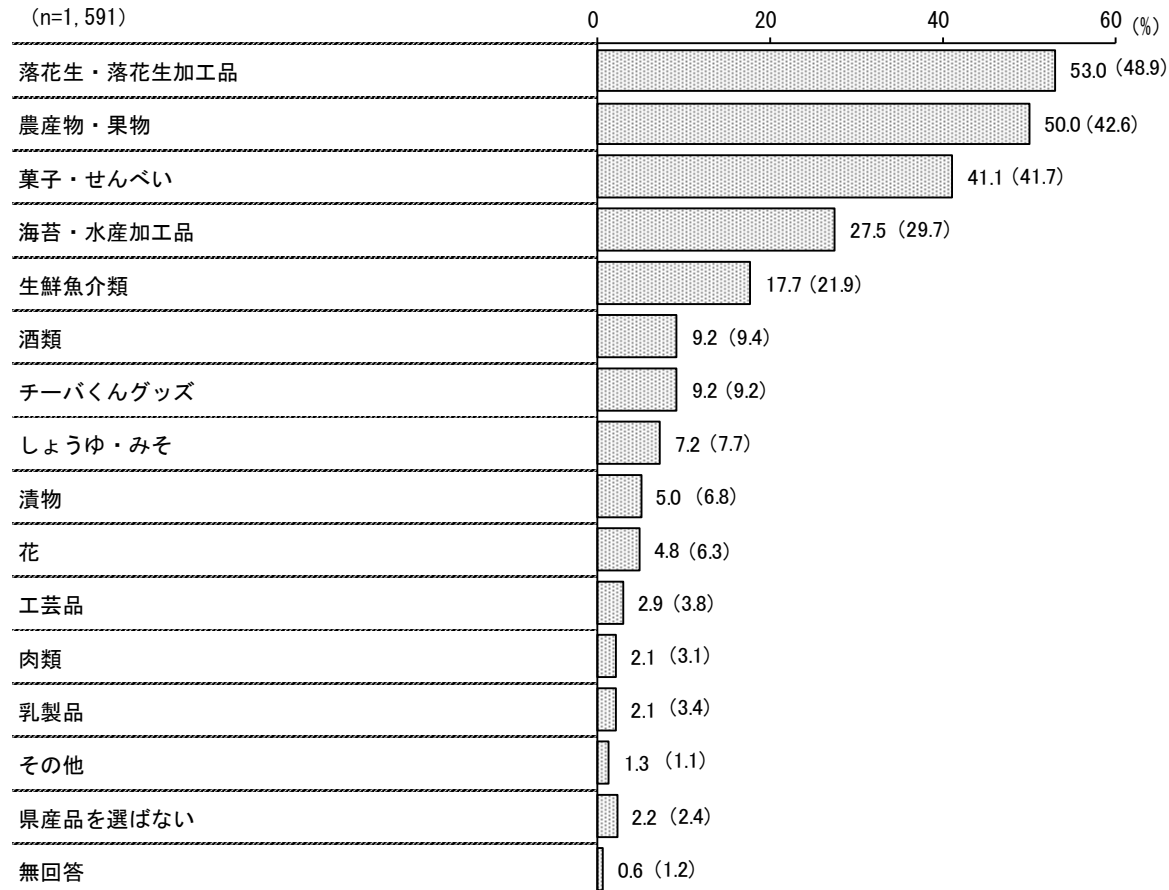
（２）お土産や贈答品として選ぶ県産品

◇「落花生・落花生加工品」が５割を超える

問24 県産品をお土産や贈答品とする場合、何を選びますか。（○は３つまで）

＜図表４－３＞お土産や贈答品として選ぶ県産品（３つまでの複数回答）

(n=1,591)



注) () の数字は令和３年度の同様の項目による調査結果 n=1,659

県産品をお土産や贈答品とする場合、何を選ぶか３つまで選んでもらったところ、「落花生・落花生加工品」(53.0%) が５割を超えて最も高く、以下、「農産物・果物」(50.0%)、「菓子・せんべい」(41.1%)、「海苔・水産加工品」(27.5%) が続く。(図表４－３)

【地域別】

地域別にみると、「落花生・落花生加工品」は“印旛地域”(66.5%) が６割台半ば、“千葉地域”(60.3%) が６割で高くなっている。

「農産物・果物」は“印旛地域”(57.0%) が約６割で高くなっている。

「菓子・せんべい」は“千葉地域”(48.1%) が約５割で高くなっている。(図表４－４)

【性・年代別】

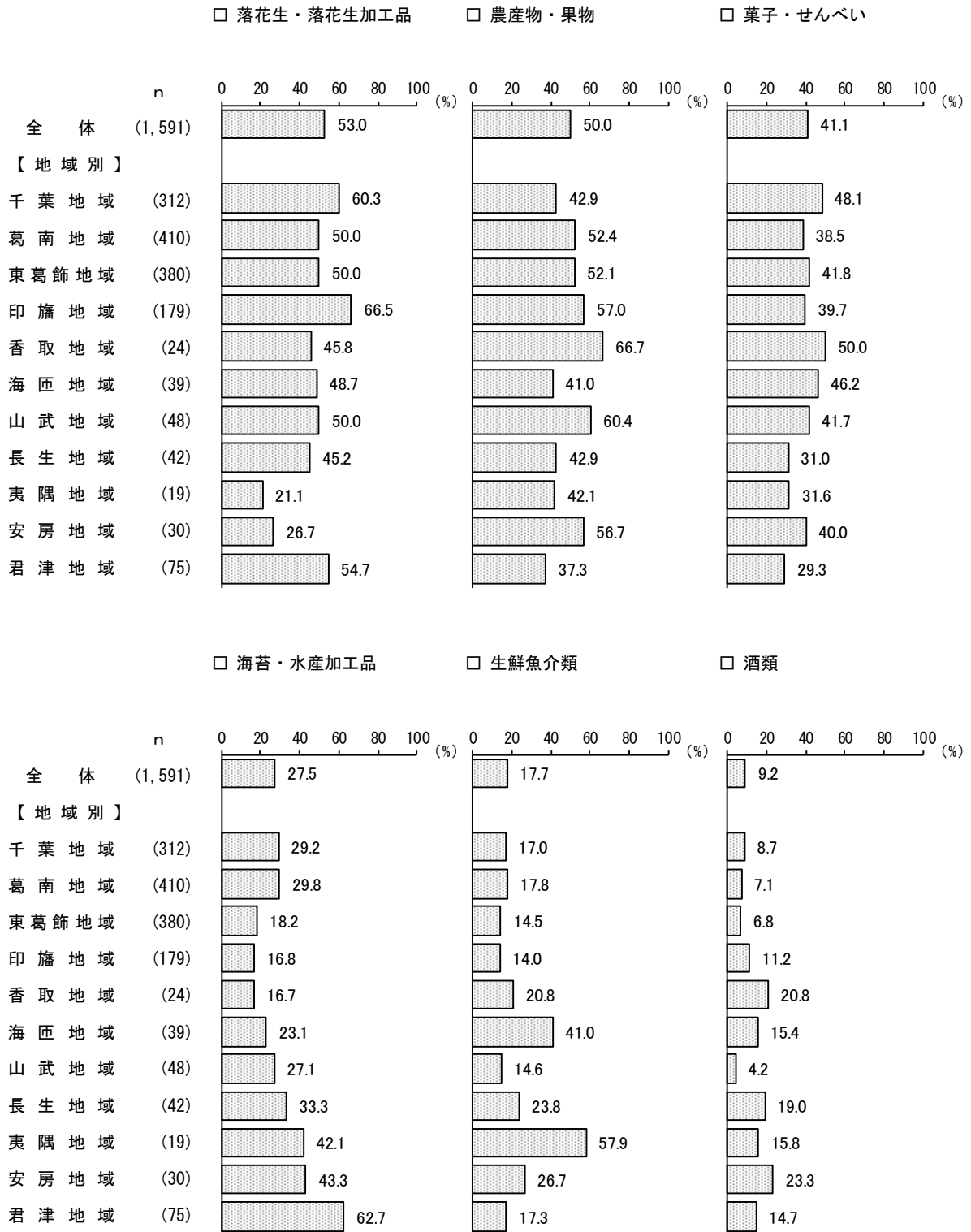
性・年代別にみると、「落花生・落花生加工品」は女性の60～64歳(67.1%) が約７割で高くなっている。

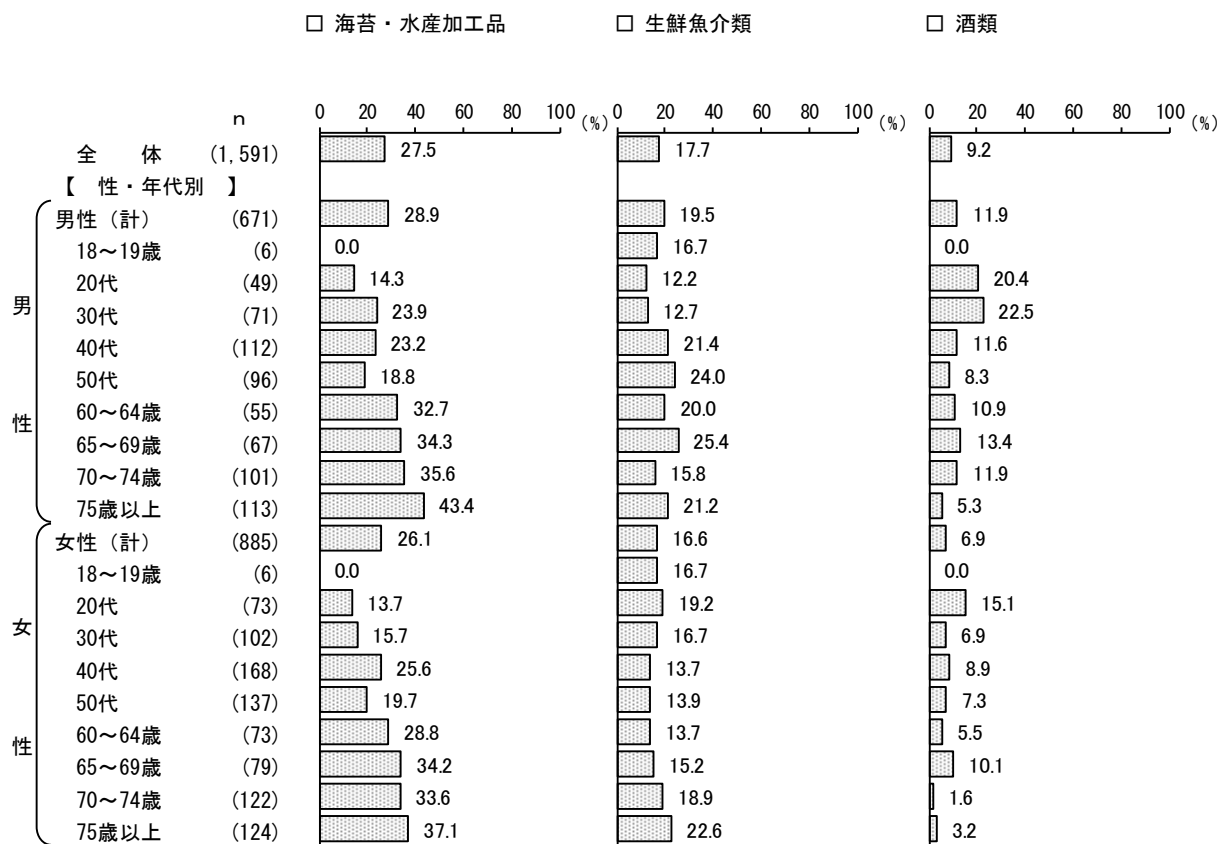
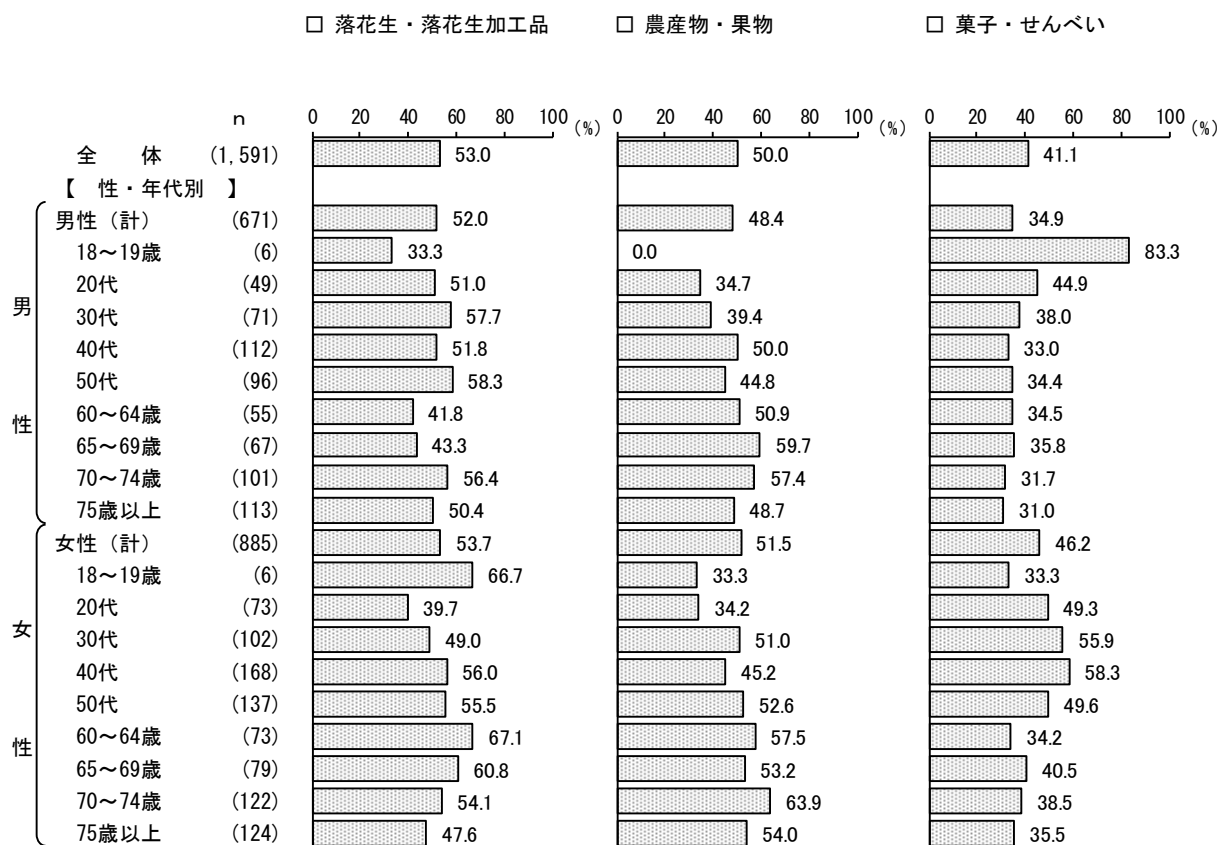
「農産物・果物」は女性の70～74歳(63.9%) が６割台半ばで高くなっている。

「菓子・せんべい」は女性の40代（58.3%）が約6割、女性の30代（55.9%）が5割台半ば、女性の50代（49.6%）が約5割で高くなっている。（図表4-4）

＜図表４－４＞お土産や贈答品として選ぶ県産品（３つまでの複数回答）／

地域別、性・年代別（上位6項目）

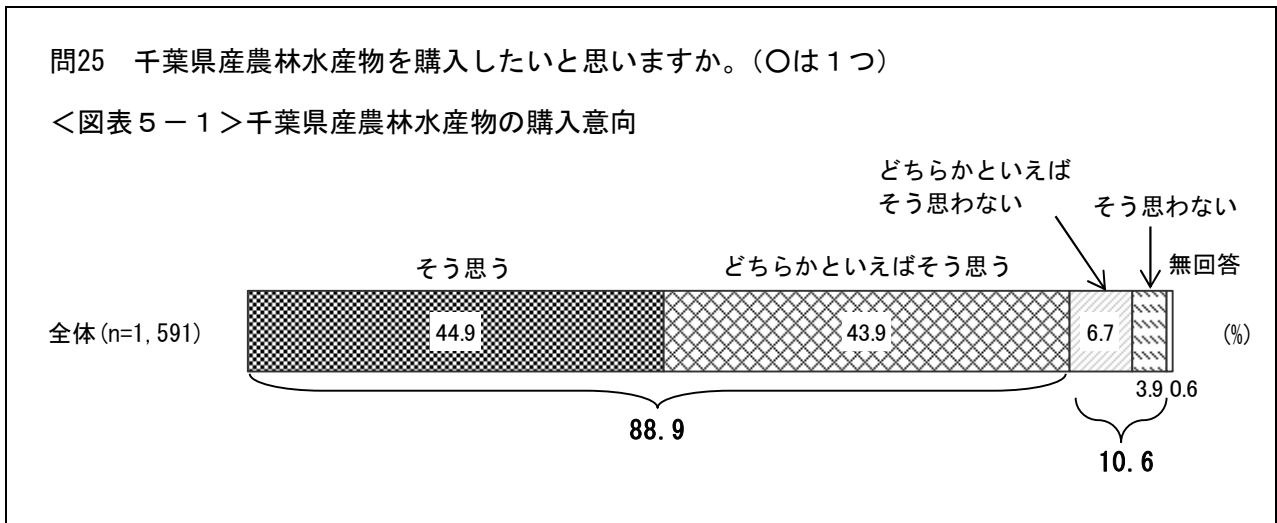




5 県の農林水産物について

（１）千葉県産農林水産物の購入意向

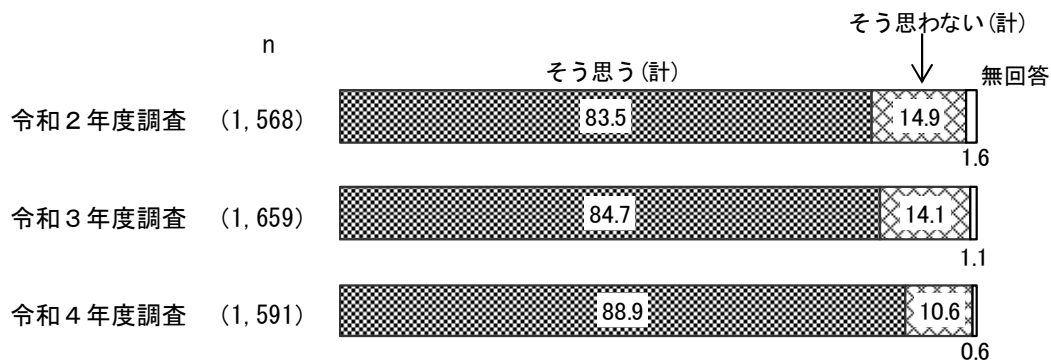
◇『そう思う（計）』が約９割



千葉県産農林水産物を購入したいと思うか聞いたところ、「そう思う」（44.9%）と「どちらかといえばそう思う」（43.9%）を合わせた『そう思う（計）』（88.9%）が約９割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（6.7%）と「そう思わない」（3.9%）を合わせた『そう思わない（計）』（10.6%）は１割となっている。（図表５－１）

〔参考〕令和２年度・３年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



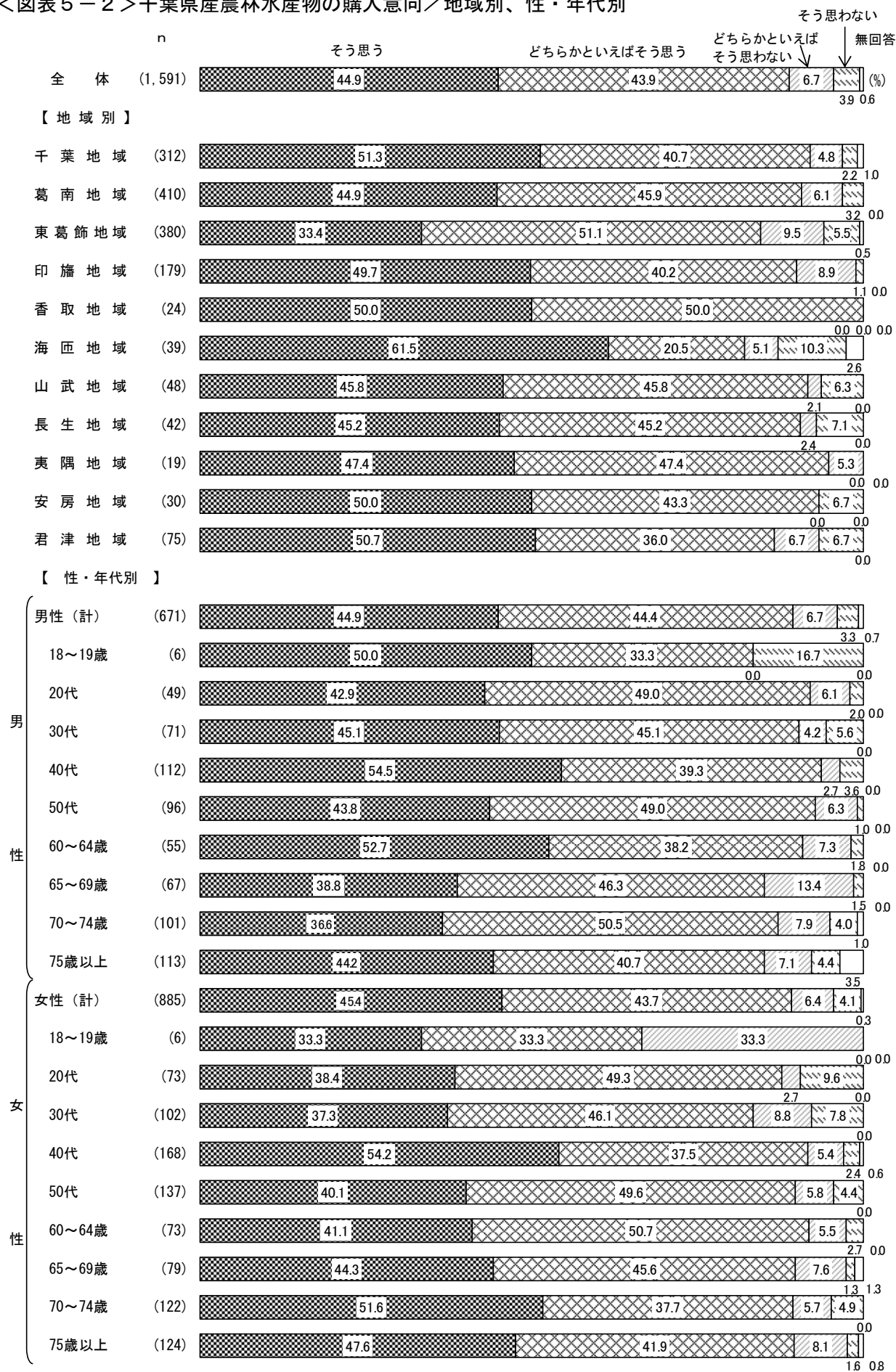
【地域別】

地域別にみると、『そう思わない（計）』は“東葛飾地域”（15.0%）が１割台半ばで高くなっている。（図表５－２）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思わない（計）』は女性の30代（16.7%）が１割台半ばで高くなっている。（図表５－２）

＜図表 5－2＞千葉県産農林水産物の購入意向／地域別、性・年代別



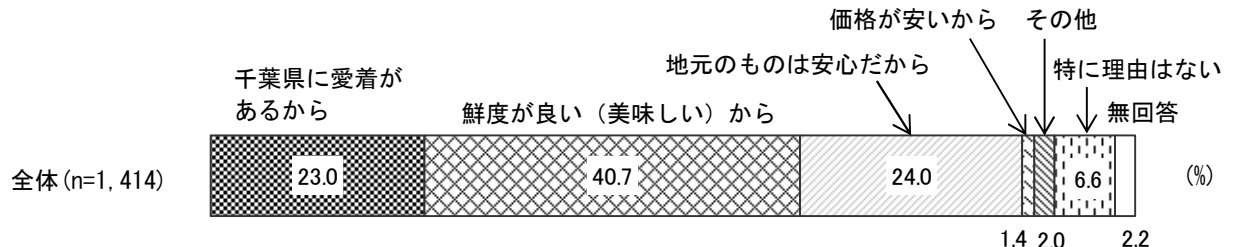
（１－１）千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由

◇「鮮度が良い（美味しい）から」が４割

（問25で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のいずれかをお答えの方に）

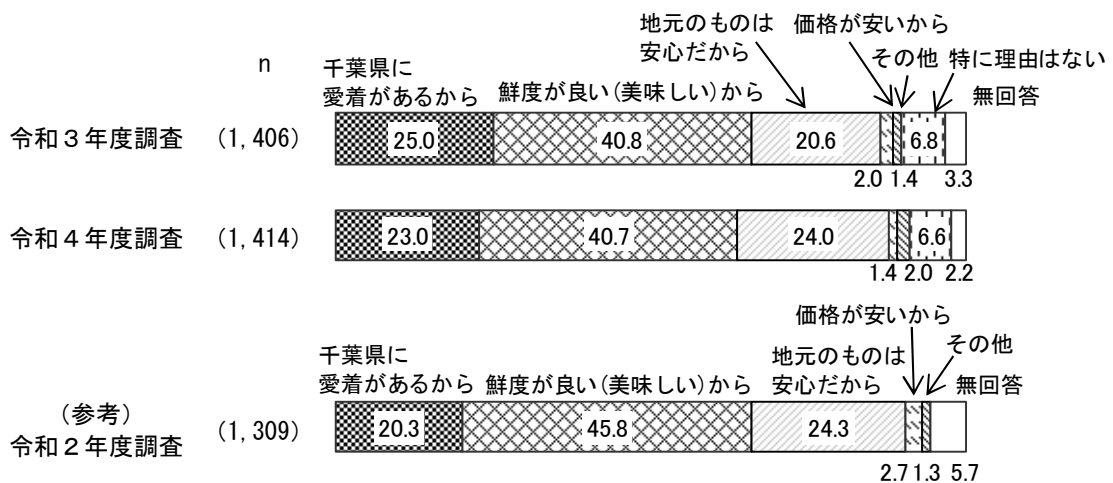
問25－１ その主な理由は何ですか。（○は１つ）

＜図表５－３＞千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由



千葉県産農林水産物を購入したいと回答した1,414人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「鮮度が良い（美味しい）から」（40.7%）が４割で最も高く、以下、「地元のものは安心だから」（24.0%）、「千葉県に愛着があるから」（23.0%）が続く。（図表５－３）

〔参考〕令和２年度・３年度の同様及び類似の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表５－４）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「鮮度が良い（美味しい）から」は女性の50代（57.7%）が約６割で高くなっている。

「地元のものは安心だから」は女性75歳以上（40.5%）が４割、女性の70～74歳（39.4%）が約４割、女性の65～69歳（33.8%）が３割台半ばで高くなっている。

「千葉県に愛着があるから」は男性の30代（34.4%）が３割台半ば、男性の40代（32.4%）が３割を超えて高くなっている。（図表５－４）

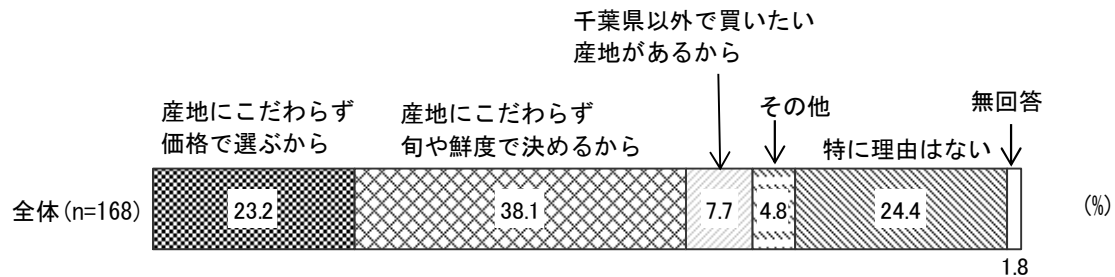
（１－２）千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由

◇「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」が約４割

（問25で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」のいずれかをお答えの方に）

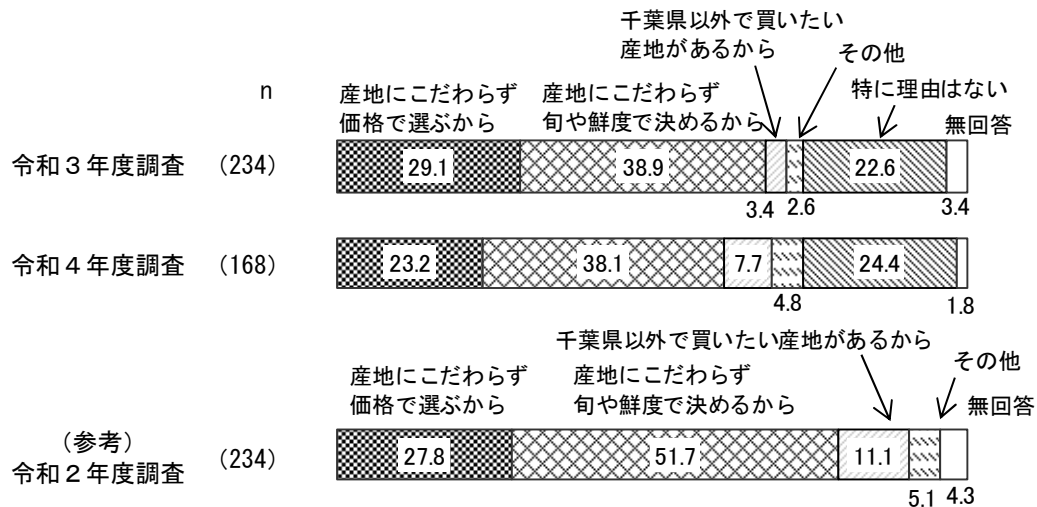
問25－２ その主な理由は何ですか。（○は１つ）

＜図表５－５＞千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由



千葉県産農林水産物を購入したいと思わないと回答した168人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」（38.1%）が約４割で最も高く、以下、「産地にこだわらず価格で選ぶから」（23.2%）、「千葉県以外で買いたい産地があるから」（7.7%）が続く。一方、「特に理由はない」（24.4%）が２割台半ばとなっている。（図表５－５）

〔参考〕令和２年度・３年度の同様及び類似の項目による調査結果との比較（単位：％）

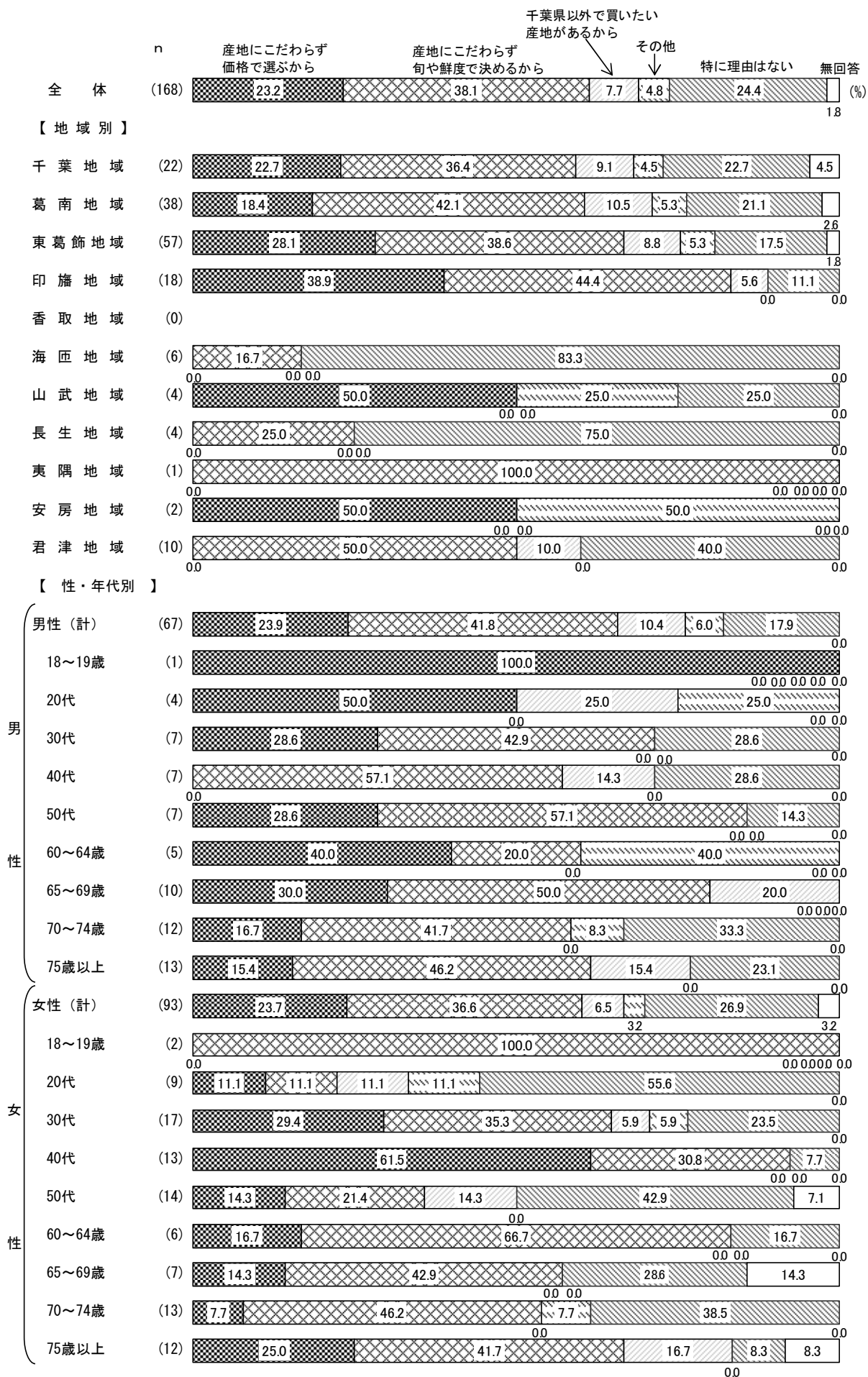


※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

(８ページ「報告書の見方（５）」を参照)

(図表５－６)

[参考] <図表5-6> 千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由／地域別、性・年代別



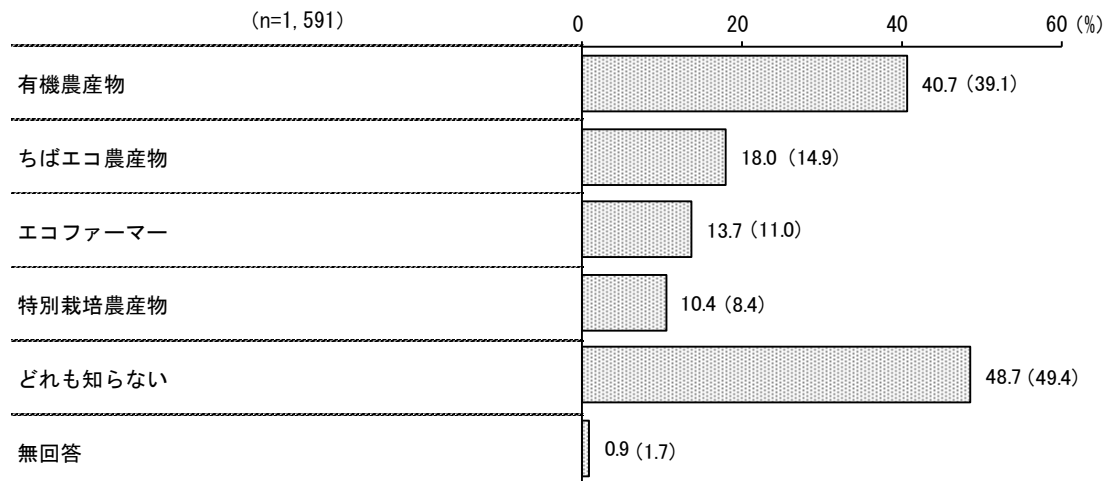
（２）環境にやさしい農産物や制度の認知度

◇「有機農産物」が４割

問26 千葉県では、農薬や化学肥料をできるだけ減らすなど、「環境にやさしい農業に取り組む農業者」や「環境にやさしい農産物」についての認証制度を設けています。次の農産物や制度を知っていますか。（○はいくつでも）

- ※「ちばエコ農産物」：県の基準に基づき化学肥料・化学合成農薬の使用を通常の５割以下で栽培し、県が認証した農産物
- 「有機農産物」：「有機農産物の日本農林規格」に基づき生産された農産物。化学肥料・化学合成農薬を使用しないこと、遺伝子組換え技術を利用しないことなどを基本として生産されたことを国の登録認証機関が認証する
- 「特別栽培農産物」：国のガイドラインに基づき化学肥料・化学合成農薬の使用を通常の５割以下に減らして栽培し、生産者が定める責任者が確認した農産物
- 「エコファーマー」：「持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律」に基づき、たい肥等による土づくり、化学肥料・化学合成農薬の使用低減技術に取り組む栽培計画を立て、県が認定した農業者

＜図表５－７＞環境にやさしい農産物や制度の認知度（複数回答）



注）（ ）の数字は令和３年度の同様の項目による調査結果 n = 1,659

農薬や化学肥料の使用量の低減などに取り組む農業者・農産物や認証する制度を聞いたことがあるか聞いたところ、「有機農産物」（40.7％）が４割で最も高く、以下、「ちばエコ農産物」（18.0％）、「エコファーマー」（13.7％）、「特別栽培農産物」（10.4％）が続く。（図表５－７）

【地域別】

地域別にみると、「有機農産物」は“山武地域”（56.3％）が５割台半ばで高くなっている。

「ちばエコ農産物」は“長生地域”（38.1％）が約４割で高くなっている。

「エコファーマー」は“印旛地域”（20.1％）が２割で高くなっている。（図表５－８）

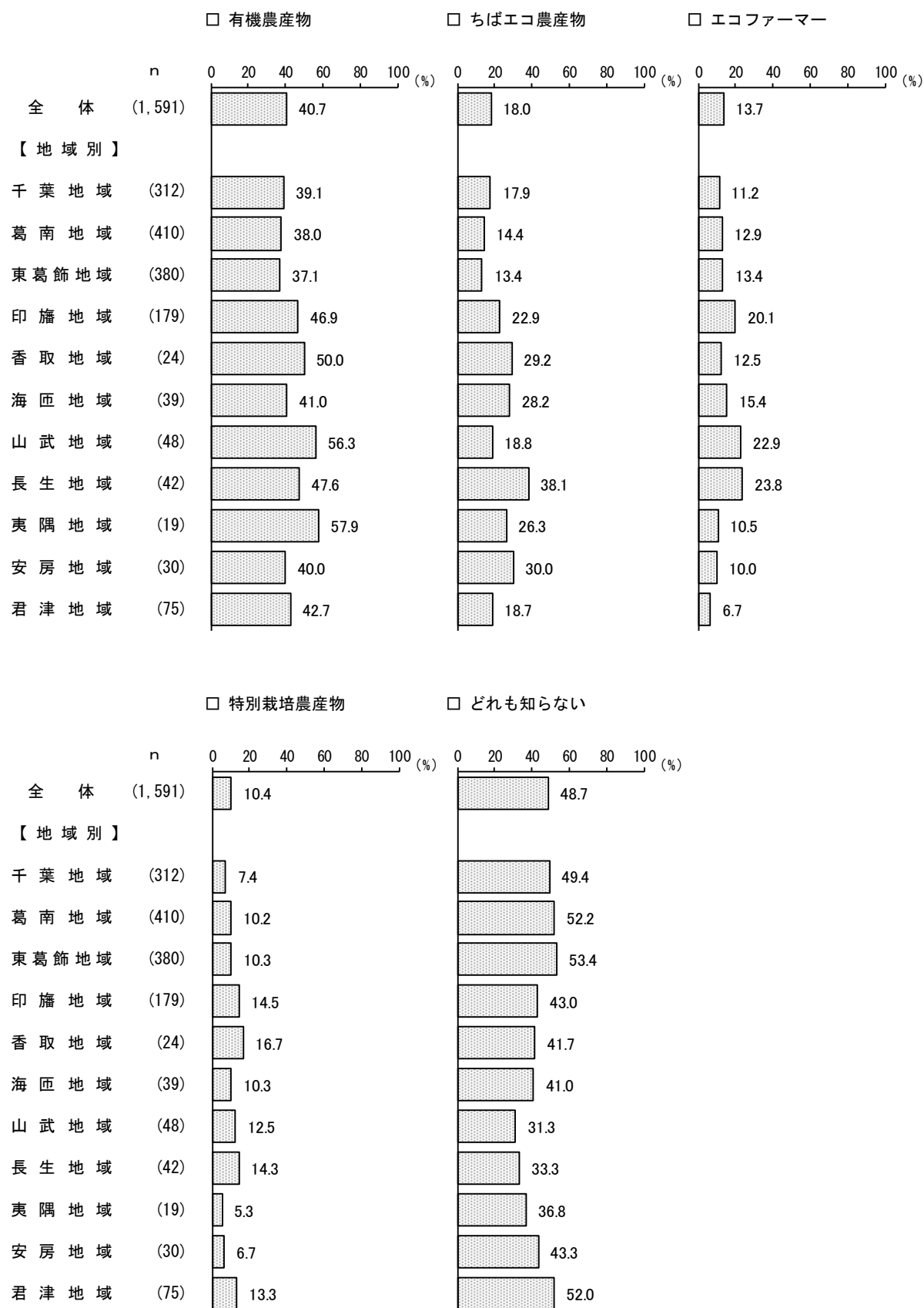
【性・年代別】

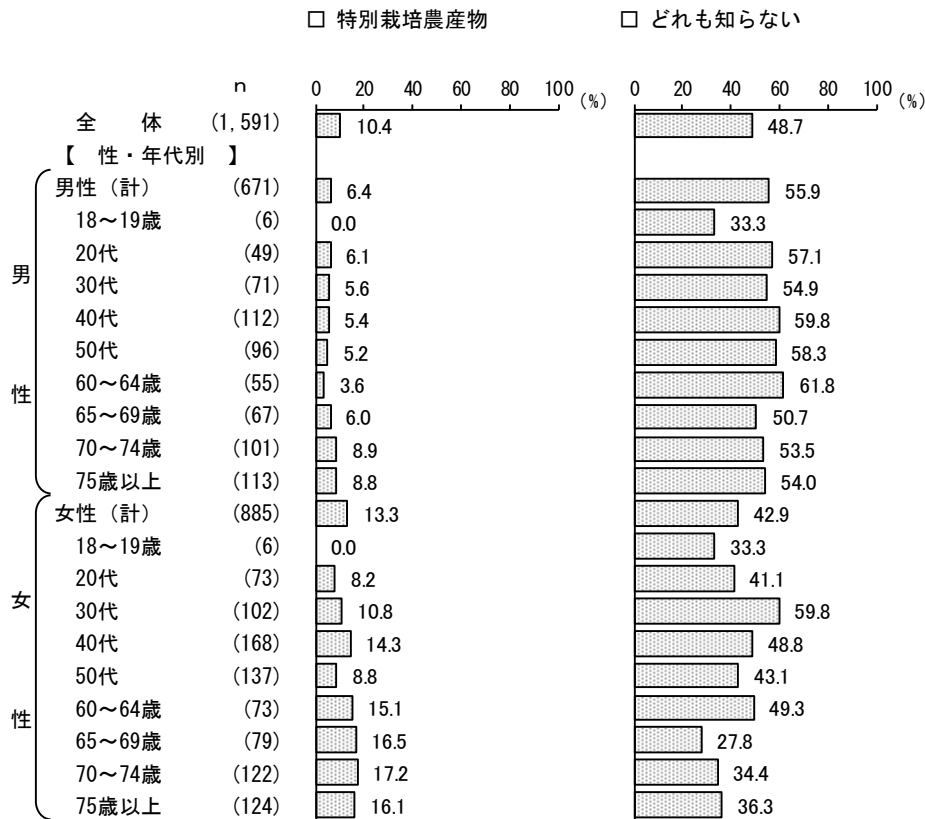
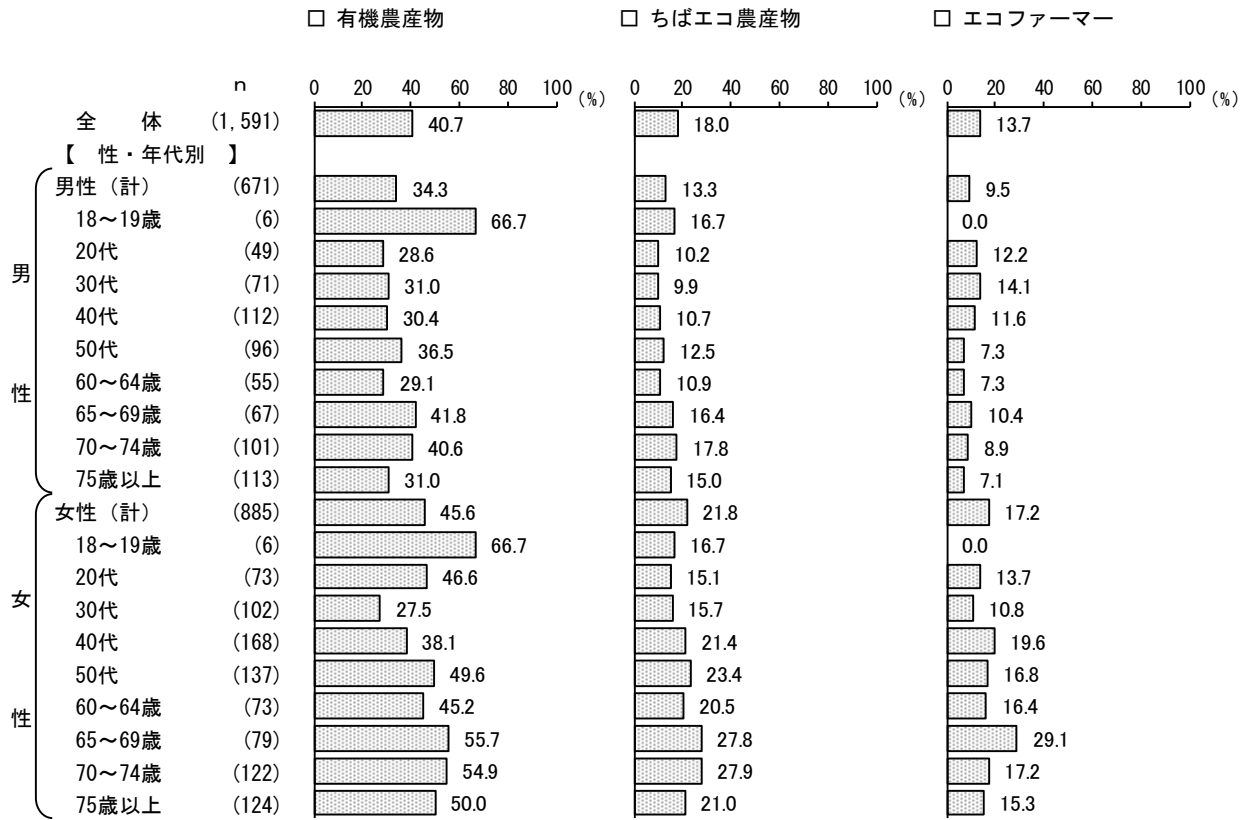
性・年代別にみると、「有機農産物」は女性の65～69歳（55.7％）と女性の70～74歳（54.9％）が５割台半ば、女性の75歳以上（50.0％）が５割、女性の50代（49.6％）が約５割で高くなっている。

「ちばエコ農産物」は女性の70～74歳（27.9％）と女性の65～69歳（27.8％）が約３割で高くなっている。

「エコファーマー」は女性の65～69歳（29.1%）が約3割、女性の40代（19.6%）が約2割で高くなっている。（図表5－8）

＜図表5－8＞環境にやさしい農産物や制度の認知度（複数回答）／地域別、性・年代別





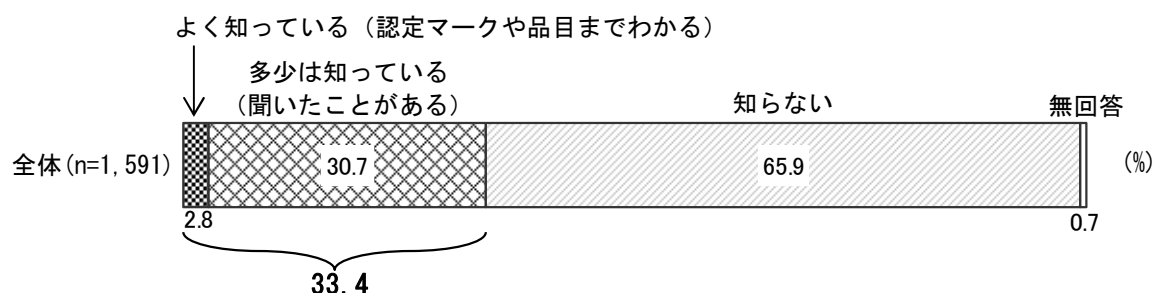
（３）「千葉ブランド水産物」の認知度

◇『知っている（計）』が３割を超える

問27 「千葉ブランド水産物」を知っていますか。（○は１つ）

※千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。

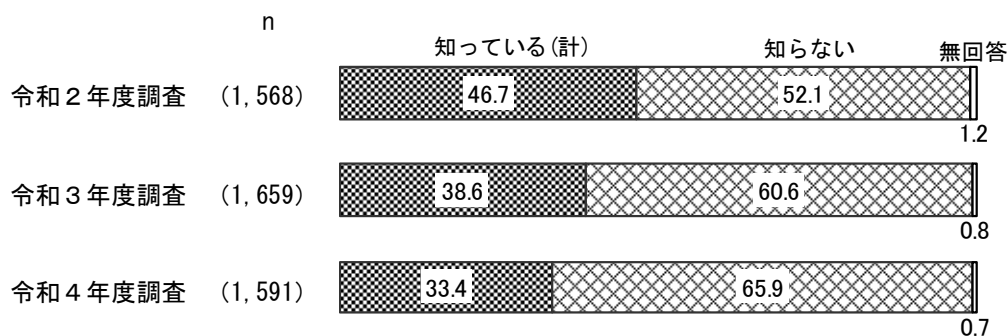
＜図表５－９＞「千葉ブランド水産物」の認知度



「千葉ブランド水産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている（認定マークや品目までわかる）」（2.8%）と「多少は知っている（聞いたことがある）」（30.7%）を合わせた『知っている（計）』（33.4%）が３割を超えている。

一方、「知らない」（65.9%）が６割台半ばとなっている。（図表５－９）

〔参考〕令和２年度・３年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

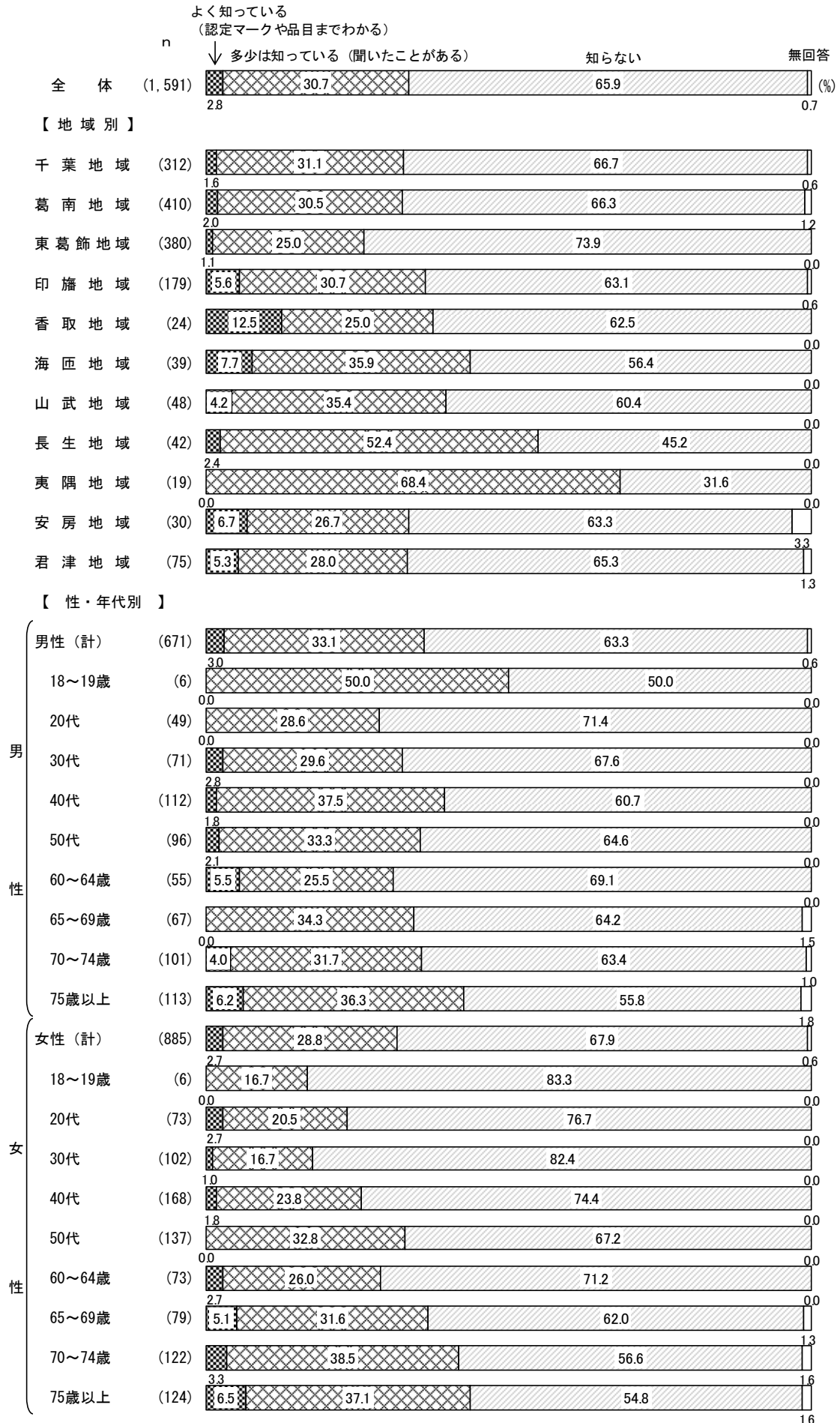
地域別にみると、『知っている（計）』は“長生地域”（54.8%）が５割台半ばで高くなっている。一方、「知らない」は“東葛飾地域”（73.9%）が７割台半ばで高くなっている。（図表５－10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている（計）』は女性の75歳以上（43.5%）が４割台半ば、男性の75歳以上（42.5%）と女性の70～74歳（41.8%）が４割を超えて高くなっている。

一方、「知らない」は女性の30代（82.4%）が８割を超え、女性の20代（76.7%）と女性の40代（74.4%）が７割台半ばで高くなっている。（図表５－10）

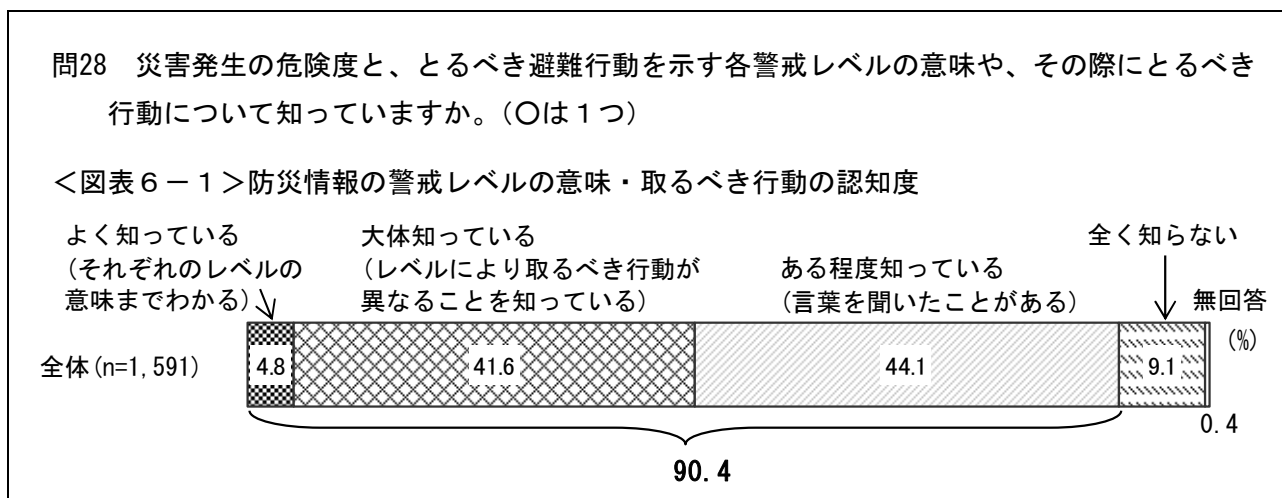
<図表5-10>「千葉ブランド水産物」の認知度／地域別、性・年代別



6 防災に関する取組について

（１）防災情報の警戒レベルの意味・取るべき行動の認知度

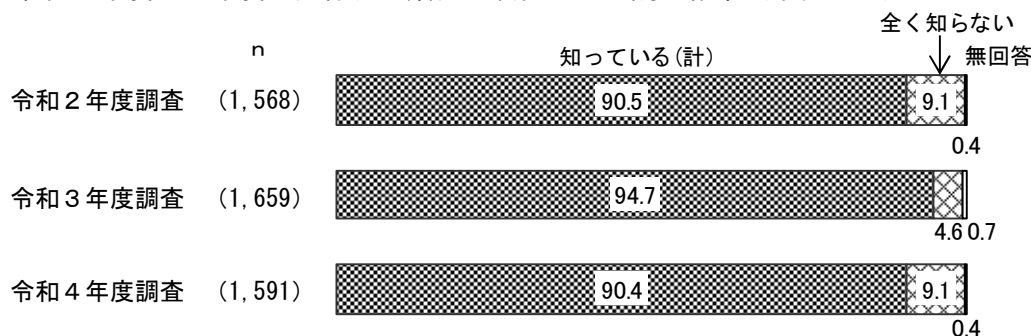
◇『知っている（計）』が9割



水害・土砂災害の防災情報の伝え方で、各警戒レベルの意味や、その際にとるべき行動についてを知っているか聞いたところ、「よく知っている（それぞれのレベルの意味までわかる）」（4.8％）と「大体知っている（レベルにより取るべき行動が異なることを知っている）」（41.6％）、「ある程度知っている（言葉を聞いたことがある）」（44.1％）の3つを合わせた『知っている（計）』（90.4％）が9割となっている。

一方、「全く知らない」（9.1％）が約1割となっている。（図表6－1）

【参考】令和2年度・3年度の同様及び類似の項目による調査結果（単位：％）



（※）令和2年度調査で、「水害・土砂災害の防災情報の伝え方が、レベル3で「危険な場所から高齢者等は避難」、レベル4で「危険な場所から全員避難」といった、5段階の「警戒レベル」を用いる方法で行われております。あなたは、各警戒レベルの意味や、その際にとるべき行動について知っていますか。（○は1つ）」と質問した結果を参考に示した。

【地域別】

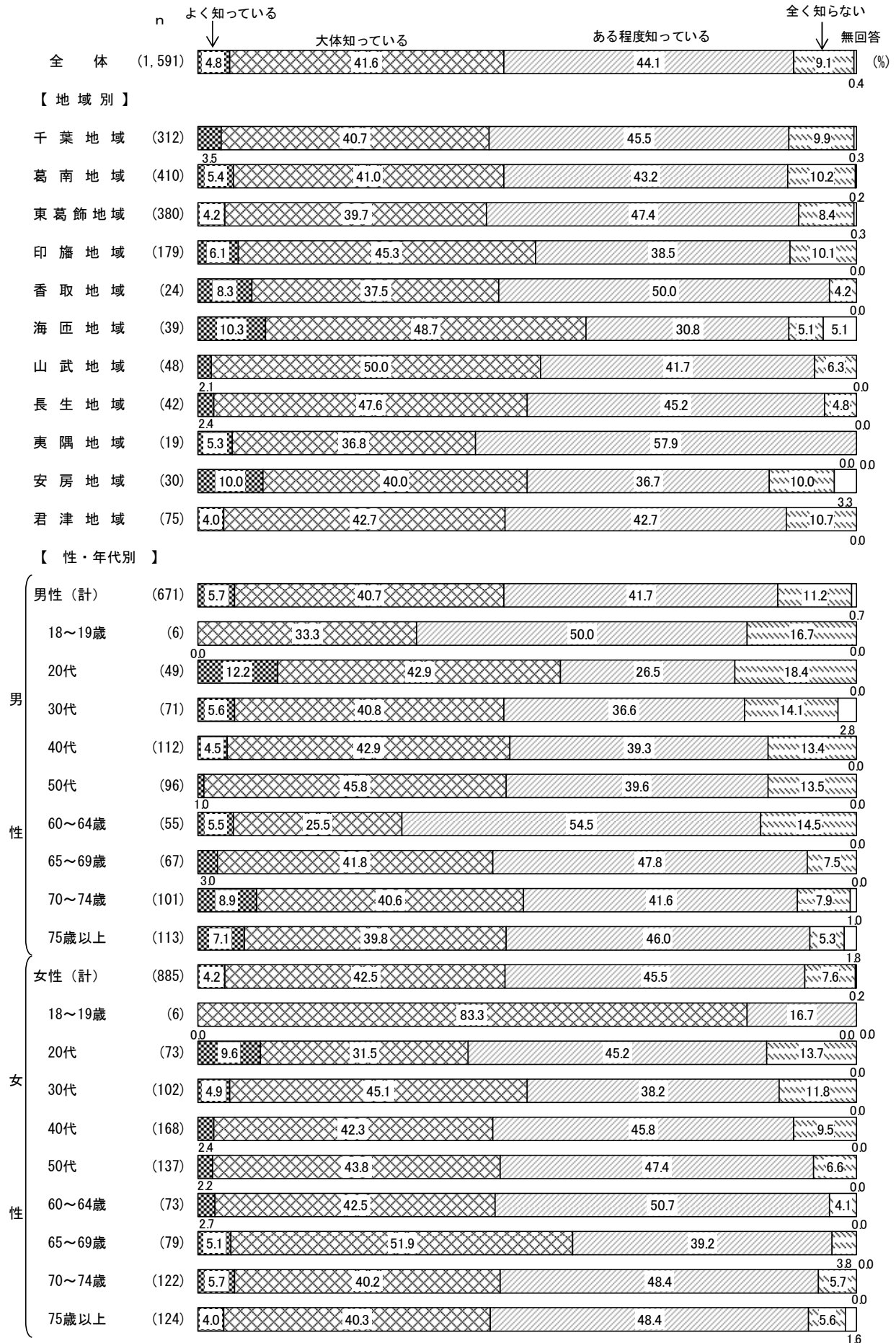
地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表6－2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「全く知らない」は男性の20代（18.4％）が約2割で高くなっている。

（図表6－2）

＜図表 6－2＞防災情報の警戒レベルの意味・取るべき行動の認知度／地域別、性・年代別



（２）飲料水や食料、災害用トイレ（簡易・携帯）の備蓄状況

◇『用意している（計）』が最も高いのは＜飲料水＞で8割を超える

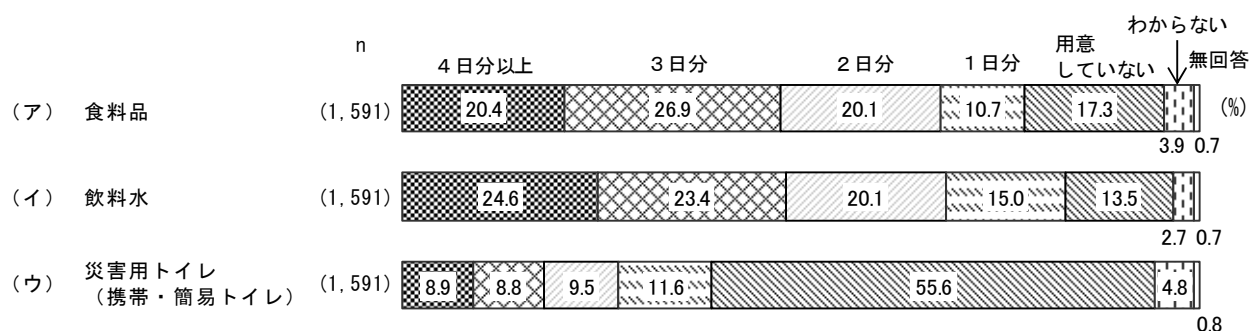
問29 あなたの家では、災害時に利用できる食料品等を何日分用意していますか。

*飲料水 1日分＝1人当たり3リットル×家族の人数

*トイレ 1日分＝1人当たり1日5回分×家族の人数

（○はそれぞれ1つつづつ）

＜図表6－3＞飲料水や食料、災害用トイレ（簡易・携帯）の備蓄状況

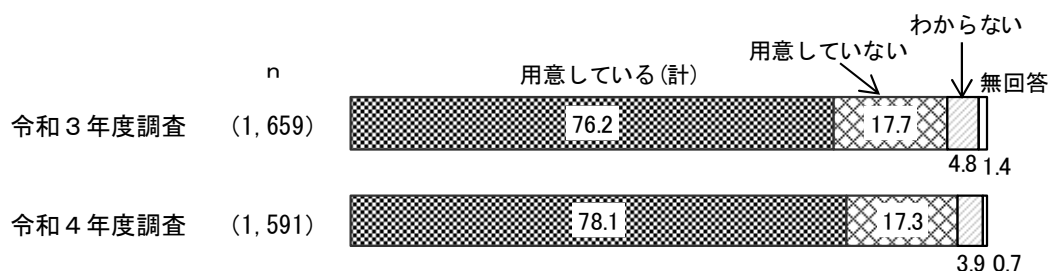


災害時に利用できる食料品等を何日分用意しているか聞いたところ、「4日分以上」、「3日分」、「2日分」、「1日分」の4つを合わせた『用意している（計）』が最も高いのは、「(イ) 飲料水」(83.1%)で8割を超えており、以下、「(ア) 食料品」(78.1%)が約8割、「(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）」(38.8%)が約4割となっている。

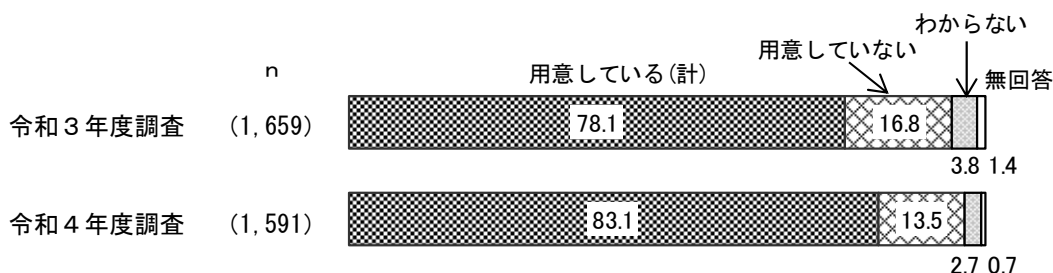
一方、「用意していない」が最も高いのは、「(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）」(55.6%)で5割台半ばとなっており、以下、「(ア) 食料品」(17.3%)が約2割、「(イ) 飲料水」(13.5%)が1割台半ばとなっている。（図表6－3）

〔参考〕令和3年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

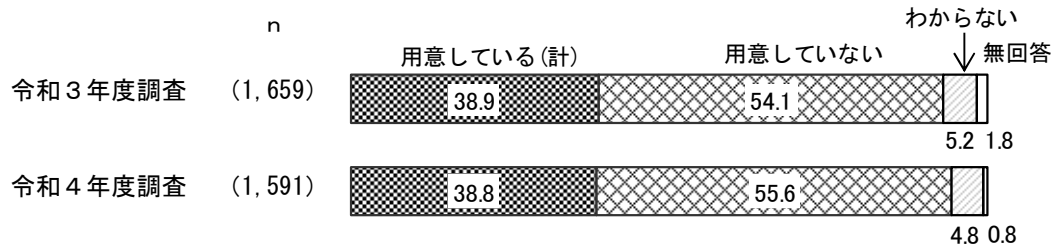
食料品



飲料水



災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）



【地域別】

地域別にみると、「(ア) 食料品」は大きな傾向の違いは見られない。

「(イ) 飲料水」の「用意していない」は“東葛飾地域”（16.8%）が1割台半ばで高くなっている。

「(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）」の『用意している（計）』は“千葉地域”（44.6%）が4割台半ばで高くなっている。

一方、「用意していない」は“安房地域”（73.3%）が7割を超えて高くなっている。（図表6－4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 食料品」の『用意している（計）』は女性の65～69歳（91.1%）が9割を超え、男性の40代（85.7%）が8割台半ばで高くなっている。

一方、「用意していない」は男性の20代（30.6%）が3割、女性の20代（27.4%）が約3割、女性の30代（26.5%）が2割台半ばで高くなっている。

「(イ) 飲料水」の『用意している（計）』は男性の65～69歳（92.5%）と女性の65～69歳（92.4%）が9割を超え、女性の70～74歳（90.2%）と女性の75歳以上（90.3%）が9割で高くなっている。

一方、「用意していない」は女性の20代（30.1%）が3割、男性の20代（28.6%）が約3割、女性の30代（20.6%）が2割で高くなっている。

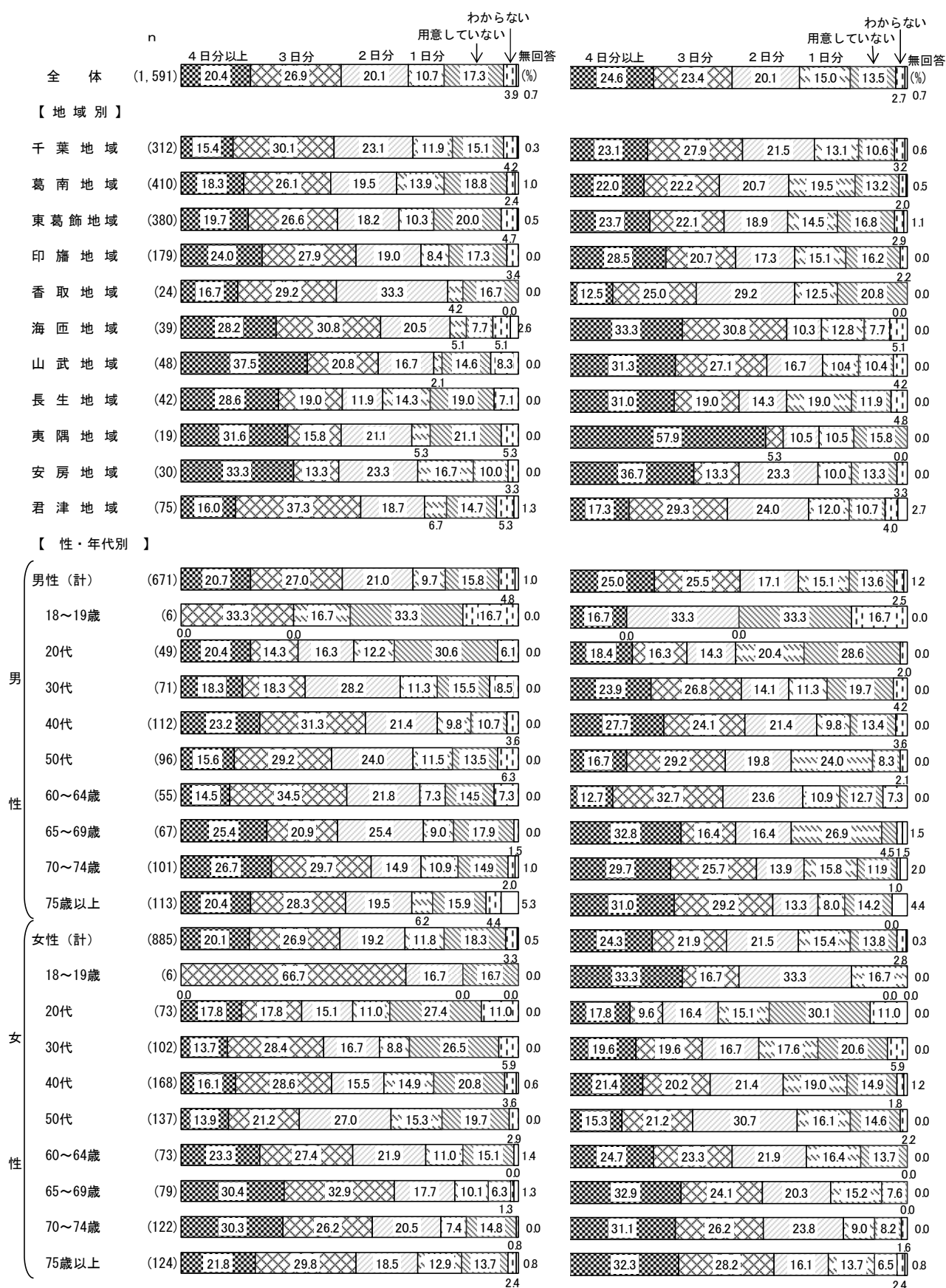
「(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）」の『用意している（計）』は女性の65～69歳（51.9%）が5割を超えて高くなっている。

一方、「用意していない」は男性の20代（77.6%）が約8割で高くなっている。（図表6－4）

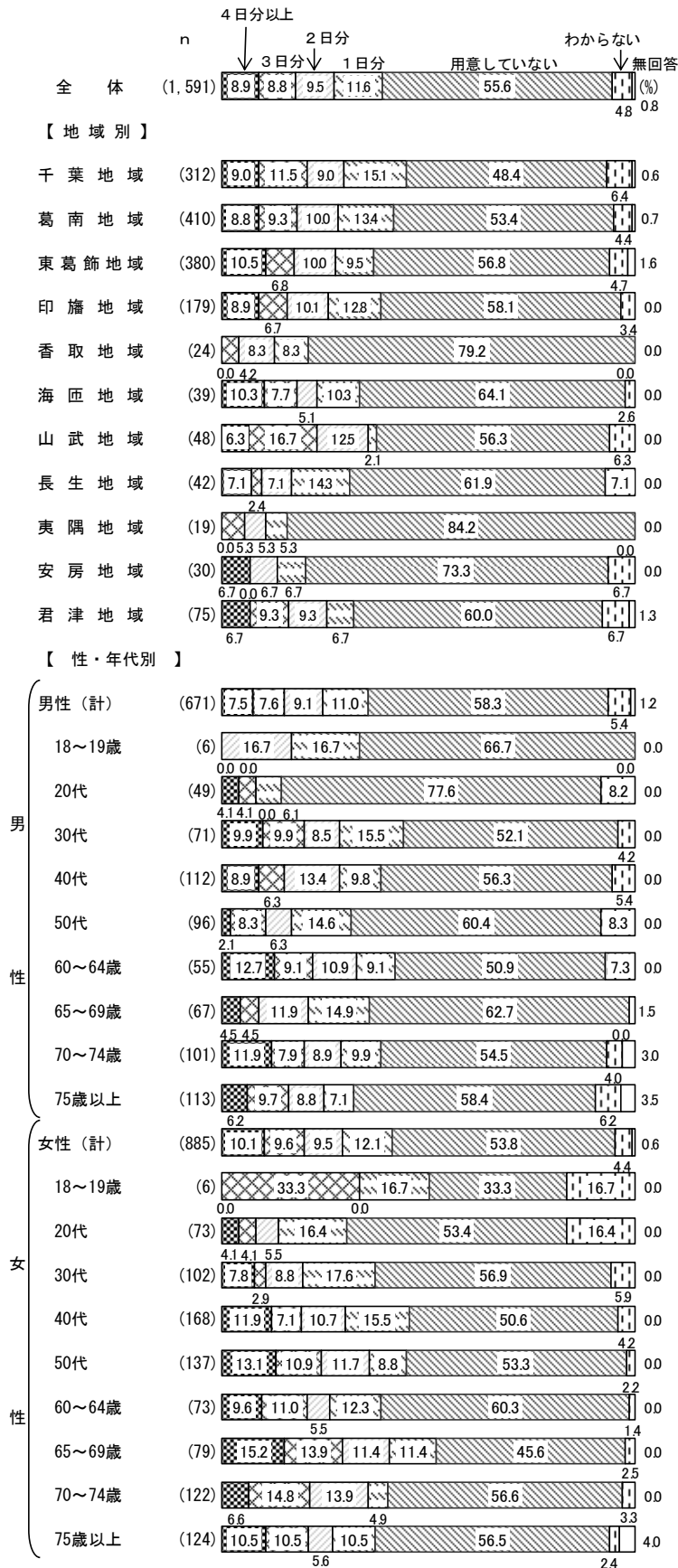
＜図表 6－4＞飲料水や食料、災害用トイレ（簡易・携帯）の備蓄状況／地域別、性・年代別

（ア）食料品

（イ）飲料水



（ウ）災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）



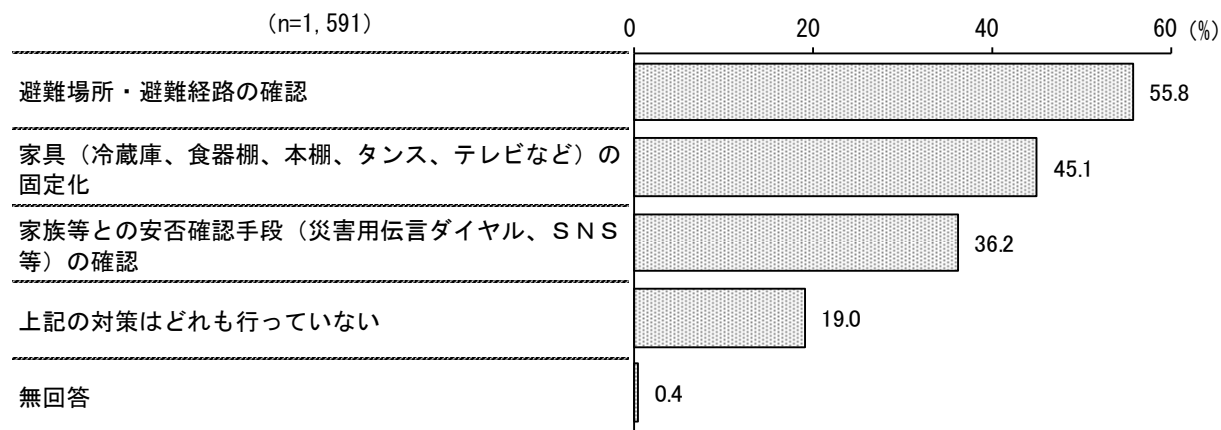
（３）地震や台風などの災害への対策

◇「避難場所・避難経路の確認」が５割台半ば

問30 あなたは、地震や台風などの災害に備えて、次の対策を行っていますか。

（〇はいくつでも）

＜図表 6－5＞地震や台風などの災害への対策（複数回答）



地震や台風などの災害に備えて、どのような対策を行っているか聞いたところ、「避難場所・避難経路の確認」（55.8%）が５割台半ばで最も高く、以下、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」（45.1%）、「家族等との安否確認手段（災害用伝言ダイヤル、SNS等）の確認」（36.2%）が続く。

一方、「上記の対策はどれも行っていない」（19.0%）が約２割となっている。（図表 6－5）

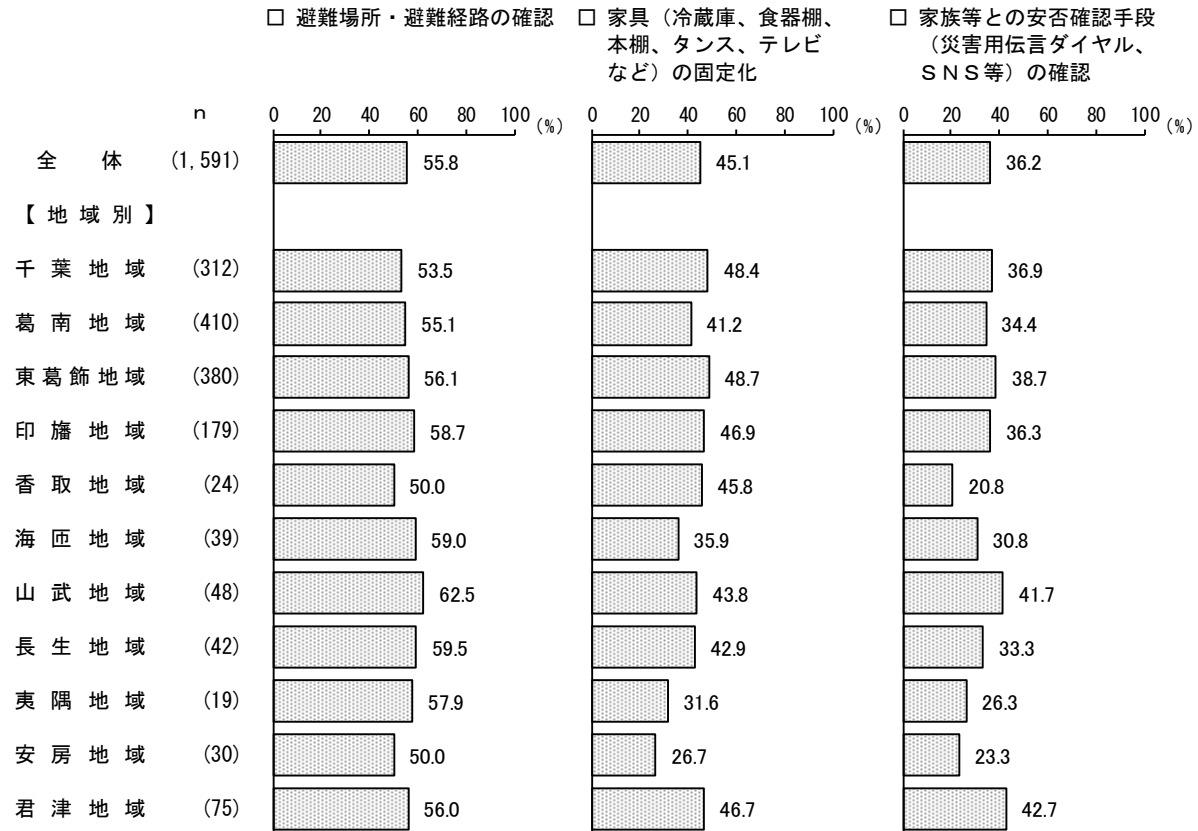
【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表 6－6）

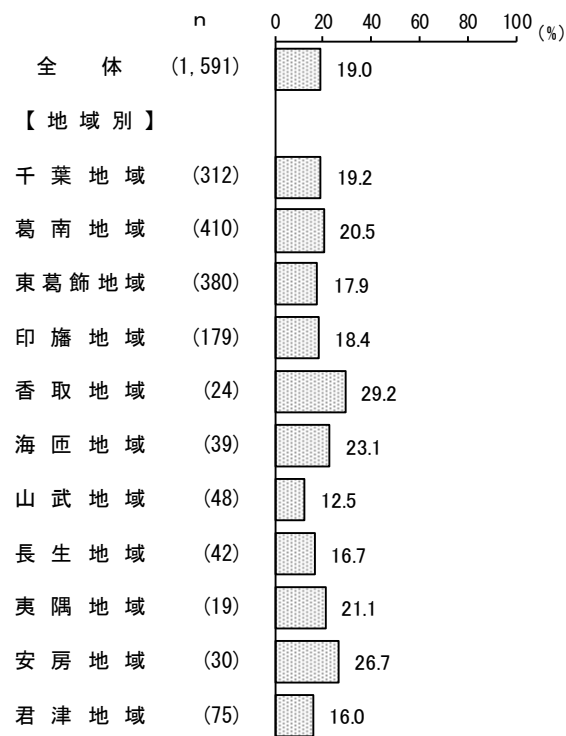
【性・年代別】

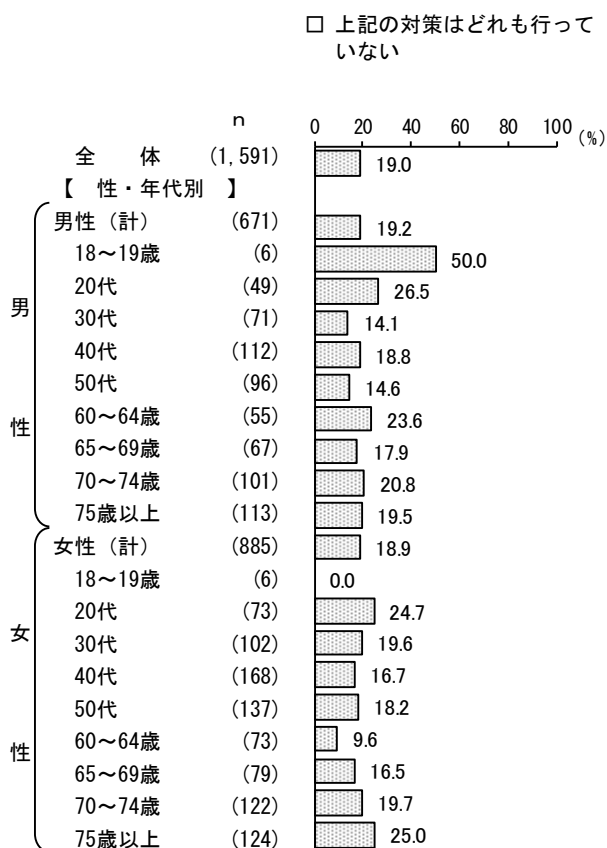
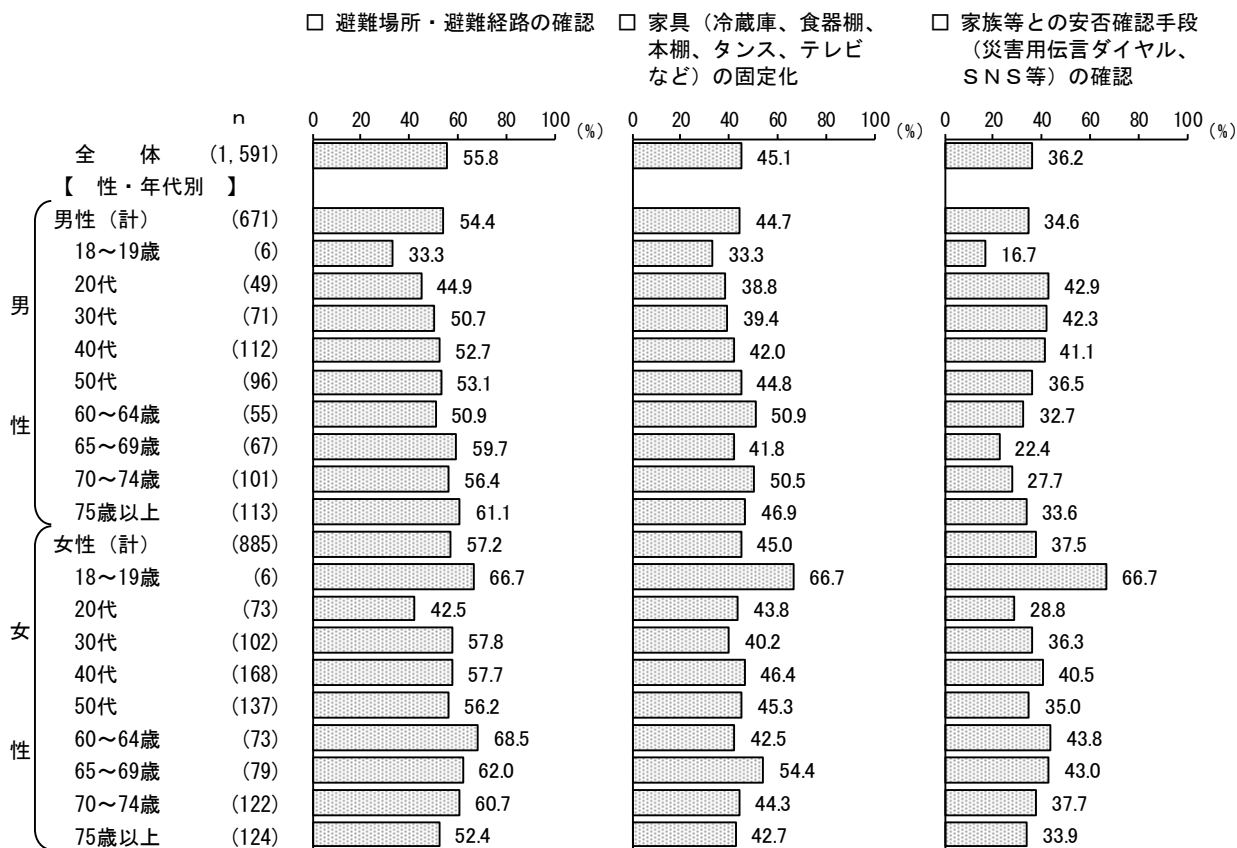
性・年代別にみると、「避難場所・避難経路の確認」は女性の60～64歳（68.5%）が約７割で高くなっている。（図表 6－6）

＜図表 6－6＞地震や台風などの災害への対策（複数回答）／地域別、性・年代別



☐ 上記の対策はどれも行って
いない





7 公金のキャッシュレス化の推進について

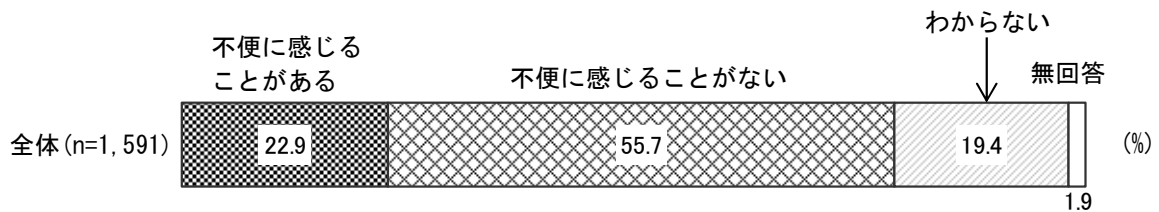
（1）公金の納付に当たり不便と感じることの有無

◇「不便に感じることもある」が2割を超える

県では、収納方法について、県民の皆様の利便性や事務の効率性の観点から「キャッシュレス化の推進」に向けて取り組んでいます。

問31 あなたは、税金や使用料・手数料などの県の公金の納付に当たり、不便と感じることはありませんか。（○は1つ）

＜図表 7－1＞公金の納付に当たり不便と感じることの有無



税金や使用料・手数料などの県の公金の納付に当たり、不便と感じることもあるかを聞いたところ、「不便に感じることもある」（22.9%）が2割を超えている。

一方、「不便に感じることはない」（55.7%）が5割台半ばとなっている。（図表 7－1）

【地域別】

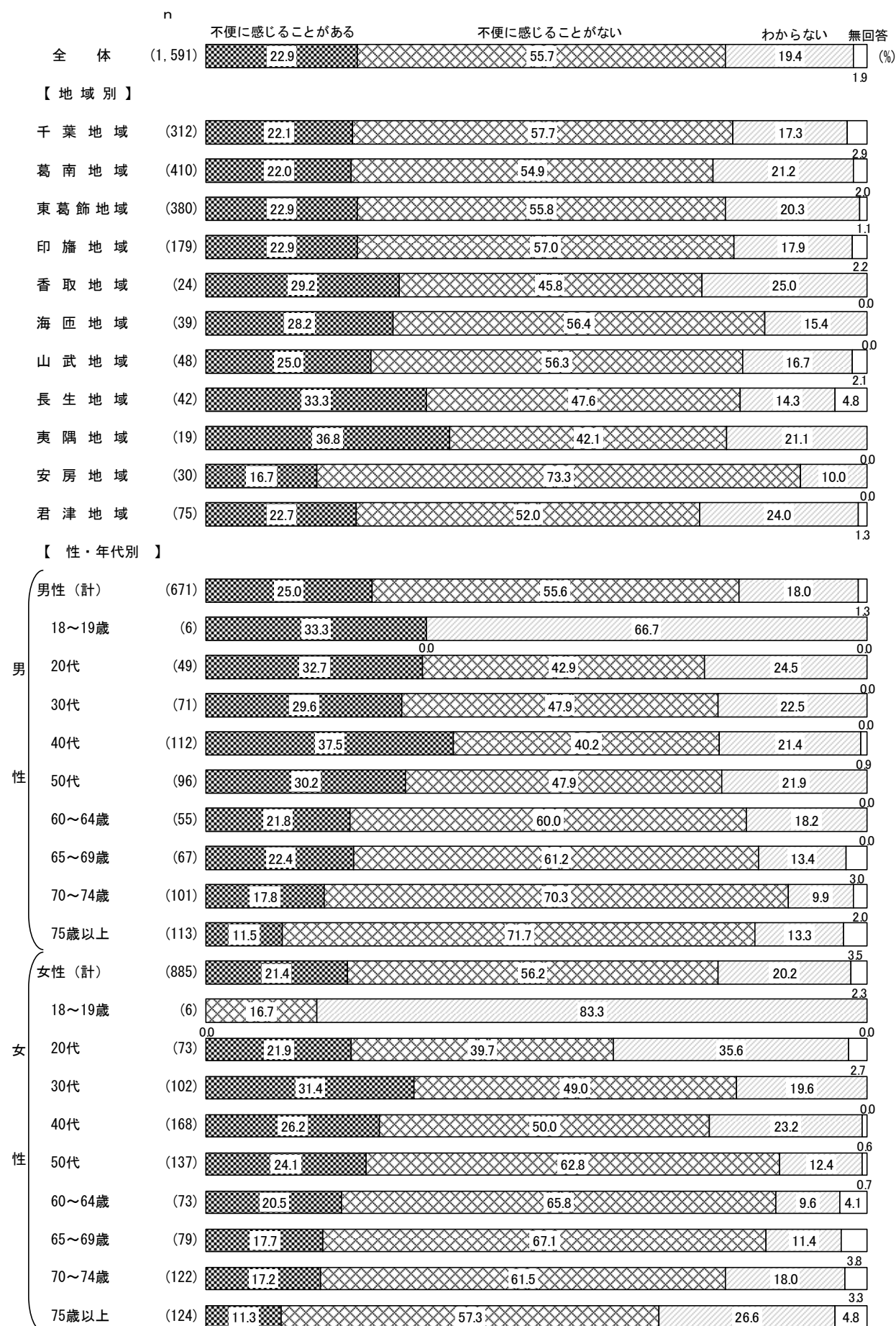
地域別にみると、「不便に感じることはない」は“安房地域”（73.3%）が7割を超えて高くなっている。（図表 7－2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「不便に感じることもある」は男性の40代（37.5%）が約4割、女性の30代（31.4%）が3割を超えて高くなっている。

一方、「不便に感じることはない」は男性の75歳以上（71.7%）が7割を超え、男性の70～74歳（70.3%）が7割、女性の65～69歳（67.1%）が約7割で高くなっている。（図表 7－2）

＜図表7－2＞公金の納付に当たり不便と感ずることの有無／地域別、性・年代別



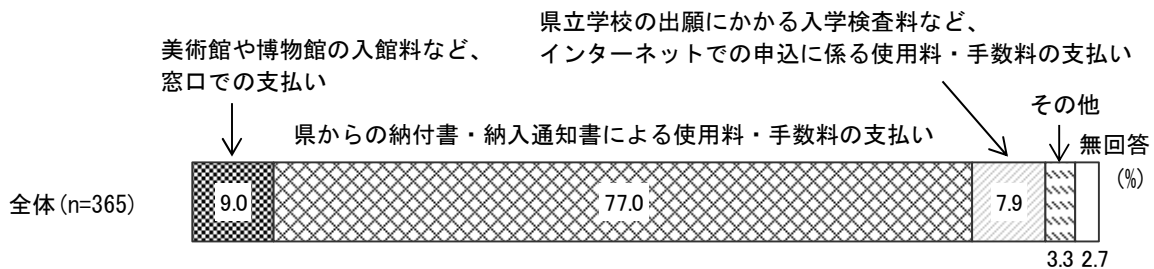
（１－１）キャッシュレス決済を導入すべきだと思う場面

◇「県からの納付書・納入通知書による使用料・手数料の支払い」が約８割

（問31で「不便に感じることもある」とお答えの方に）

問31－１ あなたは、公金の納付に関して、県がキャッシュレス決済を導入とした場合、特に、どの場面に導入すべきだと思いますか。（○は１つ）

＜図表 7－3＞キャッシュレス決済を導入すべきだと思う場面

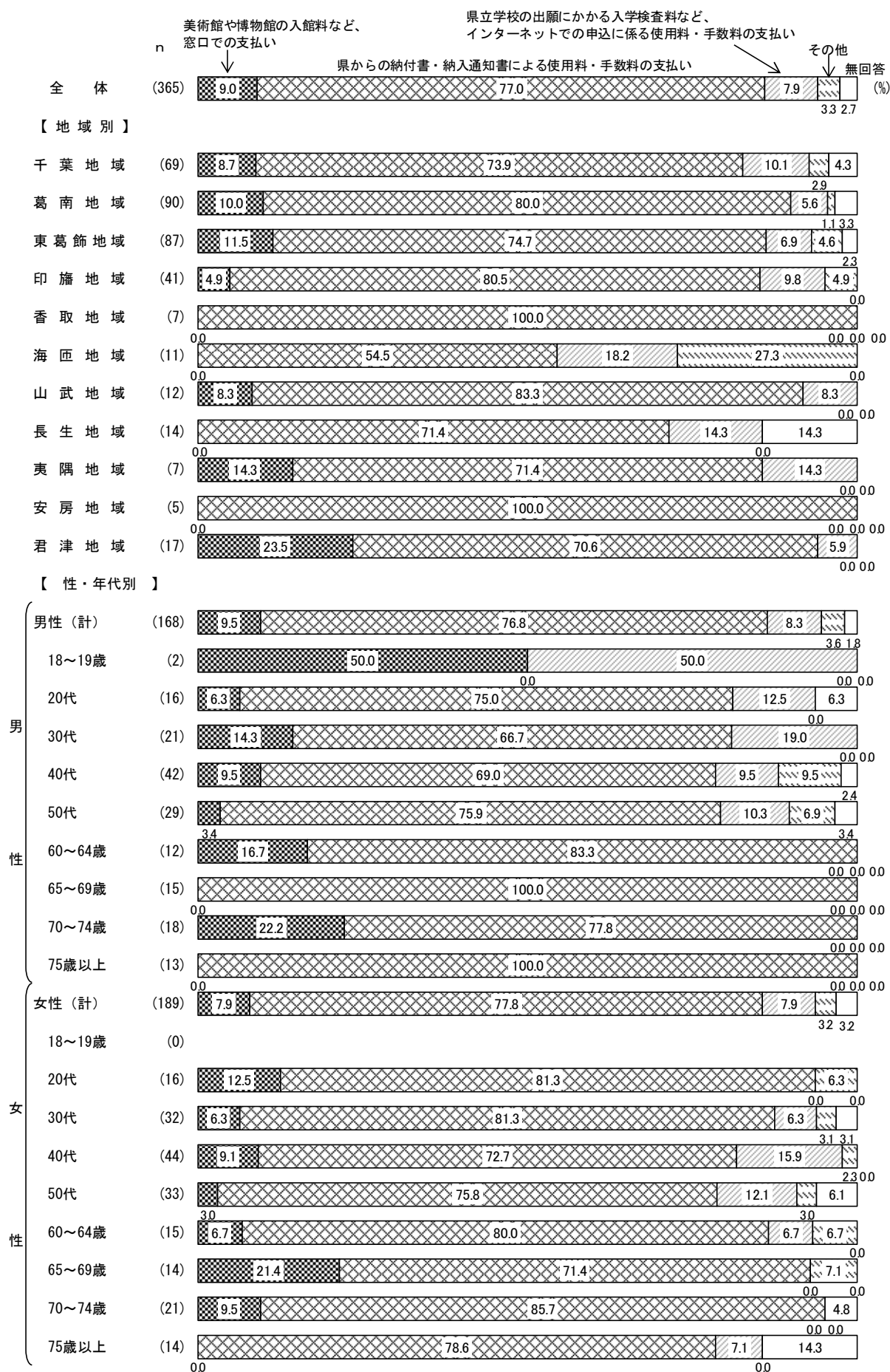


公金の納付にあたり「不便に感じることもある」と回答した365人を対象に、県がキャッシュレス決済を導入とした場合、特に、どの場面に導入すべきだと思うかを聞いたところ、「県からの納付書・納入通知書による使用料・手数料の支払い」（77.0%）が約８割と最も高く、以下、「美術館や博物館の入館料など、窓口での支払い」（9.0%）、「県立学校の出願にかかる入学検査料など、インターネットでの申込に係る使用料・手数料の支払い」（7.9%）と続く。（図表 7－3）

※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

（8 ページ「報告書の見方（5）」を参照）（図表 7－4）

〔参考〕＜図表７－４＞キャッシュレス決済を導入すべきだと思う場面／地域別、性・年代別

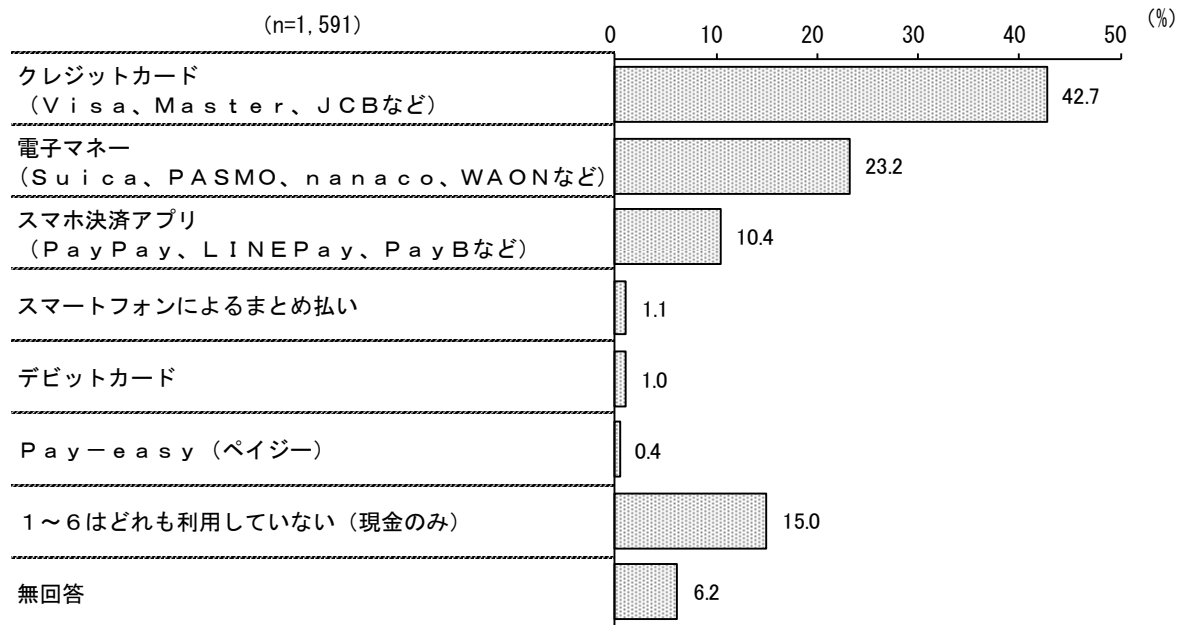


（２）普段の生活で主に利用しているキャッシュレス決済

◇「クレジットカード（V i s a、M a s t e r、J C Bなど）」が４割を超える

問32 あなたは、普段の生活の中で、主に、どのようなキャッシュレス決済を利用していますか。
(○は１つ)

＜図表７－５＞普段の生活で主に利用しているキャッシュレス決済（単一回答）



普段の生活で主に利用しているキャッシュレス決済を聞いたところ、「クレジットカード（V i s a、M a s t e r、J C Bなど）」（42.7%）が４割を超えて最も高く、以下、「電子マネー（S u i c a、P A S M O、n a n a c o、W A O Nなど）」（23.2%）、「スマホ決済アプリ（P a y P a y、L I N E P a y、P a y Bなど）」（10.4%）が続く。

一方、「１～６はどれも利用していない（現金のみ）」（15.0%）が１割台半ばとなっている。

（図表７－５）

【地域別】

地域別にみると、「クレジットカード（V i s a、M a s t e r、J C Bなど）」は“長生地域”（66.7%）が６割台半ば、“印旛地域”（50.8%）が５割で高くなっている。（図表７－６）

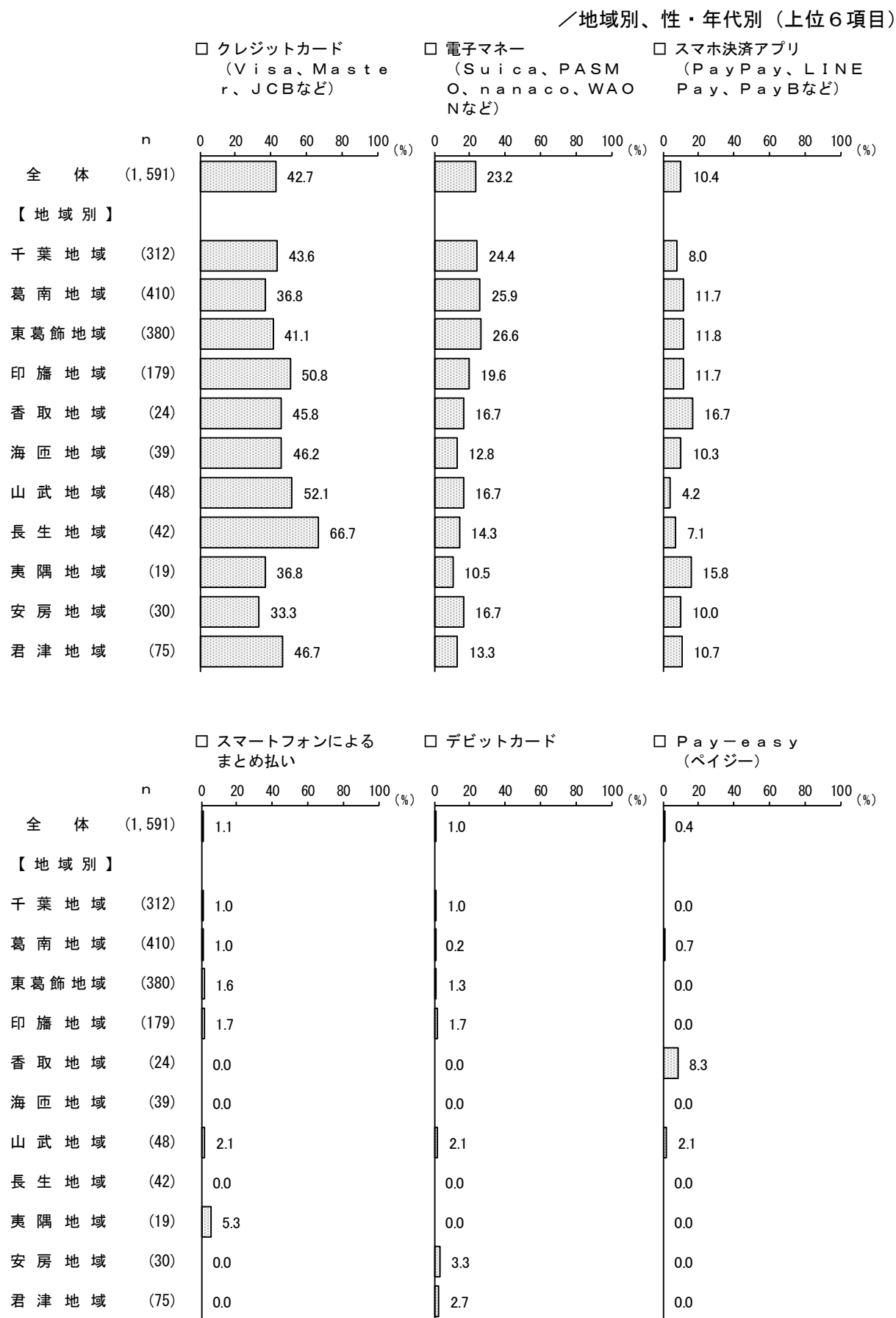
【性・年代別】

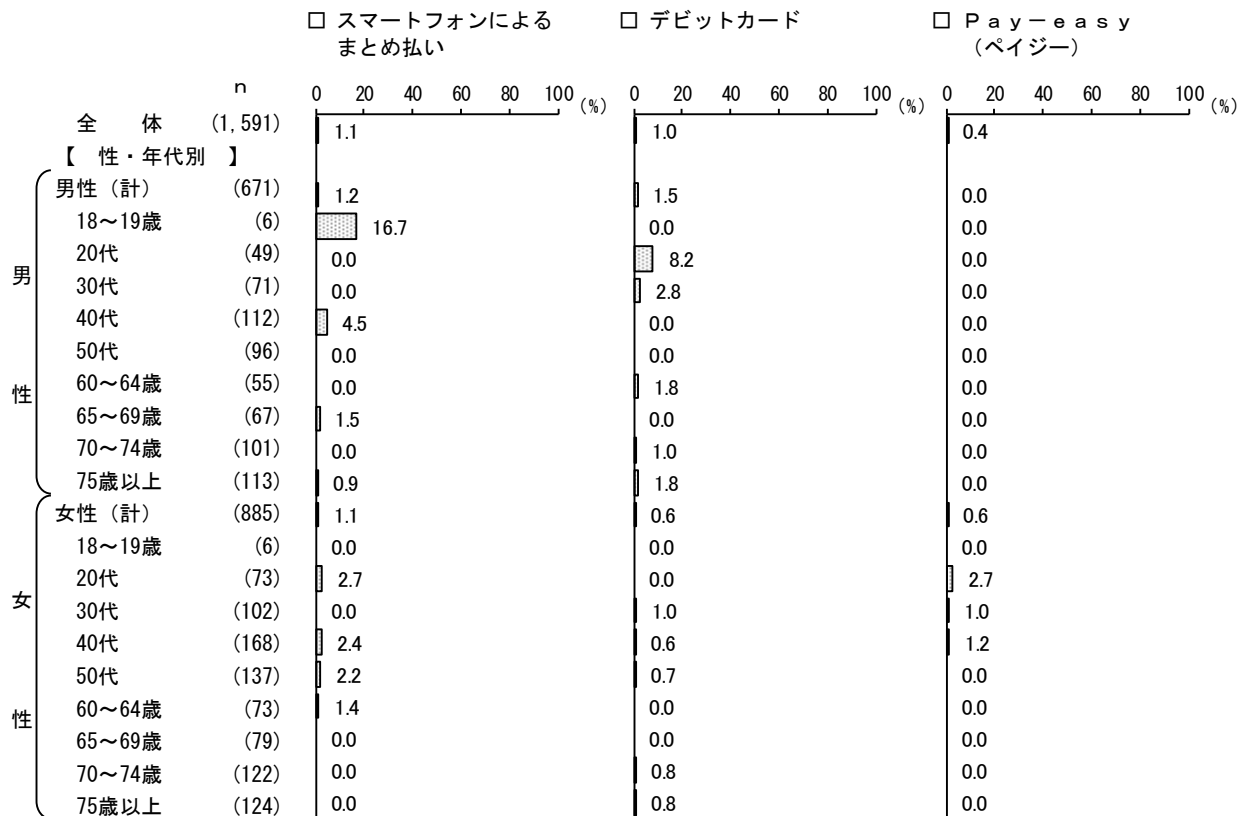
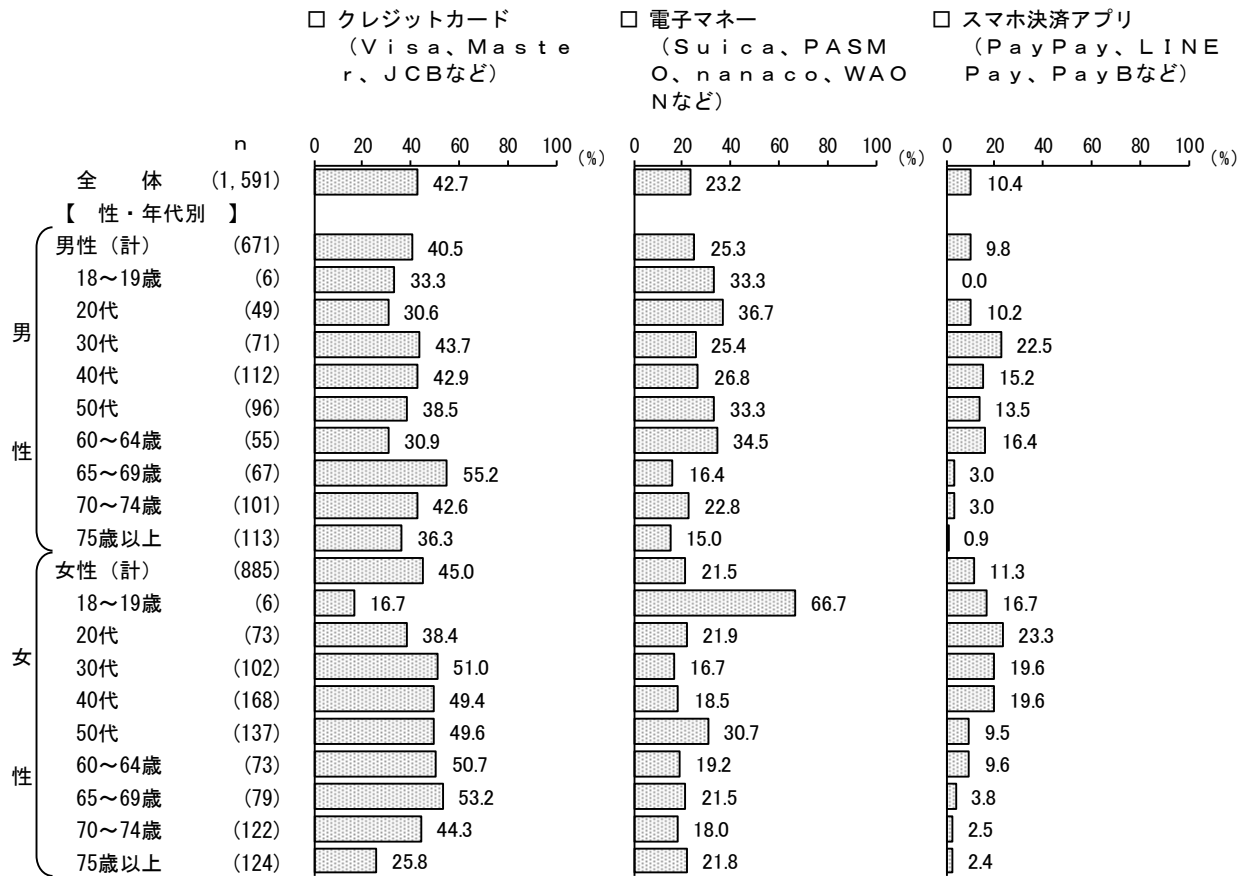
性・年代別にみると、「クレジットカード（V i s a、M a s t e r、J C Bなど）」は男性の65～69歳（55.2%）が５割台半ばで高くなっている。

「電子マネー（S u i c a、P A S M O、n a n a c o、W A O Nなど）」は男性の20代（36.7%）と男性の60～64歳（34.5%）が３割台半ば、男性の50代（33.3%）が３割を超え、女性の50代（30.7%）が３割で高くなっている。

「スマホ決済アプリ（P a y P a y、L I N E P a y、P a y Bなど）」は男性の30代（22.5%）と女性の20代（23.3%）が２割を超え、女性の30代（19.6%）と女性の40代（19.6%）が約２割で高くなっている。（図表７－６）

＜図表7－6＞普段の生活で主に利用しているキャッシュレス決済（単一回答）





8 生涯学習について

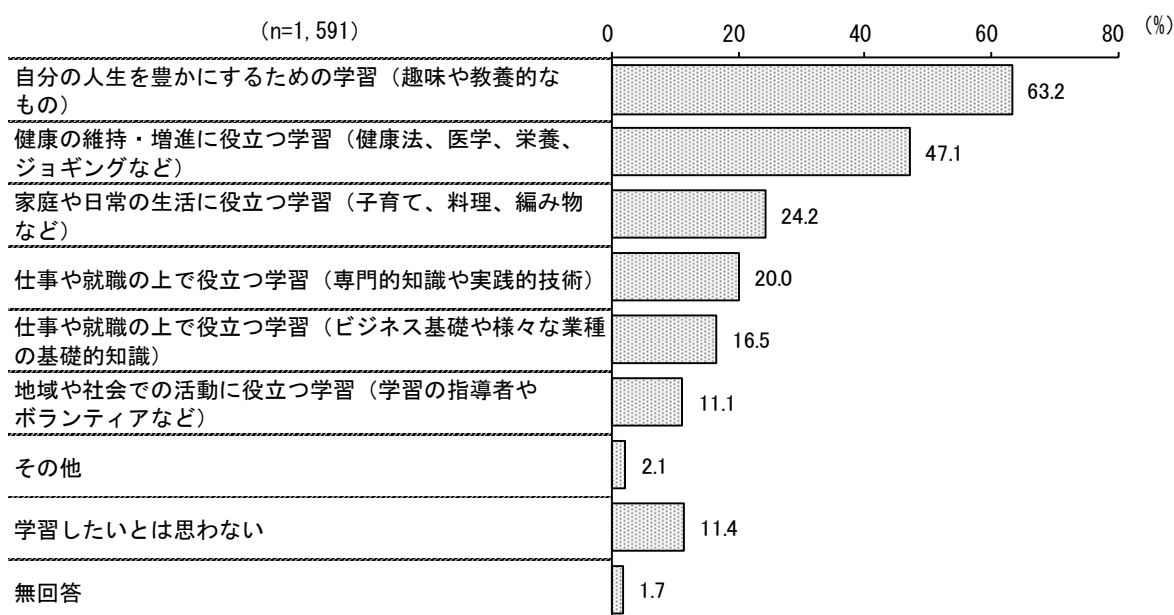
（１）今後学習したいと思うこと

◇「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」が６割を超える

県では、人生100年時代到来や技術革新など、社会が大きく変化する中、新しい時代に合った生涯学習を推進していくため、今後の施策の方向性を検討しています。

問33 あなたは、今後、学習したいと思うことはありますか。この中からいくつでもあげてください。（〇はいくつでも）

＜図表８－１＞今後学習したいと思うこと（複数回答）



今後、学習したいと思うことを聞いたところ、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」（63.2%）が６割を超えて最も高く、以下、「健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど）」（47.1%）、「家庭や日常生活に役立つ学習（子育て、料理、編み物など）」（24.2%）、「仕事や就職の上で役立つ学習（専門的知識や実践的技術）」（20.0%）が続く。

一方、「学習したいとは思わない」（11.4%）が１割を超えている。（図表８－１）

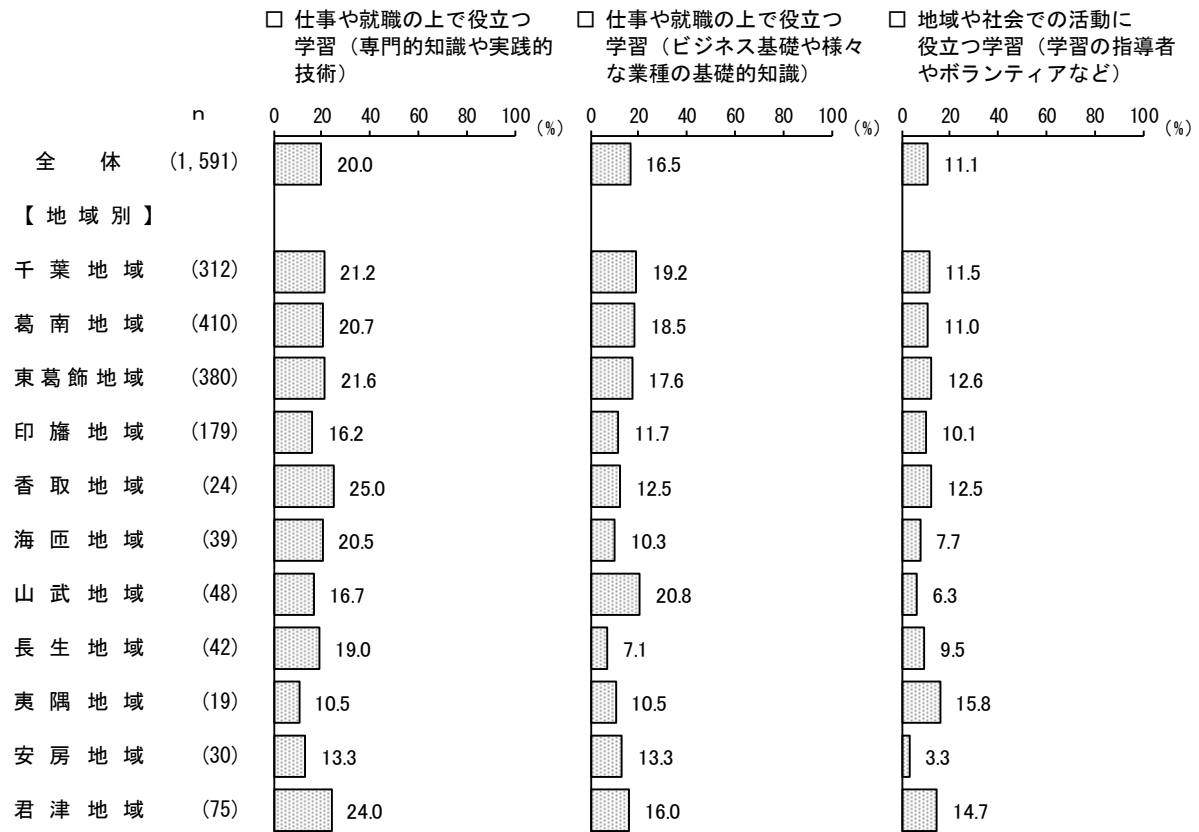
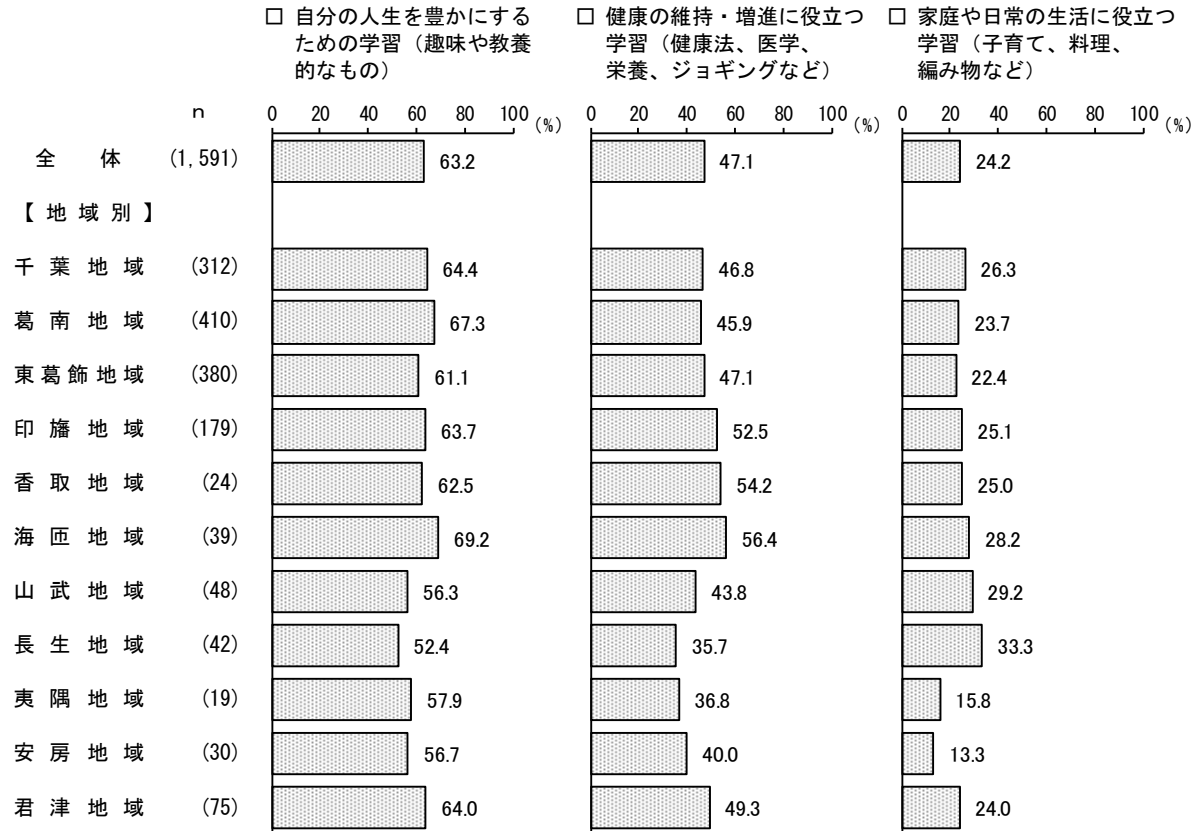
【地域別】

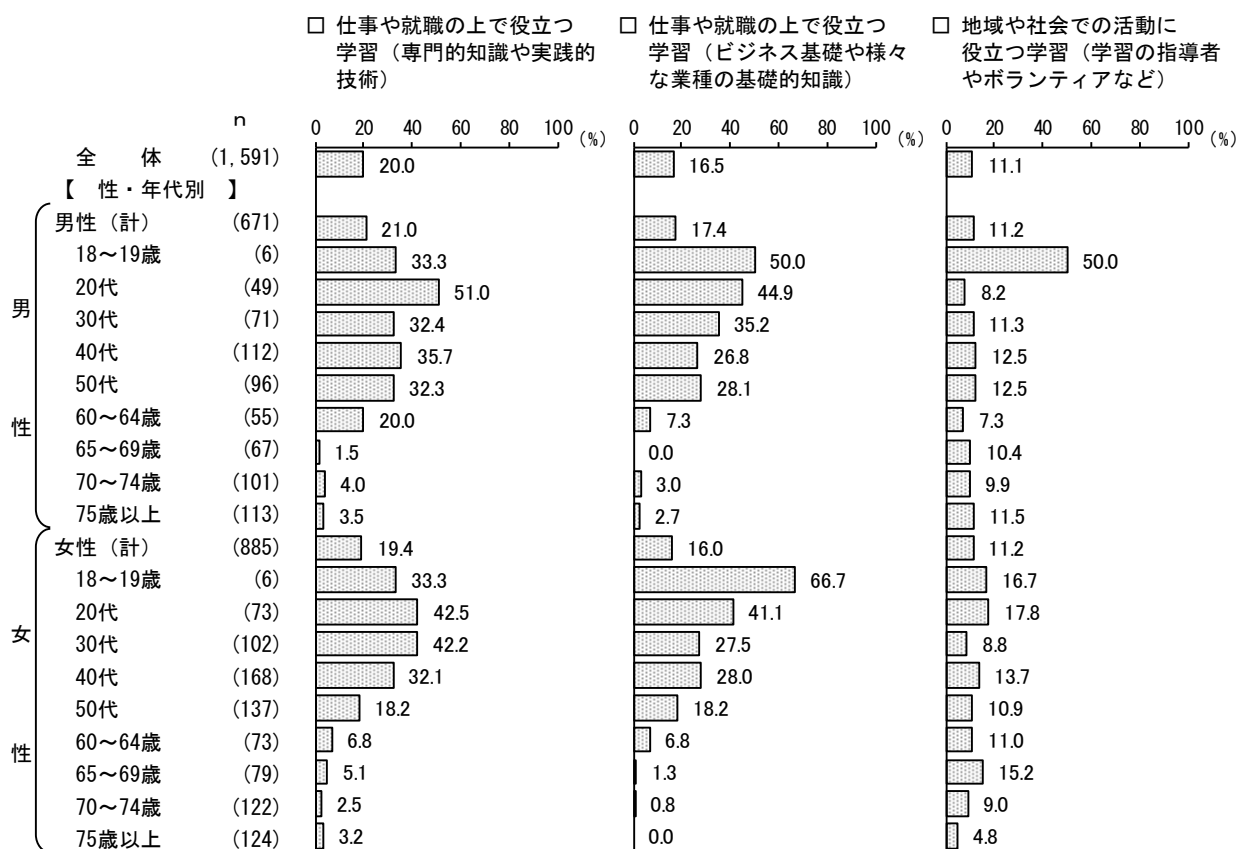
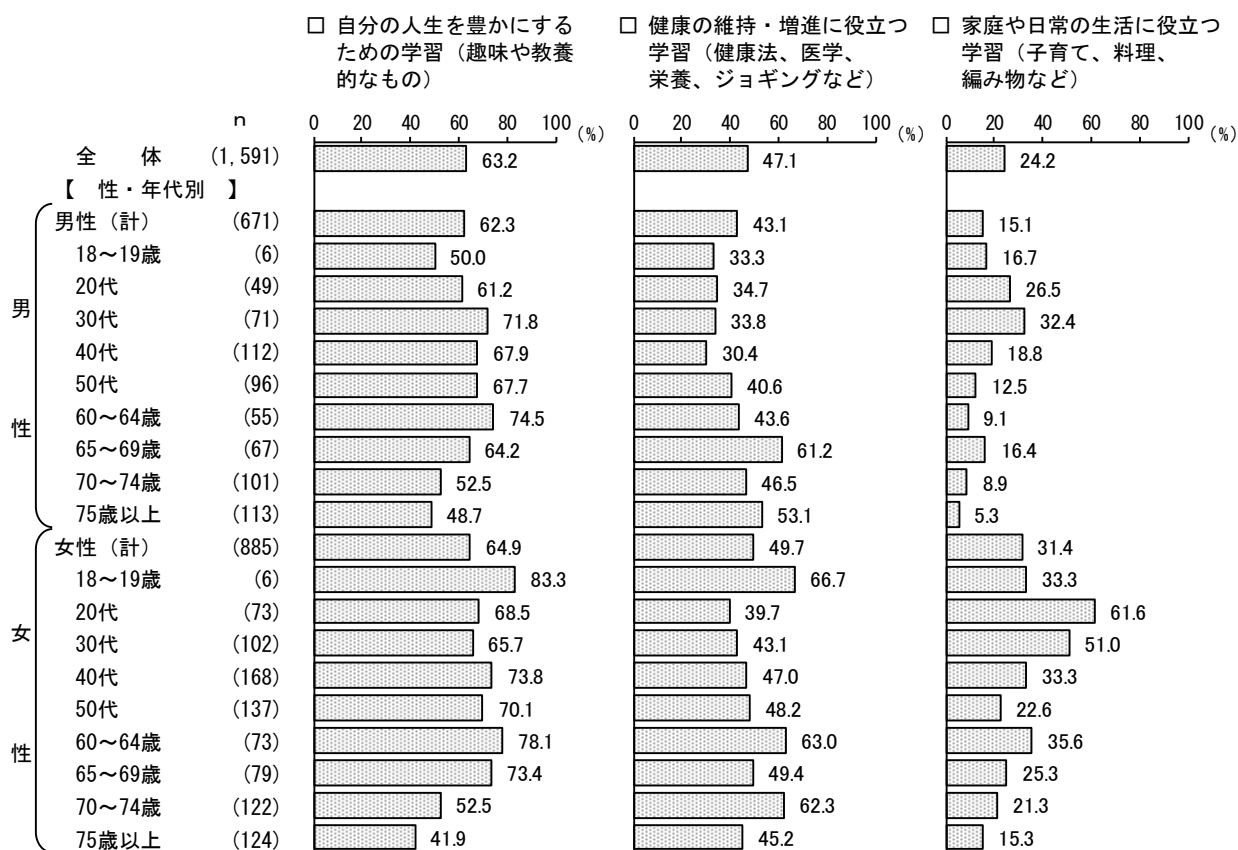
地域別にみると、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」は“葛南地域”（67.3%）が約７割で高くなっている。（図表８－２）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」は女性の60～64歳（78.1%）が約８割、女性の40代（73.8%）が７割台半ばで高くなっている。「健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど）」は男性の65～69歳（61.2%）、女性の60～64歳（63.0%）、女性の70～74歳（62.3%）が６割を超えて高くなっている。（図表８－２）

＜図表 8－2＞今後学習したいと思うこと（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）





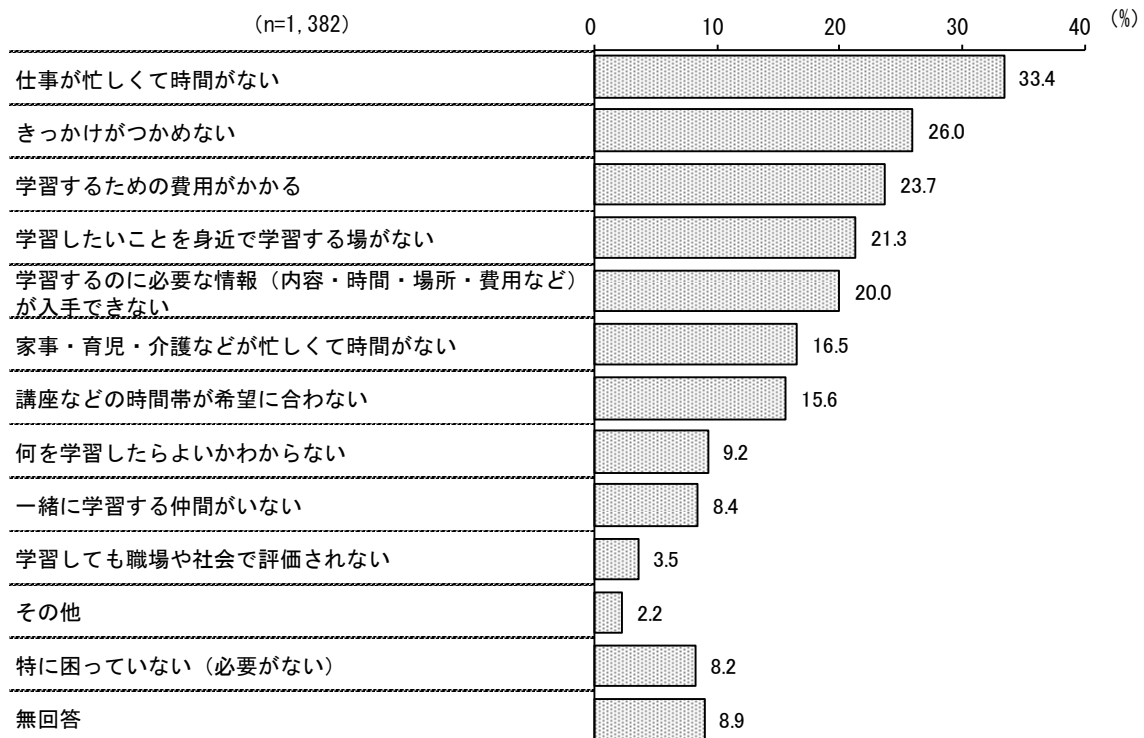
（１－１）学習する上で困っていること

◇「仕事が忙しくて時間がない」が３割を超える

【問33で「学習したいとは思わない」以外を回答した方】

問34 学習する上で困っていることは何ですか。この中からいくつでもあげてください。（問33で「学習したいとは思わない」と回答した方は、学習したいとは思わない理由をお答えください。）（○はいくつでも）

＜図表 8－3＞学習する上で困っていること（複数回答）



「学習したいとは思わない」以外を回答した1,382人に、学習する上で困っていることを聞いたところ、「仕事が忙しくて時間がない」（33.4%）が３割を超えて最も高く、以下、「きっかけがつかめない」（26.0%）、「学習するための費用がかかる」（23.7%）、「学習したいことを身近で学習する場がない」（21.3%）が続く。

一方、「特に困っていない（必要がない）」（8.2%）が約１割となっている。（図表 8－3）

【地域別】

地域別にみると、「きっかけがつかめない」は“長生地域”（43.3%）が４割を超えて高くなっている。（図表 8－4）

【性・年代別】

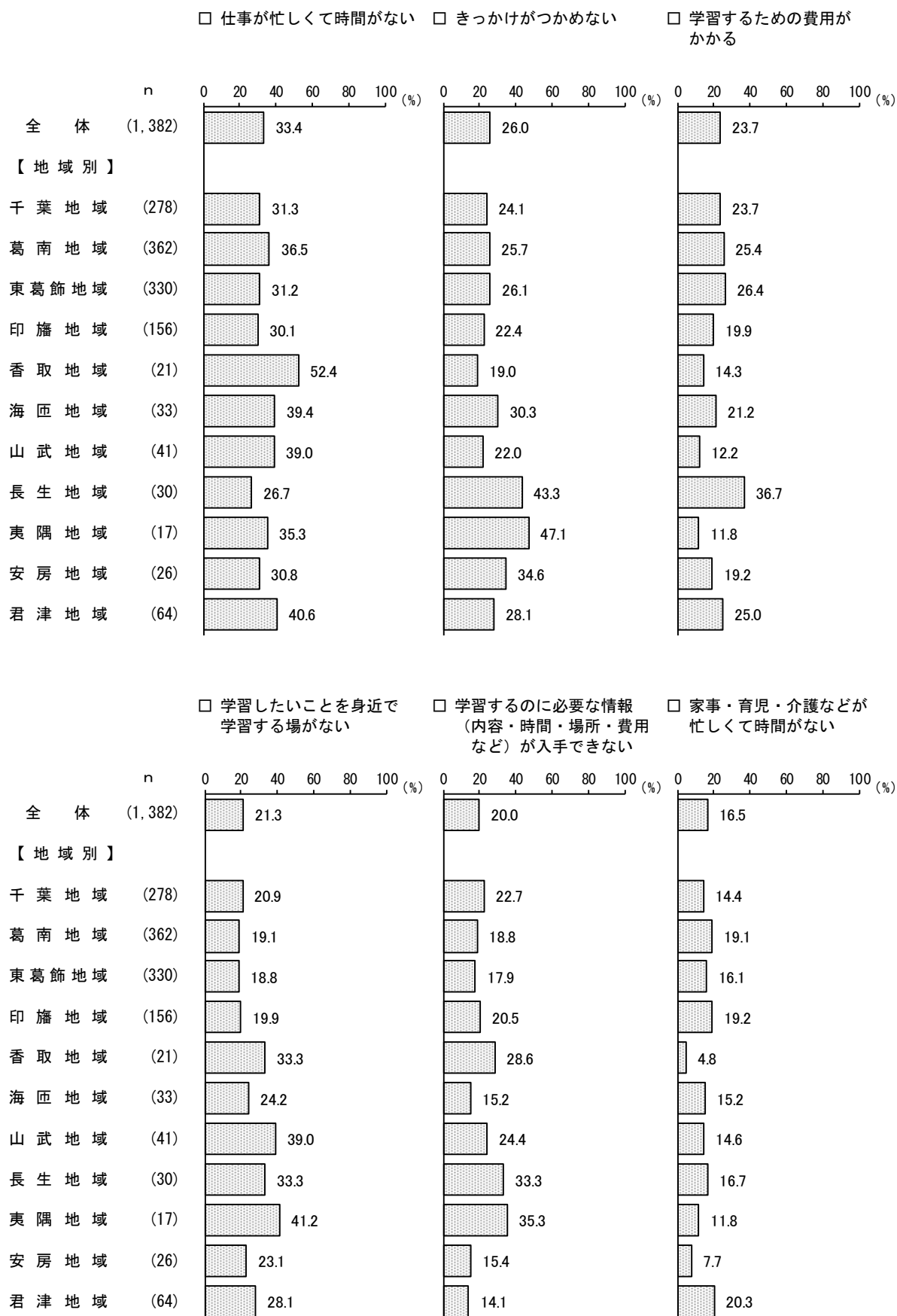
性・年代別にみると、「仕事が忙しくて時間がない」は男性の20代（54.2%）、男性の30代（54.5%）、男性の40代（56.6%）が５割台半ば、女性の20代（52.9%）が５割を超え、男性の50代（50.0%）が５割、女性の40代（46.9%）と女性の50代（44.1%）が４割台半ばで高くなっている。

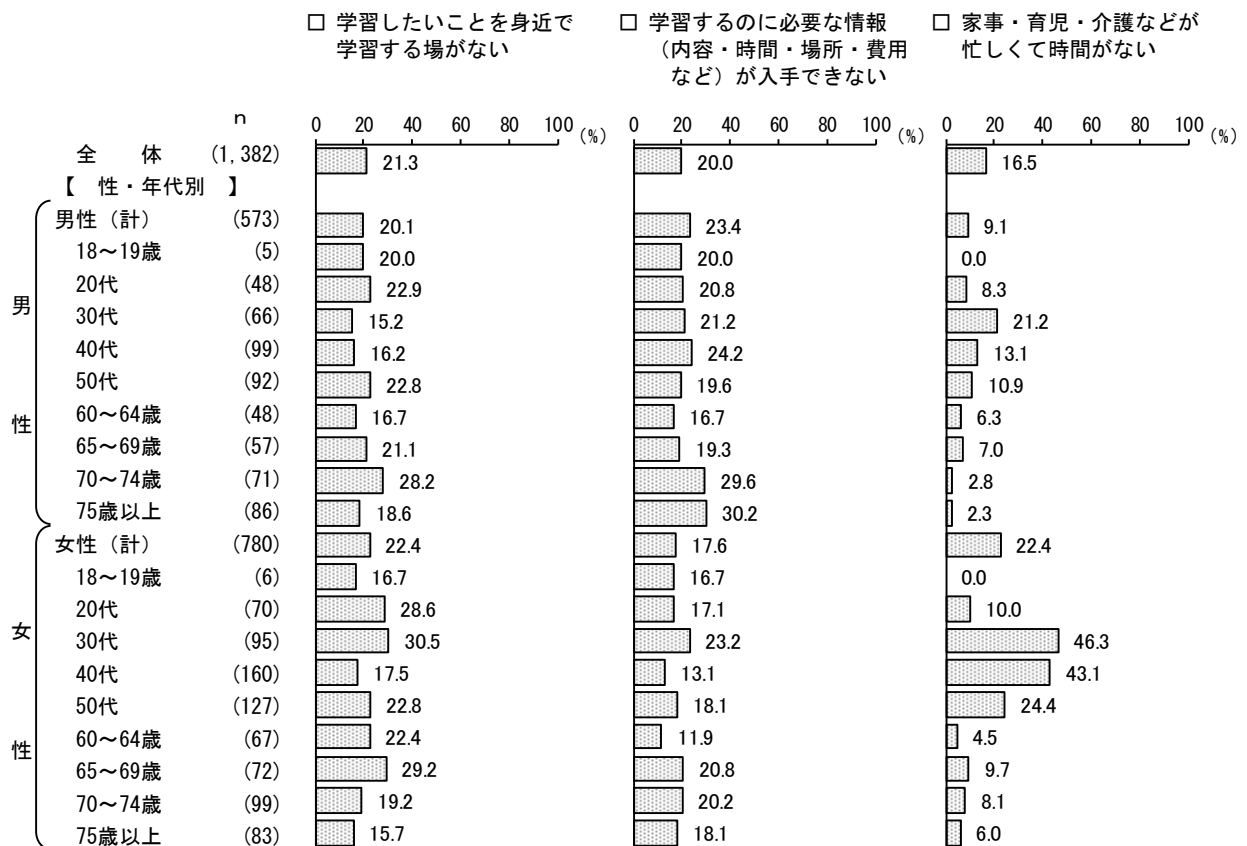
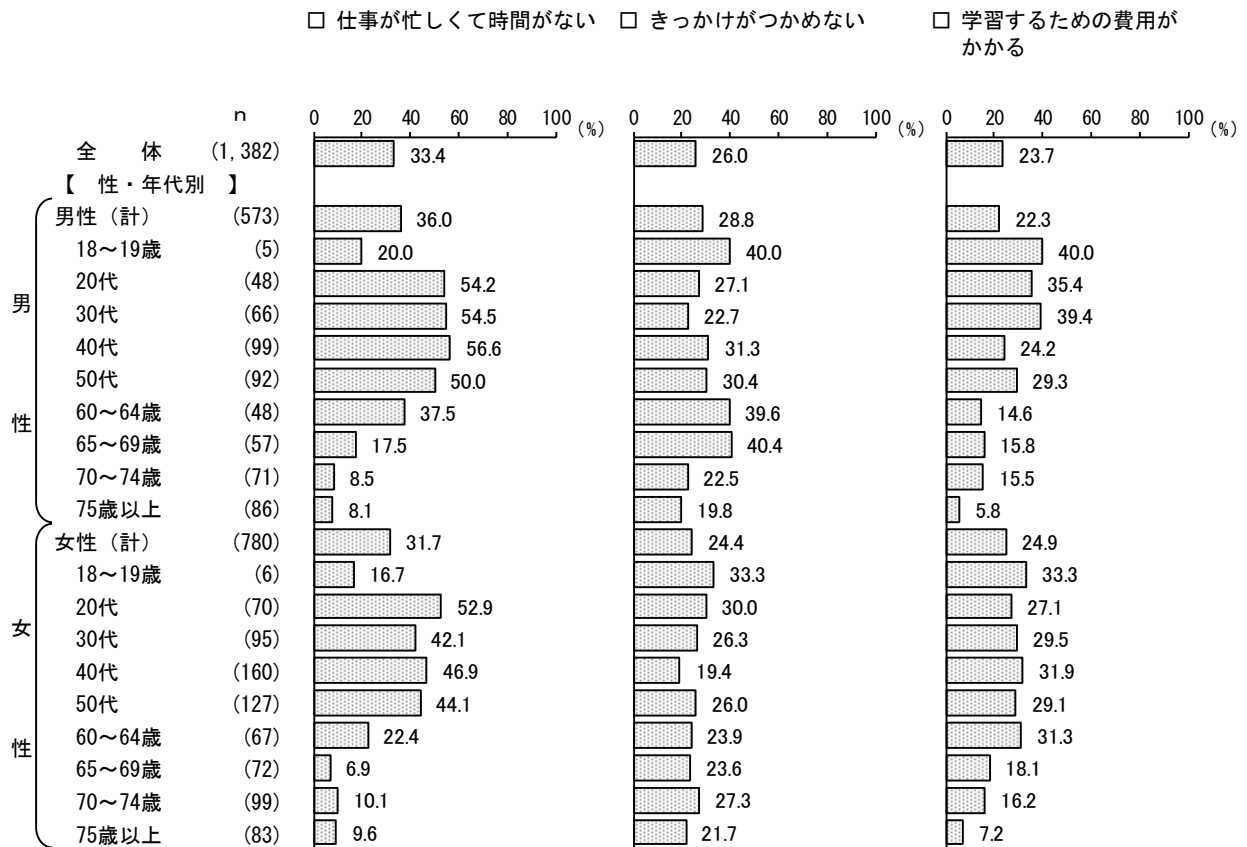
「きっかけがつかめない」は男性の65～69歳（40.4%）が４割、男性の60～64歳（39.6%）が約

4割で高くなっている。

「学習するための費用がかかる」は男性の30代（39.4%）が約4割、女性の40代（31.9%）が3割を超えて高くなっている。（図表8－4）

＜図表8－4＞学習する上で困っていること（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）





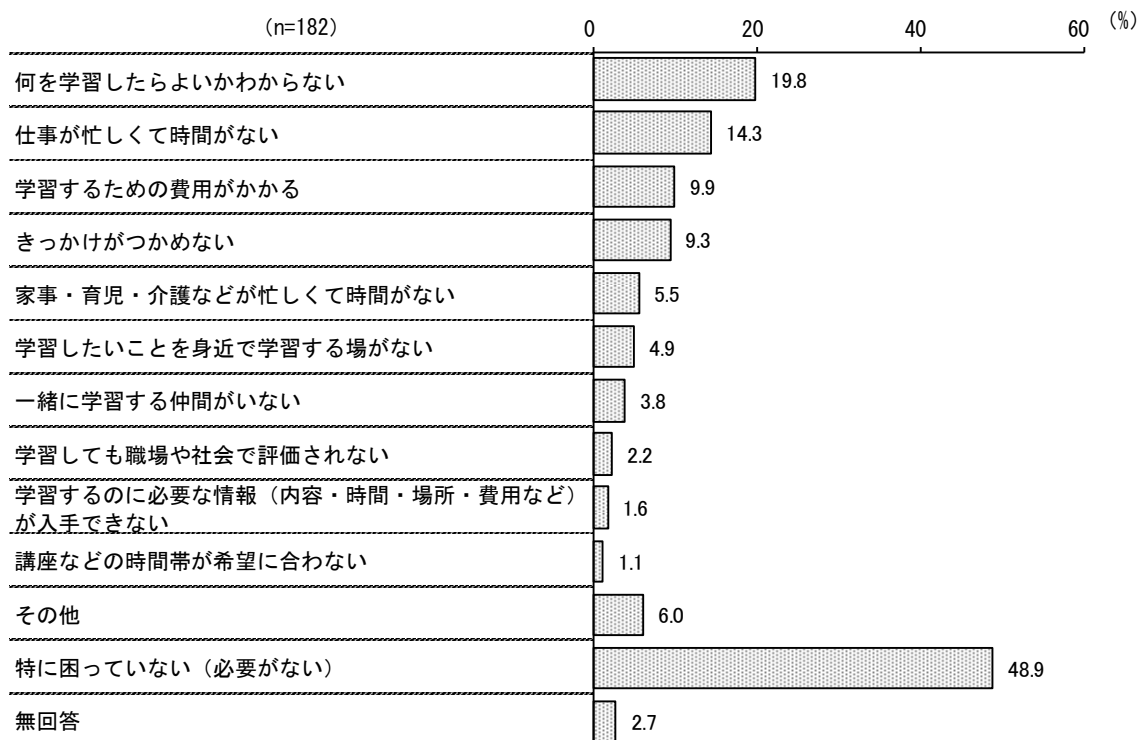
（１－２）学習したいと思わない理由

◇「何を学習したらよいかわからない」が約２割

【問33で「学習したいとは思わない」を回答した方】

問34 学習する上で困っていることは何ですか。この中からいくつでもあげてください。（問33で「学習したいとは思わない」と回答した方は、学習したいとは思わない理由をお答えください。）（○はいくつでも）

＜図表 8－5＞学習したいと思わない理由（複数回答）



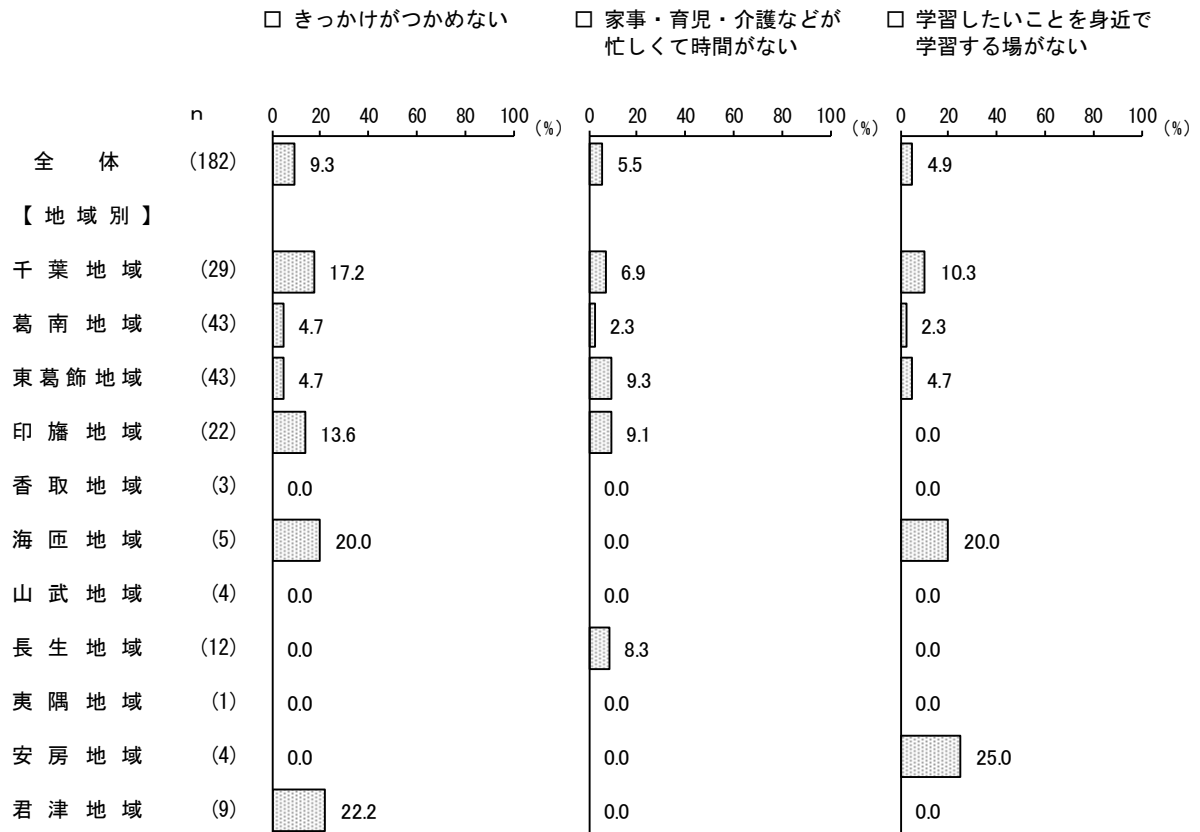
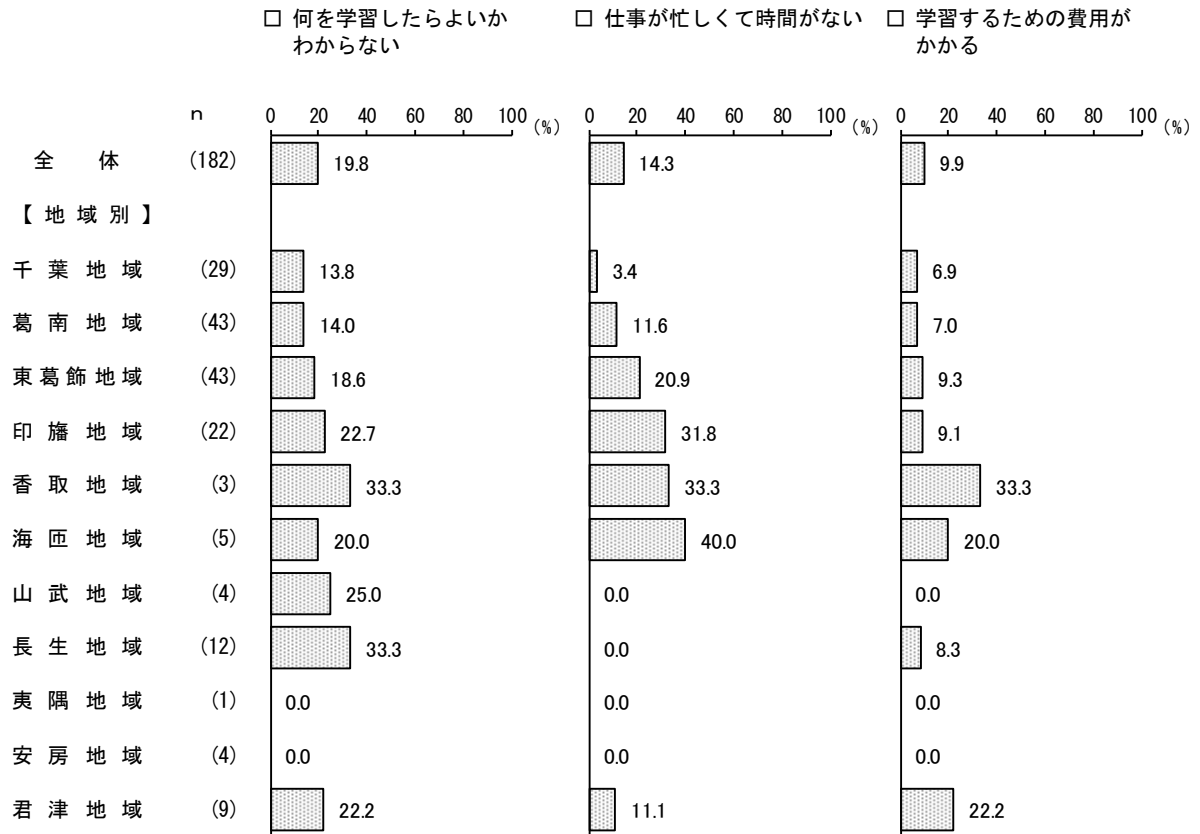
「学習したいとは思わない」と回答した182人に、学習したいとは思わない理由を聞いたところ、「何を学習したらよいかわからない」（19.8%）が約２割で最も高く、以下、「仕事が忙しくて時間がない」（14.3%）、「学習するための費用がかかる」（9.9%）、「きっかけがつかめない」（9.3%）が続く。

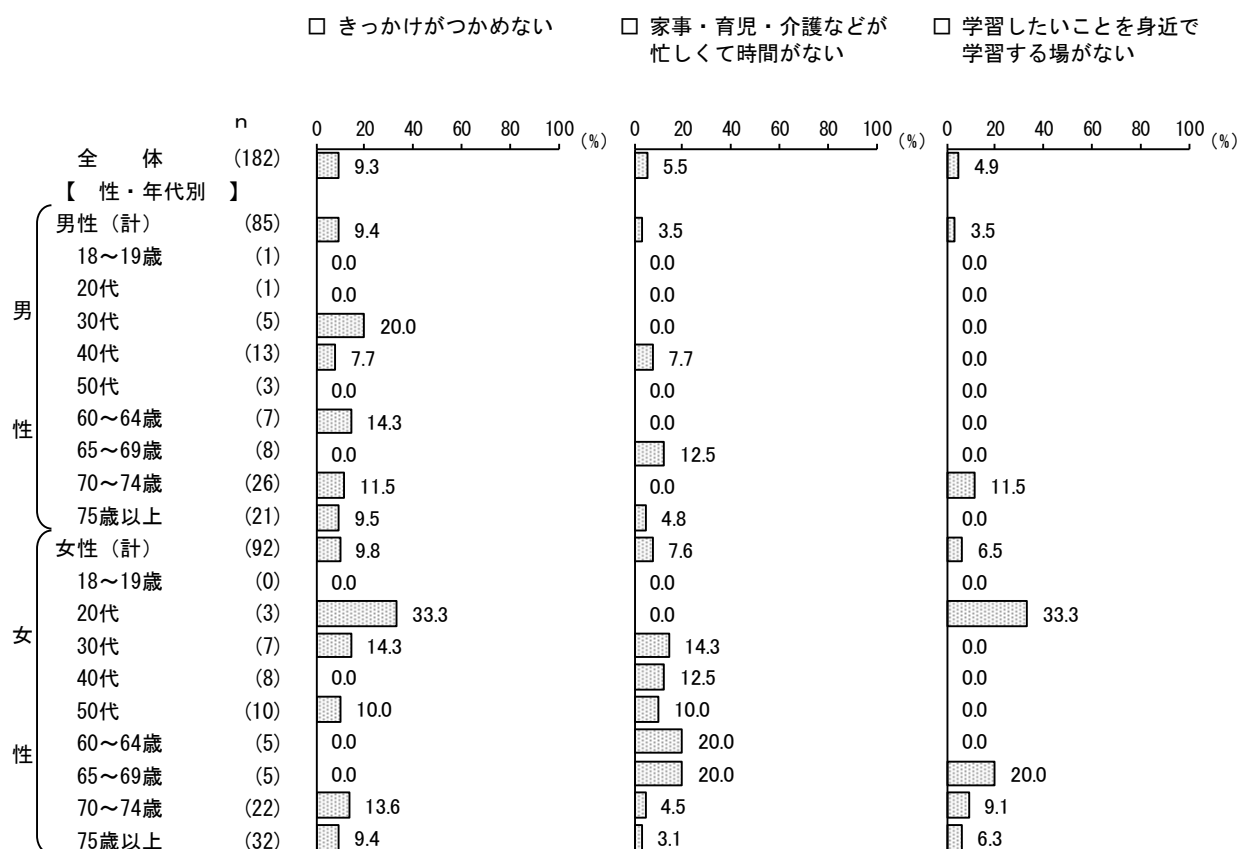
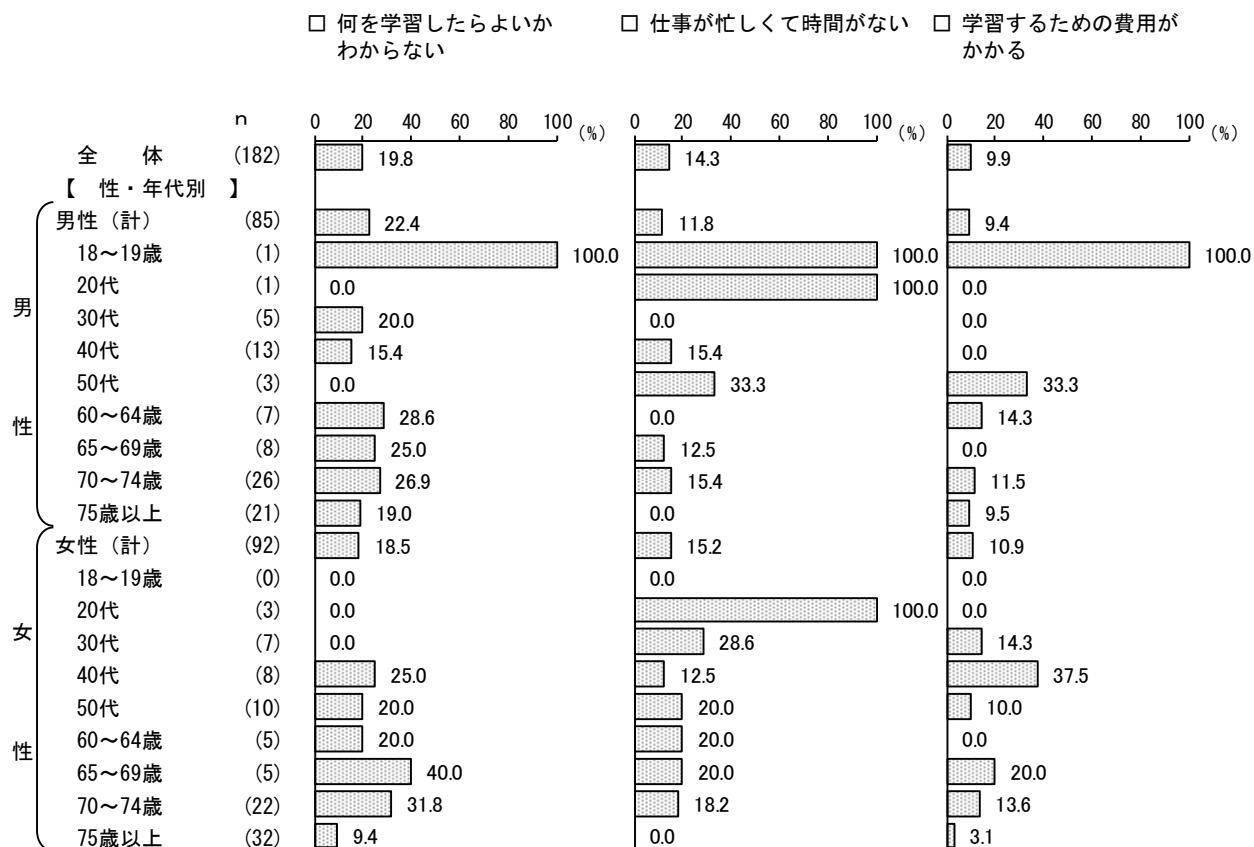
一方、「特に困っていない（必要がない）」（48.9%）が約５割となっている。（図表 8－5）

※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

（8 ページ「報告書の見方（5）」を参照）（図表 8－6）

〔参考〕＜図表8－6＞学習したいと思わない理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



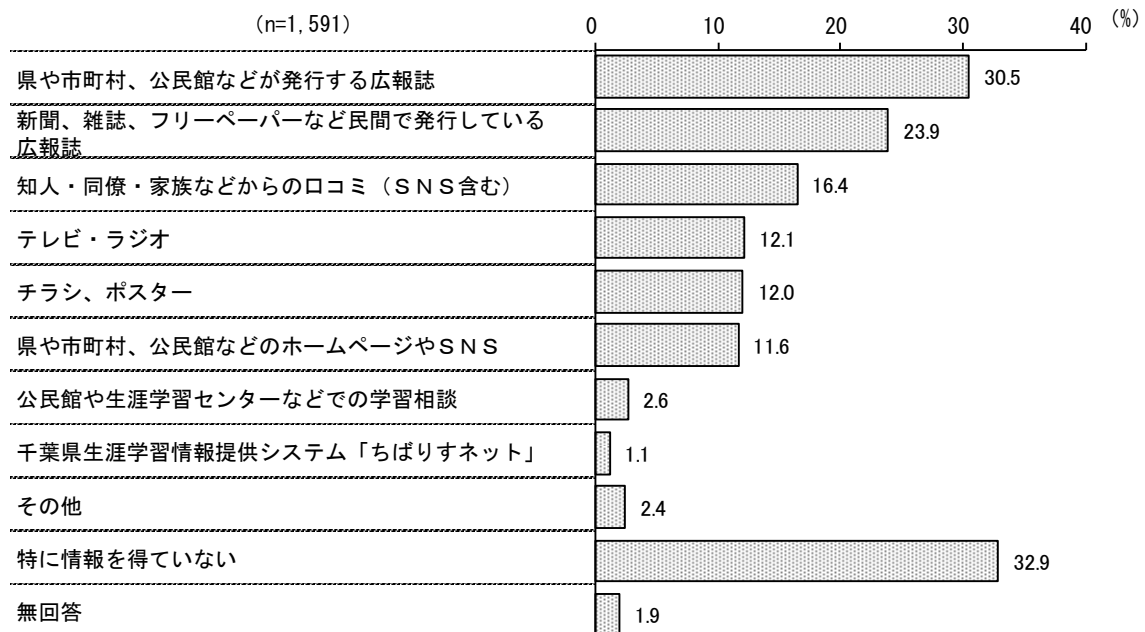


（２）生涯学習の情報を得る手段

◇「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」が３割

問35 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。この中からいくつでもあげてください。（○はいくつでも）

＜図表 8－7＞生涯学習の情報を得る手段（複数回答）



生涯学習の情報を得る手段について聞いたところ、「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」（30.5％）が３割で最も高く、以下、「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」（23.9％）、「知人・同僚・家族などからの口コミ（SNS含む）」（16.4％）が続く。

一方、「特に情報を得ていない」（32.9％）が３割を超えている。（図表 8－7）

【地域別】

地域別にみると、「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」は“葛南地域”（27.8％）が約３割で高くなっている。（図表 8－8）

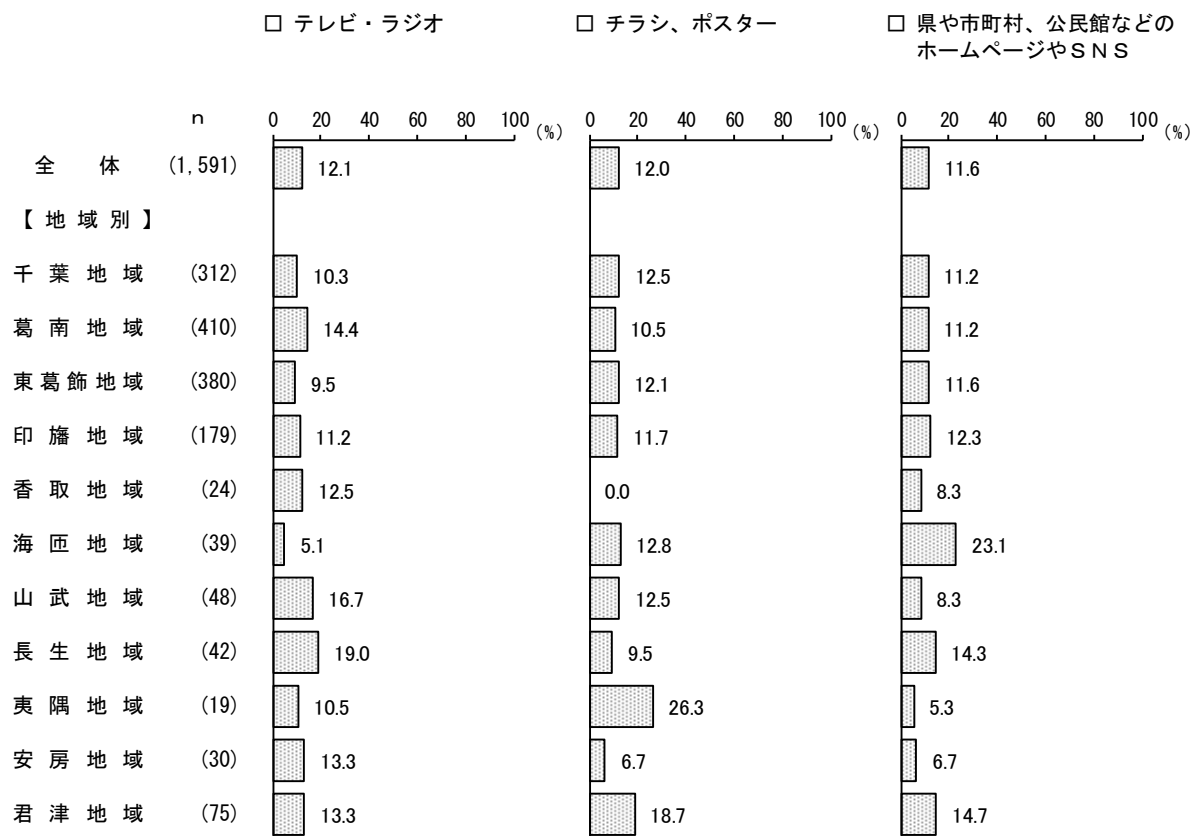
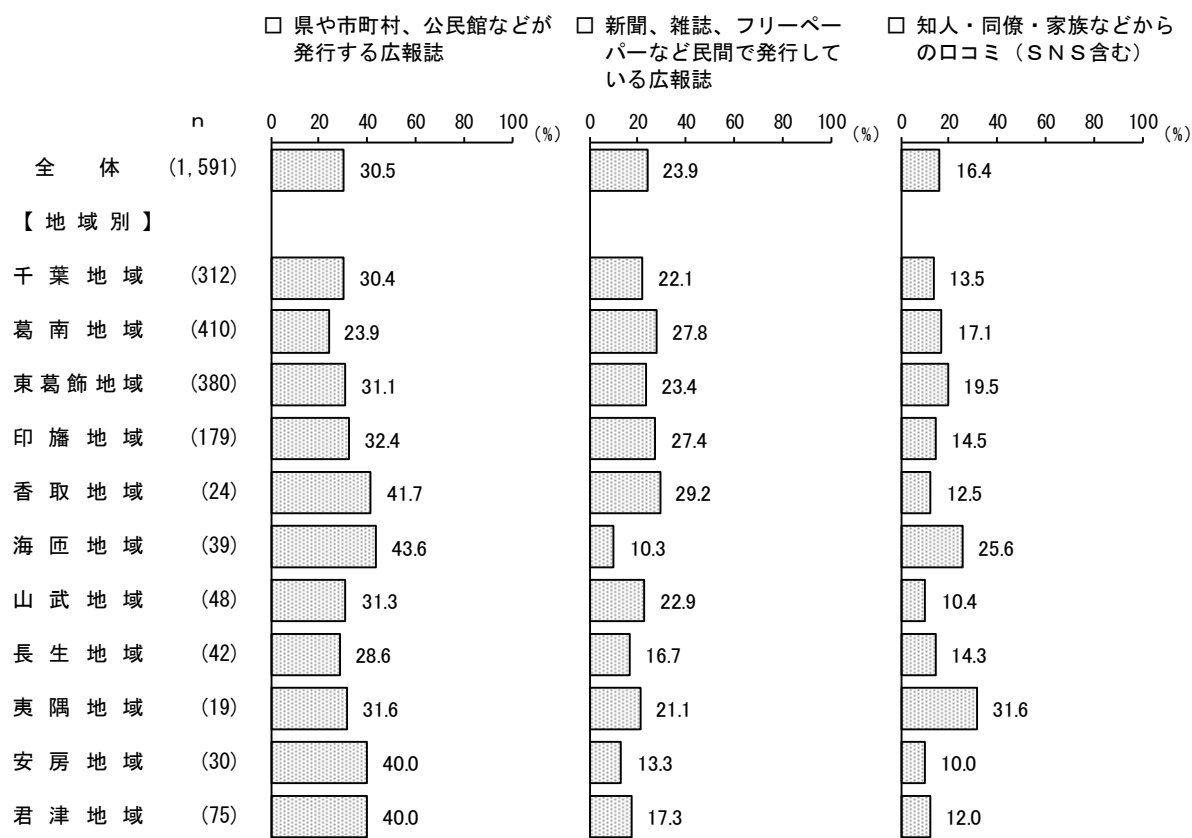
【性・年代別】

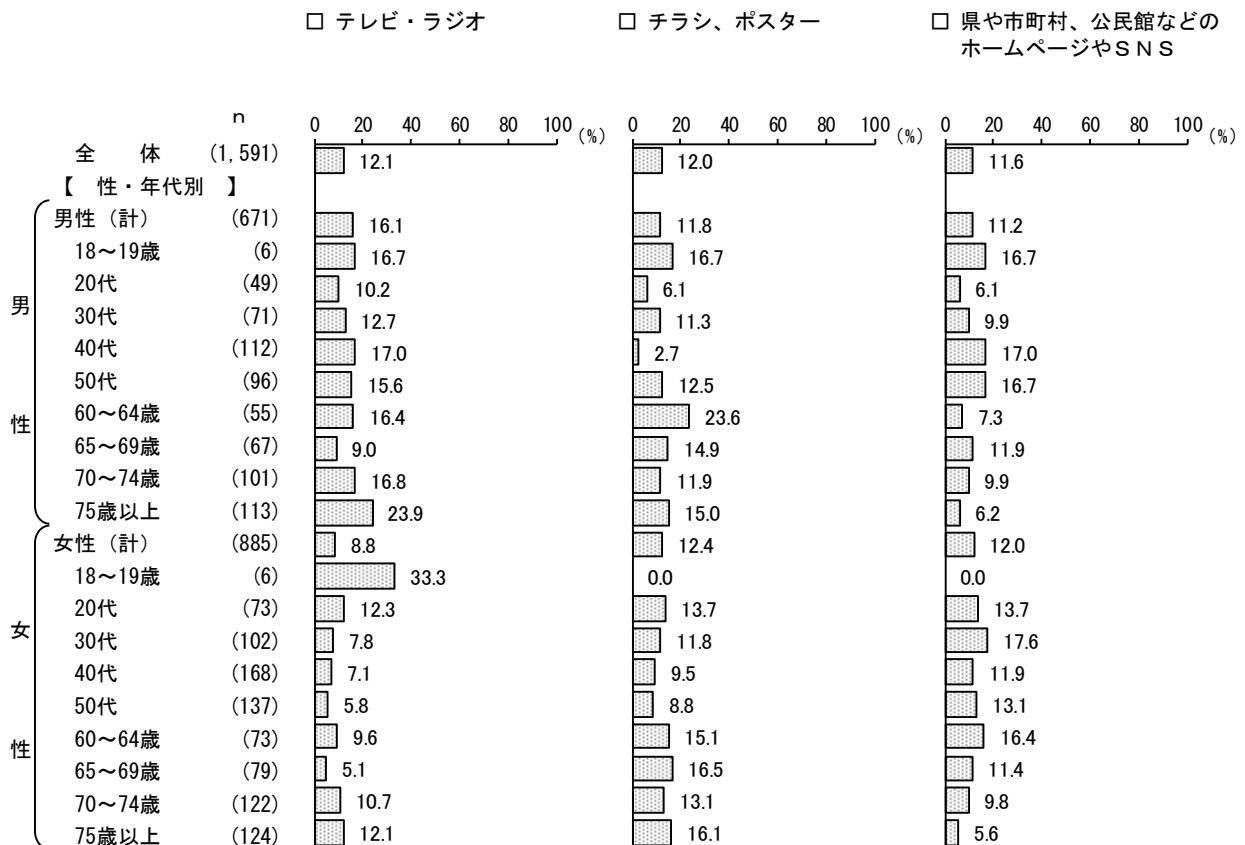
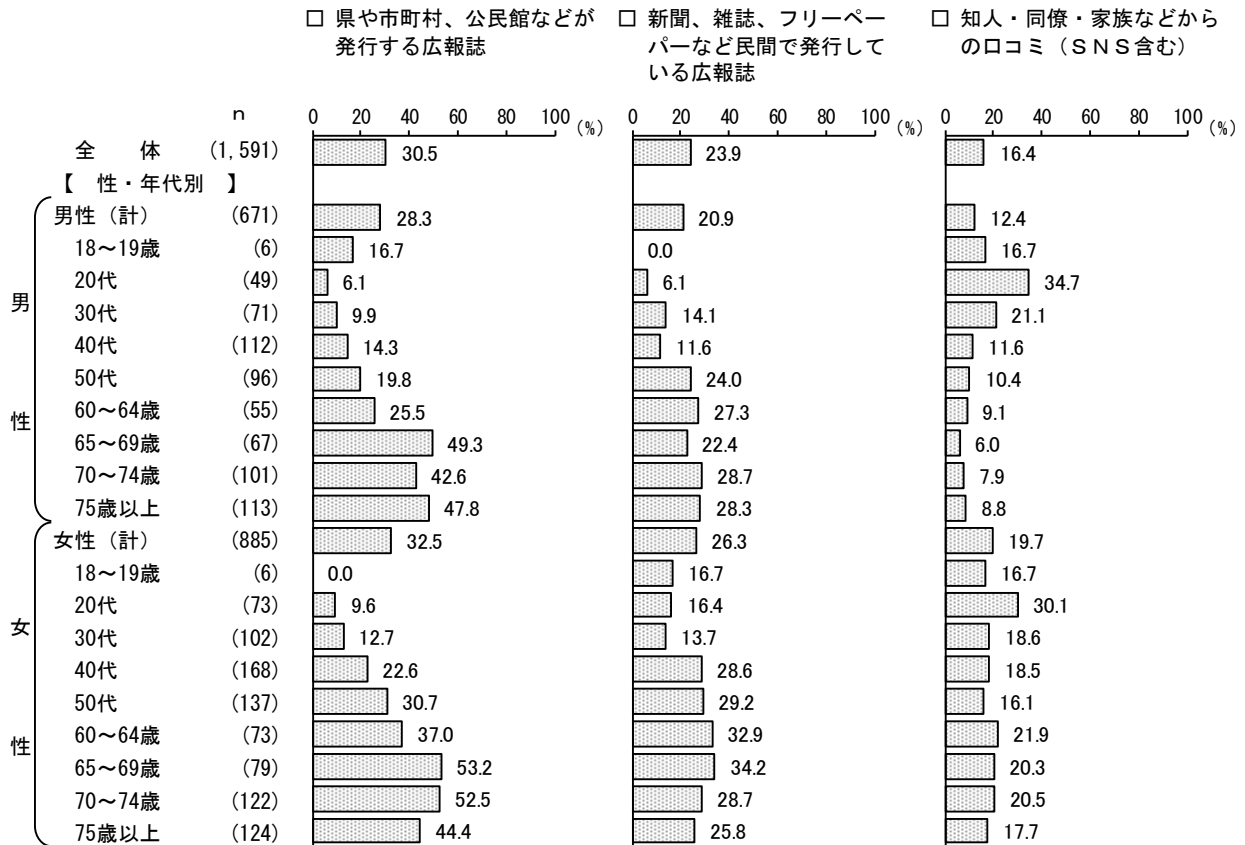
性・年代別にみると「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」は女性の65～69歳（53.2％）と女性の70～74歳（52.5％）が５割を超え、男性の65～69歳（49.3％）と男性の75歳以上（47.8％）が約５割、女性の75歳以上（44.4％）が４割台半ば、男性の70～74歳（42.6％）が４割を超えて高くなっている。

「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」は女性の65～69歳（34.2％）が３割台半ばで高くなっている。

「知人・同僚・家族などからの口コミ（SNS含む）」は男性の20代（34.7％）が３割台半ば、女性の20代（30.1％）が３割で高くなっている。（図表 8－8）

＜図表８－８＞生涯学習の情報を得る手段（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）





9 SDGs等について

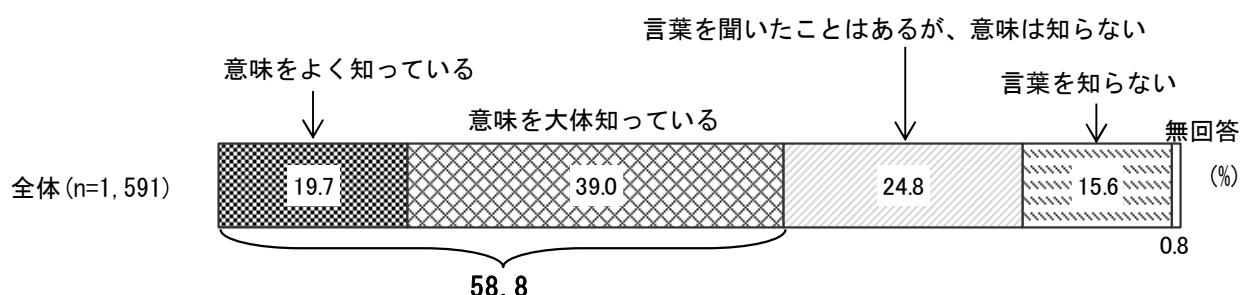
（１）SDGsの言葉の認知度

◇『意味を知っている（計）』が約6割

問36 あなたは、SDGs※の言葉の意味を知っていましたか。（○は1つ）

※ SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を達成年限とする世界共通の目標です。経済・社会・環境の三側面の調和がとれた社会を目指す目標として、17のゴールから構成され、「誰一人取り残さない」という理念を掲げています。

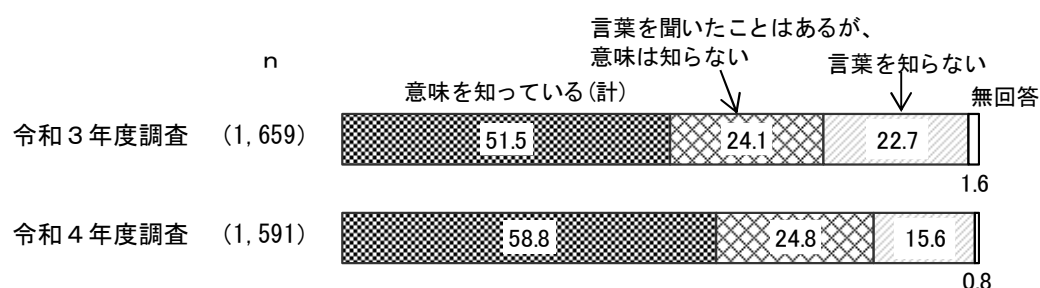
＜図表9－1＞SDGsの言葉の認知度



SDGsの言葉の意味を知っているか聞いたところ、「意味をよく知っている」（19.7%）と「意味を大体知っている」（39.0%）を合わせた『意味を知っている（計）』（58.8%）が約6割となっている。

一方、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」（24.8%）が2割台半ば、「言葉を知らない」（15.6%）が1割台半ばとなっている。（図表9－1）

〔参考〕令和3年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『言葉を知らない』は“安房地域”（36.7%）が3割台半ばで高くなっている。
（図表9－2）

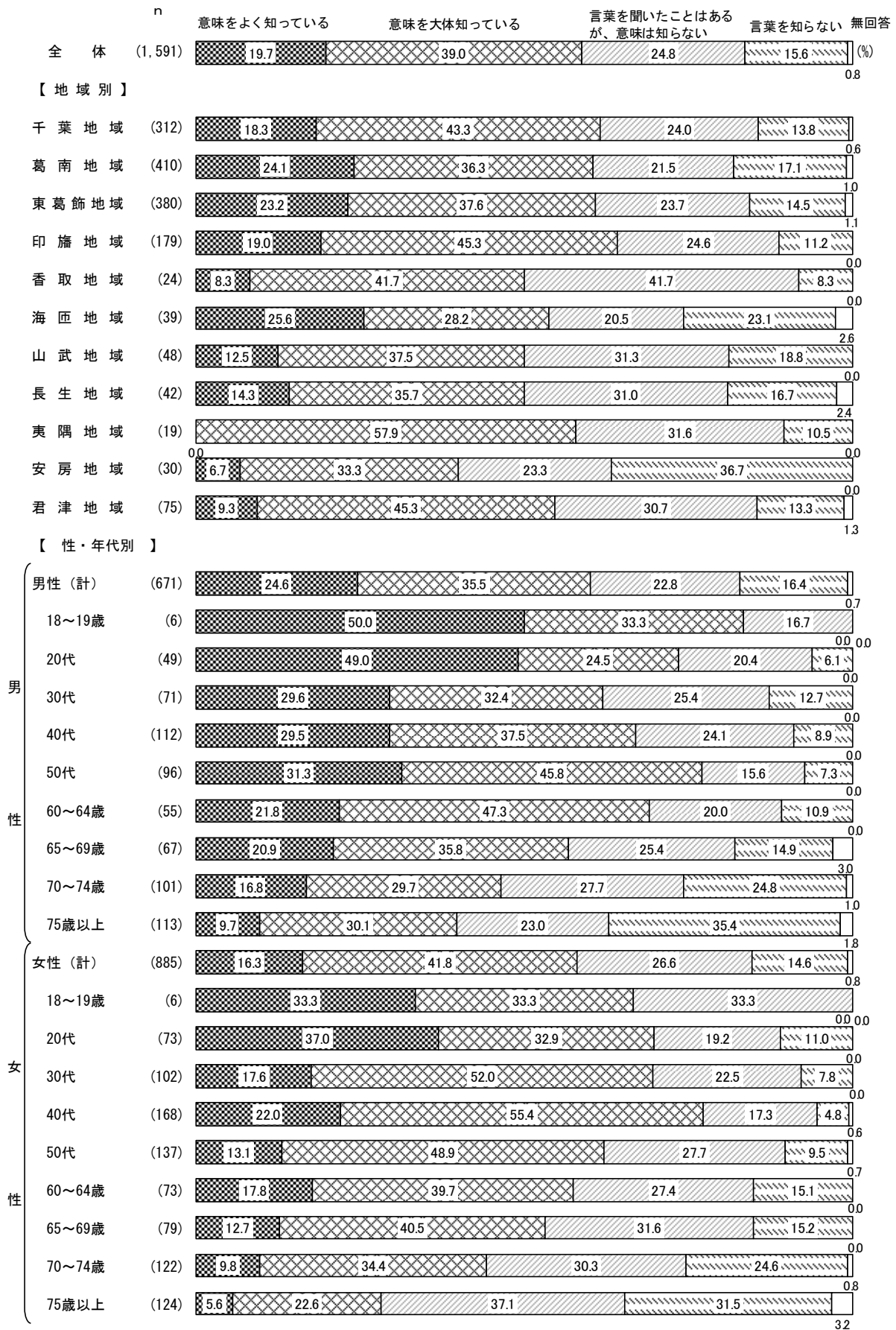
【性・年代別】

性・年代別にみると、『意味を知っている（計）』は男性の50代（77.1%）と女性の40代（77.4%）が約8割、男性の20代（73.5%）が7割台半ば、女性の20代（69.9%）と女性の30代（69.6%）が約7割で高くなっている。

一方、「言葉を知らない」は男性の75歳以上（35.4%）が3割台半ば、女性の75歳以上（31.5%）

が3割を超え、男性の70～74歳（24.8%）と女性の70～74歳（24.6%）が2割台半ばで高くなっている。（図表9-2）

＜図表9-2＞SDGsの言葉の認知度／地域別、性・年代別



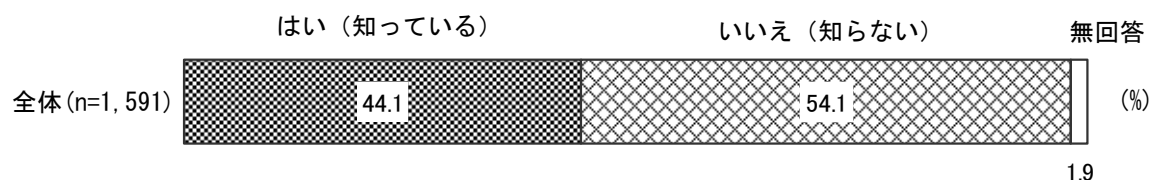
（２）「ダイバーシティ」概念の認知度

◇「はい（知っている）」が４割台半ば

問37 「ダイバーシティ※」という概念を知っていましたか。（○は１つ）

※ 「ダイバーシティ」とは、多様性のことをいい、性別や国籍、年齢、障害の有無などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことを「ダイバーシティ社会」といいます。

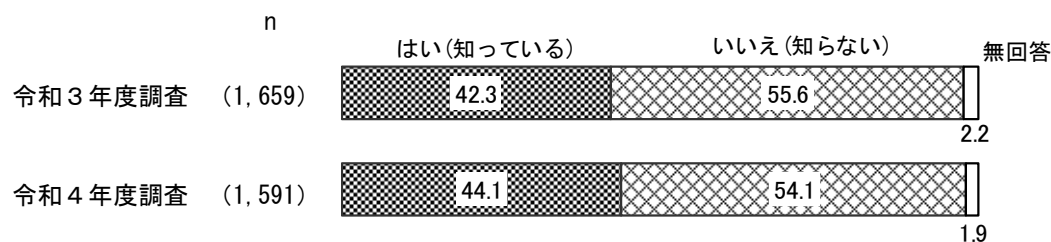
＜図表 9－3＞「ダイバーシティ」概念の認知度



「ダイバーシティ」という概念を知っていたか聞いたところ、「はい（知っている）」（44.1%）が４割台半ばとなっている。

一方、「いいえ（知らない）」（54.1%）が５割台半ばとなっている。（図表 9－3）

〔参考〕令和３年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

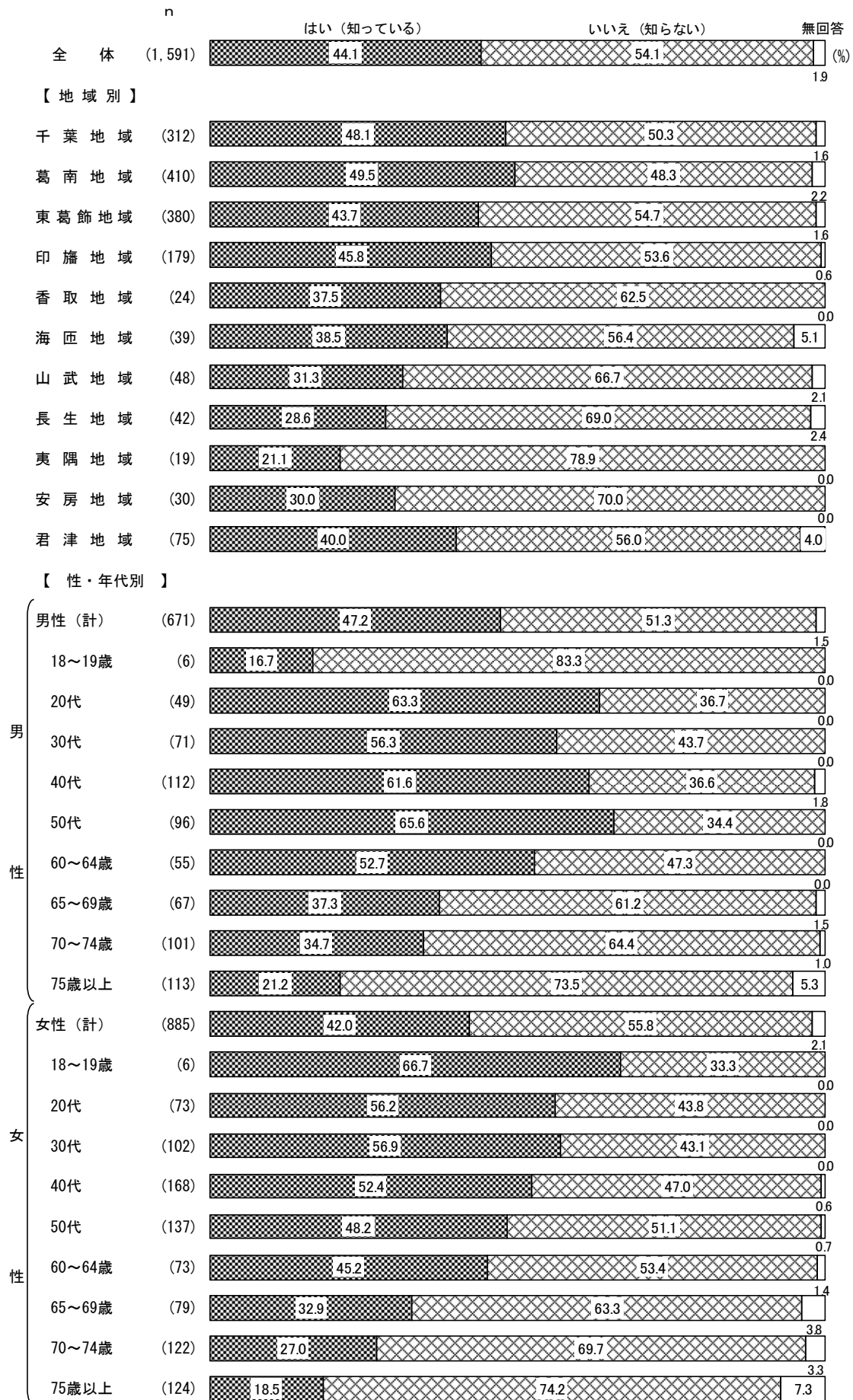
地域別にみると、『はい（知っている）』は“葛南地域”（49.5%）が約５割で高くなっている。一方、『いいえ（知らない）』は“長生地域”（69.0%）が約７割で高くなっている。（図表 9－4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『はい（知っている）』は男性の50代（65.6%）が６割台半ば、男性の20代（63.3%）と男性の40代（61.6%）が６割を超え、男性の30代（56.3%）、女性の20代（56.2%）、女性の30代（56.9%）が５割台半ば、女性の40代（52.4%）が５割を超えて高くなっている。

一方、『いいえ（知らない）』は男性の75歳以上（73.5%）と女性の75歳以上（74.2%）が７割台半ば、女性の70～74歳（69.7%）が約７割、男性の70～74歳（64.4%）が６割台半ばで高くなっている。（図表 9－4）

＜図表9－4＞「ダイバーシティ」概念の認知度／地域別、性・年代別



（２－１）千葉県における「ダイバーシティ社会」の実現について

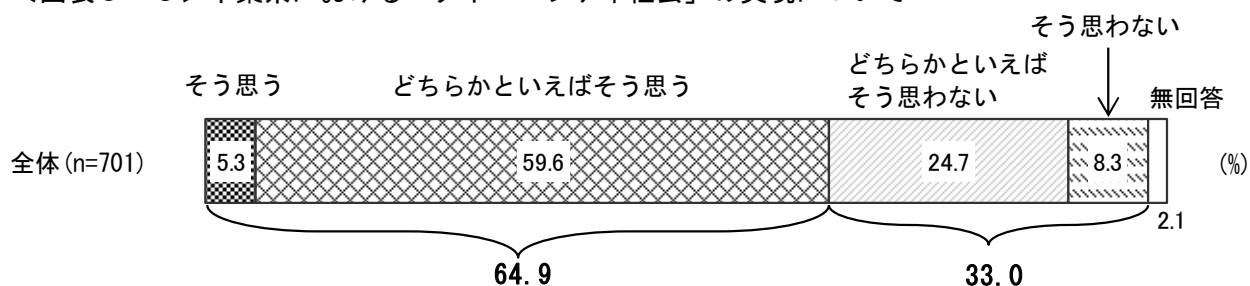
◇『そう思う（計）』が６割台半ば

（問37で「はい（知っている）」とお答えの方に）

問37－１ 千葉県で「ダイバーシティ社会」が実現できていると思いますか。

「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選んだ方は、その理由をご記載ください。（任意）（○は１つ）

＜図表９－５＞千葉県における「ダイバーシティ社会」の実現について



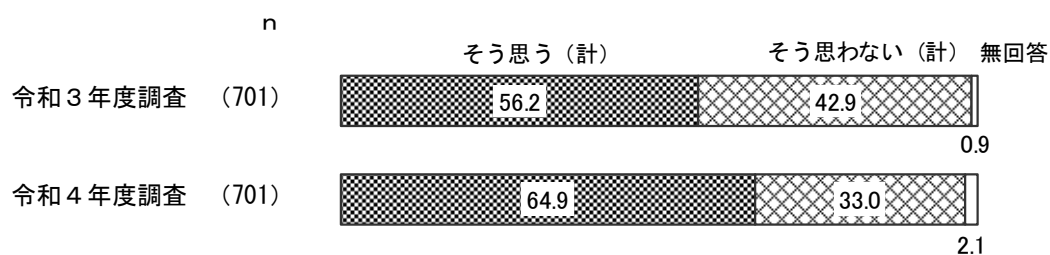
ダイバーシティの概念を知っている701人を対象に、千葉県でダイバーシティ社会が実現できているか聞いたところ、「そう思う」（5.3%）と「どちらかといえばそう思う」（59.6%）を合わせた『そう思う（計）』（64.9%）が６割台半ばとなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（24.7%）と「そう思わない」（8.3%）を合わせた『そう思わない（計）』（33.0%）が３割を超えている。（図表９－５）

どちらかといえばそう思わない／そう思わないを選んだ人の理由は以下の通り。

- ・ダイバーシティ社会の実感がない／具体例を知らないため（60件）
- ・多様性との共存が難しいと感じるから（23件）
- ・千葉県の取組みが遅れている／浸透していないため（21件）
- ・性別による格差があるため（12件）
- ・県だけではなく世の中がそうになっていない（10件）
- ・差別や偏見があるため／なくならないため（9件）
- ・障がいによる差別があるため（8件）
- ・地域によって差がある（8件）
- ・保守的な体制や考え方の人々が多いため（7件）
- ・国籍、人種、言語による差別があるため（6件）
- ・わからない（7件）
- ・その他（8件）

〔参考〕令和３年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

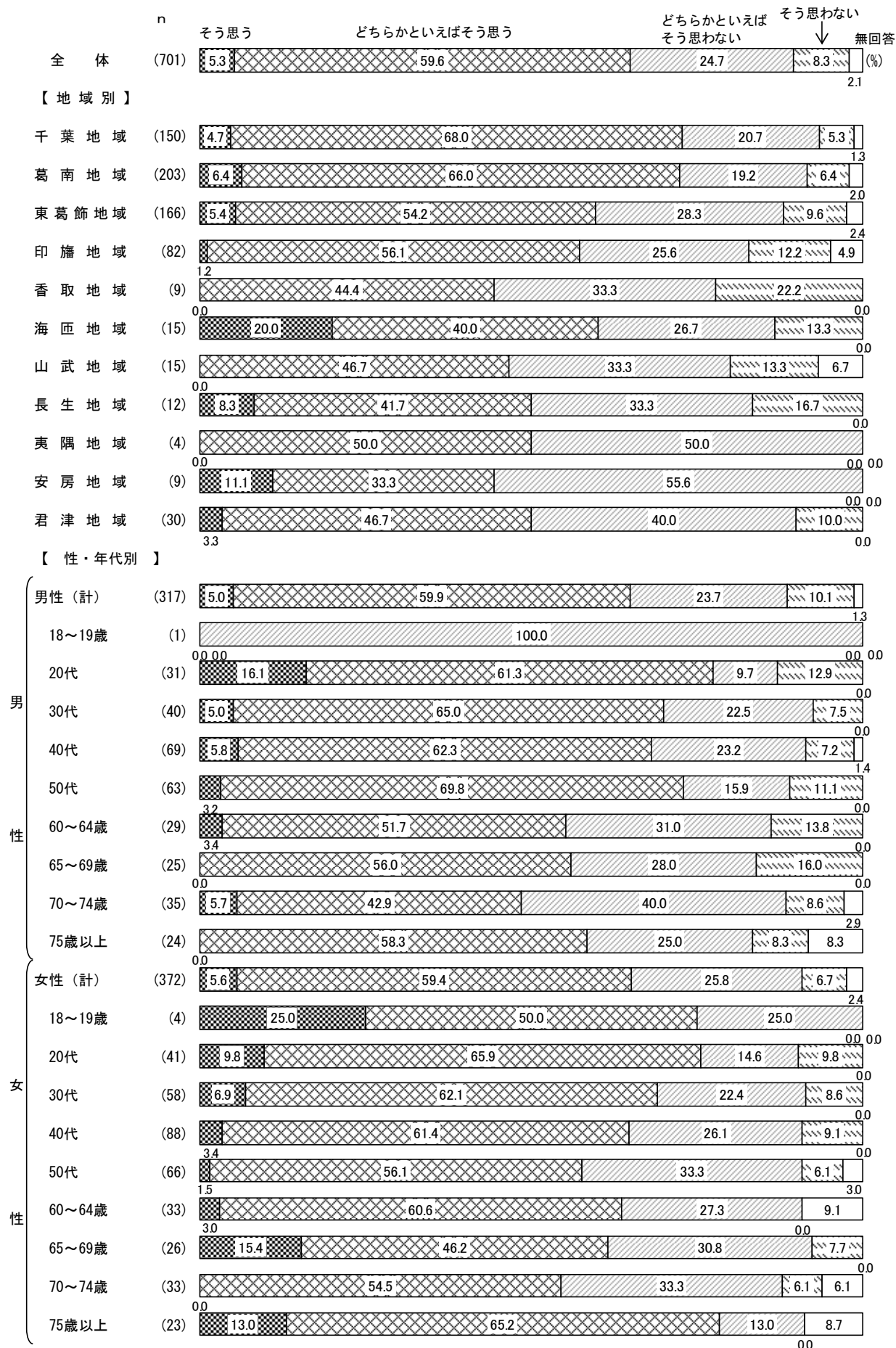
地域別にみると、『そう思う（計）』は“千葉地域”（72.7%）と“葛南地域”（72.4%）が7割を超えて高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は“君津地域”（50.0%）が5割で高くなっている。（図表9－6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思わない（計）』は男性の70～74歳（48.6%）が約5割で高くなっている。（図表9－6）

＜図表9－6＞千葉県における「ダイバーシティ社会」の実現について／地域別、性・年代別



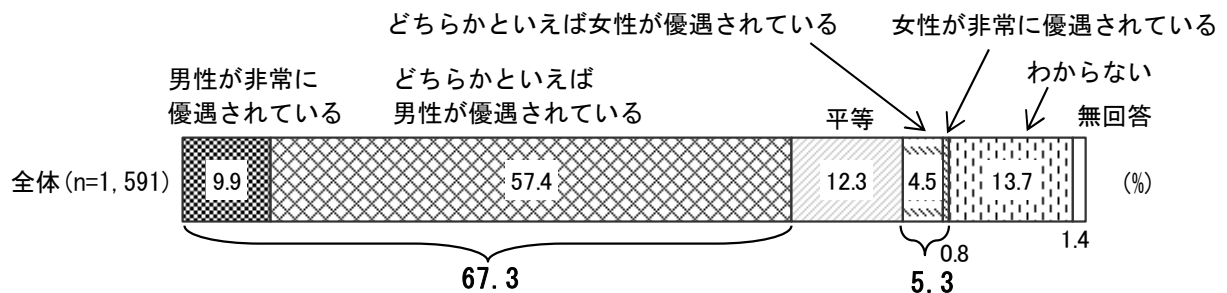
（３）社会全体での男女の地位の平等感

◇『男性が優遇されている（計）』が約７割

問38 社会全体※で男女の地位は平等になっていると思いますか。（○は１つ）

※ 社会全体とは、家庭、職場、学校教育の場、政治の場、法律や制度上、社会通念・慣習、地域活動の場等のあらゆる分野を想定しています。

＜図表 9－7＞社会全体での男女の地位の平等感

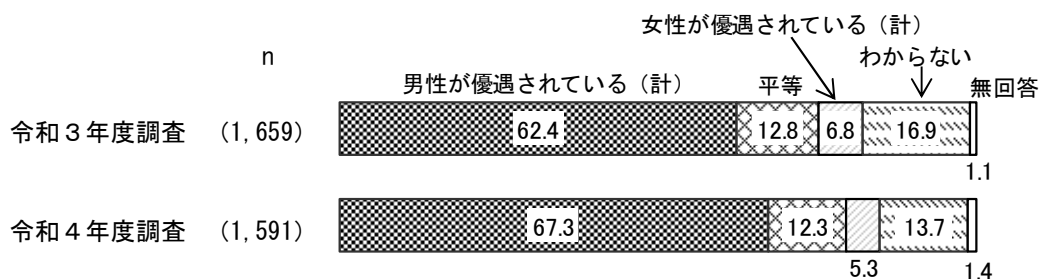


社会全体で男女の地位は平等になっていると思うか聞いたところ、「男性が非常に優遇されている」(9.9%)と「どちらかといえば男性が優遇されている」(57.4%)を合わせた『男性が優遇されている（計）』(67.3%)が約７割となっている。

一方、「どちらかといえば女性が優遇されている」(4.5%)と「女性が非常に優遇されている」(0.8%)を合わせた『女性が優遇されている（計）』(5.3%)は１割未満となっている。

「平等」(12.3%)は１割を超えている。(図表 9－7)

〔参考〕令和３年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、『女性が優遇されている（計）』は“長生地域” (19.0%) が約２割で高くなっている。(図表 9－8)

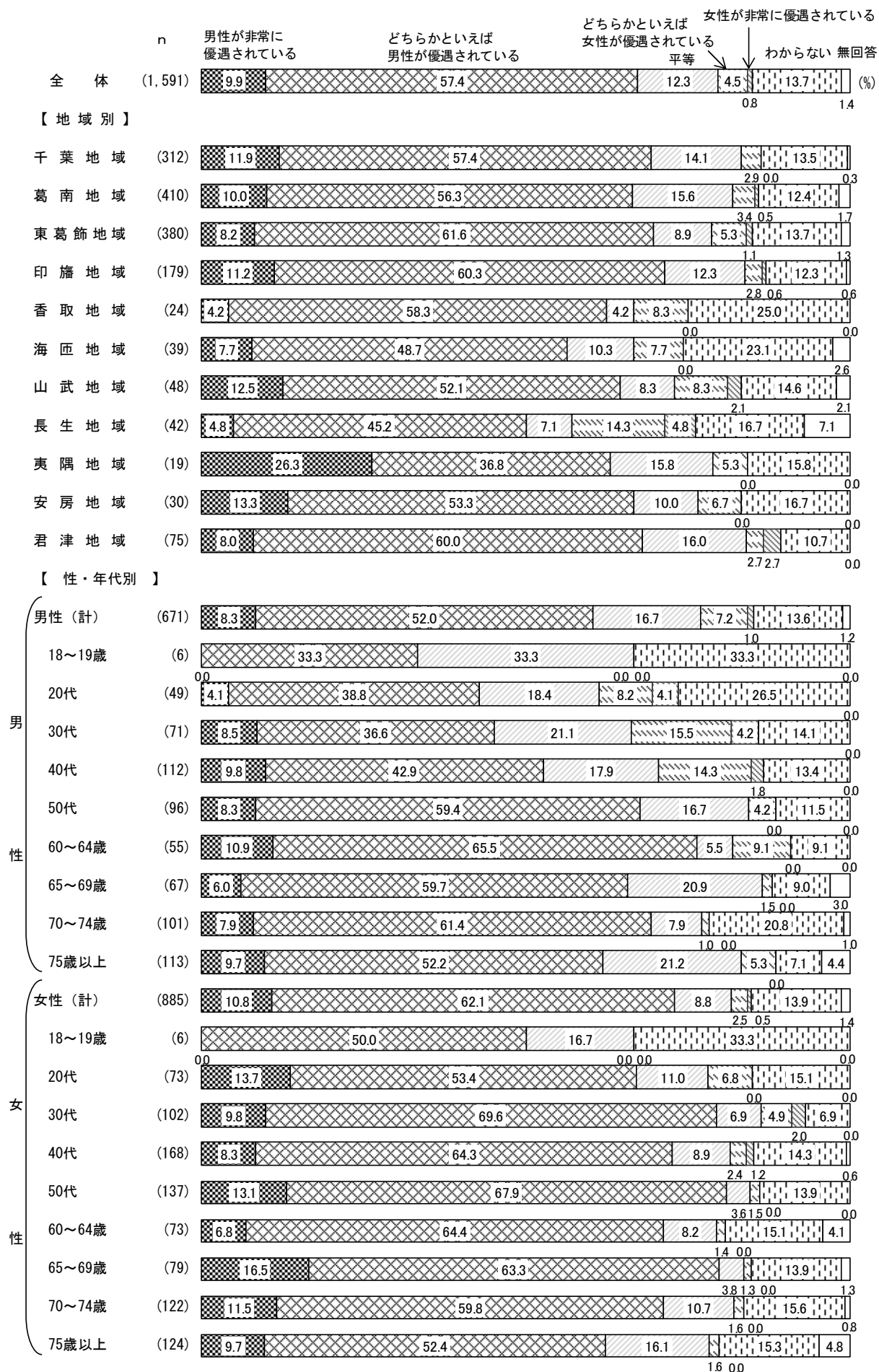
【性・年代別】

性・年代別にみると、『男性が優遇されている（計）』は女性の50代 (81.0%) が８割を超え、女性の30代 (79.4%) と女性の65～69歳 (79.7%) が約８割で高くなっている。

一方、『女性が優遇されている（計）』は男性の30代 (19.7%) が約２割、男性の40代 (16.1%) が１割台半ば、男性の20代 (12.2%) が１割を超えて高くなっている。

「平等」は男性の30代 (21.1%) と男性の75歳以上 (21.2%) が２割を超え、男性の65～69歳 (20.9%) が２割で高くなっている。(図表 9－8)

＜図表9－8＞社会全体での男女の地位の平等感／地域別、性・年代別

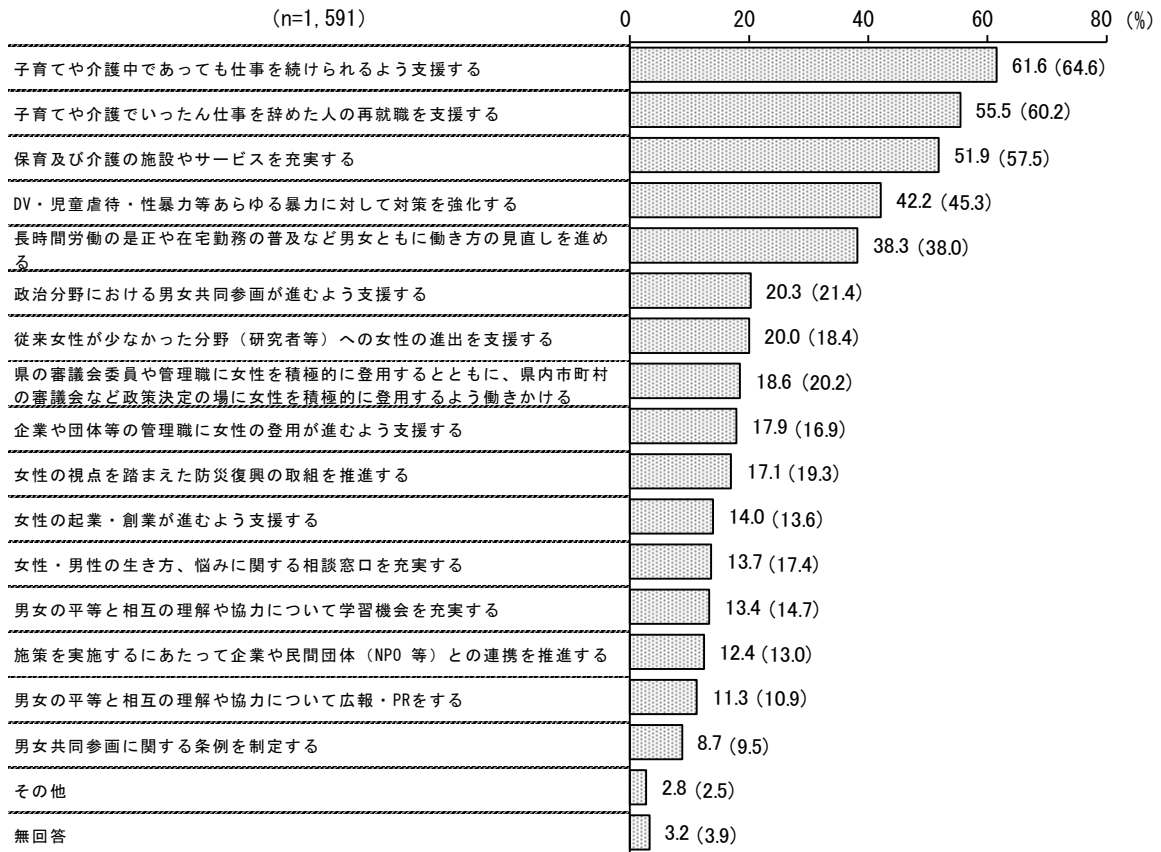


（４）男女共同参画社会を実現するための取組

◇「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」が６割を超える

問39 男女共同参画社会を実現するための様々な取組のなかで、今後、県はどのようなことにより力を入れるべきと考えますか。（○はいくつでも）

＜図表 9－9＞男女共同参画社会を実現するための取組（複数回答）



注）（ ）の数字は令和3年度の同様の項目による調査結果 n=1,659

男女共同参画社会を実現するために今後県が力を入れるべき取組を聞いたところ、「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」（61.6%）が６割を超えて最も高く、以下、「子育てや介護でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」（55.5%）、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」（51.9%）が続く。（図表 9－9）

【地域別】

地域別にみると、「長時間労働の是正や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」は“東葛飾地域”（43.7%）が４割台半ばで高くなっている。（図表 9－10）

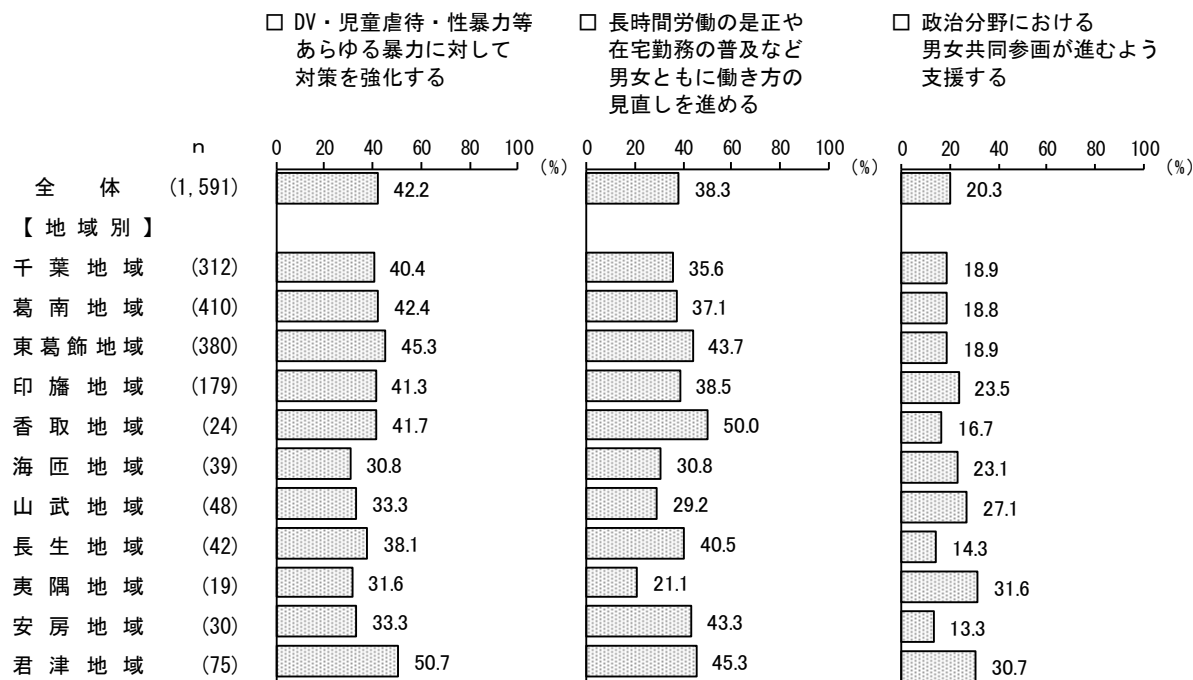
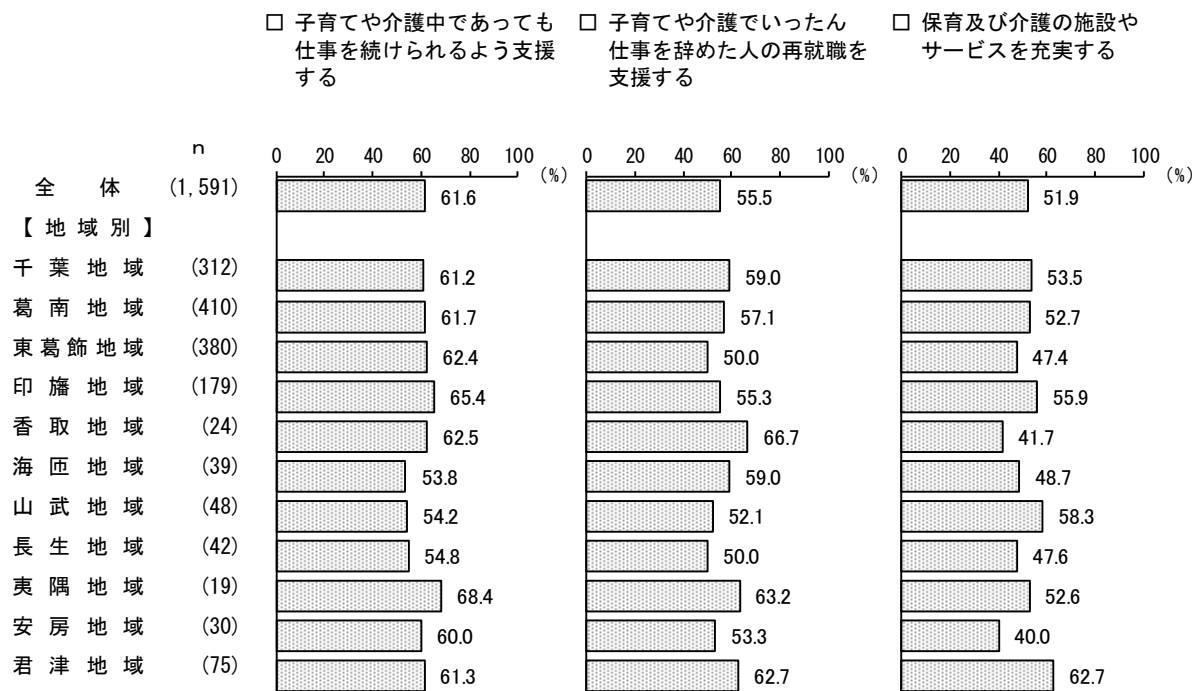
【性・年代別】

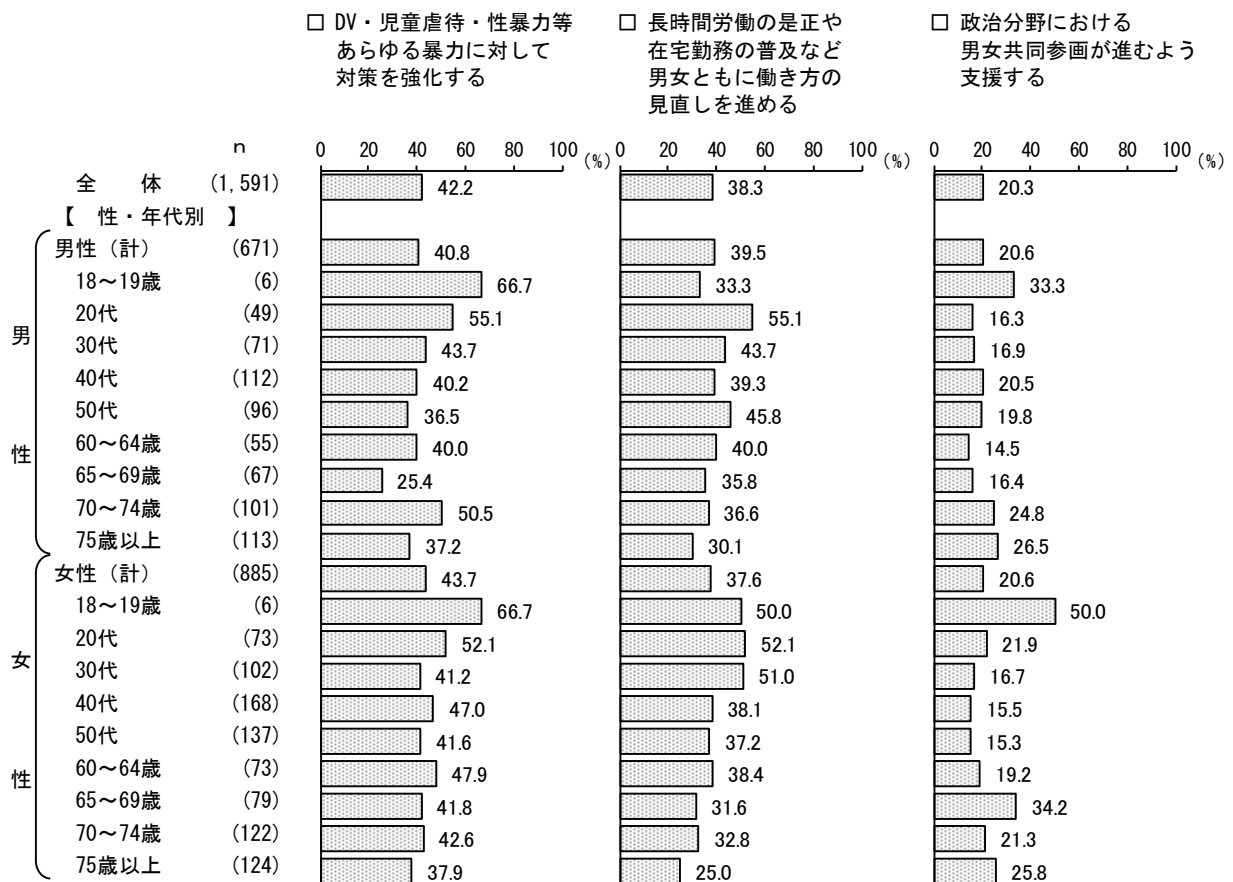
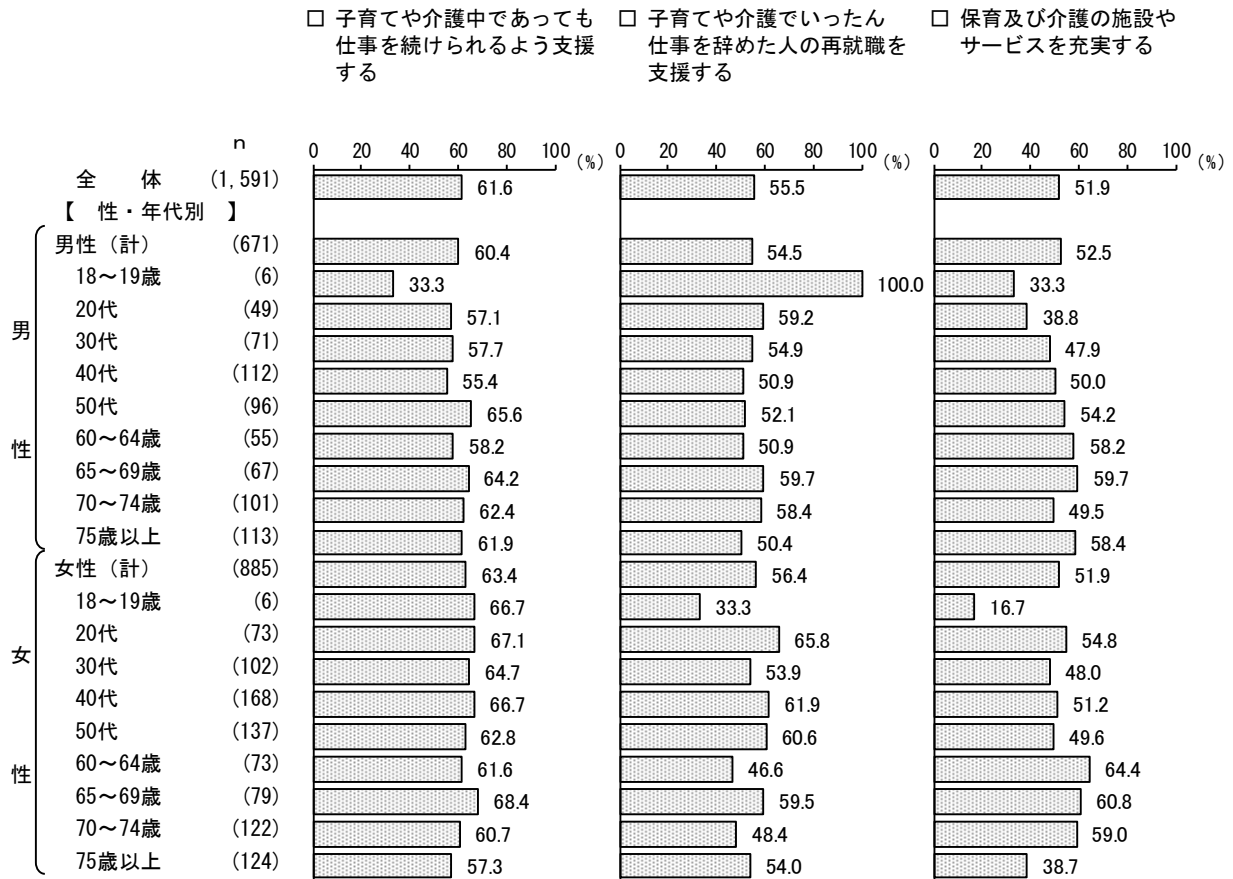
性・年代別にみると、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」は女性の60～64歳（64.4%）が６割台半ばで高くなっている。

「長時間労働の是正や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」は男性の20代（55.1%）が５割台半ば、女性の20代（52.1%）と女性の30代（51.0%）が５割を超えて高くなっている。

「政治分野における男女共同参画が進むよう支援する」は女性の65～69歳（34.2%）が３割台半ばで高くなっている。（図表 9－10）

＜図表９－１０＞男女共同参画社会を実現するための取組（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）





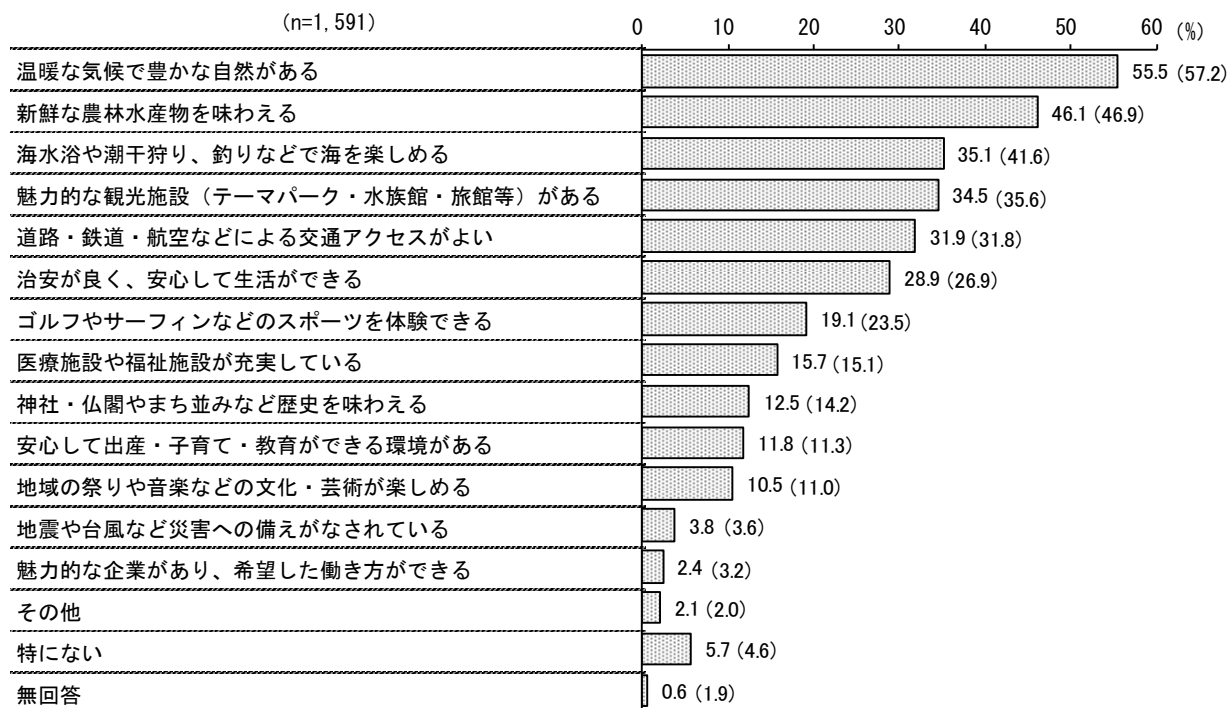
10 県の魅力について

（１）千葉県の魅力

◇「温暖な気候で豊かな自然がある」が５割台半ば

問40 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。（○はいくつでも）

<図表10－１>千葉県の魅力（複数回答）



注）（ ）の数字は令和３年度の同様の項目による調査結果 n=1,659

千葉県の魅力を聞いたところ、「温暖な気候で豊かな自然がある」（55.5%）が５割台半ばで最も高く、以下、「新鮮な農林水産物を味わえる」（46.1%）、「海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しむ」（35.1%）、「魅力的な観光施設（テーマパーク・水族館・旅館等）がある」（34.5%）が続く。

（図表10－１）

【地域別】

地域別にみると、「温暖な気候で豊かな自然がある」は“安房地域”（76.7%）が7割台半ば、“君津地域”（73.3%）が7割を超え、“千葉地域”（62.2%）が6割を超えて高くなっている。

「新鮮な農林水産物を味わえる」は“印旛地域”（54.7%）が5割台半ばで高くなっている。

「海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しめる」は“君津地域”（50.7%）が5割で高くなっている。

「道路・鉄道・航空などによる交通アクセスがよい」は“葛南地域”（40.0%）が4割で高くなっている。（図表10－2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「温暖な気候で豊かな自然がある」は男性の75歳以上（78.8%）が約8割、女性の75歳以上（70.2%）が7割、男性の70～74歳（69.3%）が約7割、女性の70～74歳（65.6%）が6割台半ばで高くなっている。

「新鮮な農林水産物を味わえる」は女性の70～74歳（59.0%）が約6割で高くなっている。

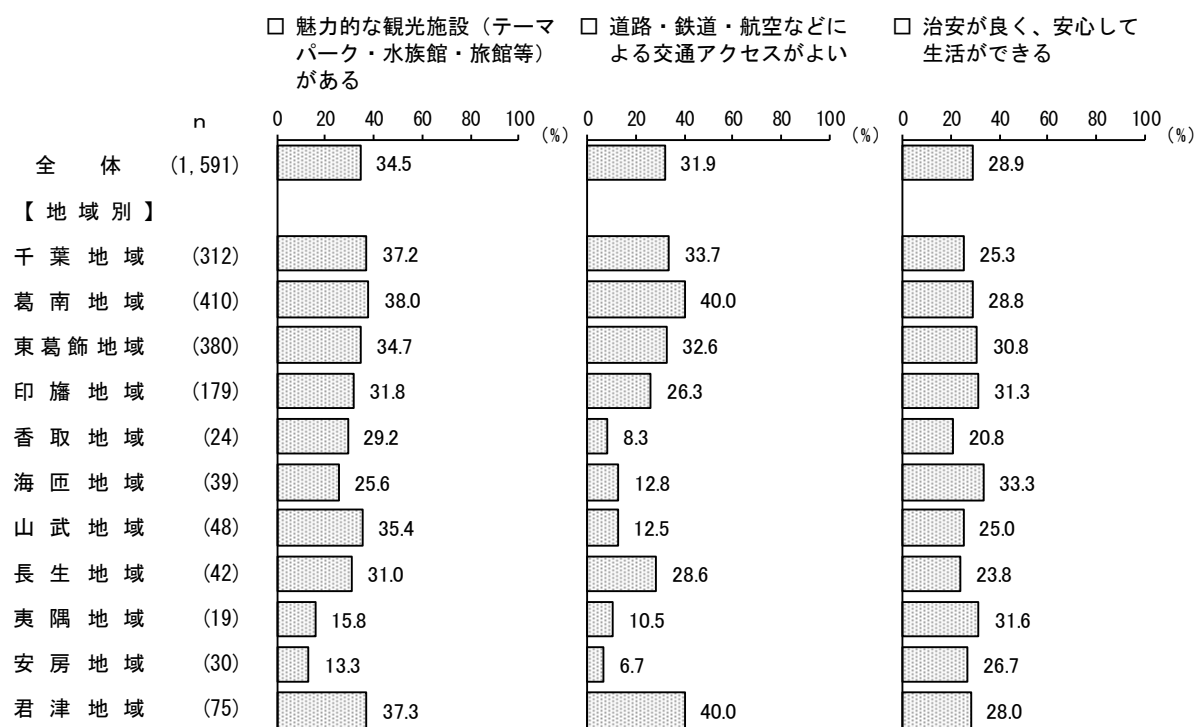
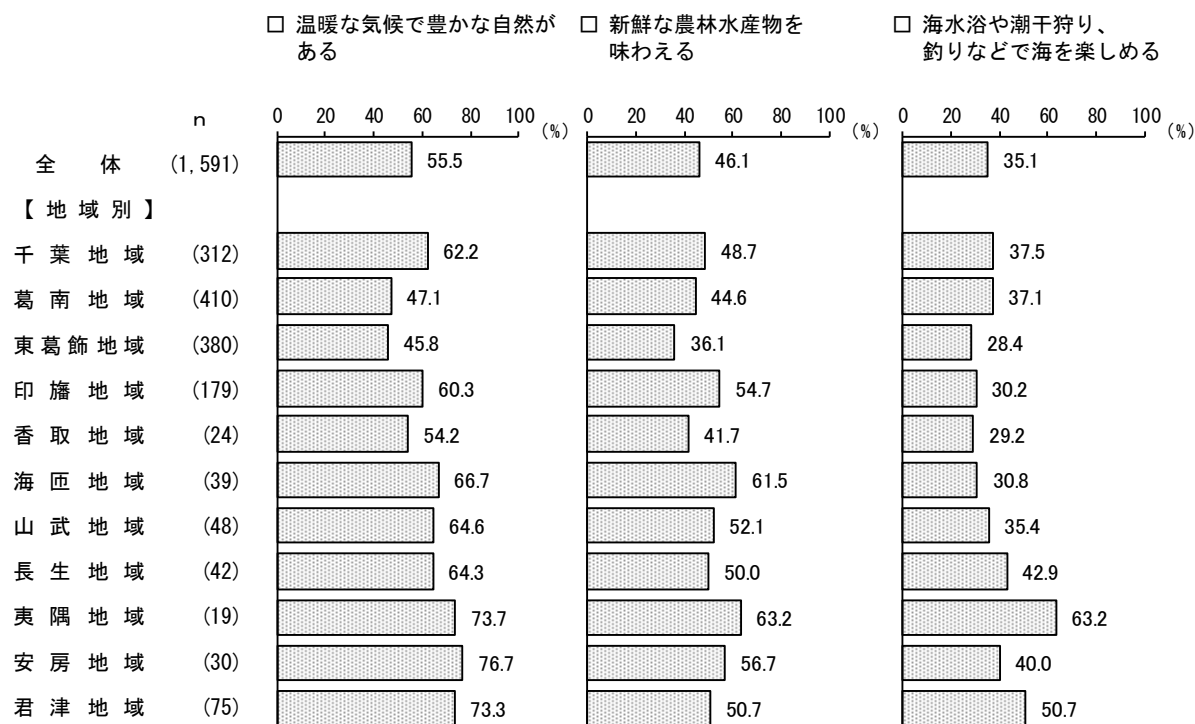
「海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しめる」は女性の20代（47.9%）が約5割で高くなっている。

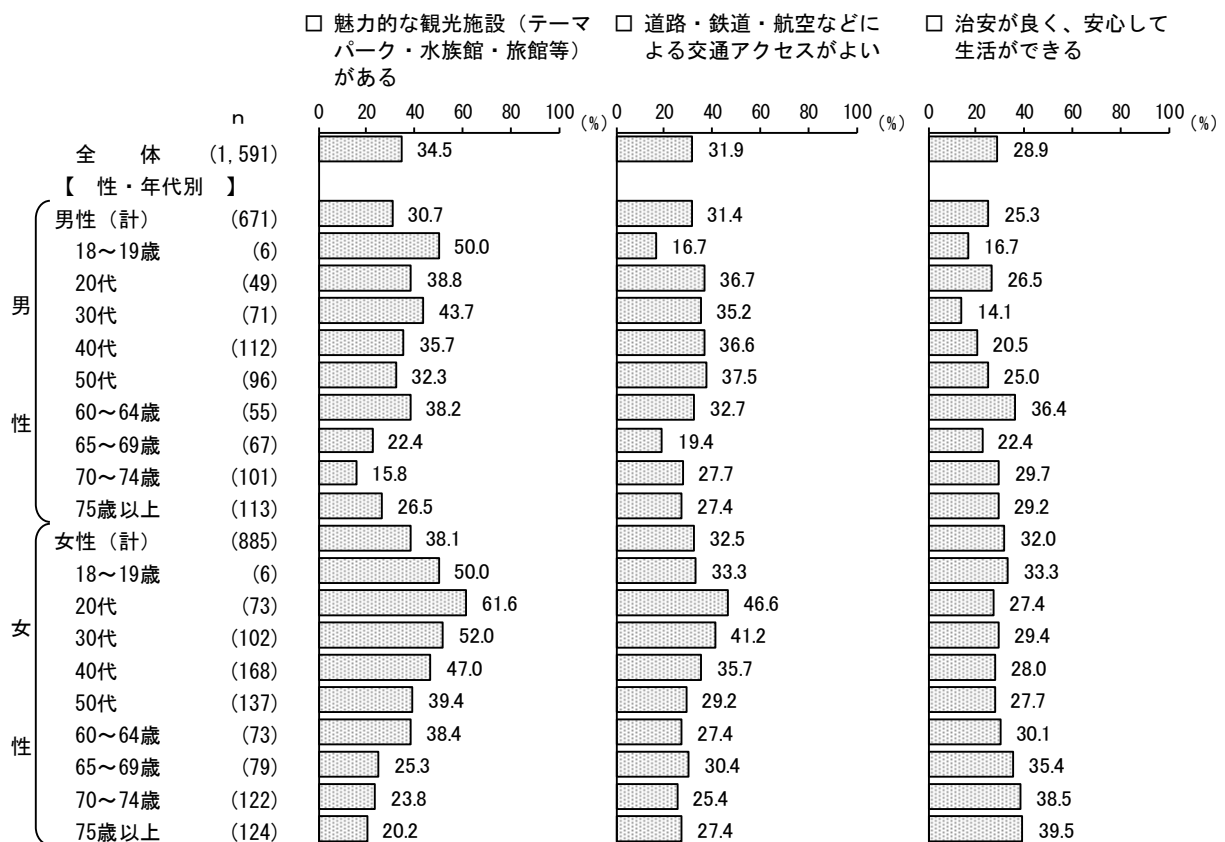
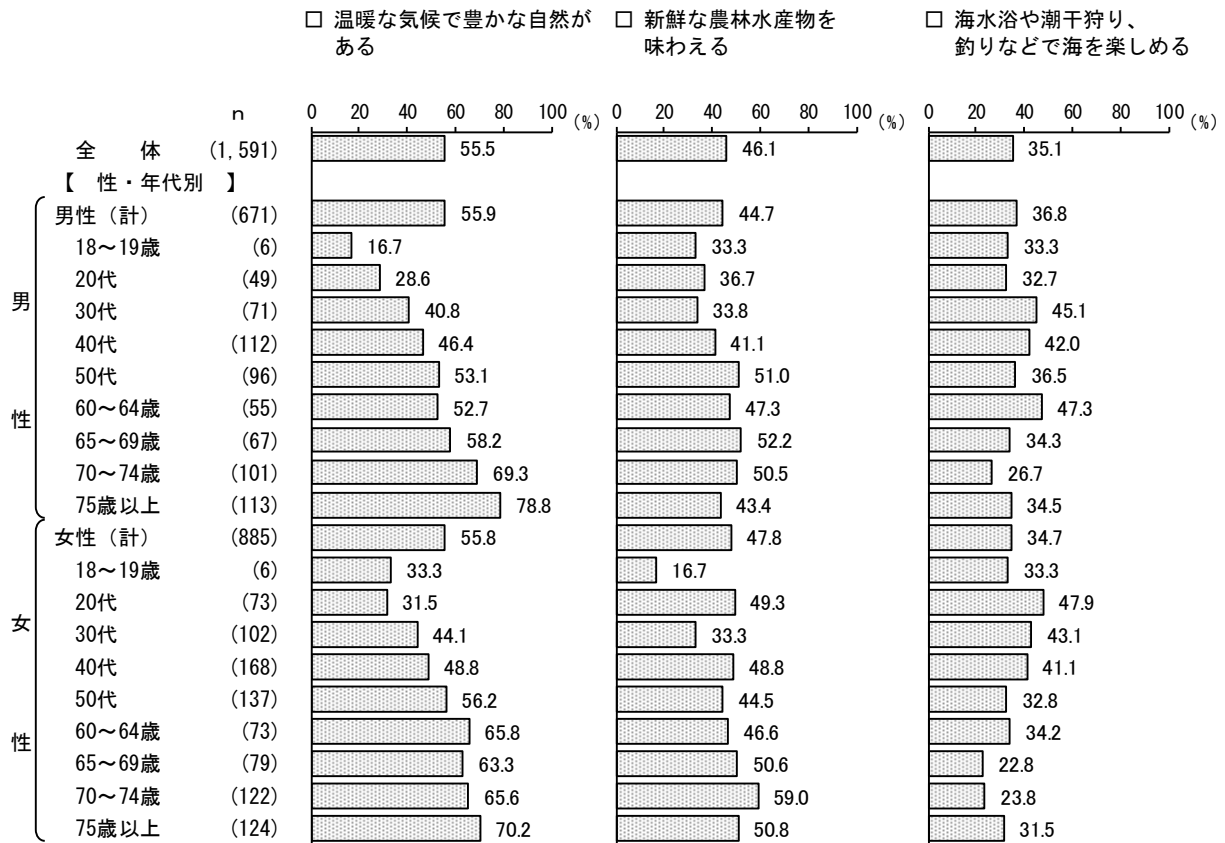
「魅力的な観光施設（テーマパーク・水族館・旅館等）がある」は、女性の20代（61.6%）が6割を超え、女性の30代（52.0%）が5割を超え、女性の40代（47.0%）が約5割で高くなっている。

「道路・鉄道・航空などによる交通アクセスがよい」は女性の20代（46.6%）が4割台半ば、女性の30代（41.2%）が4割を超えて高くなっている。

「治安が良く、安心して生活ができる」は女性の70～74歳（38.5%）と女性の75歳以上（39.5%）が約4割で高くなっている。（図表10－2）

＜図表10－2＞千葉県の魅力（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）





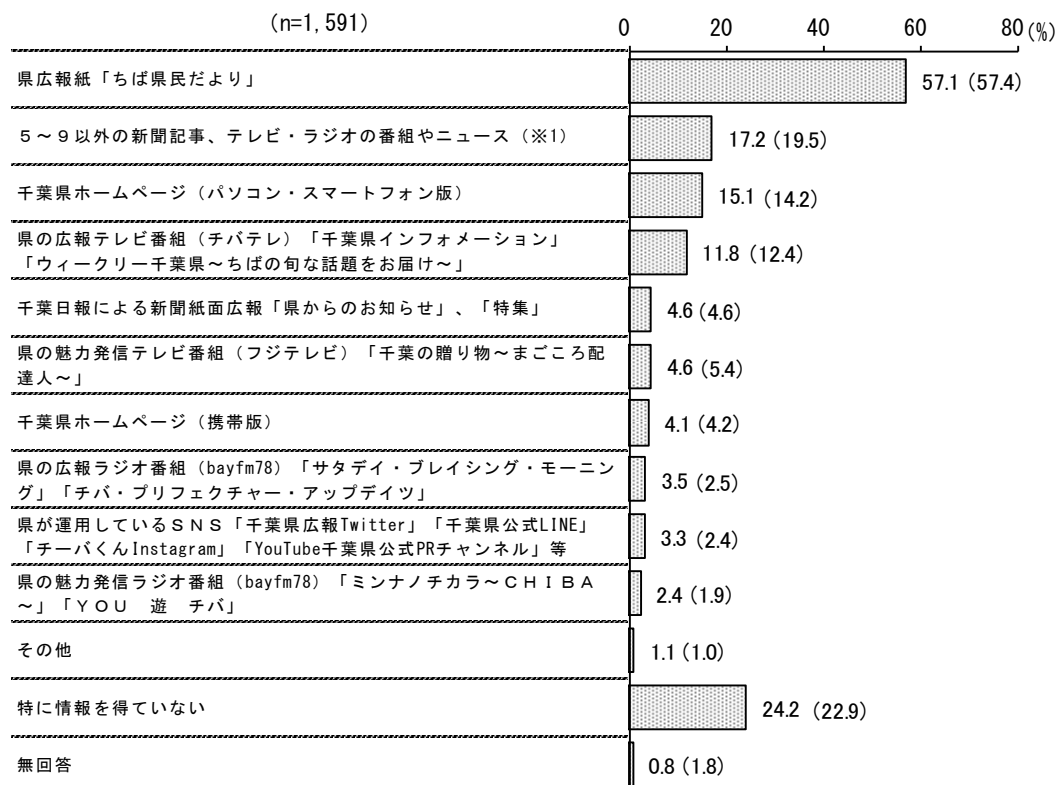
11 広報について

（１）県政に関する情報を得る手段

◇「県広報紙『ちば県民だより』」が約６割

問41 県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。（○はいくつでも）

＜図表11－１＞県政に関する情報を得る手段（複数回答）



注）（ ）の数字は令和３年度の同様の項目による調査結果 n=1,659

（※1）「5～9以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、5～9とは、「千葉日報による新聞紙面広報『県からのお知らせ』、『特集』」「県の広報テレビ番組（チバテレ）『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」「県の広報ラジオ番組（bayfm78）『サタデイ・ブレイシング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデイツ』」「県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）『千葉の贈り物～まごころ配達人～』」「県の魅力発信ラジオ番組（bayfm78）『ミンナノチカラ～CHIBA～』『YOU 遊 チバ』」を指す。

県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県広報紙『ちば県民だより』」（57.1%）が約６割で最も高く、以下、「5～9以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」（17.2%）、「千葉県ホームページ（パソコン・スマートフォン版）」（15.1%）が続く。

一方、「特に情報を得ていない」（24.2%）は２割台半ばとなっている。（図表11－１）

【地域別】

地域別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は“千葉地域”（68.3%）が約7割で高くなっている。

「千葉県ホームページ（パソコン・スマートフォン版）」は“千葉地域”（21.2%）が2割を超えて高くなっている。

一方、「特に情報を得ていない」は“葛南地域”（29.0%）が約3割で高くなっている。

（図表11－2）

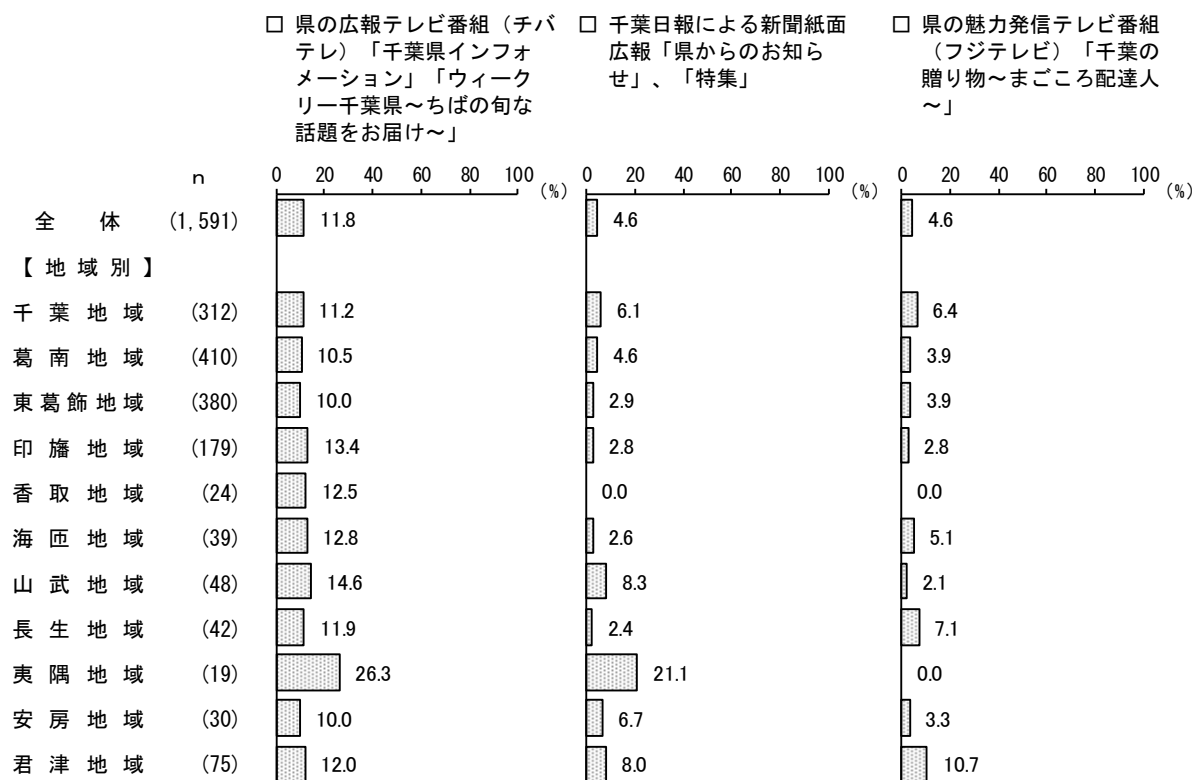
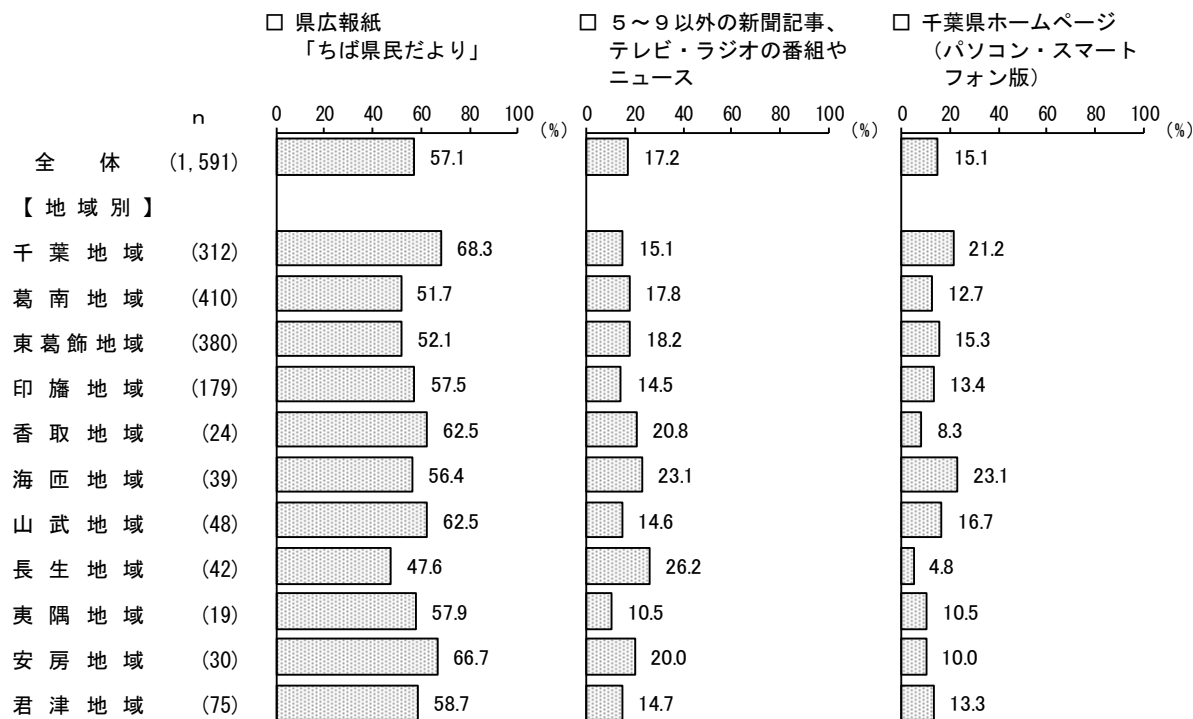
【性・年代別】

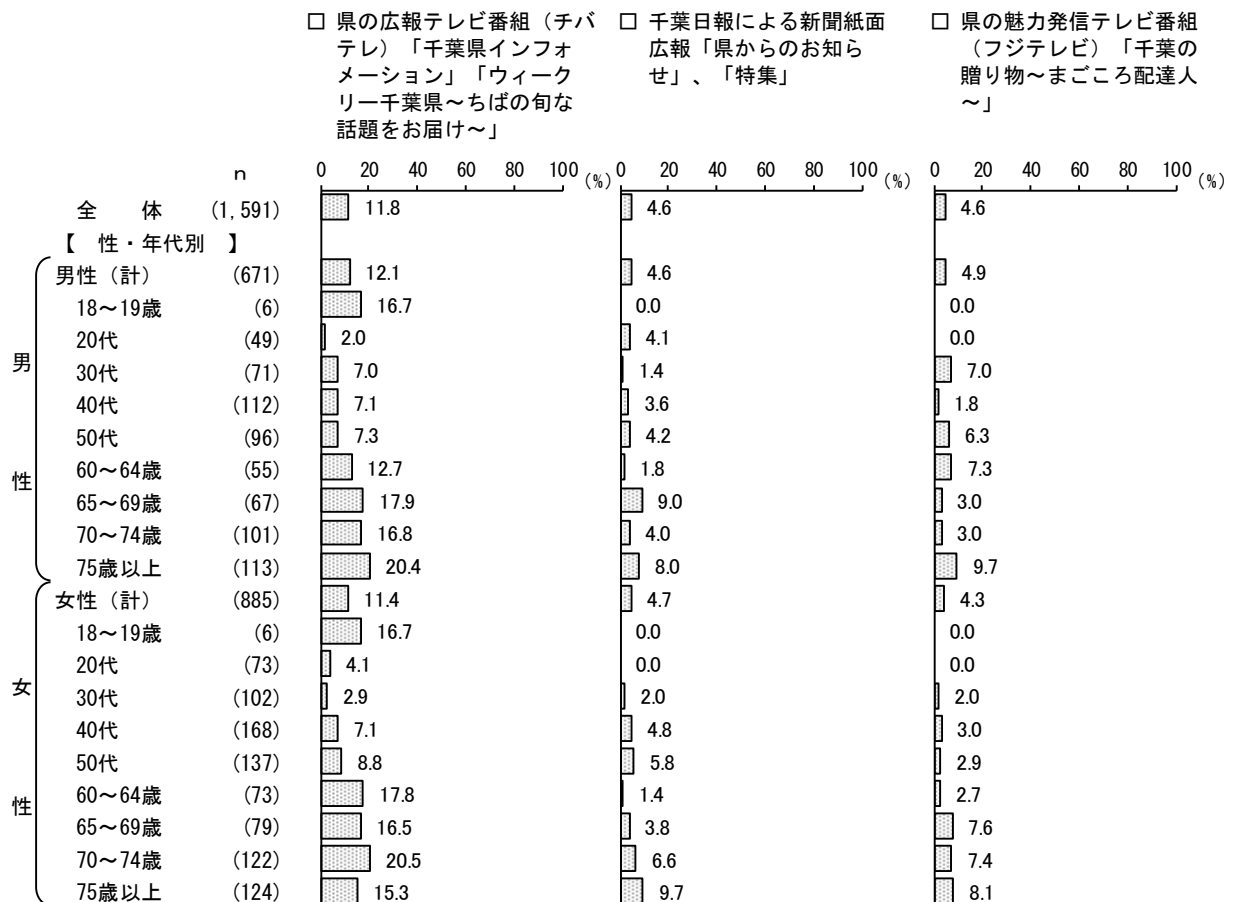
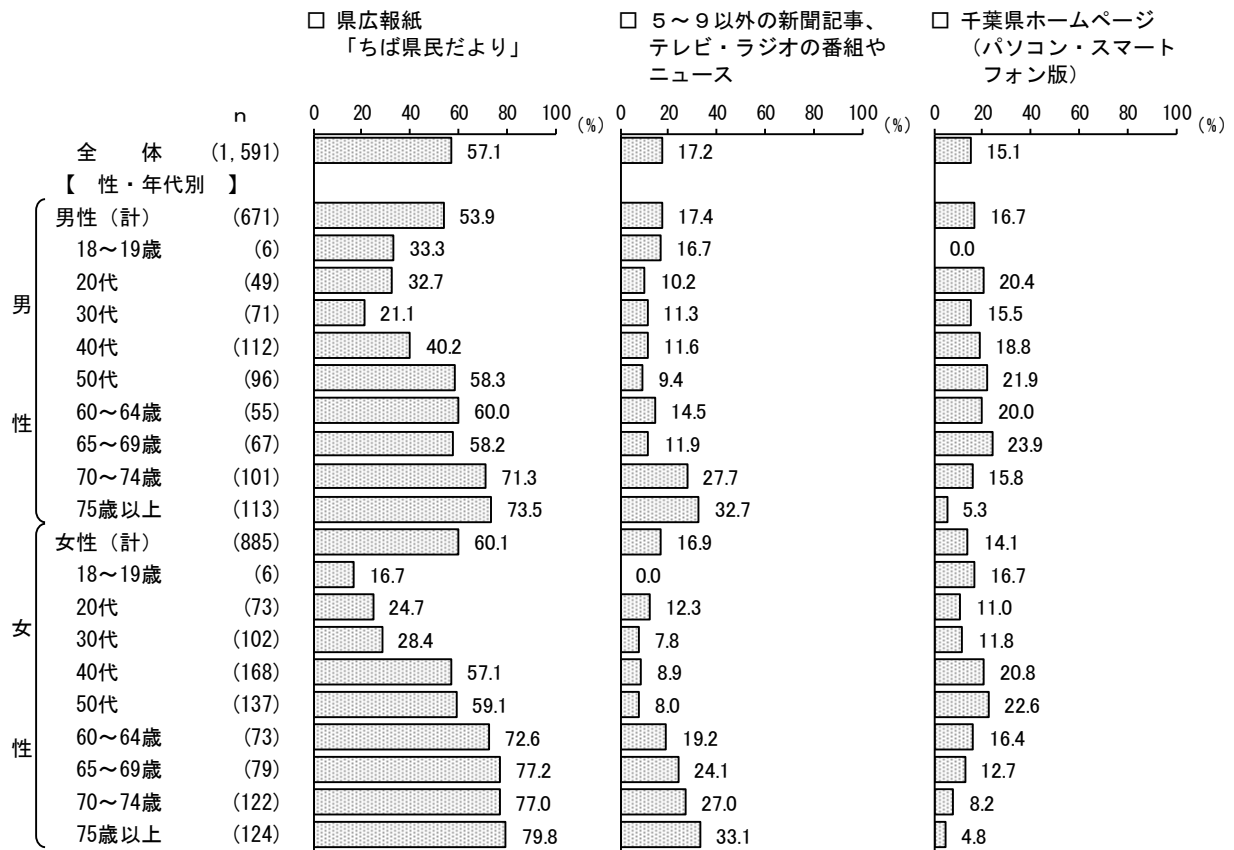
性・年代別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は女性の65～69歳（77.2%）、女性の70～74歳（77.0%）、女性の75歳以上（79.8%）が約8割、男性の75歳以上（73.5%）が7割台半ば、男性の70～74歳（71.3%）と女性の60～64歳（72.6%）が7割を超えて高くなっている。

「5～9以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は男性の75歳以上（32.7%）と女性の75歳以上（33.1%）が3割を超え、男性の70～74歳（27.7%）と女性の70～74歳（27.0%）が約3割で高くなっている。

「特に情報を得ていない」は女性の20代（52.1%）が5割を超え、男性の30代（47.9%）と女性の30代（47.1%）が約5割、男性の20代（44.9%）が4割台半ばで高くなっている。（図表11－2）

＜図表11－2＞県政に関する情報を得る手段（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）





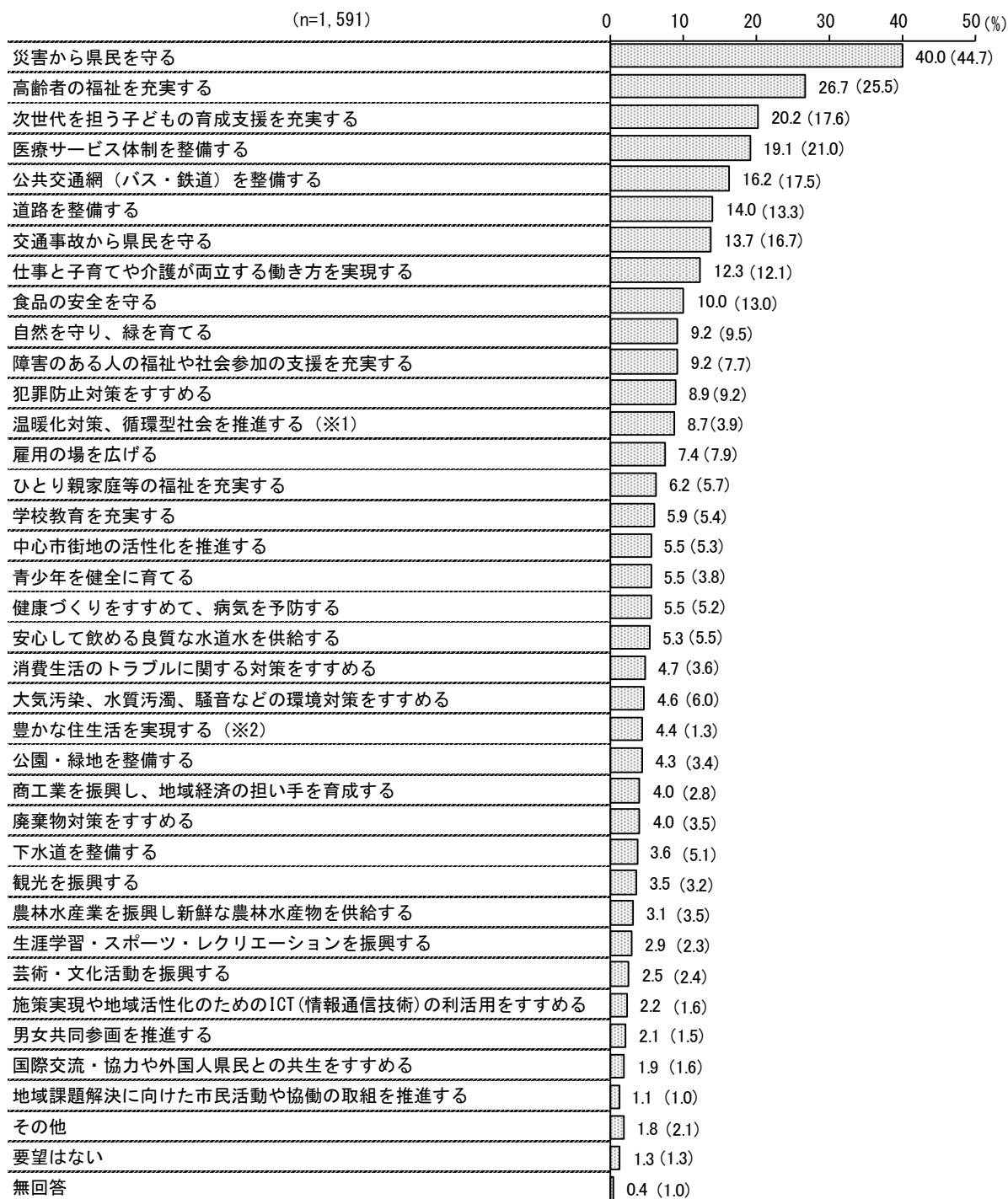
12 県政への要望

（1）県政への要望

◇「災害から県民を守る」が4割

問42 県政全般について、今後特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

＜図表12－1＞県政への要望（3つまでの複数回答）



注）（ ）の数字は令和3年度の同様の項目による調査結果 n=1,659

（※1）令和3年度調査では、「循環型社会を推進する」

（※2）令和3年度調査では、「住宅対策を充実する」

県政への要望を3つまで選んでもらったところ、「災害から県民を守る」（40.0%）が1位で県民からの要望が特に高い。次いで「高齢者の福祉を充実する」（26.7%）が2位となっており、以下、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」（20.2%）が3位、「医療サービス体制を整備する」（19.1%）が4位、「公共交通網（バス・鉄道）を整備する」（16.2%）が5位と続く。

（図表12－1）

【地域別】

地域別にみると、「災害から県民を守る」はすべての地域で1位（同率含む）となっている。

「高齢者の福祉を充実する」は“海匠地域”で1位（同率），“千葉地域”、“葛南地域”、“東葛飾地域”、“印旛地域”、“長生地域（同率）”、“夷隅地域”、“君津地域”で2位となっている。

「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は“香取地域”で1位（同率），“安房地域”で2位となっている。

「医療サービス体制を整備する」は“長生地域”で2位（同率）となっている。

（図表12－3～図表12－4）

【性別、性・年代別】

性別にみると、男女ともに1位は「災害から県民を守る」、2位は「高齢者の福祉を充実する」で変わりはないが、男性は3位に「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」、「医療サービス体制を整備する」、「道路を整備する」が同率で並んでいるが、女性は「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」が3位、「医療サービス体制を整備する」が4位、「公共交通網（バス・鉄道）を整備する」が5位と違いがみられる。

また、「仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する」は女性では6位、男性では13位と要望に男女で違いがみられる。

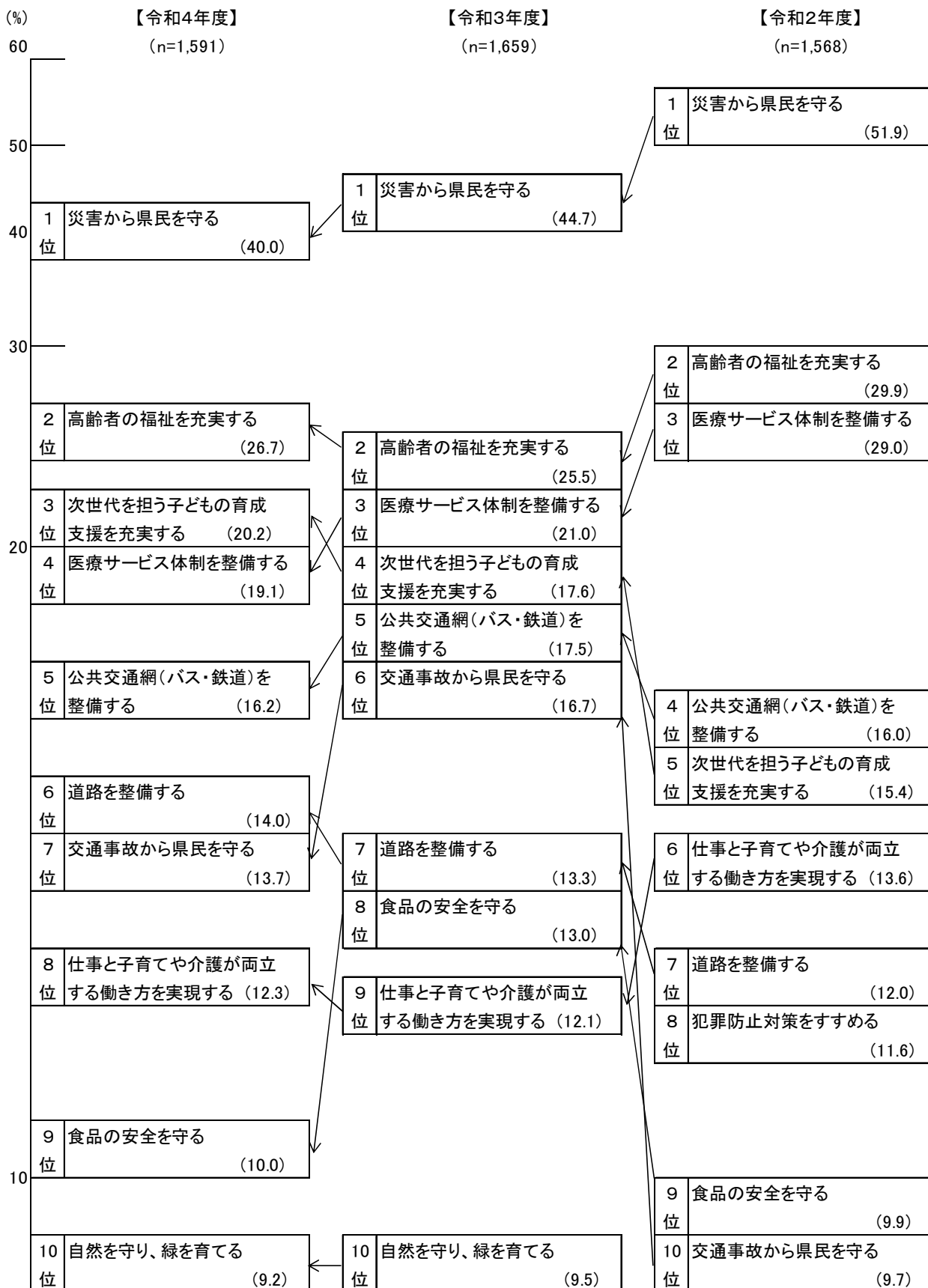
性・年代別にみると、「災害から県民を守る」は男性18～19歳、男性20代、女性18～19歳、女性75歳以上を除いたすべての性・年代で1位となっている。（図表12－5～図表12－6）

【参考】令和2年度以降の同様の項目による調査結果との比較（上位10項目の推移）（図表12－2）

【経年変化の特徴】

1. 「災害から県民を守る」は令和3年度（44.7%）に引き続き1位（40.0%）となっているが、4.7ポイント減少している。
2. 2位の「高齢者の福祉を充実する」（26.7%）、5位の「公共交通網（バス・鉄道）を整備する」（16.2%）は令和3年度と同じ順位となっている。
3. 「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は令和3年度の4位（17.6%）から3位（20.2%）へ、「道路を整備する」は令和3年度の7位（13.3%）から6位（14.0%）へ順位を上げている。
4. 「医療サービス体制を整備する」は令和3年度の3位（21.0%）から4位（19.1%）へ、「交通事故から県民を守る」は令和3年度の6位（16.7%）から7位（13.7%）へ順位を下げている。

＜図表12－2＞県政への要望（3つまでの複数回答）／上位10項目の推移



<図表12-3> 県政への要望（3つまでの複数回答）（上位1位～5位）／地域別

(%)

属性 \ 順位	n	1位	2位	3位	4位	5位
全体	1,591	災害から県民を守る (40.0)	高齢者の福祉を充実する (26.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.2)	医療サービス体制を整備する (19.1)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (16.2)
【 地 域 別 】						
千葉地域	312	災害から県民を守る (42.9)	高齢者の福祉を充実する (29.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (19.6)	医療サービス体制を整備する (18.6)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/交通事故から県民を守る (14.1)
葛南地域	410	災害から県民を守る (41.0)	高齢者の福祉を充実する (26.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (21.7)	医療サービス体制を整備する (19.0)	道路を整備する (16.6)
東葛飾地域	380	災害から県民を守る (36.1)	高齢者の福祉を充実する (24.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.3)	医療サービス体制を整備する (19.7)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (17.9)
印旛地域	179	災害から県民を守る (35.2)	高齢者の福祉を充実する (24.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (22.9)	医療サービス体制を整備する (17.3)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (16.8)
香取地域	24	災害から県民を守る/次世代を担う子どもの育成支援を充実する (33.3)		高齢者の福祉を充実する/雇用の場を広げる/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (20.8)		
海匝地域	39	災害から県民を守る/高齢者の福祉を充実する (43.6)		医療サービス体制を整備する (23.1)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (17.9)	道路を整備する (15.4)
山武地域	48	災害から県民を守る (47.9)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (29.2)	高齢者の福祉を充実する/医療サービス体制を整備する (22.9)		道路を整備する (14.6)
長生地域	42	災害から県民を守る (45.2)	高齢者の福祉を充実する/医療サービス体制を整備する (23.8)		交通事故から県民を守る (19.0)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (14.3)
夷隅地域	19	災害から県民を守る (42.1)	高齢者の福祉を充実する (26.3)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する/雇用の場を広げる/道路を整備する (21.1)		
安房地域	30	災害から県民を守る (43.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (40.0)	高齢者の福祉を充実する (33.3)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (30.0)	道路を整備する (26.7)
君津地域	75	災害から県民を守る (42.7)	高齢者の福祉を充実する (28.0)	医療サービス体制を整備する (20.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.3)	交通事故から県民を守る/公共交通網(バス・鉄道)を整備する (14.7)

<図表12－４>県政への要望（３つまでの複数回答）（上位６位～10位）／地域別

（％）

順位 属性	n	6位	7位	8位	9位	10位
全体	1,591	道路を整備する (14.0)	交通事故から県民を守る (13.7)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (12.3)	食品の安全を守る (10.0)	自然を守り、緑を育てる (9.2)
【 地 域 別 】						
千葉地域	312	-	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (12.8)	温暖化対策、循環型社会を推進する (11.9)	食品の安全を守る (11.2)	道路を整備する (10.9)
葛南地域	410	交通事故から県民を守る (15.6)	公共交通網(バス・鉄道)を整備する (14.4)	食品の安全を守る (11.7)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (11.5)	犯罪防止対策をすすめる (9.0)
東葛飾地域	380	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (13.9)	道路を整備する (13.4)	交通事故から県民を守る (11.8)	自然を守り、緑を育てる (11.6)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (9.7)
印旛地域	179	道路を整備する (15.6)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (14.0)	交通事故から県民を守る (12.8)	自然を守り、緑を育てる (11.7)	食品の安全を守る (10.1)
香取地域	24	公共交通網(バス・鉄道)を整備する/医療サービス体制を整備する/自然を守り、緑を育てる (16.7)			交通事故から県民を守る/健康づくりをすすめて、病気を予防する/温暖化対策、循環型社会を推進する/廃棄物対策をすすめる/豊かな住生活を実現する/犯罪防止対策をすすめる (12.5)	
海匝地域	39	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (12.8)	交通事故から県民を守る/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/安心して飲める良質な水道水を供給する (10.3)			食品の安全を守る/中心市街地の活性化を推進する/公共交通網(バス・鉄道)を整備する/温暖化対策、循環型社会を推進する/商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する/観光を振興する/雇用の場を広げる/農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する/学校教育を充実する (7.7)
山武地域	48	交通事故から県民を守る (12.5)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/自然を守り、緑を育てる/商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する/下水道を整備する (10.4)			
長生地域	42	-			食品の安全を守る/中心市街地の活性化を推進する/道路を整備する (11.9)	
夷隅地域	19	-			自然を守り、緑を育てる/観光を振興する (15.8)	交通事故から県民を守る/ひとり親家庭等の福祉を充実する/安心して飲める良質な水道水を供給する/犯罪防止対策をすすめる (10.5)
安房地域	30	医療サービス体制を整備する (23.3)	食品の安全を守る/自然を守り、緑を育てる/商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する (16.7)			障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (13.3)
君津地域	75	-		犯罪防止対策をすすめる (13.3)	豊かな住生活を実現する (12.0)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (10.7)
						健康づくりをすすめて、病気を予防する/公園・緑地を整備する (9.3)

<図表12－5> 県政への要望（3つまでの複数回答）（上位1位～5位）／性別、性・年代別

属性		順位	n	1位	2位	3位	4位	5位
								(%)
全体			1,591	災害から県民を守る (40.0)	高齢者の福祉を充実する (26.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.2)	医療サービス体制を整備する (19.1)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (16.2)
【性・年代別】								
男性（計）			671	災害から県民を守る (40.1)	高齢者の福祉を充実する (27.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/医療サービス体制を整備する/道路を整備する (19.1)		
18～19歳			6	温暖化対策、循環型社会を推進する (50.0)	交通事故から県民を守る/観光を振興する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (33.3)	消費生活のトラブルに関する対策をすすめる/公共交通網（バス・鉄道）を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/青少年を健全に育てる/健康づくりをすすめて、病気を予防する/廃棄物対策をすすめる/商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する/道路を整備する (16.7)		
20 代			49	交通事故から県民を守る/公共交通網（バス・鉄道）を整備する (28.6)	災害から県民を守る (24.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.4)	商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する (14.3)	
30 代			71	災害から県民を守る (33.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (32.4)	道路を整備する (28.2)	交通事故から県民を守る (21.1)	食品の安全を守る/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (15.5)
40 代			112	災害から県民を守る (38.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (24.1)	道路を整備する/高齢者の福祉を充実する (23.2)		医療サービス体制を整備する (19.6)
50 代			96	災害から県民を守る (38.5)	高齢者の福祉を充実する (30.2)	道路を整備する (28.1)	医療サービス体制を整備する (19.8)	交通事故から県民を守る/犯罪防止対策をすすめる (11.5)
60～64歳			55	災害から県民を守る (38.2)	高齢者の福祉を充実する (30.9)	医療サービス体制を整備する (29.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (21.8)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (18.2)
65～69歳			67	災害から県民を守る (47.8)	高齢者の福祉を充実する/医療サービス体制を整備する (28.4)		道路を整備する (22.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (19.4)
70～74歳			101	災害から県民を守る (47.5)	高齢者の福祉を充実する (34.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.8)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (19.8)	医療サービス体制を整備する (17.8)
75歳以上			113	災害から県民を守る (46.0)	高齢者の福祉を充実する (43.4)	交通事故から県民を守る (20.4)	医療サービス体制を整備する (17.7)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (15.0)
女性（計）			885	災害から県民を守る (40.3)	高齢者の福祉を充実する (26.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (21.7)	医療サービス体制を整備する (19.4)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (15.8)
18～19歳			6	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (50.0)	災害から県民を守る/交通事故から県民を守る/大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (33.3)	高齢者の福祉を充実する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/温暖化対策、循環型社会を推進する/観光を振興する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/道路を整備する/学校教育を充実する/犯罪防止対策をすすめる (16.7)		
20 代			73	災害から県民を守る (31.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (30.1)	交通事故から県民を守る (21.9)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (20.5)	医療サービス体制を整備する/犯罪防止対策をすすめる (15.1)
30 代			102	災害から県民を守る (42.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (34.3)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (29.4)	交通事故から県民を守る (20.6)	医療サービス体制を整備する (19.6)
40 代			168	災害から県民を守る (36.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (29.2)	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (19.0)	医療サービス体制を整備する (17.3)	高齢者の福祉を充実する (16.1)
50 代			137	災害から県民を守る (44.5)	高齢者の福祉を充実する/医療サービス体制を整備する (25.5)		公共交通網（バス・鉄道）を整備する (20.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (15.3)
60～64歳			73	災害から県民を守る (42.5)	高齢者の福祉を充実する (35.6)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.8)	医療サービス体制を整備する/推進する (16.4)	温暖化対策、循環型社会を推進する (16.4)
65～69歳			79	災害から県民を守る (41.8)	高齢者の福祉を充実する/医療サービス体制を整備する (25.3)		公共交通網（バス・鉄道）を整備する (21.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.3)
70～74歳			122	災害から県民を守る (41.0)	高齢者の福祉を充実する (36.9)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (22.1)	医療サービス体制を整備する (20.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.1)
75歳以上			124	高齢者の福祉を充実する (48.4)	災害から県民を守る (41.9)	食品の安全を守る (17.7)	医療サービス体制を整備する (16.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (14.5)

＜図表12－６＞県政への要望（３つまでの複数回答）（上位６位～10位）／性別、性・年代別

							(%)
順位 属性	n	6位	7位	8位	9位	10位	
全体	1,591	道路を整備する (14.0)	交通事故から県民を守る (13.7)	仕事と子育てや介護が両立 する働き方を実現する (12.3)	食品の安全を守る (10.0)	自然を守り、緑を育てる (9.2)	
【性・年代別】							
男性（計）	671	交通事故から県民を守る/公共交通網（バス・鉄道）を整備する (16.7)	自然を守り、緑を育てる (9.4)	犯罪防止対策をすすめる (9.1)	食品の安全を守る/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (8.9)		
18～19歳	6	-					
20 代	49	食品の安全を守る/雇用を場を広げる/学校教育を充実する (12.2)			青少年を健全に育てる/観光を振興する/安心して飲める良質な水道水を供給する (10.2)		
30 代	71	-	医療サービス体制を整備する (14.1)	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (11.3)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/自然を守り、緑を育てる/公園・緑地を整備する/学校教育を充実する (9.9)		
40 代	112	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (17.0)	交通事故から県民を守る (13.4)	犯罪防止対策をすすめる (12.5)	中心市街地の活性化を推進する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (10.7)		
50 代	96	-	公共交通網（バス・鉄道）を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する (10.4)	自然を守り、緑を育てる/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (9.4)			
60～64歳	55	道路を整備する (16.4)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/雇用の場を広げる (14.5)	食品の安全を守る/交通事故から県民を守る (12.7)			
65～69歳	67	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (17.9)	交通事故から県民を守る (13.4)	青少年を健全に育てる/自然を守り、緑を育てる/温暖化対策、循環型社会を推進する (10.4)			
70～74歳	101	交通事故から県民を守る (15.8)	廃棄物対策をすすめる (14.9)	温暖化対策、循環型社会を推進する (13.9)	道路を整備する/犯罪防止対策をすすめる (11.9)		
75歳以上	113	自然を守り、緑を育てる (14.2)	道路を整備する (13.3)	中心市街地の活性化を推進する/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/次世代を担う子どもの育成支援を充実する/青少年を健全に育てる/温暖化対策、循環型社会を推進する/犯罪防止対策をすすめる (9.7)			
女性（計）	885	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (15.4)	交通事故から県民を守る (11.5)	食品の安全を守る (10.4)	道路を整備する (10.3)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/自然を守り、緑を育てる (9.3)	
18～19歳	6	-					
20 代	73	-	学校教育を充実する (12.3)	自然を守り、緑を育てる/道路を整備する (11.0)	ひとり親家庭等の福祉を充実する (9.6)		
30 代	102	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (12.7)	温暖化対策、循環型社会を推進する/学校教育を充実する (10.8)	食品の安全を守る/高齢者の福祉を充実する (8.8)			
40 代	168	交通事故から県民を守る/公共交通網（バス・鉄道）を整備する (13.7)	学校教育を充実する (13.1)	食品の安全を守る (12.5)	自然を守り、緑を育てる (11.3)		
50 代	137	-	道路を整備する (12.4)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/雇用の場を広げる (10.2)	ひとり親家庭等の福祉を充実する/温暖化対策、循環型社会を推進する (9.5)		
60～64歳	73	道路を整備する (12.3)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/犯罪防止対策をすすめる (11.0)	雇用の場を広げる (9.6)			
65～69歳	79	温暖化対策、循環型社会を推進する (11.4)	自然を守り、緑を育てる (10.1)	食品の安全を守る/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/ひとり親家庭等の福祉を充実する/道路を整備する (8.9)			
70～74歳	122	自然を守り、緑を育てる/道路を整備する (11.5)	食品の安全を守る/障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/雇用の場を広げる/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する/安心して飲める良質な水道水を供給する (10.7)				
75歳以上	124	公共交通網（バス・鉄道）を整備する (13.7)	安心して飲める良質な水道水を供給する (12.9)	健康づくりをすすめて、病気を予防する/仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する (11.3)	ひとり親家庭等の福祉を充実する (10.5)		

（１－１）各政策への具体的な要望

問43 問42で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。問42で選んだ３項目についてのみ、具体的要望項目から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

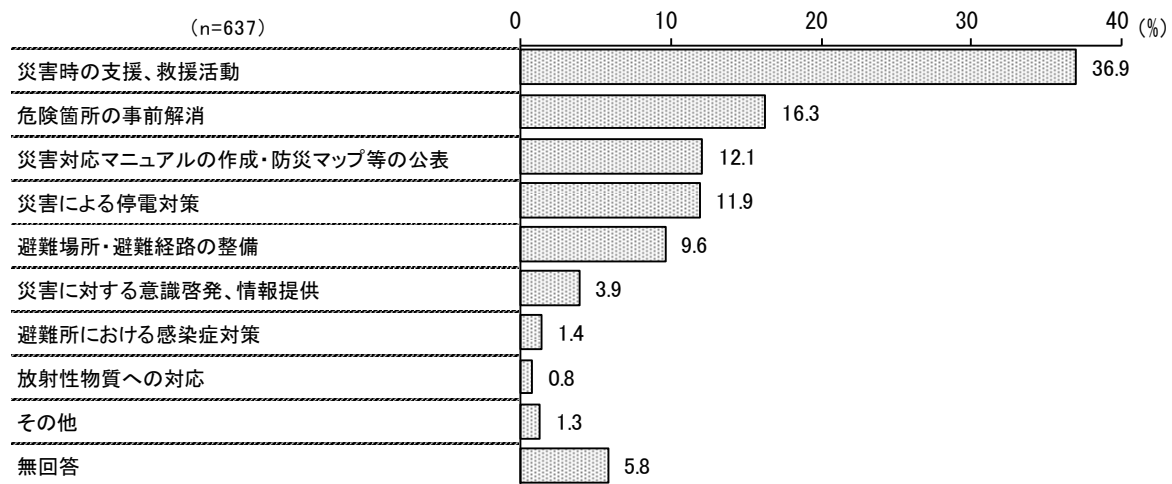
問42で県政への要望を３つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問42の回答状況次第では、nの値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを明示する。

１ 災害から県民を守る（40.0%、１位）

「災害時の支援、救援活動」（36.9%）が３割台半ばで最も高く、以下、「危険箇所の事前解消」（16.3%）、「災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表」（12.1%）が続く。

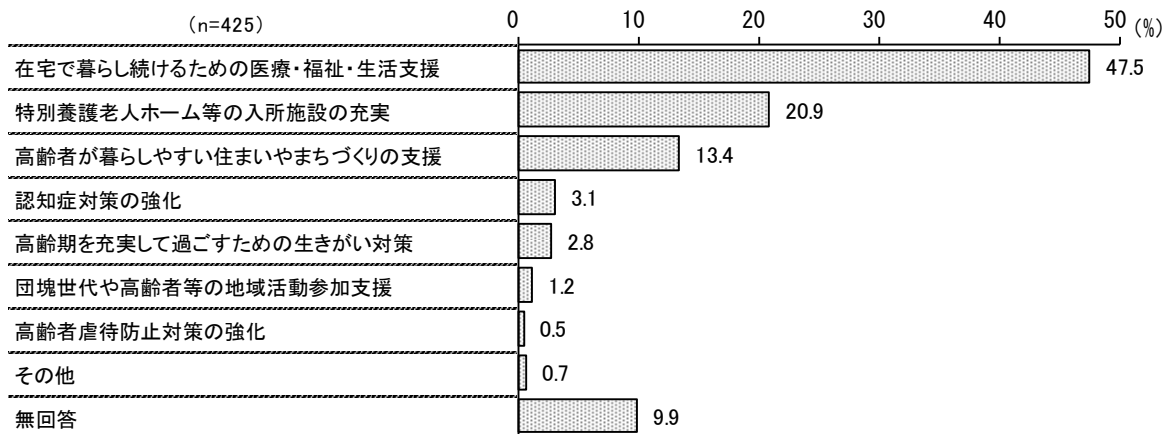
＜図表12－７＞災害から県民を守る



２ 高齢者の福祉を充実する（26.7%、２位）

「在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援」（47.5%）が約５割で最も高く、以下、「特別養護老人ホーム等の入所施設の充実」（20.9%）、「高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援」（13.4%）が続く。

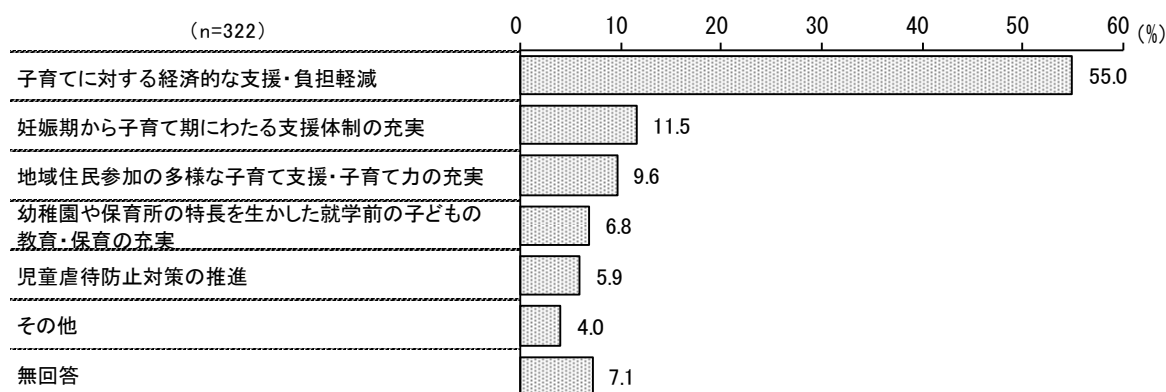
＜図表12－８＞高齢者の福祉を充実する



3 次世代を担う子どもの育成支援を充実する（20.2%、3位）

「子育てに対する経済的な支援・負担軽減」（55.0%）が5割台半ばで最も高く、以下、「妊娠期から子育て期にわたる支援体制の充実」（11.5%）、「地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実」（9.6%）が続く。

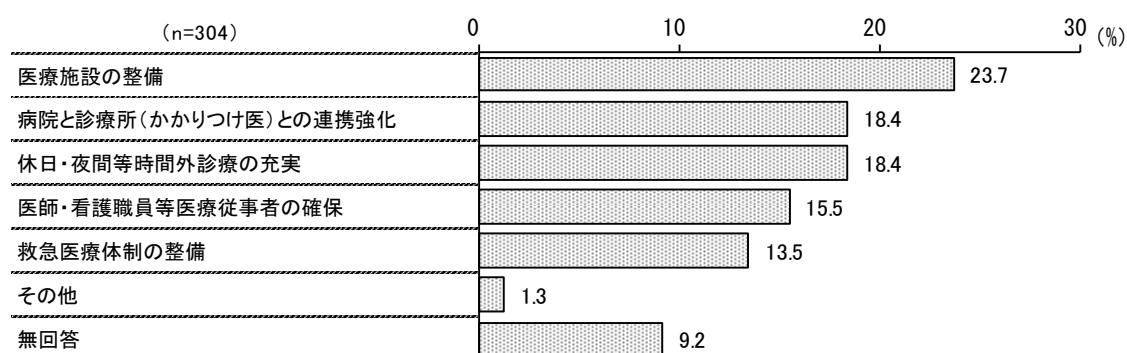
＜図表12－9＞次世代を担う子どもの育成支援を充実する



4 医療サービス体制を整備する（19.1%、4位）

「医療施設の整備」（23.7%）が2割台半ばで最も高く、以下、「病院と診療所（かかりつけ医）との連携強化」と「休日・夜間等時間外診療の充実」（18.4%）が続く。

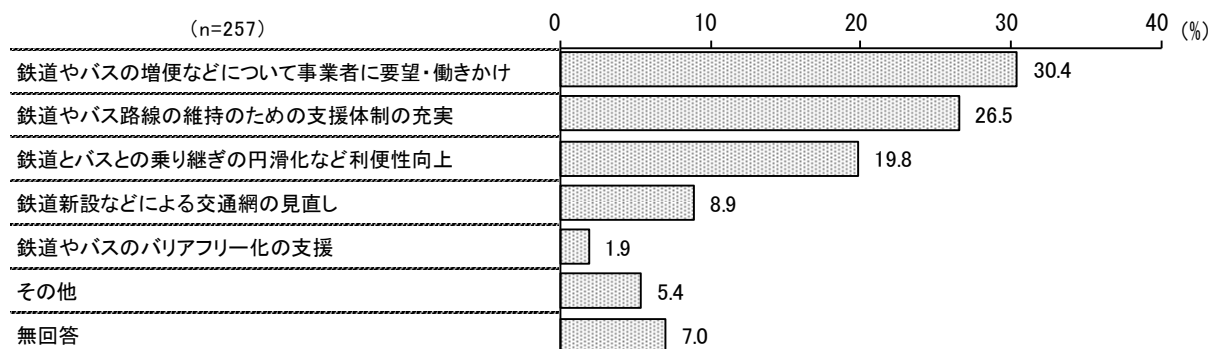
＜図表12－10＞医療サービス体制を整備する



5 公共交通網（バス・鉄道）を整備する（16.2%、5位）

「鉄道やバスの増便などについて事業者に要望・働きかけ」（30.4%）が3割で最も高く、以下、「鉄道やバス路線の維持のための支援体制の充実」（26.5%）、「鉄道とバスとの乗り継ぎの円滑化など利便性向上」（19.8%）が続く。

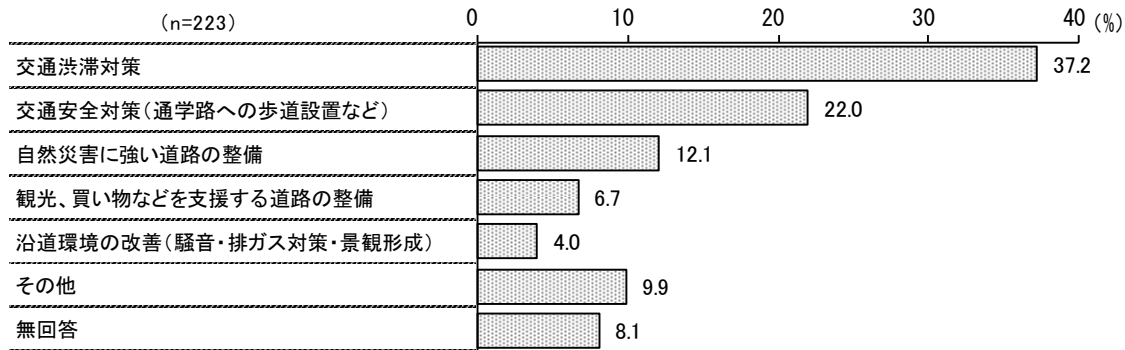
＜図表12－11＞公共交通網（バス・鉄道）を整備する



6 道路を整備する（14.0%、6位）

「交通渋滞対策」（37.2%）が約4割で最も高く、以下、「交通安全対策（通学路への歩道設置など）」（22.0%）、「自然災害に強い道路の整備」（12.1%）が続く。

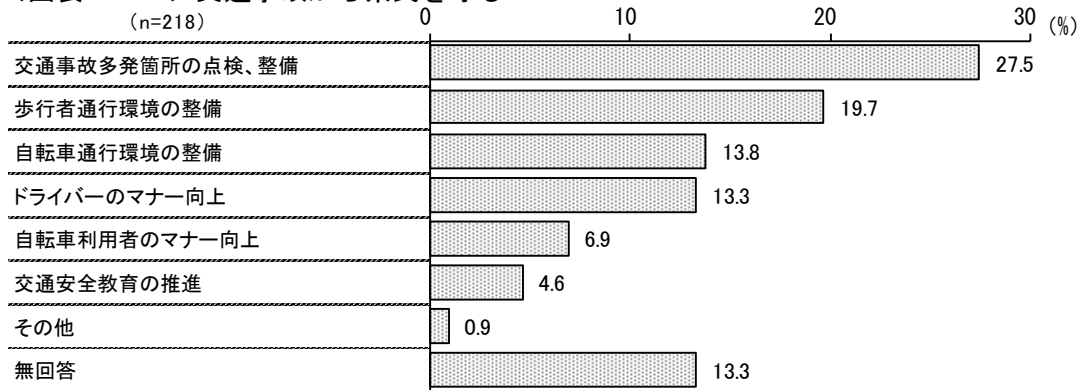
＜図表12-12＞道路を整備する



7 交通事故から県民を守る（13.7%、7位）

「交通事故多発箇所の点検、整備」（27.5%）が約3割で最も高く、以下、「歩行者通行環境の整備」（19.7%）、「自転車通行環境の整備」（13.8%）が続く。

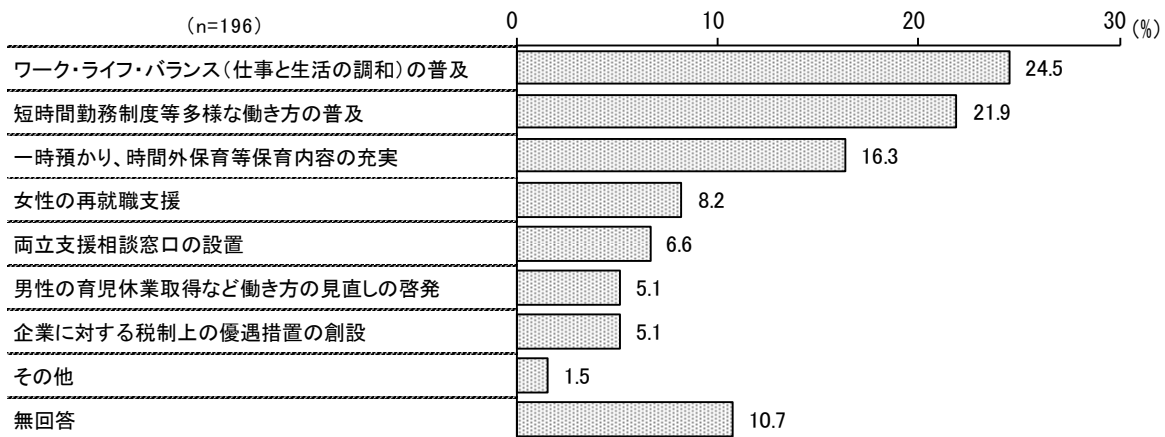
＜図表12-13＞交通事故から県民を守る



8 仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する（12.3%、8位）

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及」（24.5%）が2割台半ばで最も高く、以下、「短時間勤務制度等多様な働き方の普及」（21.9%）、「一時預かり、時間外保育等保育内容の充実」（16.3%）が続く。

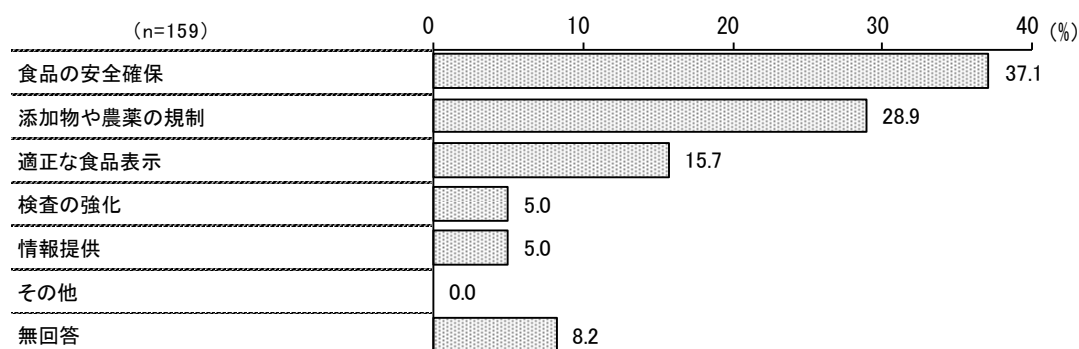
＜図表12-14＞仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する



9 食品の安全を守る（10.0%、9位）

「食品の安全確保」（37.1%）が約4割で最も高く、以下、「添加物や農薬の規制」（28.9%）、「適正な食品表示」（15.7%）が続く。

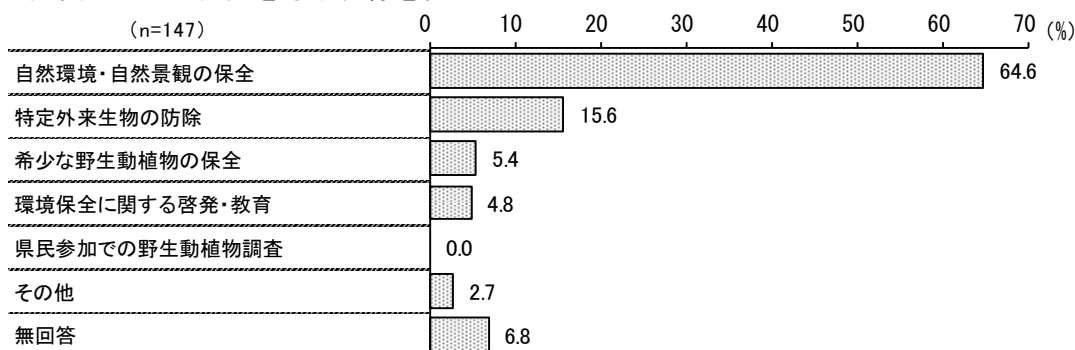
＜図表12-15＞食品の安全を守る



10 自然を守り、緑を育てる（9.2%、10位）

「自然環境・自然景観の保全」（64.6%）が6割台半ばで最も高く、以下、「特定外来生物の防除」（15.6%）、「希少な野生動植物の保全」（5.4%）が続く。

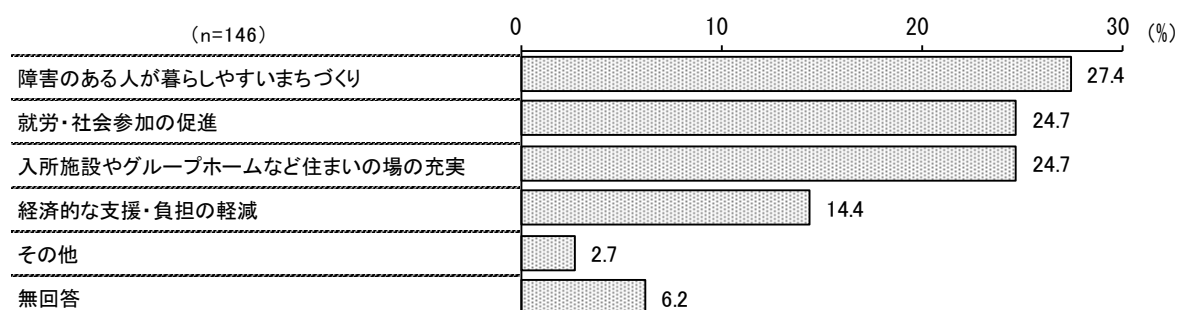
＜図表12-16＞自然を守り、緑を育てる



11 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する（9.2%、11位）

「障害のある人が暮らしやすいまちづくり」（27.4%）が約3割で最も高く、以下、「就労・社会参加の促進」と「入所施設やグループホームなど住まいの場の充実」（24.7%）が続く。

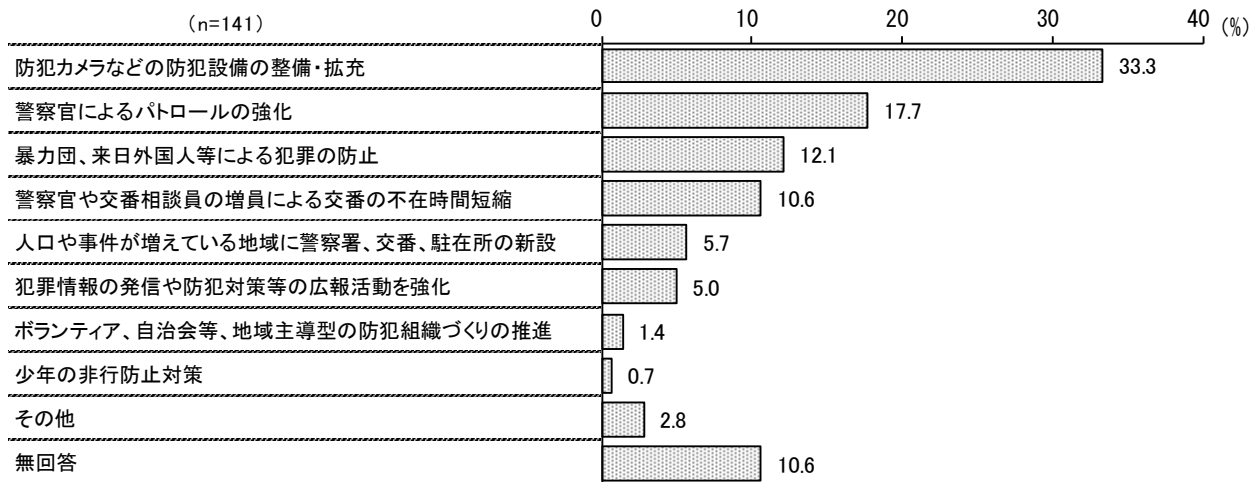
＜図表12-17＞障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する



12 犯罪防止対策をすすめる（8.9%、12位）

「防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充」（33.3%）が3割を超えて最も高く、以下、「警察官によるパトロールの強化」（17.7%）、「暴力団、来日外国人等による犯罪の防止」（12.1%）が続く。

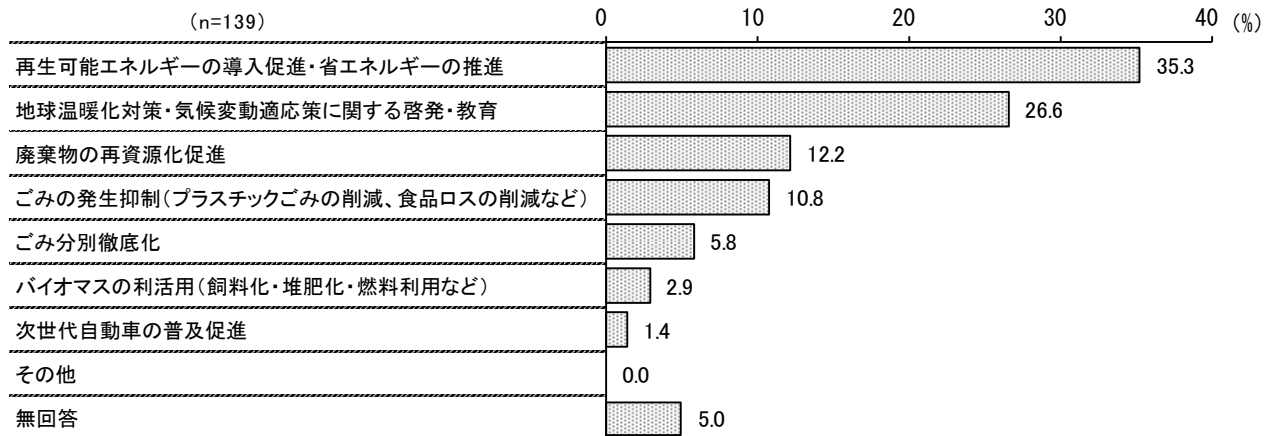
＜図表12－18＞犯罪防止対策をすすめる



13 温暖化対策、循環型社会を推進する（8.7%、13位）

「再生可能エネルギーの導入促進・省エネルギーの推進」（35.3%）が3割台半ばで最も高く、以下、「地球温暖化対策・気候変動適応策に関する啓発・教育」（26.6%）、「廃棄物の再資源化促進」（12.2%）が続く。

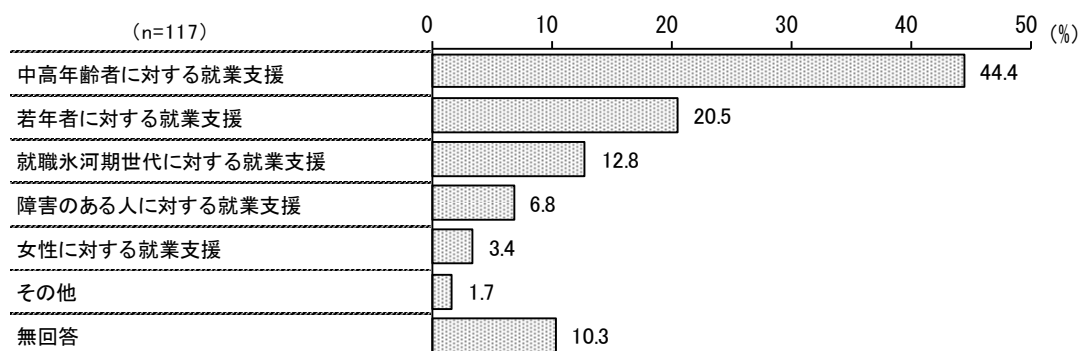
＜図表12－19＞温暖化対策、循環型社会を推進する



14 雇用の場を広げる（7.4%、14位）

「中高年齢者に対する就業支援」（44.4%）が4割台半ばで最も高く、以下、「若年者に対する就業支援」（20.5%）、「就職氷河期世代に対する就業支援」（12.8%）が続く。

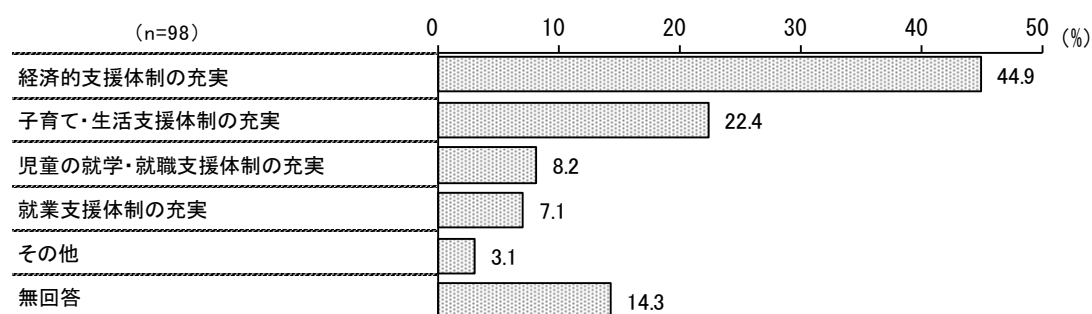
＜図表12-20＞雇用の場を広げる



15 ひとり親家庭等の福祉を充実する（6.2%、15位）

「経済的支援体制の充実」（44.9%）が4割台半ばで最も高く、以下、「子育て・生活支援体制の充実」（22.4%）、「児童の就学・就職支援体制の充実」（8.2%）が続く。

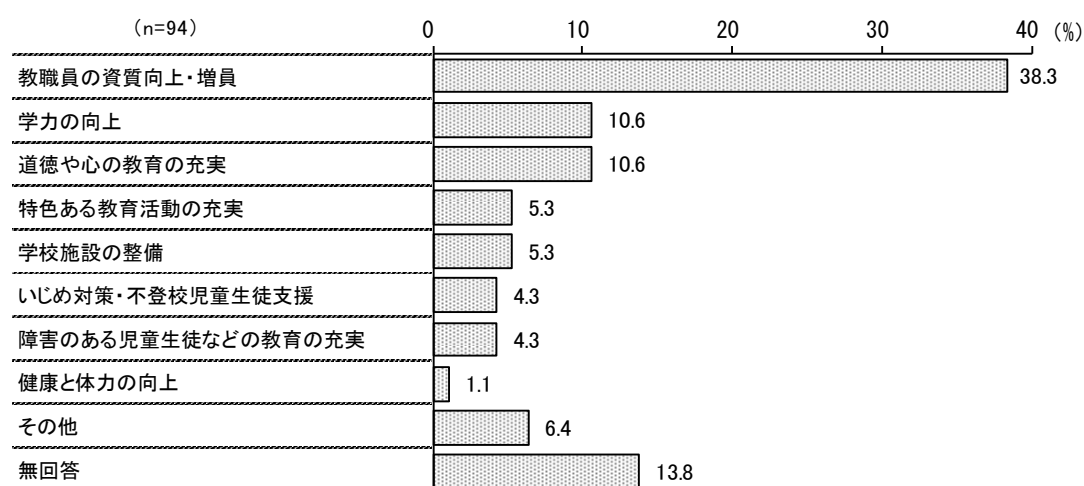
＜図表12-21＞ひとり親家庭等の福祉を充実する



16 学校教育を充実する（5.9%、16位）

「教職員の資質向上・増員」（38.3%）が約4割で最も高く、以下、「学力の向上」と「道徳や心の教育の充実」（10.6%）が続く。

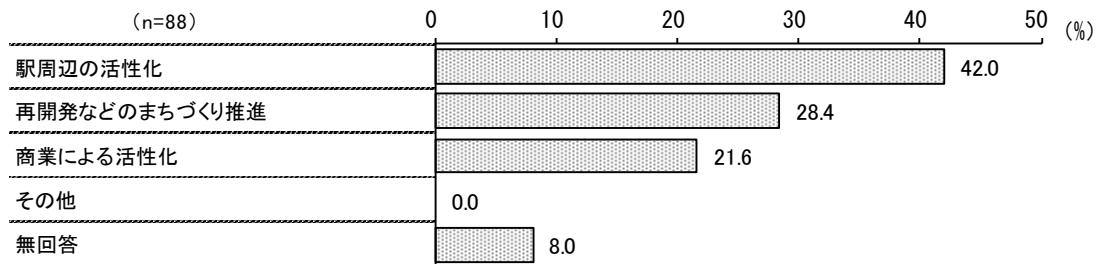
＜図表12-22＞学校教育を充実する



17 中心市街地の活性化を推進する（5.5%、17位）

「駅周辺の活性化」（42.0%）が4割を超えて最も高く、以下、「再開発などのまちづくり推進」（28.4%）、「商業による活性化」（21.6%）が続く。

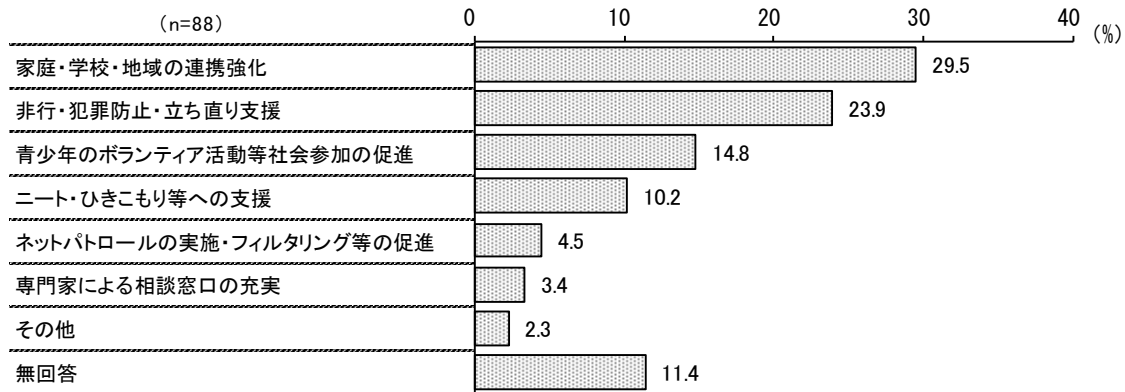
＜図表12-23＞中心市街地の活性化を推進する



18 青少年を健全に育てる（5.5%、17位）

「家庭・学校・地域の連携強化」（29.5%）が約3割で最も高く、以下、「非行・犯罪防止・立ち直り支援」（23.9%）、「青少年のボランティア活動等社会参加の促進」（14.8%）が続く。

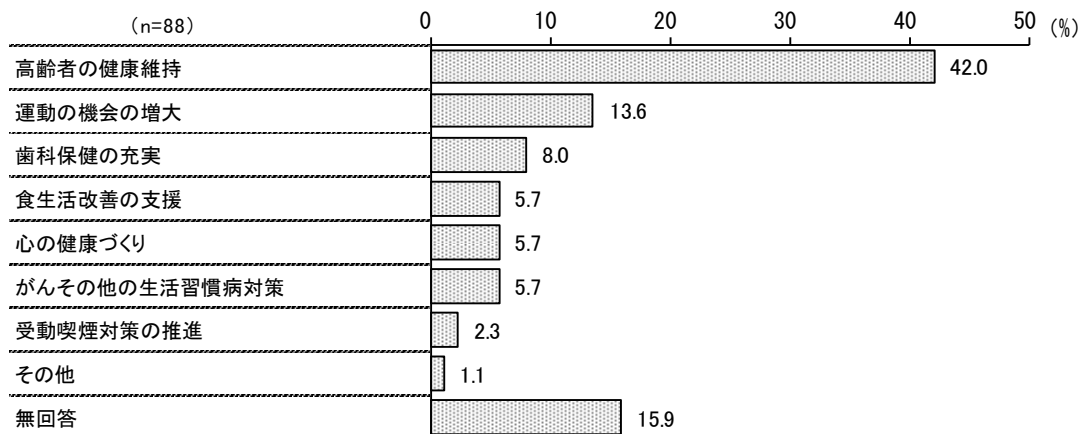
＜図表12-24＞青少年を健全に育てる



19 健康づくりをすすめて、病気を予防する（5.5%、17位）

「高齢者の健康維持」（42.0%）が4割を超えて最も高く、以下、「運動の機会の増大」（13.6%）、「歯科保健の充実」（8.0%）が続く。

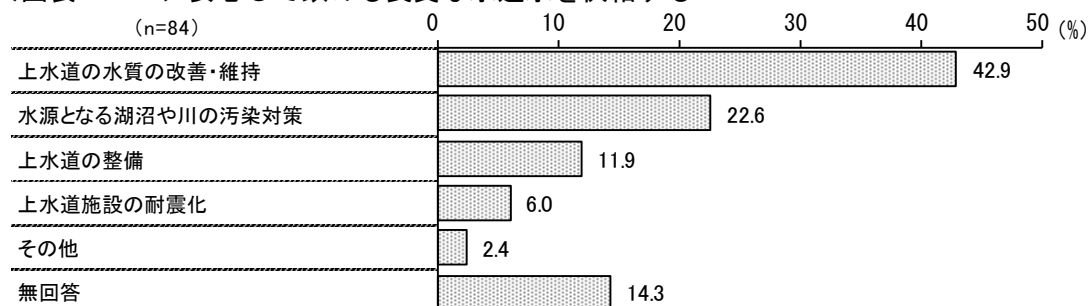
＜図表12-25＞健康づくりをすすめて、病気を予防する



20 安心して飲める良質な水道水を供給する（5.3%、20位）

「上水道の水質の改善・維持」（42.9%）が4割を超えて最も高く、以下、「水源となる湖沼や川の汚染対策」（22.6%）、「上水道の整備」（11.9%）が続く。

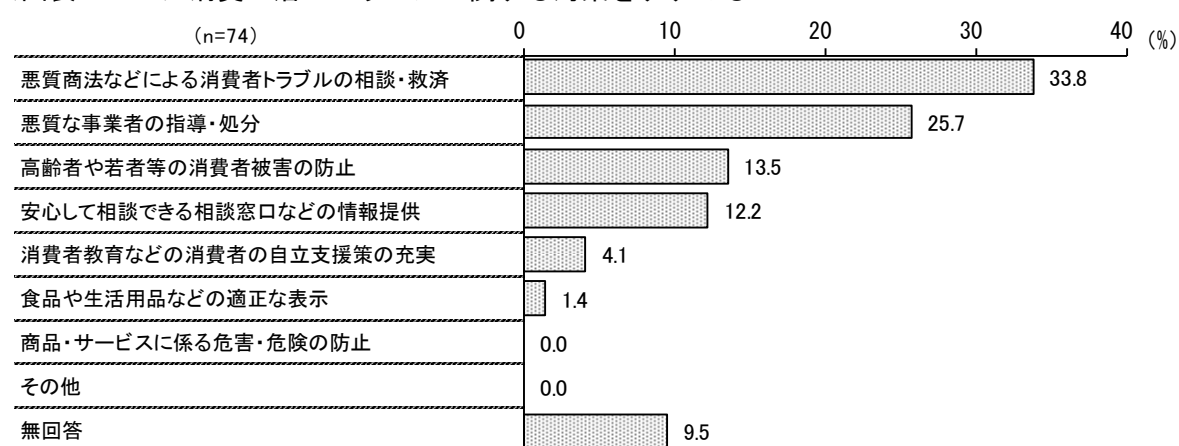
＜図表12-26＞安心して飲める良質な水道水を供給する



21 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる（4.7%、21位）

「悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済」（33.8%）が3割台半ばで最も高く、以下「悪質な事業者の指導・処分」（25.7%）、「高齢者や若者等の消費者被害の防止」（13.5%）が続く。

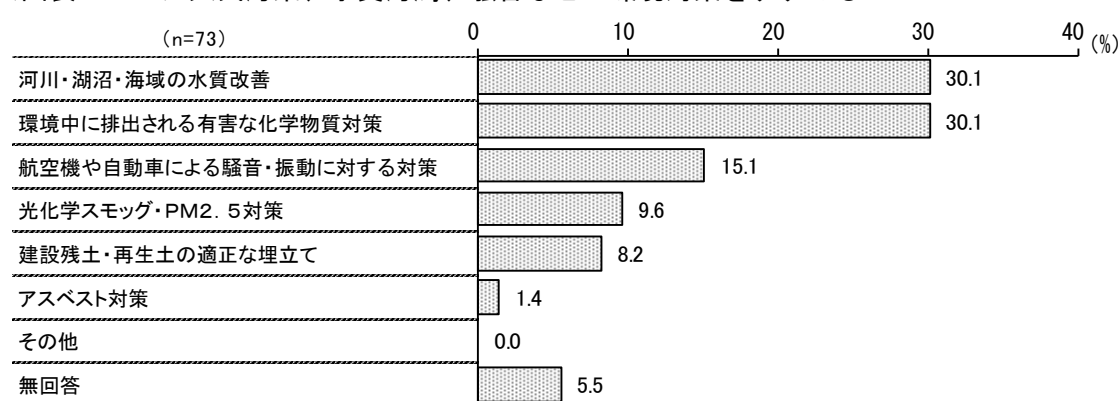
＜図表12-27＞消費生活のトラブルに関する対策をすすめる



22 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる（4.6%、22位）

「河川・湖沼・海域の水質改善」と「環境中に排出される有害な化学物質対策」（30.1%）が3割で最も高く、以下、「航空機や自動車による騒音・振動に対する対策」（15.1%）が続く。

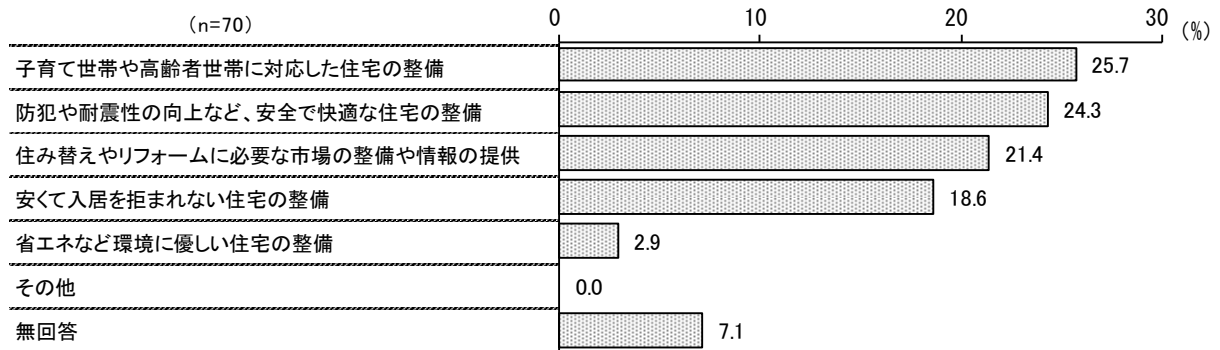
＜図表12-28＞大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる



23 豊かな住生活を実現する（4.4%、23位）

「子育て世帯や高齢者世帯に対応した住宅の整備」（25.7%）が2割台半ばで最も高く、以下、「防犯や耐震性の向上など、安全で快適な住宅の整備」（24.3%）、「住み替えやリフォームに必要な市場の整備や情報の提供」（21.4%）が続く。

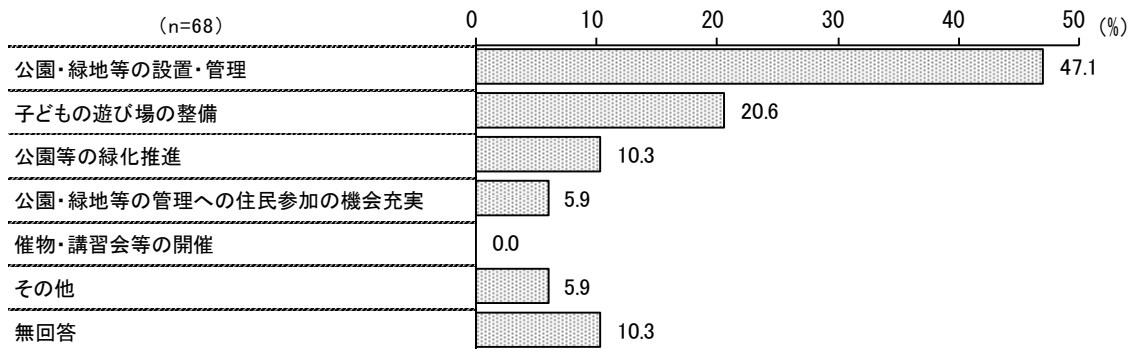
＜図表12-29＞豊かな住生活を実現する



24 公園・緑地を整備する（4.3%、24位）

「公園・緑地等の設置・管理」（47.1%）が約5割で最も高く、以下「子どもの遊び場の整備」（20.6%）、「公園等の緑化推進」（10.3%）が続く。

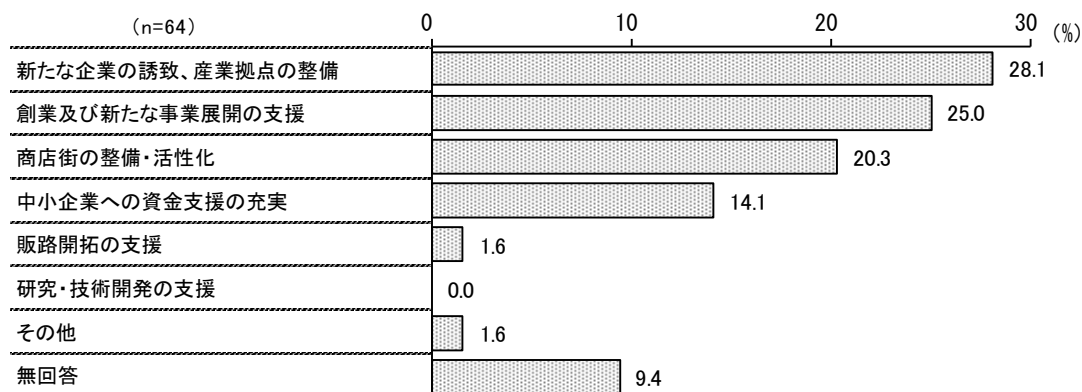
＜図表12-30＞公園・緑地を整備する



25 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する（4.0%、25位）

「新たな企業の誘致、産業拠点の整備」（28.1%）が約3割で最も高く、以下、「創業及び新たな事業展開の支援」（25.0%）、「商店街の整備・活性化」（20.3%）が続く。

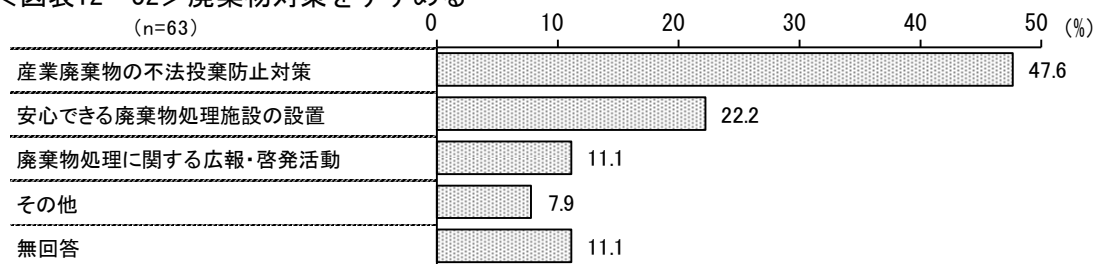
＜図表12-31＞商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する



26 廃棄物対策をすすめる（4.0%、26位）

「産業廃棄物の不法投棄防止対策」（47.6%）が約5割で最も高く、以下、「安心できる廃棄物処理施設の設置」（22.2%）、「廃棄物処理に関する広報・啓発活動」（11.1%）が続く。

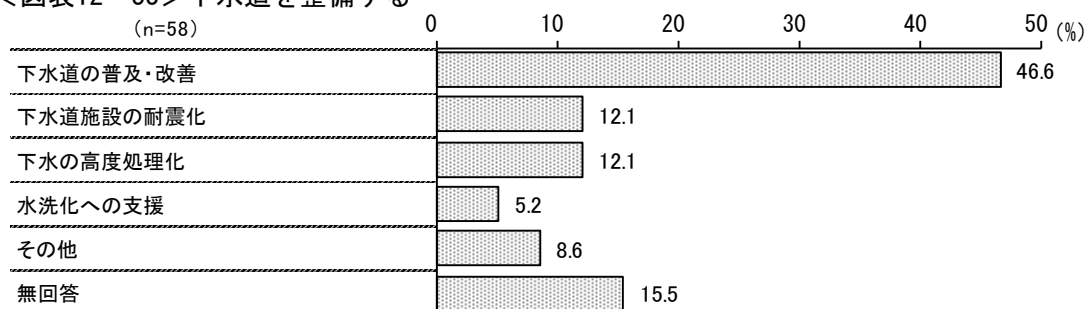
＜図表12－32＞廃棄物対策をすすめる



27 下水道を整備する（3.6%、27位）

「下水道の普及・改善」（46.6%）が4割台半ばで最も高く、以下、「下水道施設の耐震化」と「下水の高度処理化」（12.1%）が続く。

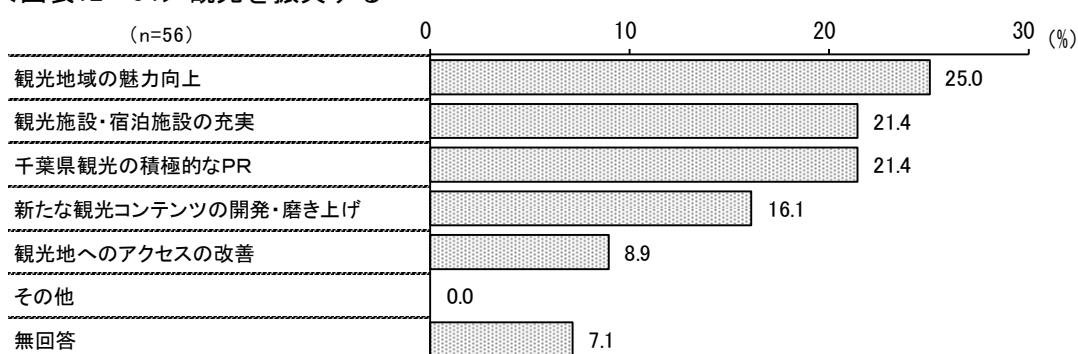
＜図表12－33＞下水道を整備する



28 観光を振興する（3.5%、28位）

「観光地域の魅力向上」（25.0%）が2割台半ばで最も高く、以下、「観光施設・宿泊施設の充実」と「千葉県観光の積極的なPR」（21.4%）、「新たな観光コンテンツの開発・磨き上げ」（16.1%）が続く。

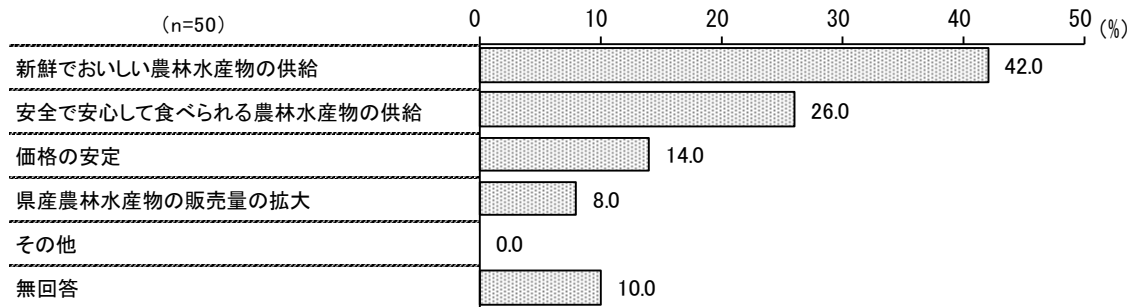
＜図表12－34＞観光を振興する



29 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する（3.1%、29位）

「新鮮でおいしい農林水産物の供給」（42.0%）が4割を超えて最も高く、以下、「安全で安心して食べられる農林水産物の供給」（26.0%）、「価格の安定」（14.0%）が続く。

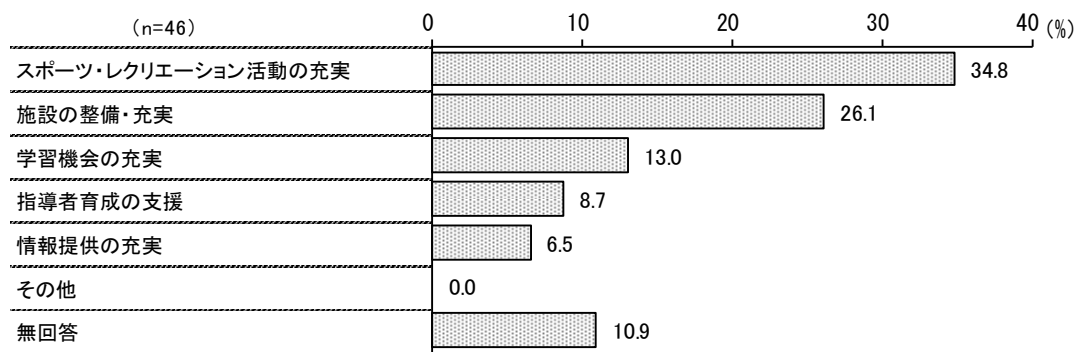
＜図表12-35＞農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する



30 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する（2.9%、30位）

「スポーツ・レクリエーション活動の充実」（34.8%）が3割台半ばで最も高く、以下、「施設の整備・充実」（26.1%）、「学習機会の充実」（13.0%）が続く。

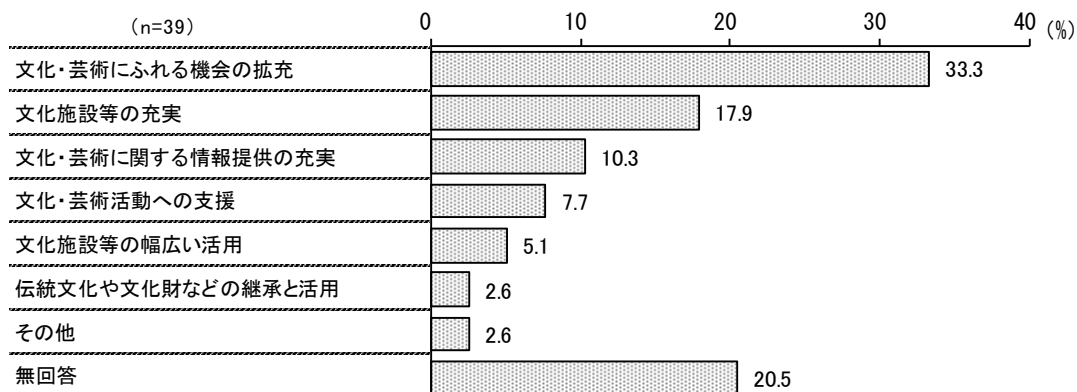
＜図表12-36＞生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する



31 芸術・文化活動を振興する（2.5%、31位）

「文化・芸術にふれる機会の拡充」（33.3%）が3割を超えて最も高く、以下、「文化施設等の充実」（17.9%）、「文化・芸術に関する情報提供の充実」（10.3%）が続く。

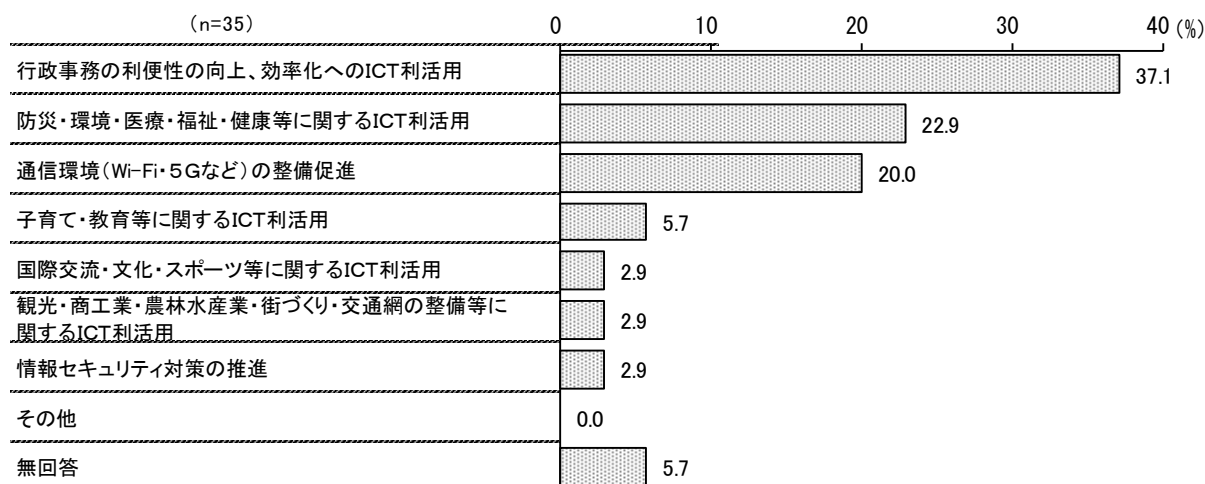
＜図表12-37＞芸術・文化活動を振興する



32 施策実現や地域活性化のためのICT(情報通信技術)の利活用をすすめる（2.2%、32位）

「行政事務の利便性の向上、効率化へのICT利活用」（37.1%）が約4割で最も高く、以下、「防災・環境・医療・福祉・健康等に関するICT利活用」（22.9%）、「通信環境（Wi-Fi・5Gなど）の整備促進」（20.0%）が続く。

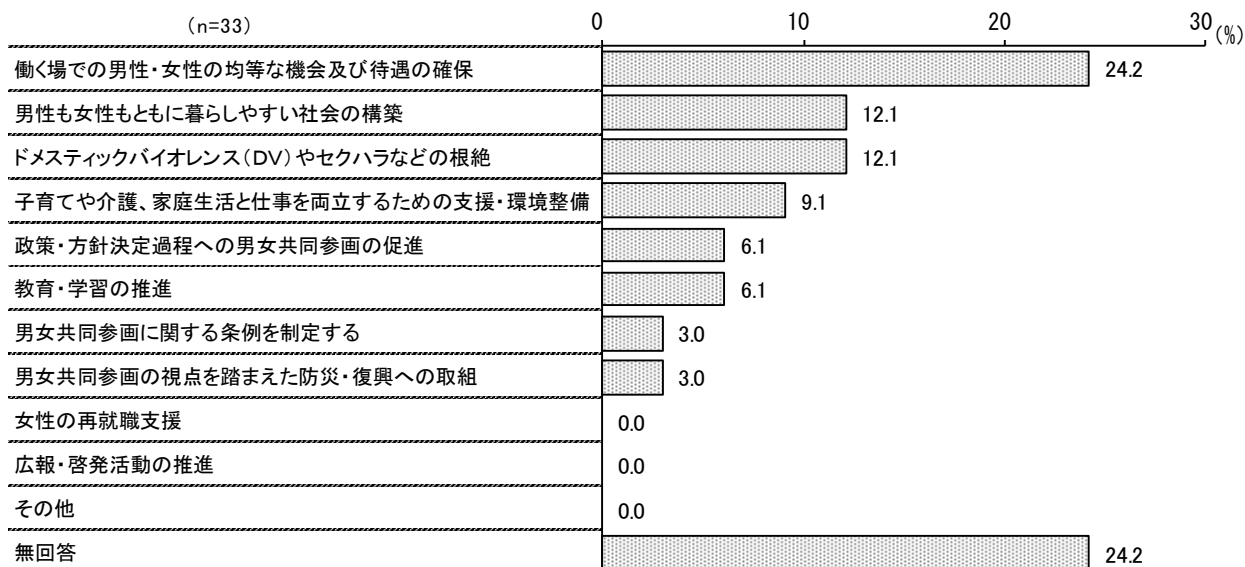
＜図表12-38＞施策実現や地域活性化のためのICT(情報通信技術)の利活用をすすめる



33 男女共同参画を推進する（2.1%、33位）

「働く場での男性・女性の均等な機会及び待遇の確保」（24.2%）が2割台半ばで最も高く、以下、「男性も女性もともに暮らしやすい社会の構築」と「ドメスティックバイオレンス（DV）やセクハラなどの根絶」（12.1%）が続く。

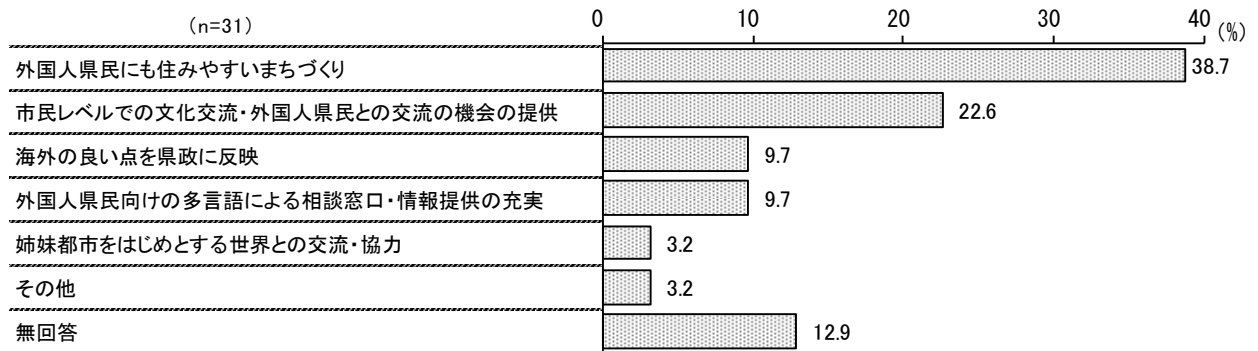
＜図表12-39＞男女共同参画を推進する



34 国際交流・協力や外国人県民との共生をすすめる（1.9%、34位）

「外国人県民にも住みやすいまちづくり」（38.7%）が約4割で最も高く、以下、「市民レベルでの文化交流・外国人県民との交流の機会の提供」（22.6%）、「海外の良い点を県政に反映」と「外国人県民向けの多言語による相談窓口・情報提供の充実」（9.7%）が続く。

＜図表12－40＞国際交流・協力や外国人県民との共生をすすめる

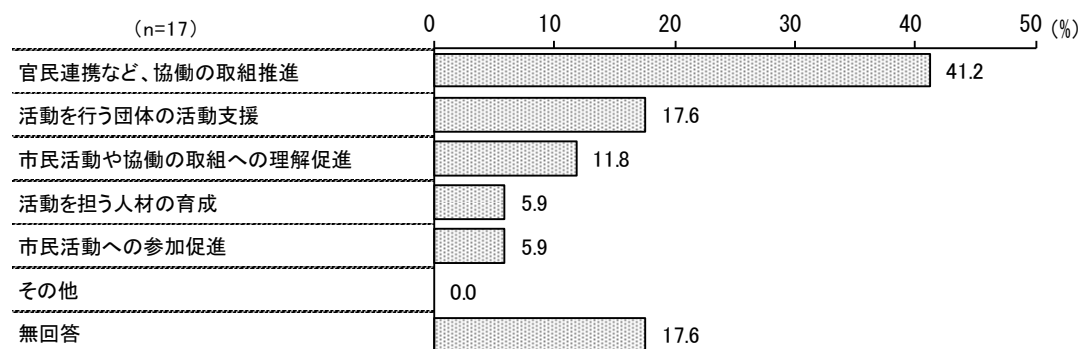


35 地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する（1.1%、35位）

「官民連携など、協働の取組推進」（41.2%）が4割を超えて最も高く、以下、「活動を行う団体の活動支援」（17.6%）、「市民活動や協働の取組への理解促進」（11.8%）が続く。

n が少ないため、参考までに図示するにとどめる。

＜図表12－41＞地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する



13 自由回答

問 県や世論調査へのご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。

県への意見を自由に記述していただいたところ、県への意見については245人から延べ303件の回答が寄せられた。人数・件数には別の設問である「設問への意見」に記入された県への意見も含む。

記述いただいた内容は多岐にわたり、県政の各施策におおむね沿った形で整理した。なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨をそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。また、紙面の都合上、すべての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目（８件以上）に関しては、意見の一部を抜粋して記載するものとする。

【県への自由回答の項目順位】

順位	項目	件数
第１位	県政全般に関する要望	64
第２位	道路を整備する	38
第３位	公共交通網（バス・鉄道）を整備する	21
第４位	新型コロナウイルス感染症対策	13
第５位	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	12
"	県政の情報発信について	12
第７位	犯罪防止対策をすすめる	11
第８位	災害から県民を守る	9
第９位	高齢者の福祉を充実する	8
"	自然を守り、緑を育てる	8
第１１位	医療サービス体制を整備する	7
"	学校教育を充実する	7
第１３位	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	6
"	公園・緑地を整備する	6
第１５位	廃棄物対策をすすめる	5
"	商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する	5
"	観光を振興する	5
"	交通事故から県民を守る	5
第１９位	仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する	4
"	芸術・文化活動を振興する	4
第２１位	下水道を整備する	3
"	安心して飲める良質な水道水を供給する	3
"	施策実現や地域活性化のためのＩＣＴ（情報通信技術）の利活用をすすめる	3
第２４位	中心市街地の活性化を推進する	2
"	ひとり親家庭等の福祉を充実する	2
"	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	2
"	東京湾アクアラインについて	2
第２８位	男女共同参画を推進する	1
"	雇用の場を広げる	1
"	豊かな住生活を実現する	1
"	青少年を健全に育てる	1
"	温暖化対策、循環型社会を推進する	1
	その他	31
	その他 うち、国政への要望	6
	その他 うち、住んでいる市町村への要望	15

合 計（延べ件数） 303

【自由回答の記述】（意見の多い項目の一部抜粋）

■県政全般に関する要望

- 千葉県といえば…というものが無い気がする。とがった県が楽しい！ 特徴のある県にして欲しい。（男性、40代、流山市）
- 都市部と地方で格差が感じられるので、それぞれの良さを活かして活気ある千葉県をつくって欲しいです。（女性、30代、千葉市）
- 身体的に不自由な人は若くてもいるし、ケガ人病人もいる。そういう弱者の人が住みやすい県になって欲しいし、働ける場所も増えて欲しいと感じています。（女性、50代、四街道市）
- 子どもや子どもがいる世帯だけでなく、もっと県民全体への支援をしてほしい。私たちは子育て世帯といわれる年代だが、今後のことを考えるととても子どもを産んで育てられると思えずあきらめざるを得ない。“働きざかりの世帯”にこそお金をかけるべきではないだろうか？（女性、30代、木更津市）
- これからの介護、自分、家族の生活（食・住・衣）の不安。（両親80代／自分夫婦40代）。50代になっても夫婦で仕事が続けられるか不安。住宅ローンの支払いなど食品も上がり家計が大変なのでクーポン割引など色々してほしい。（女性、40代、柏市）
- 自分で耕せる農地を誰でも購入できるようにする。自分の畑と果樹園をもって休日に耕しできるだけ食料を自給する。テレワークと合わせて、すばらしいライフスタイルになると思います。（男性、75歳以上、流山市）
- 空き家が増えています。個人に任せるだけでは解決しないと思います。県としても何か対策をお願いしたいです。（女性、60～64歳、夷隅郡御宿町）
- 財政の支出には、チェックを願いたい。（女性、70～74歳、浦安市）
- 自分の住む自治会は高齢化が進み、若い世代へ一気に負担がかからないか心配です。（女性、40代、千葉市）
- 他の県のように生活支援をもっとやって欲しい。（女性、60～64歳、船橋市）

■道路を整備する

- 未来を考えた、まちづくりが大切です。特に道幅については、千葉県は昔からかわらず悪いです。安心をして、歩ける道づくりをしてほしいです。道路整備に、力を入れてほしいです。（女性、70～74歳、鎌ケ谷市）
- 千葉県は広いので交通網の整備、渋滞箇所の整備が必要。（男性、70～74歳、富里市）
- 交通量が多いのに、両側に電柱があり、大人でもこわさを感じる。雨の日はなおさら（傘をさしていて危ない）。通学路になっている、小学生は危険。（女性、75歳以上、柏市）

○横断歩道の白線等が消えかかっていたり、道路脇の植栽が伸びて視界を遮っている所が多く見られます。子ども達の命を守るために歩道の確保をお願いしたいです。

（女性、70～74歳、佐倉市）

○私はサイクリストで、花見川河口近くに住んでいます。花見川サイクリングコースが好きでよく走っています。是非、印旛沼までのコースの整備をお願いします。

（男性、50代、千葉市）

■公共交通網（バス・鉄道）を整備する

○自動車免許の返納について。田舎暮らしの高齢者にとって車がないと、病院に行くのも不自由になっていることをもっと理解してほしい（一人暮らしは特にです）。タクシー券だけではなく巡回バスを多く田舎の方にも出してほしい。

（女性、70～74歳、富津市）

○住宅が増加する一方で、まだまだバス路線の発展はおいついておらず、今後街の活性化のためにも、是非バスの路線整備のご検討をよろしくお願いします。

（女性、50代、松戸市）

○人口減少、利用者減少により、電車の本数など、だいぶ不便になりました。いずれなくならないかと不安でいっぱいです。

（女性、50代、夷隅郡御宿町）

○今住んでいる所はスーパーまで1km、私鉄駅まで2kmです。免許返納してから（体がまだ元気で歩けるなら良いが）の生活が心配です。

（男性、70～74歳、市原市）

■新型コロナウイルス感染症対策

○コロナの病院を整備し誰でも病院に行けるようにしてほしい。自宅での療養はやめるようにしてほしい。

（男性、75歳以上、市川市）

○保育所等の濃厚接触者の特定をやめ、休園という対応がなくなりました。発熱等有症状でも子どもたちの検査率が低く、解熱後登園し保育士がコロナになる。保護者は子どもを預けて仕事ができるが、保育士のことを守ってくれる人が誰もいない。

（女性、20代、松戸市）

■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

○いつも心を痛めているのが、子どもの虐待で尊い生命を失われていく事です。次の時代を背負っていく子ども達を守っていかなければなりません。どうかこれ以上、子どもが犠牲になる事だけはないように。

（女性、75歳以上、船橋市）

○物価上昇している昨今、給与は全く上がっていないのに、納税額、医療費など収める額は上がっているように感じ、経済不安が常にある。余裕があればあと2人でも産みたいのに、産める状況にない。1人育てている状況でも、大学まで出してあげられるか不安でしかない。明石市のように、子どもに手厚く、子育て世帯を支えて子どもを増やしていかないと近い将来日本全体として本当に困ると思う。

（女性、30代、船橋市）

- 「高等学校等就学支援金」の所得制限の撤廃を望みます。共働きで働いて収入を上げていますが、我が家は子ども3人います。県内の子ども一人一人平等に支援していただきたいです。
(女性、40代、流山市)

■県政の情報発信について

- たくさん制度や活動があるのに、それを知れる場所や機会が少ないと感じます。今はネットが主流なのでY o u T u b e の広告とかS N S でもっと広めてほしい。インスタでもやってみたらどうでしょうか？
(女性、30代、千葉市)
- 千葉は都心へのアクセスも良く、住みやすい所だと思いますが、魅力アピールが少し弱く良さが伝わっていない。千葉全体でもっと魅力アピールできる対策を県主体でうっていただけたらもっといい。例えば千葉大とコラボして、学生に課題としてやってもらうとか。
(女性、60～64歳、流山市)
- 「ちば県民だより」を一読しているが、読み流してしまうほど内容が残らない。じっくり読んでみたくなるような紙面作りを検討していただけるとありがたい。県政への要望のような項目・内容を読んで関心が持てるように表現していただけたらと思っています。
(男性、75歳以上、船橋市)

■犯罪防止対策をすすめる

- 私の住んでいる所は治安が悪く、具体的にはタイヤのパンクだったり、その他、外に出している「ハウキやチリトリ」までとっていく人がいたり、ゆっくり安心して暮らす事が出来ません。防犯対策など力を入れていただけたらと思います。
(女性、65～69歳、君津市)
- 私が生まれた時よりは治安などは良くなっていると思います。しかし最近バイパスが出来たせいで、夜中にバイクの騒音がうるさいです。
(女性、30代、市川市)

■災害から県民を守る

- 災害に強いまちづくり、災害時の子ども・高齢者・女性へのサポートについて、特に細やかなサポートを望みます。
(女性、50代、袖ヶ浦市)
- 3年前の台風で、実家は20日近く電気のない生活を強いられました。電線の近くの木を切ったりして、早く復興する対策を考えてほしいです。お年寄りが安心して生活できるとよいと思います。
(女性、50代、君津市)
- 近頃の気候変動に不安を感じています。高齢者の多い安房地域に住んでいるので災害が起きた時の避難や救援などは各市町村を越えた体制が必要となるとと思います。
(女性、70～74歳、南房総市)

■高齢者の福祉を充実する

- 高齢者を住みやすい環境にしてほしいです。（コロナの時も若い人はホテルにすぐ入れる、高齢の手のかかる人は入れない）と言われた。もっと高齢者のことも考えて下さい。
（女性、60～64歳、市原市）
- 千葉県は温暖で住み安い県だと認識しています。私自身高齢者ですが、現在夫と暮らしておりますが、独り身になった時でも自宅で暮らせるような生活環境であってほしいと願います。
（女性、70～74歳、白井市）
- 年金生活者や高齢者に対する助成金等での支援強化をお願いしたい。
（男性、70～74歳、市原市）

■自然を守り、緑を育てる

- 自然が多い房総半島です。みどりを残し荒れた土地の手入れをして頂きたいです。
（女性、75歳以上、習志野市）
- 千葉県の温暖で豊かな地形と、自然を守ってほしいです。 （女性、75歳以上、市原市）
- 気候変動の影響を受けやすい立地に位置する事から、環境保全をより一層推進して欲しい。
（男性、40代、市川市）

「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、86人から88件の回答が寄せられた。人数・件数には前問の「設問への意見」に記入された世論調査への意見も含む。

これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■世論調査について

―《世論調査自体への意見》

○世論調査の結果がきちんと今後の県政に生かされる事を強く望みます。

（女性、30代、鴨川市）

○普段、県政とは直接関係のないような生活をしていると思い、それぞれに注意を払わないので、アンケート項目に対して適正な回答ができていないところもあり、もう少し県政について日頃から考えておくことが大事なのだと反省しています。（男性、75歳以上、船橋市）

○このようなアンケートをとっていることを好意的に思っています。千葉がよいモデルを示して全国に良い制度が広がると良いなと思います。（女性、30代、千葉市）

○今まで県政にあまり関心がなかったと感じています。これからは、千葉県の一員として千葉県をよく知り関心を持って行きたいと思います。今回のアンケート回答はそのきっかけになりました。（女性、60～64歳、我孫子市）

○初めてこの様なアンケートの回答をする事になりました。今の時代インターネット等も活用し、もう少し規模の大きい世論調査ができるのではないかと、県民の意見を参考にした県政が実現できるのではないかと思いました。（女性、50代、白井市）

○今回の調査を通して学んだことも多かったですし、自分の意見を聞いてもらえる機会があるのは嬉しかったです。最初は面倒だな…と正直思ってしまったのですが、調査に参加して良かったです。（女性、30代、柏市）

―《調査手法や謝礼への意見》

○それなりの量の質問があり、答えるためには時間がかかる。ギフト券などの謝礼があるとモチベーション高く、回答できる。（女性、20代、市川市）

○いろいろな所でデジタル化が進んでいきついていけずに途中でやめてしまう事が多いので、このように手書きにしていだける事がとてもありがたかったです。

（女性、60～64歳、千葉市）

○P Cから答えることができるのは大変便利で答えることへのハードルが下がりました。チーバくんボールペンも使えるものでよかったと思う。（女性、50代、浦安市）

○ネットで回答出来るようになってとても簡単便利でした。（女性、60～64歳、四街道市）

○インターネット回答の方法もQRコードを用いてログインができたのでやりやすかったです。全体・残りの問題数を記載していただけると、どのくらいの時間で終わるのかわかりやすかったです。（男性、20代、市川市）

問 今までの設問について、ご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。

今回のアンケート調査における「設問に関する意見」を自由に記述していただいたところ、217人から53件の回答が寄せられた。「県や世論調査への意見」に記述された意見のうち、「設問への意見」に該当するものもこちらに振り分けている。なお、回答者数より記述件数が少ないのは、その多くが「県や世論調査への意見」に該当するものであったため、こちらに振り分けたことによるものである。

○県外から上京し、ひとりで暮らしていると、町の人との関わりが全くなく、高齢者についての問いが多い福祉の質問は回答しにくかった。（女性、20代、浦安市）

○千葉県の道は外房と内房で整備の面で違うのは仕方ないので、地域によって設問を検討してもよいのではないかと思います。（男性、30代、四街道市）

○もっと介護のことについて具体的に選択する項目があればいいと思いました。両親の介護が昨年からはまり大変なので。（女性、40代、柏市）

○「環境にやさしい農業」について、マークやその意味がわかりためになりました。（女性、50代、木更津市）

○千葉での生活があまり長くないので、知らないことがたくさんありました。色々な言葉や活動もよく知らないなあと感じました。広報などもっとしっかり読んで勉強したいと思いました。（女性、60～64歳、千葉市）

○学校教育や高齢者福祉を掘り下げた設問が欲しい。（女性、60～64歳、千葉市）

○設問が分かりにくく感じた。同封の質問用紙は、見ただけで記入の意思が萎えた。ネット上の記入のほうの方が分かりやすかった。（女性、65～69歳、松戸市）

○「県の魅力」住んでいる地域の魅力なら答えられるが、千葉県全体として問われると答えにくい。（女性、75歳以上、我孫子市）

（付）調査票および単純集計結果

ちば

第63回 千葉県政に関する世論調査

ご回答にあたってのお願い

宛名のご本人様がお答えください。（代筆による回答も可能です。）

回答方法は「郵送」または「インターネット」のいずれかをお選びいただけます。

令和4年9月16日（金）までにご回答をお願いします。

※郵送・インターネット共通

郵送でお答えいただく場合

- この調査票に直接、黒か青のボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- ご記入いただきました調査票は、三つ折りにして同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。返信用封筒へのお名前やご住所のご記入、切手は不要です。

インターネットでお答えいただく場合

- 別添の「インターネット回答操作案内」をご覧ください。ご回答には、右下に貼られた「利用者ID」「パスワード」が必要になります。
- 「利用者ID」等は、ランダムに調査票へ貼っており、個人を特定するものではありません。

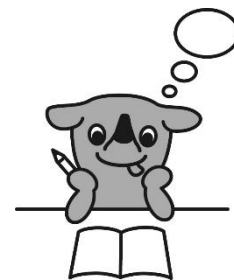
ご回答に当たってご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【調査の趣旨・内容について】

千葉県 総合企画部報道広報課 広聴室
〒260-8667
千葉市中央区市場町1番1号
電 話 043-223-2469
(平日9:00~17:00)

【調査票の記入方法・締切等について】

調査実施機関
株式会社マーケティングリサーチサービス
〒170-0005
東京都豊島区南大塚2-45-8
ニッセイ大塚駅前ビル 5階
電話 03-6690-0086
(平日10:00~18:00)



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

【環境と生活について】

問1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。
n=1,591（○は1つ）

- 73.7 住み続けたい
- 5.3 千葉県内のよそへ移りたい
- 4.5 千葉県外に移りたい
- 5.3 千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい
- 10.4 わからない
- 0.8 無回答

→（問1で「1」とお答えの方に）

問1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。
n=1,173（○は3つまで）

- 16.2 地域の人とのつながりを大切に考えているから
- 17.2 家族の思い出がつまっているから
- 38.1 生活環境に満足しているから
- 60.9 自分の土地や家があるから
- 29.8 通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性がよいから
- 5.3 公共施設（道路や上下水道、公園や図書館など）や教育・子育て、文化の環境が整っているから
- 22.7 自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから
- 7.6 治安や風紀がよいから
- 35.5 住み慣れていて愛着があるから
- 22.8 家族や親族が近くにいるから
- 4.9 仕事や商売に都合がよいから
- 1.1 その他（具体的に
- 0.0 無回答

→（問1で「2」～「4」のいずれかをお答えの方に）

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。
n=239（○は3つまで）

- 26.4 そのときどきの家族の状況（子どもの成長、親の面倒を見るなど）にあった住まいを考えているから
- 38.9 生活環境をより良くしたいから
- 10.5 より良質で広い住宅に住みたいから
- 5.4 近所の人とのつきあいがうまくいってないから
- 41.4 通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性が悪いから
- 17.2 公共施設（道路や上下水道、公園や図書館など）や教育・子育て、文化の環境が整っていないから
- 13.4 自然環境に恵まれていないから
- 7.5 治安や風紀が悪いから
- 6.7 住み慣れておらず愛着を感じないから
- 10.0 家族や親族の近くに住みたいから
- 5.9 仕事や商売に都合が悪いから
- 18.8 その他（具体的に
- 0.8 無回答

問2 あなたは、千葉県内の道路状況についてどう感じですか。n=1,591（○は1つ）

1.9 大変満足している	24.6 どちらともいえない	11.3 大変不満である
28.5 まあ満足している	27.4 やや不満である	4.0 わからない
		2.4 無回答

問3 あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思いませんか。n=1,591（○はいくつでも）

46.1 災害に強い道路整備（高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など）
50.3 渋滞対策（バイパスの整備、開かずの踏切対策、交差点の改良など）
45.8 交通事故対策（通学路の歩道設置など）
33.9 バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）
28.2 自転車利用の促進（自転車道・駐輪場の整備など）
20.7 バスなどの公共交通機関への支援（バスレーンの整備など）
15.2 既存道路の有効活用（アクラアインの通行料金の引下げの継続、インターチェンジの増設など）
11.6 休憩施設の整備（道の駅等）
28.0 維持管理の充実（清掃など日常的な維持管理、老朽化した橋の予防対策など）
16.8 わかりやすい案内標識などの整備
19.0 道路景観の改善（電線類の地中化、植樹など）
13.7 大気汚染や騒音などの環境対策
8.5 カーナビ情報の充実（地図情報、渋滞情報の充実など）
6.3 その他(具体的に)
1.0 無回答

問4 現在お住まいの地域の、上水道の整備についてどう感じですか。

n=1,591（○は1つ）

14.1 大変満足している	16.0 どちらともいえない	2.6 大変不満である
54.4 まあ満足している	5.8 やや不満である	6.6 わからない
		0.4 無回答

問5 現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。

n=1,591（○は1つ）

7.5 大変満足している	15.4 どちらともいえない	2.4 大変不満である
62.3 まあ満足している	10.6 やや不満である	1.4 わからない
		0.4 無回答

問6 消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）について、どう感じですか。

n=1,591（○は1つ）

2.5 大変満足している	35.1 どちらともいえない	2.6 大変不満である
27.2 まあ満足している	8.2 やや不満である	23.7 わからない
		0.8 無回答

問7 あなたは、消費者トラブルなどの相談窓口であり、出前講座等も実施している「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」を知っていますか。

n = 1,591（〇は1つ）

14.8 名前も業務内容も知っている
 57.2 名前は聞いたことがあるが、業務内容までは知らない
 27.6 名前も業務内容も知らない
 0.4 無回答

問8 気候変動による影響に対応し、被害を回避・軽減させることを「気候変動による影響への適応」と言います。「気候変動による影響への適応」という言葉を知っていますか。

n = 1,591（〇は1つ）

7.9 意味までよく知っている 29.4 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない
 31.7 意味を大体知っている 30.6 知らない
 0.4 無回答

問9 日常生活の中で環境に配慮して行動していますか。

n = 1,591（〇は1つ）

28.7 いつも配慮している 10.4 あまり配慮していない 4.0 わからない
 51.9 ときどき配慮している 4.0 特に配慮していない 1.0 無回答

問10 あなたは、普段の生活で環境に配慮した次のような取組を行っていますか。

n = 1,591（〇はそれぞれ1つずつ）

	実施している	ときどき実施している	あまり実施していない	実施していない	該当するものがない	無回答
（ア）節電に努めている	45.0	42.5	9.4	2.1	0.4	0.6
（イ）冷暖房の設定温度を控えめにする	55.4	28.7	10.4	3.5	1.1	0.9
（ウ）省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ	32.9	31.9	21.3	7.9	4.2	1.8
（エ）マイバッグの利用	79.4	13.4	2.5	3.8	0.3	0.6
（オ）車の急発進・急ブレーキはしない	63.2	10.6	1.6	1.6	19.9	3.0
（カ）食品ロスの削減に取り組んでいる	46.4	39.0	10.9	2.5	0.6	0.6

問11 これまでに環境保全に関する講演やセミナー（オンラインでの参加を含む）、あるいは環境ボランティア活動（植林や清掃活動など）に参加したことがありますか。
n = 1,591（○は1つ）

18.5	参加したことがある
29.9	参加したことはないが、機会があれば参加してみたい
29.2	参加したことはなく、あまり参加したいと思わない
20.9	参加したことはなく、今後も参加するつもりはない
1.1	その他（具体的に
0.3	無回答

問12 市民活動団体※の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。
n = 1,591（○は1つ）

6.9	大変関心がある	45.3	あまり関心がない	
38.0	まあ関心がある	9.6	まったく関心がない	0.2 無回答

※ 「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）です。

問13 市民活動団体の活動に参加※したことがありますか。
n = 1,591（○は1つ）

3.0	定期的に参加している	11.6	参加したことはないが、今後参加してみたいと思う
5.4	ときどき参加している	62.7	参加したことはない
16.8	参加したことがある	0.4	無回答

※ ここでいう「参加」とは、団体の会員やボランティアとしての参加のみならず、団体への資金・物品・技術・場所等の提供・寄付などの支援を通しての参加や、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを指します。

問14 ボランティアとして活動※したことがありますか。
n = 1,591（○は1つ）

5.5	定期的に参加している	7.0	活動したことはないが、今後活動してみたいと思う
7.2	ときどき活動している	48.2	活動したことはない
31.6	活動したことがある	0.5	無回答

※ ここでいう「ボランティア活動」とは、市民の自発性に基づき地域や社会に貢献する活動（町会・自治会の活動、PTA 活動や学校行事の手伝い、子ども会の活動、交通安全運動、道路や公園等の清掃なども含む）のことであり、市民活動団体が行うボランティア活動への参加のみならず、個人として行うものを含むボランティア活動全般を指します。

問15 あなたは、この1年間に、文化芸術※を鑑賞しましたか。また、鑑賞を除く文化芸術活動をしましたか。
n=1,591（〇はそれぞれ1つつつ）

※ 「文化芸術」とは、映画（アニメ含む）、音楽（全てのジャンル）、美術（写真・デジタルアート含む）、文芸（マンガ含む）、ダンス、茶道・華道・書道、歌舞伎、地域に伝わる祭り、文化財などを指します。

鑑賞	（ア）直接の鑑賞 （施設での音楽鑑賞、美術館や博物館での展覧会の鑑賞、舞台公演鑑賞、史跡めぐり、読書、映画館での鑑賞など）	53.1 鑑賞した 46.2 鑑賞しなかった 0.7 無回答
	（イ）オンラインやテレビでの鑑賞	65.2 鑑賞した 30.9 鑑賞しなかった 4.0 無回答
活動	（ウ）直接の文化芸術活動 （創作、出演、習い事、祭りや体験活動、趣味を同じくするグループでの活動など）	21.3 活動した 77.5 活動しなかった 1.2 無回答
	（エ）オンラインでの文化芸術活動 （動画や写真の投稿、デジタルアートの創作など）	10.1 活動した 87.4 活動しなかった 2.5 無回答

（問15（ア）（イ）のいずれかで「2」をお答えの方に）←

問15-1 「鑑賞しなかった」とお答えの主な理由は何ですか。

n=839（〇はいくつでも）

16.8 文化芸術の鑑賞に興味がないから	
26.0 時間がないから	
20.0 近くに鑑賞できる文化施設がないから	
16.7 鑑賞に関する情報を得られないから	
24.6 興味のある内容の催し物がないから	
11.7 都合の良い日時に開催されていないから	
7.7 催し物の料金が安いから	
5.8 Web環境が整っていない、又はWeb上でのチケット購入などの手続きが難しいから	
1.3 施設のバリアフリー対策や情報提供、サポートが不十分だから	
57.2 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えたから	
4.4 その他(具体的に	2.3 無回答

（問15（ウ）（エ）のいずれかで「2」をお答えの方に）←

問15-2 「活動しなかった」とお答えの主な理由は何ですか。

n=1,446（〇はいくつでも）

20.1 文化芸術の活動に興味がないから	
31.1 時間がないから	
12.7 近くに活動のための文化施設がないから	
19.6 活動に関する情報を得られないから	
23.5 興味のある内容の活動がないから	
11.0 都合の良い日時に取り組みたい活動が開催されていないから	
5.3 活動のための料金や費用が高いから	
1.0 施設のバリアフリー対策や情報提供、サポートが不十分だから	
39.1 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を控えたから	
7.3 その他(具体的に	3.5 無回答

問16 あなたは、千葉県において、文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境が整っていると思いますか。
n=1,591（○は1つ）

3.5	そう思う	13.8	どちらかといえばそう思わない	
16.2	どちらかといえばそう思う	10.3	そう思わない	
28.8	どちらともいえない	27.0	わからない	0.4 無回答

【健康について】

問17 あなたは、積極的に健康づくり※に取り組んでいますか。 n=1,591（○は1つ）

23.4	そう思う	8.4	どちらかといえばそう思わない	
39.0	どちらかといえばそう思う	6.6	そう思わない	
21.4	どちらともいえない	1.0	わからない	0.3 無回答

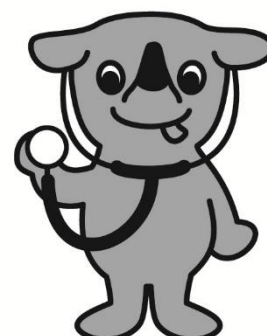
※ ここでいう「健康づくり」とは、適度な運動やバランスの取れた食事、禁煙等の県民一人ひとりによる主体的な取組を指します。

問18 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。
n=1,591（○は1つ）

23.5	そう思う	9.4	どちらかといえばそう思わない	
37.7	どちらかといえばそう思う	9.7	そう思わない	
16.6	どちらともいえない	2.8	わからない	0.3 無回答

問19 「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬剤師・薬局」をお持ちですか。
n=1,591（○はそれぞれ1つずつ）

かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬剤師・薬局
64.1 持っている	70.6 持っている	47.1 持っている
29.2 持っていないが、必要性は強く感じている	20.5 持っていないが、必要性は強く感じている	31.4 持っていないが、必要性は強く感じている
6.6 持っていないし、必要性もあまり感じていない	7.0 持っていないし、必要性もあまり感じていない	19.5 持っていないし、必要性もあまり感じていない
0.1 無回答	1.9 無回答	2.0 無回答



【福祉について】

問20 以下について、お住まいの地域はどのような状況だと思いますか。

n=1,591（○はそれぞれ1つつつ）

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
（ア）安心して子育てができる環境がととのっている	11.7	34.2	21.1	6.4	5.0	19.7	1.8
（イ）自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある	8.4	23.3	28.6	10.7	13.9	14.3	0.9
（ウ）多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている	5.5	25.6	28.3	9.9	9.6	19.7	1.4
（エ）地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている	4.3	24.8	30.2	11.1	11.7	16.4	1.4

問21 あなたは、県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」についてどうお感じですか。

n=1,591（○は1つ）

1.2 大変満足している	33.6 どちらともいえない	4.0 大変不満である
9.8 まあ満足している	7.9 やや不満である	42.8 わからない
		0.7 無回答

問22 障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らす「共生社会」という考え方を知っていますか。

n=1,591（○は1つ）

38.2 知っている	36.5 言葉だけは聞いたことがある	24.7 知らない
		0.6 無回答

【観光について】

問23 千葉県内を旅行する場合、より快適な旅行をするためには、特に何が充実してほしいですか。

n=1,591（○は3つまで）

12.8 体験プログラム	58.5 観光地への交通アクセス
44.1 食事	30.3 観光情報・案内の充実度
24.3 お土産・特産品	10.4 Wi-Fi等の通信環境
10.9 接客サービス	29.9 観光地の公衆トイレ
4.3 観光ボランティアガイド	26.2 観光地の駐車場
11.9 バリアフリーへの対応	2.5 その他（具体的に）
	0.8 無回答

問24 県産品をお土産や贈答品とする場合、何を選びますか。 n=1,591（○は3つまで）

4.8 花	9.2 酒類
50.0 農産物・果物	7.2 しょうゆ・みそ
53.0 落花生・落花生加工品	2.1 乳製品
2.1 肉類	41.1 菓子・せんべい
17.7 生鮮魚介類	2.9 工芸品
27.5 海苔・水産加工品	9.2 チーバくんグッズ
5.0 漬物	1.3 その他（具体的に
	2.2 県産品を選ばない
	0.6 無回答

【県の農林水産物について】

問25 千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。 n=1,591（○は1つ）

44.9 そう思う	6.7 どちらかといえばそう思わない
43.9 どちらかといえばそう思う	3.9 そう思わない
	0.6 無回答

→（問25で「1」、「2」のいずれかをお答えの方に）

問25-1 その主な理由は何ですか。

n=1,414（○は1つ）

23.0 千葉県に愛着があるから	1.4 価格が安いから
40.7 鮮度が良い（美味しい）から	2.0 その他（具体的に
24.0 地元のものは安心だから	6.6 特に理由はない
	2.2 無回答

→（問25で「3」、「4」のいずれかをお答えの方に）

問25-2 その主な理由は何ですか。

n=168（○は1つ）

23.2 産地にこだわらず価格で選ぶから	4.8 その他（具体的に
38.1 産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから	24.4 特に理由はない
7.7 千葉県以外で買いたい産地があるから	1.8 無回答

問26 千葉県では、農薬や化学肥料をできるだけ減らすなど、「環境にやさしい農業に取り組む農業者」や「環境にやさしい農産物」についての認証制度を設けています。次の農産物や制度を知っていますか。

※同封の資料①を参考にご回答ください。

n=1,591（○はいくつでも）

18.0 ちばエコ農産物	13.7 エコファーマー
40.7 有機農産物	48.7 どれも知らない
10.4 特別栽培農産物	0.9 無回答

問27 「千葉ブランド水産物」を知っていますか。

n=1,591（○は1つ）

2.8 よく知っている（認定マークや品目までわかる）
 30.7 多少は知っている（聞いたことがある）

65.9 知らない
 0.7 無回答

※ 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。



【防災に関する取組について】

問28 災害発生危険度と、とるべき避難行動を示す各警戒レベルの意味や、その際にとるべき行動について知っていますか。

n=1,591（○は1つ）

4.8 よく知っている（それぞれのレベルの意味までわかる）
 41.6 大体知っている（レベルにより取るべき行動が異なることを知っている）
 44.1 ある程度知っている（言葉を聞いたことがある）
 9.1 全く知らない
 0.4 無回答

令和3年5月20日から災害対策基本法の一部改正に伴い、住民の方へ伝達される避難情報の伝え方が変更されました。今後、お住まいの地域で「警戒レベル4避難指示」が発令された場合は、「危険な場所から全員避難」となります。お近くの避難所の位置や避難経路の確認を行うなど、災害に備えていただきますようお願いします。

問29 あなたの家では、災害時に利用できる食料品等を何日分用意していますか。

*飲料水 1日分=1人当たり3リットル×家族の人数

*トイレ 1日分=1人当たり1日5回分×家族の人数

n=1,591（○はそれぞれ1つずつ）

	4日分以上	3日分	2日分	1日分	用意していない	わからない	無回答
(ア) 食料品	20.4	26.9	20.1	10.7	17.3	3.9	0.7
(イ) 飲料水	24.6	23.4	20.1	15.0	13.5	2.7	0.7
(ウ) 災害用トイレ（携帯・簡易トイレ）	8.9	8.8	9.5	11.6	55.6	4.8	0.8

問30 あなたは、地震や台風などの災害に備えて、次の対策を行っていますか。

n=1,591（○はいくつでも）

- 45.1 家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化
- 55.8 避難場所・避難経路の確認
- 36.2 家族等との安否確認手段（災害用伝言ダイヤル、SNS 等）の確認
- 19.0 上記の対策はどれも行っていない
- 0.4 無回答

大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることや、断水や停電、給排水管の損壊、し尿処理施設の被災により、水洗トイレが使用できなくなることが予想されます。また、固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、回線が大変混雑し、つながりにくくなることがあります。日頃から防災に対する意識を高めましょう。

【公金のキャッシュレス化の推進について】

※同封の資料②を参考にご回答ください。

県では、収納方法について、県民の皆様の利便性や事務の効率性の観点から「キャッシュレス化の推進」に向けて取り組んでいます。

問31 あなたは、税金や使用料・手数料などの県の公金の納付に当たり、不便と感ずることがありますか。 n=1,591（○は1つ）

- | | | |
|------------------|------------------|------------|
| 22.9 不便に感じることもある | 55.7 不便に感じることはない | 19.4 わからない |
| | | 1.9 無回答 |

→(問31で「1」とお答えの方に)

問31-1 あなたは、公金の納付に関して、県がキャッシュレス決済を導入するとした場合、特に、どの場面に導入すべきだと思いますか。 n=365（○は1つ）

- 9.0 美術館や博物館の入館料など、窓口での支払い
- 77.0 県からの納付書・納入通知書による使用料・手数料の支払い
- 7.9 県立学校の出願にかかる入学検査料など、インターネットでの申込に係る使用料・手数料の支払い
- 3.3 その他(具体的に) 2.7 無回答

問32 あなたは、普段の生活の中で、主に、どのようなキャッシュレス決済を利用していますか。 n=1,591（○は1つ）

- 23.2 電子マネー（Suica、PASMO、nanaco、WAON など）
- 42.7 クレジットカード（Visa、Master、JCB など）
- 1.0 デビットカード
- 0.4 Pay-easy（ペイジー）
- 10.4 スマホ決済アプリ（PayPay、LINEPay、PayB など）
- 1.1 スマートフォンによるまとめ払い
- 15.0 1～6はどれも利用していない（現金のみ）
- 6.2 無回答

【生涯学習について】※同封の資料③を参考にご回答ください。

県では、人生100年時代到来や技術革新など、社会が大きく変化する中、新しい時代に合った生涯学習を推進していくため、今後の施策の方向性を検討しています。

問33 あなたは、今後、学習したいと思うことはありますか。この中からいくつでもあげてください。
n=1,591（〇はいくつでも）

- | | | |
|------|-----------------------------------|---------|
| 63.2 | 自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの） | |
| 16.5 | 仕事や就職の上で役立つ学習（ビジネス基礎や様々な業種の基礎的知識） | |
| 20.0 | 仕事や就職の上で役立つ学習（専門的知識や実践的技術） | |
| 24.2 | 家庭や日常の生活に役立つ学習（子育て、料理、編み物など） | |
| 47.1 | 健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど） | |
| 11.1 | 地域や社会での活動に役立つ学習（学習の指導者やボランティアなど） | |
| 2.1 | その他（具体的に | ） |
| 11.4 | 学習したいとは思わない | 1.7 無回答 |

問34 学習する上で困っていることは何ですか。この中からいくつでもあげてください。
（問33で「8」と回答した方は、学習したいとは思わない理由をお答えください。）
n=1,591（〇はいくつでも）

- | | | |
|------|-----------------------------------|---------|
| 30.7 | 仕事が忙しくて時間がない | |
| 15.0 | 家事・育児・介護などが忙しくて時間がない | |
| 13.6 | 講座などの時間帯が希望に合わない | |
| 19.1 | 学習したいことを身近で学習する場がない | |
| 17.6 | 学習するのに必要な情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できない | |
| 22.1 | 学習するための費用がかかる | |
| 8.0 | 一緒に学習する仲間がいない | |
| 3.3 | 学習しても職場や社会で評価されない | |
| 23.8 | きっかけがつかめない | |
| 10.4 | 何を学習したらよいかわからない | |
| 2.6 | その他（具体的に | ） |
| 12.8 | 特に困っていない（必要がない） | 9.2 無回答 |

問35 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。この中からいくつでもあげてください。
n=1,591（〇はいくつでも）

- | | | |
|------|-----------------------------|---------|
| 1.1 | 千葉県生涯学習情報提供システム「ちばりすネット」 | |
| 11.6 | 県や市町村、公民館などのホームページやSNS | |
| 30.5 | 県や市町村、公民館などが発行する広報誌 | |
| 23.9 | 新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌 | |
| 12.0 | チラシ、ポスター | |
| 12.1 | テレビ・ラジオ | |
| 16.4 | 知人・同僚・家族などからの口コミ（SNS含む） | |
| 2.6 | 公民館や生涯学習センターなどでの学習相談 | |
| 2.4 | その他（具体的に | ） |
| 32.9 | 特に情報を得ていない | 1.9 無回答 |

【SDG s等について】

問36 あなたは、SDG s※の言葉の意味を知っていましたか。 n =1,591（○は1つ）

19.7 意味をよく知っている	24.8 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない
39.0 意味を大体知っている	15.6 言葉を知らない
	0.8 無回答

※ SDG s（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を達成年限とする世界共通の目標です。経済・社会・環境の三側面の調和がとれた社会を目指す目標として、17のゴールから構成され、「誰一人取り残さない」という理念を掲げています。

問37 「ダイバーシティ※」という概念を知っていましたか。 n =1,591（○は1つ）

44.1 はい	54.1 いいえ
	1.9 無回答

※ 「ダイバーシティ」とは、多様性のことをいい、性別や国籍、年齢、障害の有無などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことを「ダイバーシティ社会」といいます。

（問37で「1」とお答えの方に）

問37-1 千葉県で「ダイバーシティ社会」が実現できていると思いますか。

3または4を選んだ方は、その理由をご記載ください。（任意）

n =701（○は1つ）

5.3 そう思う	
59.6 どちらかといえばそう思う	
24.7 どちらかといえばそう思わない（その理由	）
8.3 そう思わない（その理由	）
2.1 無回答	

問38 社会全体※で男女の地位は平等になっていると思いますか。 n =1,591（○は1つ）

9.9 男性が非常に優遇されている
57.4 どちらかといえば男性が優遇されている
12.3 平等
4.5 どちらかといえば女性が優遇されている
0.8 女性が非常に優遇されている
13.7 わからない
1.4 無回答

※ 社会全体とは、家庭、職場、学校教育の場、政治の場、法律や制度上、社会通念・慣習、地域活動の場等のあらゆる分野を想定しています。

問39 男女共同参画社会を実現するための様々な取組のなかで、今後、県はどのようなことにより力を入れるべきと考えますか。 n=1,591（○はいくつでも）

- 61.6 子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する
- 55.5 子育てや介護でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
- 51.9 保育及び介護の施設やサービスを充実する
- 38.3 長時間労働の是正や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める
- 18.6 県の審議会委員や管理職に女性を積極的に登用するとともに、県内市町村の審議会など政策決定の場に女性を積極的に登用するよう働きかける
- 20.3 政治分野における男女共同参画が進むよう支援する
- 14.0 女性の起業・創業が進むよう支援する
- 17.9 企業や団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
- 20.0 従来女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する
- 17.1 女性の視点を踏まえた防災復興の取組を推進する
- 42.2 DV・児童虐待・性暴力等あらゆる暴力に対して対策を強化する
- 8.7 男女共同参画に関する条例を制定する
- 13.7 女性・男性の生き方、悩みに関する相談窓口を充実する
- 13.4 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する
- 11.3 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PR をする
- 12.4 施策を実施するにあたって企業や民間団体（NPO 等）との連携を推進する
- 2.8 その他（具体的に
- 3.2 無回答

【県の魅力について】

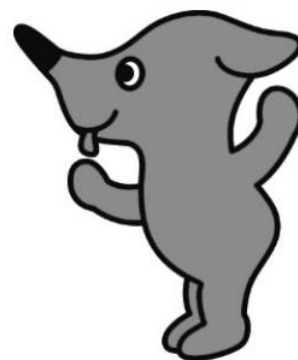
問40 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。 n=1,591（○はいくつでも）

- 3.8 地震や台風など災害への備えがなされている
- 28.9 治安が良く、安心して生活ができる
- 11.8 安心して出産・子育て・教育ができる環境がある
- 15.7 医療施設や福祉施設が充実している
- 2.4 魅力的な企業があり、希望した働き方ができる
- 10.5 地域の祭りや音楽などの文化・芸術が楽しめる
- 12.5 神社・仏閣やまち並みなど歴史を味わえる
- 19.1 ゴルフやサーフィンなどのスポーツを体験できる
- 46.1 新鮮な農林水産物を味わえる
- 55.5 温暖な気候で豊かな自然がある
- 35.1 海水浴や潮干狩り、釣りなどで海を楽しめる
- 34.5 魅力的な観光施設（テーマパーク・水族館・旅館等）がある
- 31.9 道路・鉄道・航空などによる交通アクセスがよい
- 2.1 その他（具体的に
- 5.7 特にない
- 0.6 無回答

【広報について】※同封の資料④を参考にご回答ください。

問41 県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。n=1,591(○はいくつでも)

- 57.1 県広報紙「ちば県民だより」
- 15.1 千葉県ホームページ（パソコン・スマートフォン版）
- 4.1 千葉県ホームページ（携帯版）
- 3.3 県が運用しているSNS「千葉県広報 Twitter」「千葉県公式 LINE」
「チーバくん Instagram」「YouTube 千葉県公式 PR チャンネル」等
- 4.6 千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」
- 11.8 県の広報テレビ番組（チバテレ）
「千葉県インフォメーション」「ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～」
- 3.5 県の広報ラジオ番組（bayfm78）
「サタデイ・ブレイシング・モーニング」「チバ・プリフェクチャー・アップデート」
- 4.6 県の魅力発信テレビ番組（フジテレビ）
「千葉の贈り物～まごころ配達人～」
- 2.4 県の魅力発信ラジオ番組（bayfm78）
「ミンナノチカラ～CHIBA～」「YOU 遊 チバ」
- 17.2 5～9以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース
- 1.1 その他（具体的に
- 24.2 特に情報を得ていない
- 0.8 無回答



【県政への要望】

問42 県政全般について、今後特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

なお、「問43（17～21ページ）」に具体的要望項目を記載していますので、参考にしてください。

n = 1,591

- 40.0 災害から県民を守る
- 4.7 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる
- 10.0 食品の安全を守る
- 13.7 交通事故から県民を守る
- 5.5 中心市街地の活性化を推進する
- 1.9 国際交流・協力や外国人県民との共生をすすめる
- 16.2 公共交通網（バス・鉄道）を整備する
- 9.2 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する
- 6.2 ひとり親家庭等の福祉を充実する
- 26.7 高齢者の福祉を充実する
- 20.2 次世代を担う子どもの育成支援を充実する
- 5.5 青少年を健全に育てる
- 2.1 男女共同参画を推進する
- 1.1 地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する
- 5.5 健康づくりをすすめて、病気を予防する
- 19.1 医療サービス体制を整備する
- 4.6 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる
- 9.2 自然を守り、緑を育てる
- 8.7 温暖化対策、循環型社会を推進する
- 4.0 廃棄物対策をすすめる
- 4.0 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する
- 3.5 観光を振興する
- 7.4 雇用の場を広げる
- 12.3 仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する
- 3.1 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する
- 14.0 道路を整備する
- 3.6 下水道を整備する
- 4.4 豊かな住生活を実現する
- 4.3 公園・緑地を整備する
- 5.3 安心して飲める良質な水道水を供給する
- 5.9 学校教育を充実する
- 2.9 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する
- 2.5 芸術・文化活動を振興する
- 8.9 犯罪防止対策をすすめる
- 2.2 施策実現や地域活性化のための I C T（情報通信技術）の利活用をすすめる
- 1.8 その他（具体的に)
- 1.3 要望はない
- 0.4 無回答

（問42で「1」～「35」のうち1つでもお答えの方は、次の問43にお進みください。

問42で「36」または「37」だけにお答えの方は、21ページのF1にお進みください。）

→問43 問42で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。

問42で選んだ3項目についてのみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号に○をつけてください。

問42の番号及び項目		具体的要望項目（問42で選んだ項目についてのみお答えください）
1 n=637 災害から県民を守る を選んだ方	⇒	12.1 災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表 36.9 災害時の支援、救援活動 9.6 避難場所・避難経路の整備 16.3 危険箇所の事前解消 3.9 災害に対する意識啓発、情報提供 0.8 放射性物質への対応 1.4 避難所における感染症対策 11.9 災害による停電対策 1.3 その他（具体的に） 5.8 無回答
2 n=74 消費生活のトラブルに 関する対策をすすめる を選んだ方	⇒	33.8 悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済 25.7 悪質な事業者の指導・処分 1.4 食品や生活用品などの適正な表示 0.0 商品・サービスに係る危害・危険の防止 4.1 消費者教育などの消費者の自立支援策の充実 13.5 高齢者や若者等の消費者被害の防止 12.2 安心して相談できる相談窓口などの情報提供 0.0 その他（具体的に） 9.5 無回答
3 n=159 食品の安全を守る を選んだ方	⇒	37.1 食品の安全確保 15.7 適正な食品表示 5.0 検査の強化 5.0 情報提供 28.9 添加物や農薬の規制 0.0 その他（具体的に） 8.2 無回答
4 n=218 交通事故から県民を 守る を選んだ方	⇒	27.5 交通事故多発箇所の点検、整備 13.3 ドライバーのマナー向上 19.7 歩行者通行環境の整備 4.6 交通安全教育の推進 13.8 自転車通行環境の整備 0.9 その他（具体的に） 6.9 自転車利用者のマナー向上 13.3 無回答
5 n=88 中心市街地の活性化を 推進する を選んだ方	⇒	28.4 再開発などのまちづくり推進 42.0 駅周辺の活性化 21.6 商業による活性化 0.0 その他（具体的に） 8.0 無回答
6 n=31 国際交流・協力や外国人 県民との共生をすすめ る を選んだ方	⇒	9.7 海外の良い点を県政に反映 3.2 姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力 22.6 市民レベルでの文化交流・外国人県民との交流の機会の提供 38.7 外国人県民にも住みやすいまちづくり 9.7 外国人県民向けの多言語による相談窓口・情報提供の充実 3.2 その他（具体的に） 12.9 無回答
7 n=257 公共交通網（バス・鉄道） を整備する を選んだ方	⇒	30.4 鉄道やバスの増便などについて事業者に要望・働きかけ 26.5 鉄道やバス路線の維持のための支援体制の充実 8.9 鉄道新設などによる交通網の見直し 19.8 鉄道とバスとの乗り継ぎの円滑化など利便性向上 1.9 鉄道やバスのバリアフリー化の支援 5.4 その他（具体的に） 7.0 無回答
8 n=146 障害のある人の福祉や 社会参加の支援を充実 する を選んだ方	⇒	24.7 就労・社会参加の促進 24.7 入所施設やグループホームなど住まいの場の充実 27.4 障害のある人が暮らしやすいまちづくり 14.4 経済的な支援・負担の軽減 2.7 その他（具体的に） 6.2 無回答

問42の番号及び項目		具体的要望項目（問42で選んだ項目についてのみお答えください）
9 n=98 ひとり親家庭等の福祉を充実する を選んだ方	⇒	22.4 子育て・生活支援体制の充実 7.1 就業支援体制の充実 44.9 経済的支援体制の充実 8.2 児童の就学・就職支援体制の充実 3.1 その他（具体的に ） 14.3 無回答
10 n=425 高齢者の福祉を充実する を選んだ方	⇒	47.5 在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援 20.9 特別養護老人ホーム等の入所施設の充実 13.4 高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援 2.8 高齢期を充実して過ごすための生きがい対策 1.2 団塊世代や高齢者等の地域活動参加支援 0.5 高齢者虐待防止対策の強化 3.1 認知症対策の強化 0.7 その他（具体的に ） 9.9 無回答
11 n=322 次世代を担う子どもの育成支援を充実する を選んだ方	⇒	55.0 子育てに対する経済的な支援・負担軽減 9.6 地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実 6.8 幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育・保育の充実 5.9 児童虐待防止対策の推進 11.5 妊娠期から子育て期にわたる支援体制の充実 4.0 その他（具体的に ） 7.1 無回答
12 n=88 青少年を健全に育てる を選んだ方	⇒	14.8 青少年のボランティア活動等社会参加の促進 29.5 家庭・学校・地域の連携強化 3.4 専門家による相談窓口の充実 4.5 ネットパトロールの実施・フィルタリング等の促進 23.9 非行・犯罪防止・立ち直り支援 10.2 ニート・ひきこもり等への支援 2.3 その他（具体的に ） 11.4 無回答
13 n=33 男女共同参画を推進する を選んだ方	⇒	12.1 男性も女性もともに暮らしやすい社会の構築 12.1 ドメスティックバイオレンス（DV）やセクハラなどの根絶 9.1 子育てや介護、家庭生活と仕事を両立するための支援・環境整備 0.0 女性の再就職支援 24.2 働く場での男性・女性の均等な機会及び待遇の確保 6.1 政策・方針決定過程への男女共同参画の促進 6.1 教育・学習の推進 0.0 広報・啓発活動の推進 3.0 男女共同参画に関する条例を制定する 3.0 男女共同参画の視点を踏まえた防災・復興への取組 0.0 その他（具体的に ） 24.2 無回答
14 n=17 地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する を選んだ方	⇒	41.2 官民連携など、協働の取組推進 5.9 活動を担う人材の育成 17.6 活動を行う団体の活動支援 11.8 市民活動や協働の取組への理解促進 5.9 市民活動への参加促進 0.0 その他（具体的に ） 17.6 無回答
15 n=88 健康づくりをすすめて、病気を予防する を選んだ方	⇒	13.6 運動の機会の増大 42.0 高齢者の健康維持 2.3 受動喫煙対策の推進 5.7 食生活改善の支援 5.7 心の健康づくり 8.0 歯科保健の充実 5.7 がんその他の生活習慣病対策 1.1 その他（具体的に ） 15.9 無回答

問42の番号及び項目		具体的要望項目（問42で選んだ項目についてのみお答えください）
16 n=304 医療サービス体制を整備する を選んだ方	⇒	15.5 医師・看護職員等医療従事者の確保 18.4 病院と診療所（かかりつけ医）との連携強化 23.7 医療施設の整備 18.4 休日・夜間等時間外診療の充実 13.5 救急医療体制の整備 1.3 その他（具体的に） 9.2 無回答
17 n=73 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる を選んだ方	⇒	9.6 光化学スモッグ・PM2.5対策 1.4 アスベスト対策 15.1 航空機や自動車による騒音・振動に対する対策 30.1 河川・湖沼・海域の水質改善 8.2 建設残土・再生土の適正な埋立て 30.1 環境中に排出される有害な化学物質対策 0.0 その他（具体的に） 5.5 無回答
18 n=147 自然を守り、緑を育てる を選んだ方	⇒	64.6 自然環境・自然景観の保全 5.4 希少な野生動植物の保全 15.6 特定外来生物の防除 4.8 環境保全に関する啓発・教育 0.0 県民参加での野生動植物調査 2.7 その他（具体的に） 6.8 無回答
19 n=139 温暖化対策、循環型社会を推進する を選んだ方	⇒	26.6 地球温暖化対策・気候変動適応策に関する啓発・教育 35.3 再生可能エネルギーの導入促進・省エネルギーの推進 1.4 次世代自動車の普及促進 5.8 ごみ分別徹底化 12.2 廃棄物の再資源化促進 10.8 ごみの発生抑制（プラスチックごみの削減、食品ロスの削減など） 2.9 バイオマスの利活用（飼料化・堆肥化・燃料利用など） 0.0 その他（具体的に） 5.0 無回答
20 n=63 廃棄物対策をすすめる を選んだ方	⇒	47.6 産業廃棄物の不法投棄防止対策 22.2 安心できる廃棄物処理施設の設置 11.1 廃棄物処理に関する広報・啓発活動 7.9 その他（具体的に） 11.1 無回答
21 n=64 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する を選んだ方	⇒	28.1 新たな企業の誘致、産業拠点の整備 14.1 中小企業への資金支援の充実 25.0 創業及び新たな事業展開の支援 0.0 研究・技術開発の支援 1.6 販路開拓の支援 20.3 商店街の整備・活性化 1.6 その他（具体的に） 9.4 無回答
22 n=56 観光を振興する を選んだ方	⇒	25.0 観光地域の魅力向上 21.4 観光施設・宿泊施設の充実 21.4 千葉県観光の積極的なPR 16.1 新たな観光コンテンツの開発・磨き上げ 8.9 観光地へのアクセスの改善 0.0 その他（具体的に） 7.1 無回答

問42の番号及び項目		具体的要望項目（問42で選んだ項目についてのみお答えください）
23 n=117 雇用の場を広げる を選んだ方	⇒	20.5 若年者に対する就業支援 12.8 就職氷河期世代に対する就業支援 44.4 中高年齢者に対する就業支援 3.4 女性に対する就業支援 6.8 障害のある人に対する就業支援 1.7 その他（具体的に） 10.3 無回答
24 n=196 仕事と子育てや介護が 両立する働き方を実現 する を選んだ方	⇒	8.2 女性の再就職支援 6.6 両立支援相談窓口の設置 24.5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及 5.1 男性の育児休業取得など働き方の見直しの啓発 21.9 短時間勤務制度等多様な働き方の普及 5.1 企業に対する税制上の優遇措置の創設 16.3 一時預かり、時間外保育等保育内容の充実 1.5 その他（具体的に） 10.7 無回答
25 n=50 農林水産業を振興し 新鮮な農林水産物を 供給する を選んだ方	⇒	42.0 新鮮でおいしい農林水産物の供給 14.0 価格の安定 8.0 県産農林水産物の販売量の拡大 26.0 安全で安心して食べられる農林水産物の供給 0.0 その他（具体的に） 10.0 無回答
26 n=223 道路を整備する を選んだ方	⇒	37.2 交通渋滞対策 22.0 交通安全対策（通学路への歩道設置など） 4.0 沿道環境の改善（騒音・排ガス対策・景観形成） 6.7 観光、買い物などを支援する道路の整備 12.1 自然災害に強い道路の整備 9.9 その他（具体的に） 8.1 無回答
27 n=58 下水道を整備する を選んだ方	⇒	46.6 下水道の普及・改善 5.2 水洗化への支援 12.1 下水道施設の耐震化 8.6 その他（具体的に） 12.1 下水の高度処理化 15.5 無回答
28 n=70 豊かな住生活を実現す る を選んだ方	⇒	18.6 安くて入居を拒まれない住宅の整備 25.7 子育て世帯や高齢者世帯に対応した住宅の整備 24.3 防犯や耐震性の向上など、安全で快適な住宅の整備 21.4 住み替えやリフォームに必要な市場の整備や情報の提供 2.9 省エネなど環境に優しい住宅の整備 0.0 その他（具体的に） 7.1 無回答
29 n=68 公園・緑地を整備する を選んだ方	⇒	47.1 公園・緑地等の設置・管理 10.3 公園等の緑化推進 20.6 子どもの遊び場の整備 5.9 公園・緑地等の管理への住民参加の機会充実 0.0 催物・講習会等の開催 5.9 その他（具体的に） 10.3 無回答
30 n=84 安心して飲める良質な 水道水を供給する を選んだ方	⇒	42.9 上水道の水質の改善・維持 11.9 上水道の整備 22.6 水源となる湖沼や川の汚染対策 6.0 上水道施設の耐震化 2.4 その他（具体的に） 14.3 無回答
31 n=94 学校教育を充実する を選んだ方	⇒	38.3 教職員の資質向上・増員 4.3 障害のある児童生徒など 10.6 学力の向上 の教育の充実 1.1 健康と体力の向上 5.3 学校施設の整備 5.3 特色ある教育活動の充実 6.4 その他（具体的に） 10.6 道徳や心の教育の充実 13.8 無回答 4.3 いじめ対策・不登校児童生徒支援

問42の番号及び項目		具体的要望項目（問42で選んだ項目についてのみお答えください）
32 n=46 生涯学習・スポーツ・ レクリエーションを 振興する を選んだ方	⇒	8.7 指導者育成の支援 13.0 学習機会の充実 34.8 スポーツ・レクリエーション活動の充実 6.5 情報提供の充実 26.1 施設の整備・充実 0.0 その他（具体的に ） 10.9 無回答
33 n=39 芸術・文化活動を振興 する を選んだ方	⇒	33.3 文化・芸術にふれる機会の拡充 10.3 文化・芸術に関する情報提供の充実 7.7 文化・芸術活動への支援 2.6 伝統文化や文化財などの継承と活用 17.9 文化施設等の充実 5.1 文化施設等の幅広い活用 2.6 その他（具体的に ） 20.5 無回答
34 n=141 犯罪防止対策をすすめ る を選んだ方	⇒	17.7 警察官によるパトロールの強化 33.3 防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充 5.0 犯罪情報の発信や防犯対策等の広報活動を強化 10.6 警察官や交番相談員の増員による交番の不在時間短縮 5.7 人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設 0.7 少年の非行防止対策 12.1 暴力団、来日外国人等による犯罪の防止 1.4 ボランティア、自治会等、地域主導型の防犯組織づくりの 推進 2.8 その他（具体的に ） 10.6 無回答
35 n=35 施策実現や地域活性化 のためのICT(情報通 信技術)の利活用をすす める を選んだ方	⇒	22.9 防災・環境・医療・福祉・健康等に関するICT利活用 5.7 子育て・教育等に関するICT利活用 2.9 国際交流・文化・スポーツ等に関するICT利活用 2.9 観光・商工業・農林水産業・街づくり・交通網の整備等に 関するICT利活用 37.1 行政事務の利便性の向上、効率化へのICT利活用 2.9 情報セキュリティ対策の推進 20.0 通信環境（Wi-Fi・5Gなど）の整備促進 0.0 その他（具体的に ） 5.7 無回答

以上で質問は終わりますが、調査結果を統計的に分析するために必要なことがらをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。

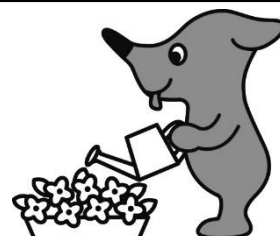
n=1,591 (○は1つ)

42.2 男性	55.6 女性	0.5 その他
		1.7 無回答

F 2 あなたは満何歳ですか。

n=1,591 (○は1つ)

0.8 18～19 歳	17.6 40～49 歳	9.2 65～69 歳
7.7 20～29 歳	14.9 50～59 歳	14.0 70～74 歳
11.1 30～39 歳	8.0 60～64 歳	15.0 75 歳以上
		1.7 無回答



F 3 あなたのご職業は何ですか。

n=1,591（○は1つ）

7.1 自営業者	18.2 主婦・主夫	18.6 無職
30.2 正規社員・職員	2.4 学生	1.8 その他（ ）
19.2 パート・アルバイト・契約社員	2.5 無回答	

F 4 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。

n=1,591（○は1つ）

14.3 千葉市	3.4 佐倉市	0.8 匝瑳市	0.6 勝浦市
5.3 市原市	1.9 四街道市	1.0 東金市	0.3 いすみ市
10.9 船橋市	0.4 八街市	0.4 山武市	0.0 夷隅郡大多喜町
7.2 市川市	1.4 印西市	1.1 大網白里市	0.3 夷隅郡御宿町
2.0 習志野市	1.5 白井市	0.0 山武郡九十九里町	1.1 館山市
3.0 八千代市	0.8 富里市	0.0 山武郡芝山町	0.6 鴨川市
2.7 浦安市	0.0 印旛郡酒々井町	0.4 山武郡横芝光町	0.3 南房総市
6.7 松戸市	0.4 印旛郡栄町	1.8 茂原市	0.0 安房郡鋸南町
2.8 野田市	0.9 香取市	0.0 長生郡一宮町	2.5 木更津市
6.7 柏市	0.0 香取郡神崎町	0.0 長生郡睦沢町	1.3 君津市
3.7 流山市	0.6 香取郡多古町	0.4 長生郡長生村	0.3 富津市
2.9 我孫子市	0.0 香取郡東庄町	0.0 長生郡白子町	0.6 袖ヶ浦市
1.1 鎌ヶ谷市	0.9 銚子市	0.0 長生郡長柄町	
1.3 成田市	0.8 旭市	0.5 長生郡長南町	2.1 無回答

以上で質問はすべて終わりです。

今までの設問について、ご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。

県や世論調査へのご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。



最後までご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、
9月16日（金）までに、郵便ポストにご投函ください。

なお、返信用封筒へのお名前やご住所の記入、切手は不要です。

令和４年度

(第63回)

県政に関する世論調査

令和５年１月発行

(令和４年８月実施)

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町１番１号

(広聴室) 電話０４３－２２３－２４６９
